

Panasonic®

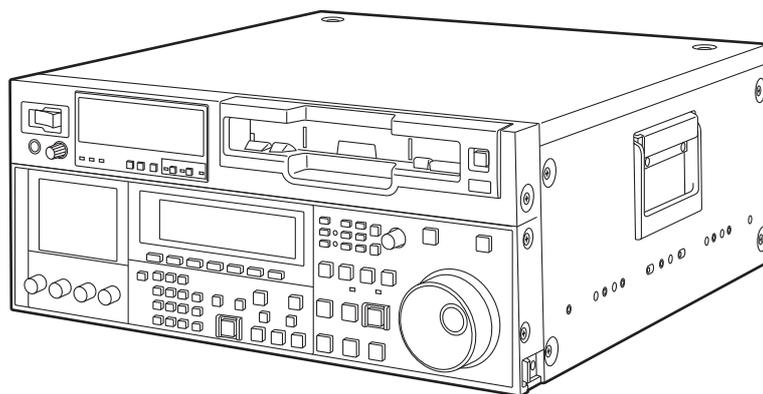
取扱説明書

デジタルHDビデオカセットレコーダー

品番 **AJ-HD1800**

DVCPRO HD

EX



このたびは、“パナソニック製品”をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。

■ご使用前に「安全上のご注意」(4～6 ページ)を必ずお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

目次

安全上のご注意.....	4	オーディオスプリット編集.....	34
概要.....	7	バリエブルメモリー機能.....	36
付属品.....	7	バリエブルメモリー機能の選択.....	36
特長.....	8	概要.....	36
各部の名称と機能.....	10	バリエブルメモリー再生操作手順.....	36
フロントパネル (1).....	10	バリエブルメモリー編集操作手順.....	37
フロントパネル (2).....	11	ファンクションメニュー.....	38
フロントパネル (3).....	12	概要.....	38
フロントパネル (4).....	13	ファンクションキーの割り当て.....	39
フロントパネル (5).....	14	<HOME>.....	40
フロントパネル (6).....	15	<VIDEO>.....	49
フロントパネル (7).....	16	<AUDIO>.....	51
フロントパネル (8).....	17	<TC>.....	53
リアパネル.....	19	<CUE>.....	54
接続.....	21	<DIAG>.....	57
1台での接続例.....	21	<MENU>.....	59
2台での接続例 (デッキ対デッキ).....	21	<ASSEMBLE>.....	60
23/24Hz または 25/50 Hz (HD) モード時の		<INSERT>.....	61
システム接続例.....	22	<SETUP MENU/SYSTEM MENU>.....	62
25/50Hz (SD) モード時のシステム接続例.....	22	<FILE>.....	64
編集コントローラとの接続例.....	23	<PF1/PF2>.....	66
テープについて.....	24	<CARD>.....	71
電源投入 / カセット挿入.....	25	<STOP CODE>.....	74
STOP/STANDBY モード.....	25	<50P IN/OUT ASSIGN>.....	76
記録.....	26	システムメニュー.....	82
再生.....	27	セットアップメニュー.....	85
再生位相の調整機能.....	27	<BASIC>.....	85
ジョグ/シャトル.....	28	<OPERATION>.....	89
ジョグモード.....	28	<INTERFACE>.....	92
シャトルモード.....	28	<EDIT>.....	93
手動編集.....	29	<TAPE PROTECT>.....	95
プリロール.....	29	<TIME CODE>.....	96
自動編集 (デッキ対デッキ).....	30	<VIDEO>.....	98
スイッチの設定と調整.....	30	<AUDIO>.....	104
編集モードの選択.....	31	<DIF>.....	112
編集点の登録.....	31	<MENU>.....	113
編集点の確認.....	32	<システム周波数の切り替え手順>.....	114
編集点の訂正.....	32	<システム周波数の切り替えに伴う	
プレビュー.....	33	メニュー管理>.....	115
自動編集の実行.....	33	<表示されるメニューについて>.....	115
レビュー.....	33		

タイムコード/ユーザズビットについて.....	120
タイムコード.....	120
ユーザズビット.....	120
内部タイムコードの設定.....	120
外部タイムコードの設定.....	121
キュータイム登録・プリロール・	
キューアップ.....	121
タイムコード/ユーザズビットの再生.....	121
本機で記録するタイムコード.....	122
スーパーインポーズ画面.....	124
音声の記録チャンネルと	
モニター出力の選択.....	125
音声の記録チャンネル.....	125
モニター出力チャンネル.....	125
表示部のセービングファンクション.....	125
ラックマウント.....	126
ビデオヘッドクリーニング.....	127
結 露.....	127
お手入れについて.....	127
エラーメッセージ.....	128
ダイアグメニュー.....	128
ワーニングメッセージ.....	130
エラーメッセージ.....	131
RS-232C インターフェース.....	133
ハードウェア仕様.....	133
ソフトウェア仕様 (プロトコル).....	134
コネクタの信号.....	139
EMERGENCY イジェクト.....	141
保証とアフターサービス.....	142
定 格.....	143

安全上のご注意 ■必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

電源プラグは、根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源プラグのほこりなどは、定期的にとる



プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災や感電の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

電源コード・プラグが破損するようなことはしない(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない)



傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない



ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の上や近くに液体の入った花瓶などの容器や金属物を置かないでください。

指定のカバー以外は外さない



火災や感電の原因になります。

分解禁止

- 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

不安定な場所に置かない



落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

安全上のご注意

■必ずお守りください

警告 (続き)

<p>水場で使用しない</p>  <p>火災や感電の原因になります。</p> <p>水場 使用禁止</p>	<p>異常があったときは、電源プラグを抜く</p> <ul style="list-style-type: none">● 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき● 落下などで外装ケースが破損したとき● 煙や異臭、異音などが出たとき  <p>そのまま使うと、火災・感電の原因になります。</p>	
<p>ぬれた手で電源プラグやコネクターに触れない</p>  <p>感電の原因になります。</p> <p>ぬれ手禁止</p>	<p>電源プラグを抜く</p> <ul style="list-style-type: none">● 本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにしてください。● 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。● 販売店に相談してください。	
<p>SDメモリーカード(別売品)は、乳幼児の手の届く所に置かない</p>  <p>誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。</p> <ul style="list-style-type: none">● 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。	<p>分解や改造をしない</p>  <p>内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。</p> <p>分解禁止</p> <ul style="list-style-type: none">● 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。	<p>コンセントや配線機器の定格を超える使い方や、交流100V～240V以外での使用はしない</p>  <p>たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。</p>
<p>雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れない</p>  <p>感電の原因になります。</p> <p>接触禁止</p>	<p>付属品・オプションは、指定の製品を使用する</p>  <p>本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。</p>	

安全上のご注意

■必ずお守りください

⚠ 注意

カセットテープ挿入口に、指をはさまれないように注意する



けがをする恐れがあります。

指に注意

コードを接続した状態で移動しない



コードが傷つき、火災や感電の原因になります。また、コードが引っかかって、けがの原因になります。

本機の放熱を妨げない

●押し入れや本箱など、狭いところに入れないでください

●テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください

●通風孔やファンがある場合は、ふさがないようにしてください

●横倒し、逆さまにしないでください



内部に熱がこもり、火災の原因になります。

電源プラグやコネクタを抜くときは、コードを引っ張らない



コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

●必ずプラグやコネクタを持って抜いてください。

本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない



●落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。
●重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。

長期間使用しないときや、お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く



火災や感電の原因になります。

電源プラグを抜く

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない



電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。

直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない



特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約 60℃以上）になります。本機やカセット、バッテリー、ACアダプターなどを絶対に放置しないでください。

外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になります。

概要

本機は、1/4インチ幅の小型カセットテープを使用し、HD信号（1080i/59.94Hz、1080i/50Hz、720p/59.94 Hz、720p/50 Hz）をDVCPRO HD-LP*フォーマットとして記録/再生ができ、DVCPROフォーマットとして記録されたHD（DVCPRO HD-LP/DVCPRO HD）からSD（DVCPRO50/DVCPRO）までの素材に加え、民生DV/DVCAMテープも再生することのできるマルチフォーマットVTRです。ダウンコンバーターを標準装備していますので、アナログコンポジット信号、SD SDI 出力で、すべてのフォーマットのテープの確認が可能です。

さらにバリアブルフレームレートカメラで収録した720/24p over 60p ソースからは、1080/24PsF への変換出力が得られ、シネマ用途にも応えます。

また、

- 720/25p over 60p ソースからは1080/25 PsF への変換出力や576iへの変換出力が
- 720/50p over 60p ソースからは720/50p、1080/50iあるいは576iへの変換出力がそれぞれ得られます。

高効率のデジタル圧縮技術を採用した高画質 VTR で、ダビング時の画質・音質の劣化が大幅に少なくなっています。また、本機は4Uサイズの小型・軽量設計になっておりますので、持ち運びにも負担が軽く、19インチのラックに設置する時にも楽に行えます。

機器のセットアップは、フロントパネルのファンクションボタンやフロントパネルの液晶モニターのメニュー画面を見ながら対話方式で行います。

編集機能としては、アSEMBル・インサートの両編集が行えます。

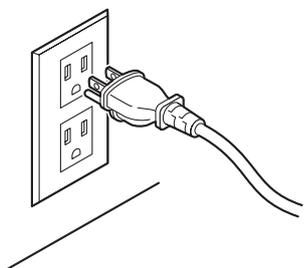
* DVCPRO HD-LPは、弊社カメラレコーダーの取扱説明書に記載のDVCPRO HD EXと同じフォーマットです。

付属品

電源コード（電安3芯）×1

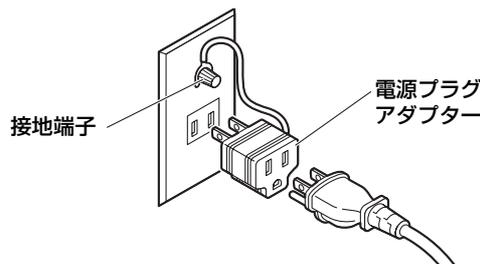
電源用3P-2Pコネクタ×1

- 本機に付属されている電源コードは、接地端子を備えた3ピンのコンセントに接続してください。



海外で使用する場合は、その国に合った接地端子付電源コードを準備してください。
本機に付属している電源プラグアダプターを、さらに変換して使用しないでください。

- 2ピンのコンセントを使用する場合は、付属の電源プラグアダプターを取り付け、必ず、接地端子にアース線を接続してください。
アース線を接続するときは、必ず、電源コードを電源プラグアダプターに差し込む前に、行ってください。
また、アース線を外すときは、必ず、電源コードを電源プラグアダプターから抜いた後に、行ってください。



- 本機に付属されている電源プラグアダプターを、他の機器には、絶対に使用しないでください。

特長

小型・軽量

本機は、4UサイズのデジタルVTRです。
ラックマウントアダプター(オプション、AJ-MA75P)を使用すれば19インチラックにも手軽に取りつけることができます。

最大126分記録

DVCPRO HD-LP記録方式の採用により、1/4インチXLカセットテープに、最大126分の長時間デジタルHD記録が可能です。

高画質

既存DVCPROの4倍の記録レート(100Mbps)を持った4:2:2 HDコンポーネント信号記録により高画質を実現しています。

1080i/720p、59.94Hz/60Hz/50Hzスイッチャブル

メニューで切り替えることにより、それぞれの信号を記録・再生することができます。
1080-60 Hzでの記録は保証しておりません。

フレームレート変換機能

メニューで切り換えることにより、バリエーションフレームレートカメラでフレームレートが24fpsで記録されたテープを再生すると、1080/24PsFへの変換出力を行うことができます。

25fpsで記録されたテープを再生したときは、1080/25PsFへの変換出力や576iへの変換出力を行うことができます。また50fpsで記録されたテープを再生したときは、1080/50iへの変換出力や576iへの変換出力を行うことができます。

<ノート>

- バリエーションフレームレートカメラで撮影したテープを使用してください。
- 撮影したテープをダビングしたテープ、または編集加工したテープを使用しないでください。
テープ管理情報が失われ、正常に変換再生できない場合があります。

フィルム用シネマガンマ補正

バリエーションフレームレートカメラのフィルム用シネマガンマモードで撮影された映像を、フィルム質感の映像に補正することができます。

SDIインターフェース

HD/SDシリアルデジタルインターフェースを標準装備しています。

DVCPROとの互換再生

DVCPRO HD-LP記録再生の他に、既存のDVCPRO HD/DVCPRO50/DVCPROで記録されたテープを本機で再生することができます。
また、民生のDVテープ(SP)/DVCAMも本機で再生することができます。

デジタルスローモーション/ダイヤルジョグ

パナソニック独自のデジタルスロー技術により、-1倍速から+2倍速(DVCPRO HD-LP記録テープ)までクリアな再生が行えます。

<ノート>

-1/+2倍速に限りなく近いスピードのスロー再生(外部コントローラを使った場合)時、多少のノイズが発生することがあります。

サーチ速度

サーチ速度は正・逆方向に最大100倍速(DVCPRO HD-LP記録テープ)までカラー画像で再生が可能です。

タイムコード

本機はTCG(タイムコードジェネレータ)/TCR(タイムコードリーダー)を内蔵しています。
タイムコードは内部タイムコードの他に、外部タイムコード入力をLTCとして本機に記録することが可能です。

UMID情報の記録・再生

SMPTE 330M規格のUMID(Unique Material Identifier)情報の記録・再生に対応しています。

UMID情報は、ダイアグメニューで確認することができます。

UMID情報の記録/再生に対応していないVTRでは、UMID情報を正しく再生することができません。 また、UMID情報の記録・再生に対応していないVTRを本機に接続して記録を行っても、UMID情報を正しく記録することができません。
--

VANCデータの記録/再生

HD SDIのYストリームに付加されたVANCデータパケットを、映像信号と同時に記録可能です。

また、HD SDIのYストリームにVANCデータパケットを再生することも可能です。

多機能なインターフェース

●シリアルデジタル入出力

HDコンポーネントシリアルインターフェース入出力を装備しており、HDコンポーネント映像信号と8チャンネルのデジタルオーディオを1本のBNCでインターフェースすることができます。(SMPTE 292M、296M、299M)

また、HD-SDフォーマットコンバータを標準装備しているためSDコンポーネントシリアル信号をも出力することができます。(SMPTE259M-C、272M-A、ITU-R BT.656-4)

●アナログビデオ出力

DVCPRO50/DVCPRO 互換再生、DV再生、DVCAM再生、あるいはダウンコン時にコンポジット信号を出力します。

●AES/EBUオーディオ入出力

8チャンネルのデジタルオーディオ入出力端子を装備しています。

●SD信号のアップコンバート記録

SDコンポーネントシリアル信号(SMPTE 259M-C、272M-A、ITU-R BT.656-4)をアップコンバートしてHD信号として記録できます。

●9ピンRS-422A/RS-232Cリモート

標準的な9ピンシリアルリモート(RS-422A)のほか、RS-232Cおよび50ピンパラレルのリモート端子を装備しています。

RS-422Aは本機と別のVTRをループ接続すれば並列運転ができます。

●IEEE1394 デジタル入出力

IEEE1394規格に準拠したインターフェースでの入出力が行えます。

<ノート>

メニューNo.600 (VIDEO IN SEL)で「1394」を選択したとき、INSERTおよびASSEMBLE編集は動作しません。

<再生フォーマットと出力フォーマット>

再生フォーマット	出力データフォーマット
DVCPRO HD-LP、 DVCPRO HD	DVCPRO HD、DVCPRO50、DV
DVCPRO50	DVCPRO50、DV
DVCPRO	DVCPRO、DV
DV、DVCAM	DV
EE、REC モード時	DVCPRO HD、DVCPRO50、DV

<ノート>

下記の設定を行ったときは、IEEE1394デジタルインターフェースから信号が出力されません。

- メニューNo.030 (HD FREQUENCY)で「60/24」を選択したとき。
- メニューNo.025 (SYSTEM FREQ)で「23/24」、「25 (HD)」、「25 (SD)」、「50 (HD)」、「50 (SD)」を選択したとき。
- 出力データフォーマットがDVCPRO HD以外に選択された状態で、編集モードを選択したとき。

8チャンネルの高音質デジタルオーディオ

8チャンネルのPCMオーディオを持ち、8チャンネルは独立して編集ができるほか、チャンネルミックスが可能です。アナログキュートラックも1チャンネル装備しています。

メニュー方式のセットアップ

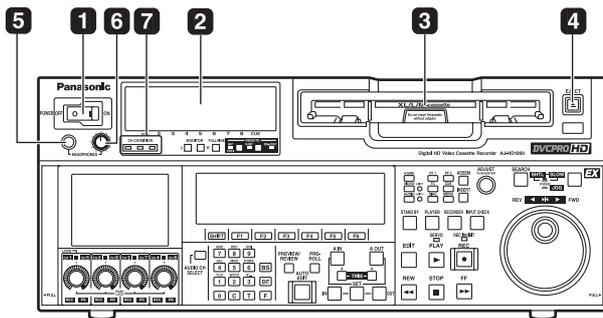
本機を操作する前に行うセットアップの各設定は、本機の液晶モニターまたはモニターテレビのセットアップメニューを見ながら行います。

液晶モニター付き多機能フロントパネル

映像確認用の液晶モニター、操作ボタン、大型表示パネルなどの多機能を4Uサイズに納め、操作性の向上を実現しました。

各部の名称と機能

フロントパネル (1)

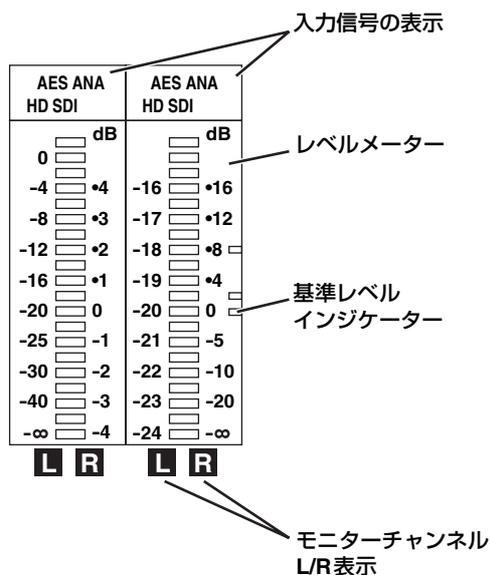


1 POWERスイッチ

2 オーディオレベルメーター

オーディオ情報の表示を行います。

- PCMオーディオ信号のCH1/CH2/CH3/CH4/CH5/CH6/CH7/CH8とCUEトラック信号の各レベルを表示
- 記録時およびEE選択時には入力信号のレベルを表示
再生時には出力信号の各レベルを表示
INPUT CHECK時にはCH1～CH8で入力信号のレベルを表示
- 各チャンネルごとの入力信号の表示
選択された入力信号のインジケータが点灯します。
(SD SDI入力選択時はSDIが点灯し、1394入力選択時はHDが点灯します)
選択された入力信号がない場合、AES/HDSDI/SD SDI/1394選択時は点滅し、ANA時は点灯のままとなります。
なお、内蔵信号(INT SG)が選択されたときは、AES/ANA/HD SDIのインジケータが全て点灯します。
23/24Hzモードまたは25Hz (HD、SD)、50Hz (HD、SD) モード時は全て消灯します。



3 カセット挿入口

オレンジ色のプレートが見えているときはすでにカセットテープが挿入されています。

4 EJECT ボタン

押すとテープがアンロードし、数秒後自動的にカセットを排出します。
カウンタ表示部がCTL表示の時は、表示がリセットされず。

5 ヘッドホンジャック

ステレオヘッドホンを接続すると、記録/再生/編集中の音声を、ヘッドホンでモニターできます。

6 音量調整ダイヤル

ヘッドホンの音量およびモニター出力の音量を調整するボリュームです。
ヘッドホン出力とモニター出力の音量を連動させるか、分離させるかは、セットアップメニュー No.712 (MONI OUT) で選択できます。(ただしヘッドホンは常に連動しています) 分離させた時のモニター出力はUNITY値(既定値)になります。

7 チャンネルコンディション・ランプ

エラーレートの状態に応じて点灯します。

(緑→アンバー→赤)

緑： ビデオ/オーディオの再生信号のエラーレートが、共に良好な時に点灯します。

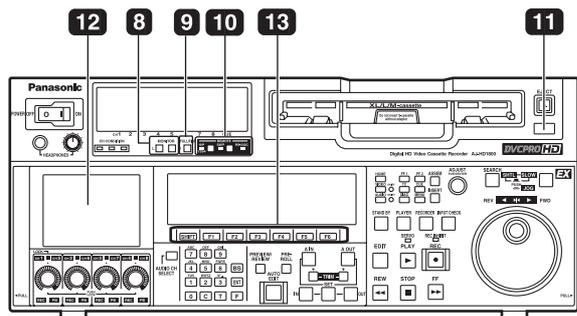
アンバー：

ビデオ/オーディオの再生信号のいずれかのエラーレートが悪化した時に点灯します。

このランプが点灯しても、再生画は正常です。

赤： ビデオ/オーディオのいずれかの再生信号に修正/補間がかかった時に点灯します。

フロントパネル (2)



8 MONITOR SELECT ボタン

モニター L/R とヘッドホンジャックに出力する音声信号を切り替えるボタンです。

● <AUDIO SHIFT2>メニューの **[F6]**

M MIX = OFFの時(工場出荷設定) :

「L」(または「R」) ボタンを押すたびに、モニター L (または R) に出力する信号を CH1、CH2、CH3、CH4、CH5、CH6、CH7、CH8、CUE、CH1、…と切り替えることができ、オーディオレベルメーターに表示されます。

● <AUDIO SHIFT2>メニューの **[F6]**

M MIX = L, R, L/R の時 :

複数のチャンネルの信号をミックスして出力することができます。

「L」(または「R」) ボタンを押しながら、数字キーでモニターしたいチャンネルの数字を押すと、そのチャンネルが選択され、オーディオレベルメーターに表示されます。また、同様の操作で、すでに選択されているチャンネルを非選択にします。

ただし、CH1～CH4のうち最大2チャンネル、CH5～CH8のうち最大2チャンネルの選択となります。

選択例 : CH1+CH3+CH5+CH8は可。

CH1+CH2+CH4は不可。

9 METER(FULL/FINE)切り替えボタン

オーディオレベルメーターのスケール表示(目盛)を切り替えるボタンです。

FULLモード :

セットアップメニュー No. 763 (METER SCALE) の設定に応じて $-\infty$ dB ~ 0 dB または、 $-\infty$ dB ~ +20 dB の範囲を表示します。

FINEモード :

セットアップメニュー No. 763 (METER SCALE) の設定に応じて -24 dB ~ -15 dB または、 -4 dB ~ $+5$ dB の範囲を 0.5 dB ごとのスケールで表示します。

基準レベルはレベルメーター右側の基準レベルインジケーター ■ で表示されます。基準レベルの変更はセットアップメニュー No.776 (REF LEVEL)で行うことができます。

10 REMOTE ボタンと RS-232C 表示

REMOTE、RS-232C、パラレルの各端子を使って、外部から本機をコントロールする時に切り替えます。

9P 1394 :

ボタンを2秒以上押しとLEDが点灯し、REMOTE 端子 (IN/OUT) 端子または DVCPRO/DV 端子を使って接続した機器で本機をコントロールすることができます。

解除するにはボタンを2秒以上押ししてください。

50P : ボタンを2秒以上押しとLEDが点灯して、50ピンパラレルリモート端子を使って接続した機器で本機をコントロールすることができます。解除するにはボタンを2秒以上押ししてください。

RS-232C表示 :

RS-232C端子に接続された機器と本機が通信可能なとき、このLEDが点灯します。

切り換えはセットアップメニュー No. 204 (RS232C SEL)で行います。

11 AUTO OFFランプ

本機の動作に異常が発生した時に点灯し、タイムコード表示部にその内容を表示します。

12 液晶モニター

簡易モニターとしてテープ再生、または EE 映像とメニュー表示を行います。

また、フロントからの操作やテープ走行が行われない状態で放置しておくモニター保護のため、自動的にモニター表示をオフにします。

なお、本機の動作が開始されると、モニター表示がオンになります。

<ノート>

映像の一部が表示できない場合があります。映像の確認には別途モニターをご使用ください。

13 ファンクションボタン

ファンクションメニュー(38 ページ参照)の操作に使用します。

[SHIFT] :

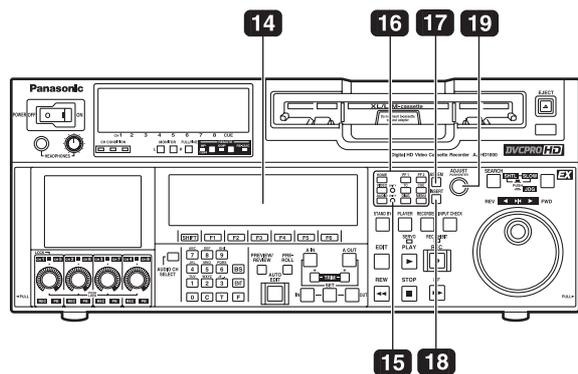
現在のファンクションメニューのページを切り替えます。

[F1] ~ [F6] :

タイムコード表示部下方に枠で囲まれている設定項目の設定値を変えます。

設定値を変えるには、**[F1] ~ [F6]** ボタンを希望の値になるまで押し続けるか、一度 **[F1] ~ [F6]** ボタンを押して設定項目の設定値をハイライト点灯させた後、希望の値になるまで ADJUST ダイヤルを回します。

フロントパネル (3)



14 タイムコード表示部

ダイレクトメニューボタンに応じた各種データ/VTR ステータス情報/テープフォーマット情報/ワーニング情報などを表示します。(表示の詳細は 38 ページ以降を参照してください)

15 UNITY ランプ

VIDEO UNITY ランプ :

HD/SDのすべての映像出力レベルがUNITYであれば点灯します。

AUDIO UNITY ランプ :

PCM/CUE AUDIOの入出力レベルがUNITYであれば点灯します。(セットアップメニュー No. 142 (AUDIO UNITY) の設定に従います。)

16 ダイレクトメニューボタン

タイムコード表示部内のファンクションメニューをダイレクトに切り換えるボタンです。

HOME :

記録・再生・TC操作の最も基本的な設定を行います。

VIDEO :

VIDEO信号の基本的な入出力設定を行います。HD出力信号のレベル調整もこの画面で行うことができます。

AUDIO :

AUDIO信号の基本的な入出力設定を行います。

PF1 : ファンクションキーにユーザー定義のメニューを登録することができます。

PF2 : ファンクションキーにユーザー定義のメニューを登録することができます。

TC : タイムコードに関する設定を行います。タイムコードスーパーの表示設定もこの画面で行うことができます。

CUE : 60点までキュー点を設定することができます。PAGEモードでは6点を1ページとして、6点×10ページのキュー点をページ単位で管理することができます。

DIAG : ワーニング/アワーメータ/UMIDなどの情報が確認できます。SHIFT画面ではエラーログファイルの確認、削除ができます。

MENU :

SYSTEM、SETUPメニューに関する操作(調整、内部メモリおよびSDメモリーカードへのSAVE/LOAD)画面へ移動できます。

各ファンクションメニューの詳細は、38 ページ以降を参照してください。

17 ASSEM ボタン

アセンブル編集をする時に使用します。

ASSEMボタンを押すと、タイムコード表示部に<ASSEMBLE>メニューが表示されます。**[F1]**でASSEMをONにするとアセンブル編集が可能になり、ASSEMボタンが点灯します。

ほかのダイレクトメニューで移動してもASSEMボタンが点灯している時は、アセンブルモードとなっています。アセンブルモードを解除するには、<ASSEMBLE> → **[F1]**、ASSEM = OFF にすればASSEMボタンは消灯し、解除になります。

18 INSERT ボタン

インサート編集をする時に使用します。

INSERTボタンを押すと、タイムコード表示部に<INSERT>メニューが表示され、編集したい信号を選択するファンクションメニューが表示されます。

編集したい信号を選択するには、ファンクションキーを押してハイライト表示になれば選択された表示となります。

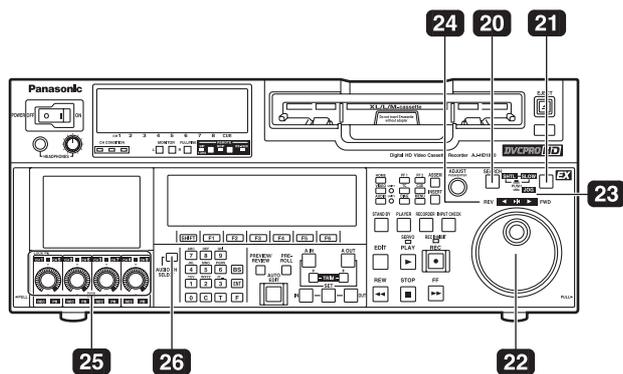
選択を解除するには、もう一度ファンクションキーを押してください。

V/A1/A2/A3/A4/CUEの選択は**[F1]** ~ **[F6]**、A5/A6/A7/A8/TCの選択は**[SHIFT]** + **[F2]** ~ **[F6]**となります。

19 ADJUSTダイヤル (ADJダイヤル)

メニューなどの操作に使用します。

フロントパネル (4)



20 サーチボタン

押すとサーチモードになります。サーチダイヤルをシャトルモードにして任意の位置に回しておき、このボタンを押すと、サーチダイヤルで設定した速度の再生が始まります。

21 SHTL/SLOW ボタン

サーチダイヤルを SHTL 用、もしくは SLOW 用として用いるときの選択ボタンです。
このボタンを押すごとに、サーチダイヤルが SHTL 用と SLOW 用交互に切り替わります。

22 サーチダイヤル

編集点を探すためのダイヤルです。
ダイヤルは、押すごとに SHTL/SLOW モードと JOG モードが交互に切り替わり、JOG/SHTL/SLOW ランプのいずれかが点灯します。
POWER ON 時は、一度ダイヤルが STILL の位置に戻らないと動作しません。

SHTL (シャトル) モード:

JOG/SHTL/SLOW ランプの SHTL が点灯しているときにダイヤルを回し、任意の位置で止めると、その回転角度位置に対応した速度で再生できます。中央位置で静止画になります。

SLOW (スロー) モード:

JOG/SHTL/SLOW ランプの SLOW が点灯しているときにダイヤルを左一杯に回すと、- 4.9 倍速、中央位置で静止画、右一杯にまわすと +4.9 倍速になります。SLOW の速度はセットアップメニュー No.308 (VAR FWD MAX)、No.309 (VAR REV MAX) で選択できます。クリック点での速度はセットアップメニュー No. 313 (CLICK POINT) で選択できます。

JOG (ジョグ) モード:

ダイヤルにクリック感がなくなり、ダイヤルの回転速度に応じたテープスピードで再生します。最大速度は、セットアップメニュー No.310 (JOG FWD MAX) と No.311 (JOG REV MAX) で選択できます。

23 JOG/SHTL/SLOW ランプ

サーチダイヤルのモードを表示します。

JOG:

JOG モード時に点灯します。

SHTL/SLOW:

SHTL/SLOW モード時に点灯します。

24 REV/STILL/FWD ランプ

サーチダイヤルの動作に応じて点灯します。

REV: ダイヤルを左に回すと点灯し、サーチボタンが点灯している時は、テープが REV 方向に走行します。

STILL: JOG ランプが点灯している時には、ダイヤルの回転が停止した時に点灯し、テープ走行も停止します。

SHTL/SLOW ランプが点灯している時には、ダイヤルがスチル位置にある時に点灯します。

FWD: ダイヤルを右に回すと点灯し、サーチボタンが点灯している時は、テープが FWD 方向に走行します。

25 オーディオ入出力レベルの調整ダイヤル

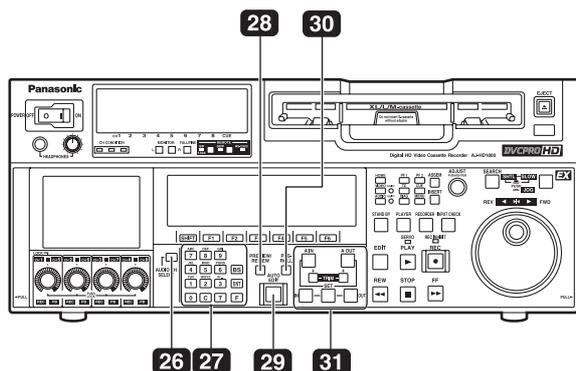
PCM オーディオ信号の CH1/CH2/CH3/CH4/CH5/CH6/CH7/CH8 の各記録および再生レベルを調整するダイヤルです。

- ボリューム操作の LOCK/UNLOCK の切り換え
ダイヤルを押すとダイヤル上の LED が点灯 (LOCK)/消灯 (UNLOCK) になります。
LOCK (点灯) 状態の時は、現在のオーディオレベルに対応する表示セグメントのみ点灯し、ダイヤルを回してもオーディオレベルは変えられません。
UNLOCK (消灯) 状態は、現在のオーディオレベルに対応する表示セグメントおよびその下のすべての表示セグメントが点灯し、オーディオレベルを変えられます。
- UNITY/VAR の切り替え
UNLOCK 状態で数字キーの **[F]** キーを押しながら、ダイヤルのつまみを押すと UNITY/VAR を切り替えることができます。
中央で点灯しているセグメントの位置が UNITY を表します。
- REC/PB の切り替え
AUDIO ファンクションメニューの "AUDIO SHIFT2" の **[F1]** にて AUTO/REC/PB のボリューム機能の切り替えができます。
AUTO は記録や EE、INPUT CHECK 時に REC ボリューム、再生時に PB ボリュームと自動的に切り替わります。
- CH1~CH4 と CH5~CH8 の切り替え
オーディオチャンネル切り換えボタン **26** で切り替えます。

<ノート>

- CUE オーディオ入出力レベルはセットアップメニュー No.790 (CUE REC VOL) と No.791 (CUE PB VOL) で調整します。
- 1394 入力時、オーディオ入力レベルは調整できません。

フロントパネル (5)



26 オーディオチャンネル切り替えボタン

CH1～CH4またはCH5～CH8のオーディオボリューム制御をこのボタンで切り替えます。
このボタンを押すたびにオーディオボリューム上のチャンネル表示LEDが切り替わります。

27 数字キー

CUE点、編集点などの数値を入力します。
[F] キーを押しながら [1] ～ [9] までの数字を押すと、ユーザービットで使うA～Fまでや、ファイル名として使うA～Zまでのアルファベットを入力することができます。
ひとつの数字キーに複数のアルファベットを割り当てているため、同じ数字キーを押すとアルファベットが切り替わっていきます。入力する位置を変えたい場合はADJUSTダイヤルで位置を変えて入力して下さい。

28 PREVIEW/REVIEW ボタン

PREVIEW :
編集点を登録した後にこのボタンを押すとテープが走行し、編集は実行せずにプレビューができます。
IN点が登録されていない時にこのボタンを押すと、押した点をIN点として登録し、プレビューを実行します。

REVIEW :
1区間の編集実行後にこのボタンを押すと、今編集した区間を再生し、レコーダー側のモニターで見ることができます。

29 AUTO EDIT ボタン

編集点を登録した後にこのボタンを押すと、自動編集を実行します。
IN点が登録されていない時に押すと、押した点をIN点として自動編集を実行します。

30 PREROLL ボタン

送出や手動編集の頭出しに使用します。
押すとテープがプリロール点まで走行して止まります。

HOME, PF1, PF2 画面でキュータイムが登録されている場合 :

<HOME SHIFT>メニューの [F1] PREROL で設定したプリロール時間を使って登録されたキュータイムからプリロールします。

CUE画面でサーチモードの場合 :

<CUE SHIFT>メニューの [F5] CU-ROL で設定したプリロール時間を使って選択されたキュー点からプリロールします。

選択されたキュー点が未登録の場合や、キュー点登録モードの場合は、プリロール動作はしません。

上記以外の場合 :

<HOME SHIFT>メニューの [F1] PREROL で設定したプリロール時間を使って登録されたIN点 (IN点が登録されていないときは現在のテープ位置) からプリロールします。

IN点が登録されていないときに押すと、現在のテープ位置をIN点として自動登録します。(ただし、セットアップメニュー No.305 (AUTO ENTRY) を「ENA」にした場合)

IN(A IN)またはOUT(A OUT)ボタンと同時に押すと、その登録点にキューアップすることができます。また、HOME, PF1, PF2 画面で登録されているキュータイムにキューアップするには、数字キーの [F] キーを押しながら、PREROLLボタンを押します。

31 IN (A IN)/SET/OUT (A OUT) ボタン

SETボタンと同時に押し、IN (A IN)/OUT (A OUT)点を登録します。

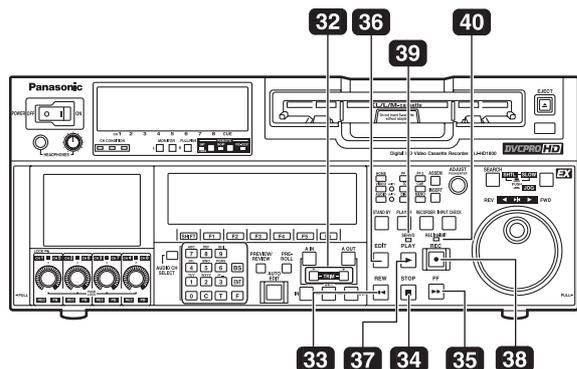
A IN/A OUTは、オーディオスプリット編集を行う時、ビデオと異なるオーディオのIN/OUT点を登録するために使用します。

IN (A IN)/OUT (A OUT)点が登録されている時には、登録されているIN (A IN)ボタン、もしくはOUT (A OUT)ボタンが点灯します。

登録した後にこれらのボタンを押すと、IN (A IN)/OUT (A OUT)点の値がカウンタ表示部に表示されます。

IN (A IN)/OUT (A OUT) ボタンを押しながら、[C] キーを押すと、IN (A IN)/OUT (A OUT)点の登録が削除できます。

フロントパネル (6)



32 TRIM ボタン

IN/OUT 点の微修整用のボタンです。

IN (A IN) ボタンまたは OUT (A OUT) ボタンを押しながら、+ または - ボタンを押すと、登録した編集点を 1 フレーム単位で修整できます。+ ボタンを押すと 1 フレーム進み、- ボタンを押すと 1 フレーム戻ります。

また、PLAY ボタンを押しながら、+ または - ボタンを押すと、再生位相の調整ができます。

33 REW ボタン

押すと、テープを巻き戻します。

巻き戻しの速度は、セットアップメニュー No.102 (FF. REW MAX) で選択できます。

34 STOP ボタン

押すとテープ走行が停止し、<HOME> メニューの [F1] OUTPUT=TAPE の時には、静止画をモニターすることができます。

ストップモード中でもドラムは回転し、テープはドラムに密着しています。ストップモードが一定時間以上経過すると、テープ保護のために自動的にスタンバイ OFF モードになります。

本機にカセットを入れた直後は、ストップモードになります。

35 FF ボタン

押すと、テープを早送りします。

早送りの速度は、セットアップメニュー No.102 (FF. REW MAX) で選択できます。

36 EDIT ボタン

手動編集をする時、PLAY 中に EDIT ボタンと PLAY ボタンを同時に押します。

ストップモード中にこのボタンを押すと、<ASSEMBLE> メニューまたは <INSERT> メニューで選んだモードの入力信号を EE モードでモニターすることができます。STOP ボタンを押すと、元の画像・音声に戻ります。

再生、サーチ、早送り、巻き戻し中にこのボタンを押すと、押ししている間、<ASSEMBLE> メニューまたは <INSERT> メニューで選んだモードの入力信号を EE モードでモニターすることができます。

<ノート>

サーチモードでのオーディオの再生音は保障できません。

37 PLAY ボタン

押すと再生が始まります。

REC ボタンと同時に押すと記録が、PLAY 中に EDIT ボタンと同時に押すと手動編集が始まります。

ただし、サーボがロックしていない時は手動編集にはなりません。

手動編集中に PLAY ボタンだけを押すと、編集はカットアウトされ、再生モードになります。

38 REC ボタン

PLAY ボタンと同時に押すと、記録が始まります。

39 SERVO ランプ

ドラムサーボおよびキャプスタンサーボがロックすると点灯します。

40 REC INHIBIT ランプ

カセットテープの誤消去防止機構の状態と <HOME> メニューの [F6] REC INH の選択内容によって点灯、消灯します。点灯中はテープへの記録は禁止されます。

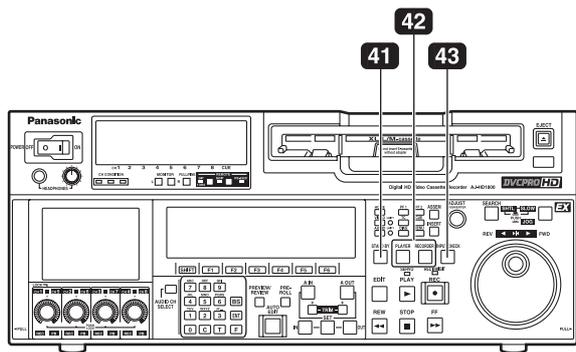
カセットテープの誤消去防止機構	REC INH メニュー	REC INHIBIT ランプ	動作内容
記録禁止	—	点灯* (または遅い点滅)	全ての記録禁止
記録可能	OFF	消灯	全ての記録可能
	ALL	点灯	全ての記録禁止
	PRE	速い点滅	上書き記録禁止
	NORM	速い点滅	通常の記録禁止編集可能
	V/CTL	速い点滅	映像信号と CTL 信号が記録禁止

*: セットアップメニュー No.114 (REC INH LAMP) で点灯/点滅が切り替えられます。

<ノート>

セットアップメニュー No.18 (SP MODE INH) を「ON」に設定している場合、DVCPRO HD-LP 以外のフォーマットで記録されたテープには記録できません。「OFF」に設定している場合は可能です。

フロントパネル (7)



41 STAND BY ボタン

ヘッドドラムの回転中は、ボタンが点灯してスタンバイ ON モードであることを示します。通常の STOP 時と同じテープテンションがかかります。

ストップ・モード中にこのボタンを押すと、スタンバイ OFF モードになり、ハーフロードモードになります。この時、ボタンは消灯します。

また、ストップ・モードが一定時間以上経過すると、テープ保護のために自動的にスタンバイ OFF モードになります。

スタンバイ OFF モードの時にこのボタンを押すか、または STOP ボタンを押すと、スタンバイ ON モードになります。

また、STOP ボタン以外のボタンを押すと、押したボタンのモードになります。

スタンバイ OFF モードへの移行時間はセットアップメニューで設定できます。

42 PLAYER/RECORDER ボタン

本機と RS-422A シリアルインターフェースのリモコン端子 (9ピン) を装備した VTR を使って編集する時、本機をレコーダとして使う場合に操作します。本機を単体で使用する時はどちらのボタンも機能しません。

PLAYER ボタン :

押すとランプが点灯し、本機に接続したプレーヤをリモートコントロールするようになります。本機の編集、テープ走行系のボタンはプレーヤに対して働きます。

RECORDER ボタン :

押すとランプが点灯し、編集テープ走行系のボタンはレコーダ(本機)に対して働くようになります。

- セットアップメニュー No.200 (PARA RUN) で「ENA」を選択した状態で、PLAYER ボタンまたは RECORDER ボタンを押すことにより、両方のランプが点灯し、本機がパララン(パラレル ラン)操作時のマスター機となります。ただし、本設定時には REMOTE 端子 (9ピン) による外部からのコントロールは受け付けなくなります。

43 INPUT CHECK ボタン

押している間だけ、モニター出力端子から入力信号を出力し、入力ビデオ・オーディオをモニターできます。タイムコード表示はタイムコードジェネレータを確認することができます。

INPUT CHECK ボタンを離れた後も、タイムコードジェネレータの値を表示し続けるにはセットアップメニュー No.517 (TCG OUT) で「LATCH」を選択します。

<ノート>

- CUE 信号は、INPUT CHECK が機能しません。EE 状態で入力信号をモニターできます。
- VIDEO/AUDIO 入力選択により、モニター動作が異なります。詳しくは 17、18 ページの INPUT CHECK 出力仕様を参照してください。

各部の名称と機能 (続き)

フロントパネル (8)

INPUT CHECK出力仕様

VIDEO

入力選択 (MENU 600)	INT SG	HD SDI	SD SDI	1394
出力系				
HD SDI (MONITOR)	INT SG*	HD SDI	MUTE (BLACK)	1394*
SD SDI (MONITOR)	INT SG*	MUTE (BLACK)	SD SDI	1394*
LCD (MONITOR)	INT SG*	HD SDI*	SD SDI	1394*
VIDEO OUT3	INT SG*	HD SDI*	SD SDI*	1394*

* 内部信号処理回路だけ遅延して出力されます。

<ノート>

- INT SG入力選択時の信号はMENU No.601で選択されます。
- 23/24Hzモードまたは25Hz (HD、SD)、50Hz (HD、SD)モード選択時はINPUT CHECK動作はしません。
- INT SGあるいは1394選択時、テープ再生中のINPUT CHECK動作はしません。
- VIDEO OUT3はINPUT CHECK動作はしません。通常の出力状態になります。

各部の名称と機能 (続き)

INPUT CHECK 出力仕様 (続き)

AUDIO (EEモード)

MONITOR L/RおよびHEAD PHONE L/Rは、フロントのモニターセレクトボタンに連動します。

AUDIO入力選択		INT SG				SDI			
VIDEO入力選択		INT SG	HD SDI	SD SDI	1394	INT SG	HD SDI	SD SDI	1394
出力系									
HD SDI (MONITOR)		INT SG*	INT SG*	MUTE	1394*	HD SDI*	HD SDI*	MUTE	1394*
SD SDI (MONITOR)		INT SG*	MUTE	INT SG*	1394*	HD SDI*	MUTE	SD SDI*	1394*
MONITOR L		INT SG*	INT SG*	INT SG*	1394*	HD SDI*	HD SDI*	SD SDI*	1394*
MONITOR R		INT SG	INT SG	INT SG*	1394*	HD SDI*	HD SDI*	SD SDI*	1394*
HEAD PHONE L		INT SG*	INT SG*	INT SG*	1394*	HD SDI*	HD SDI*	SD SDI*	1394*
HEAD PHONE R		INT SG*	INT SG*	INT SG*	1394*	HD SDI*	HD SDI*	SD SDI*	1394*

AUDIO入力選択		AES/EBU				ANALOG			
VIDEO入力選択		INT SG	HD SDI	SD SDI	1394	INT SG	HD SDI	SD SDI	1394
出力系									
HD SDI (MONITOR)		AES/EBU*	AES/EBU*	MUTE	1394*	ANALOG*	ANALOG*	MUTE	1394*
SD SDI (MONITOR)		AES/EBU*	MUTE	AES/EBU*	1394*	ANALOG*	MUTE	ANALOG*	1394*
MONITOR L		AES/EBU*	AES/EBU*	AES/EBU*	1394*	ANALOG*	ANALOG*	ANALOG*	1394*
MONITOR R		AES/EBU*	AES/EBU*	AES/EBU*	1394*	ANALOG*	ANALOG*	ANALOG*	1394*
HEAD PHONE L		AES/EBU*	AES/EBU*	AES/EBU*	1394*	ANALOG*	ANALOG*	ANALOG*	1394*
HEAD PHONE R		AES/EBU*	AES/EBU*	AES/EBU*	1394*	ANALOG*	ANALOG*	ANALOG*	1394*

* 内部信号処理回路だけ遅延して出力されます。

AUDIO (TAPEモード)

MONITOR L/RおよびHEAD PHONE L/Rは、フロントのモニターセレクトボタンに連動します。

AUDIO入力選択		INT SG				SDI			
VIDEO入力選択		INT SG	HD SDI	SD SDI	1394	INT SG	HD SDI	SD SDI	1394
出力系									
HD SDI (MONITOR)		INT SG* ¹	TAPE* ²	MUTE	1394* ¹	HD SDI* ¹	TAPE* ²	MUTE	1394* ¹
SD SDI (MONITOR)		INT SG* ¹	MUTE	TAPE* ²	1394* ¹	HD SDI* ¹	MUTE	TAPE* ²	1394* ¹
MONITOR L		INT SG* ¹	INT SG* ¹	INT SG* ¹	1394* ¹	HD SDI* ¹	HD SDI* ¹	SD SDI* ¹	1394* ¹
MONITOR R		INT SG* ¹	INT SG* ¹	INT SG* ¹	1394* ¹	HD SDI* ¹	HD SDI* ¹	SD SDI* ¹	1394* ¹
HEAD PHONE L		INT SG* ¹	INT SG* ¹	INT SG* ¹	1394* ¹	HD SDI* ¹	HD SDI* ¹	SD SDI* ¹	1394* ¹
HEAD PHONE R		INT SG* ¹	INT SG* ¹	INT SG* ¹	1394* ¹	HD SDI* ¹	HD SDI* ¹	SD SDI* ¹	1394* ¹

AUDIO入力選択		AES/EBU				ANALOG			
VIDEO入力選択		INT SG	HD SDI	SD SDI	1394	INT SG	HD SDI	SD SDI	1394
出力系									
HD SDI (MONITOR)		AES/EBU* ¹	TAPE* ²	MUTE	1394* ¹	ANALOG* ¹	TAPE* ²	MUTE	1394* ¹
SD SDI (MONITOR)		AES/EBU* ¹	MUTE	TAPE* ²	1394* ¹	ANALOG* ¹	MUTE	TAPE* ²	1394* ¹
MONITOR L		AES/EBU* ¹	AES/EBU* ¹	AES/EBU* ¹	1394* ¹	ANALOG* ¹	ANALOG* ¹	ANALOG* ¹	1394* ¹
MONITOR R		AES/EBU* ¹	AES/EBU* ¹	AES/EBU* ¹	1394* ¹	ANALOG* ¹	ANALOG* ¹	ANALOG* ¹	1394* ¹
HEAD PHONE L		AES/EBU* ¹	AES/EBU* ¹	AES/EBU* ¹	1394* ¹	ANALOG* ¹	ANALOG* ¹	ANALOG* ¹	1394* ¹
HEAD PHONE R		AES/EBU* ¹	AES/EBU* ¹	AES/EBU* ¹	1394* ¹	ANALOG* ¹	ANALOG* ¹	ANALOG* ¹	1394* ¹

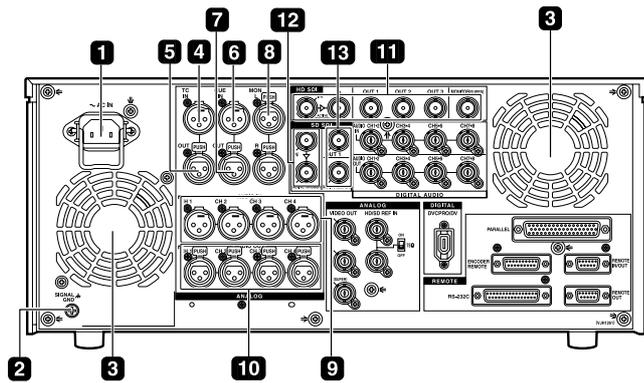
*¹ 内部信号処理回路だけ遅延して出力されます。

*² 本線形と同じテープからの再生音が出力されます。

<ノート>

- VIDEO INPUTとOUTREFが非同期の場合はノイズが出る場合があります。
- INT SG入力選択時の信号は、メニュー No.761 で選択できます。
- INT SGあるいは1394選択時、テープ再生中のINPUT CHECK動作はしません。

リアパネル



1 AC IN コネクター

付属の電源コードを使って、電源コンセントに接続します。

2 SIGNAL GND 端子

ノイズ軽減のため、接続機器の信号アース端子と接続します。安全アースではありません。

3 ファン

本機の冷却用のファンです。
ファンがなんらかの異常で停止した時には、警告マーク (W) がタイムコード表示部に表示され、ビーブ音が鳴ります。
ワーニングの状態でも継続して動作させると、デッキ内部の温度が上昇し、安全温度を越した時にはすべての動作を停止させます。

4 TIME CODE IN 端子

外部タイムコードを、テープ上に記録するための端子です。

5 TIME CODE OUT 端子

再生時は再生タイムコードを出力します。
記録時は、内蔵タイムコード・ジェネレータの発生するタイムコードを出力します。

6 CUE IN 端子

CUEトラックに記録するアナログ信号を入力する端子です。
セットアップメニュー No.704 (CUE IN LV) で -60dB 入力モードを選択することにより、マイクからの音声信号の記録もできます。

7 CUE OUT 端子

CUEトラックに記録されたアナログ信号を出力します。

8 MONITOR OUT 端子

PCMオーディオ信号 CH1/CH2/CH3/CH4/CH5/CH6/CH7/CH8 または CUE 信号を出力します。

9 ANALOG AUDIO IN 端子

アナログ・オーディオ信号の入力端子です。(CH1/CH2/CH3/CH4)

10 ANALOG AUDIO OUT 端子

アナログオーディオ信号の出力端子です。(CH1/CH2/CH3/CH4)

11 HD SERIAL DIGITAL COMPONENT AUDIO VIDEO IN/OUT 端子/ACTIVE THRU

SMPTE 292M、296M、299M規格に準拠した、HD デジタル・コンポーネント・オーディオ/ビデオ信号の入出力端子です。

HD SDI MONITOR からは、TC/メニューなどスーパー付きで出力します。

INPUT CHECK 時は 17、18 ページの INPUT CHECK 出力仕様を参照してください。

12 SD SERIAL DIGITAL COMPONENT AUDIO VIDEO IN 端子/ACTIVE THRU

SMPTE 259M-C、272M-A、ITU-R BT.656-4 規格に準拠した SD SDI 信号の入力端子です。SD SDI 入力はアップコンバーターを行い、記録します。

13 SD SERIAL DIGITAL COMPONENT AUDIO VIDEO OUT 端子

SMPTE 259M-C、272M-A 規格に準拠した、デジタル・コンポーネント・オーディオ/ビデオ信号の出力端子です。
DVCPRO50M/25M/DV/DVCAM 互換再生時、ダウンコン出力時に出力します。SD SDI MONITOR からは、TC/メニューなどスーパー付きで出力します。

また、セットアップメニュー No.606 (SD MONI O SEL) で SD SDI MONITOR 出力を、SD SDI OUT1 (スーパーインポーズなし) と同じ出力にすることができます。

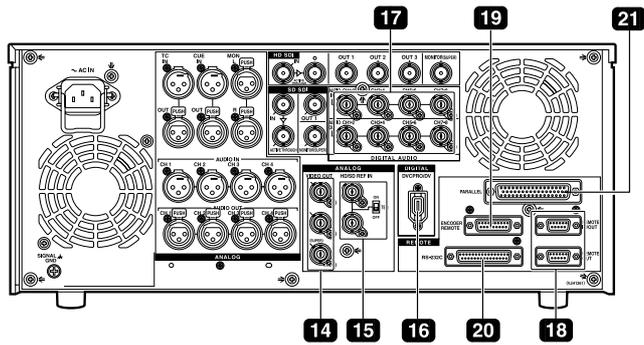
<VIDEO> メニューの **[F1]** (VID IN) で「SD SDI」を選択し、No.107 (EE MODE SEL) で「THRU」を選択したときは、EE モードの SD SDI MONITOR 出力にはスーパーインポーズは付加されず、SD SDI OUT1 と同じ出力となります。

● INPUT CHECK 時は 17、18 ページの INPUT CHECK 出力仕様を参照してください。クロスコンバート時はミュートされます。

<ノート>

23/24Hz モードでは、SD SDI 出力、アナログコンポジットビデオ出力のシステム位相は、HD SDI 出力と位相を合わせるために、テープ走行が 1 倍速になった時、変化する場合があります。

リアパネル (続き)



14 ANALOG COMPOSITE VIDEO OUT 端子

アナログ・コンポジット・ビデオ信号を出力します。DVCPRO50M/25M/DV/DVCAM 互換再生時、ダウンコン出力時に出力します。VIDEO OUT3 の端子はスーパーを重畳したビデオ信号の出力ができます。スーパーの ON/OFF はセットアップメニュー No.005 (SUPER) で選択します。

15 HD/SD REF IN 端子と 75Ω 終端スイッチ

HD/SD リファレンス・ビデオ信号の入力端子と、ループスルー出力端子です。終端する場合には、スイッチを「ON」にします。

<ノート>

- HDリファレンスとして使用する場合は、正負両極性の3 値同期信号を入力してください。また、入力信号やテープフォーマットに合った信号を入力してください。
- SDリファレンスとして使用する場合は、SMPTE170M、ITU624-4 に準拠したブラックバースト信号を入力してください。

16 IEEE1394 デジタル入出力

IEEE1394 デジタルインターフェースでの入出力が行えます。コネクタは6ピンタイプを使用してください。バスパワーには対応していません。

<ノート>

- 他の機器とは、1 対1 で接続してください。
- IEEE1394 デジタル入出力に1394ケーブルを接続したときに、外部から強い負荷を加えないでください。端子が破損することがあります。
- エラーコード「E-92」(1394 INITIAL ERROR) が表示される場合は、1394ケーブルを差しなおすか、本機の電源を入れなおしてください。
- 接続された機器の電源 ON/OFF および、1394ケーブルの抜き差しなどで、AV 信号が乱れることがあります。
- 入力信号の切り替え時やモード移行の際に、システムが安定するまで数秒かかることがあります。システムが安定した後に、記録動作を行ってください。
- IEEE1394 デジタルインターフェース入力選択で記録を行う場合、またはIEEE1394 デジタルインターフェースで出力される信号に対しては下記ようになります。
 - 通常の1 倍速再生以外の再生信号を入力したとき、記録される映像や音声、あるいはEE 系の画像と音声は保証されません。
- ビデオの入力選択をIEEE1394 デジタルインターフェースとして選択した場合は以下ようになります。
 - EE モードでのSDI、またはアナログビデオ出力信号およびタイムコード出力は不正規となります。また、その信号を記録用には使用しないでください。(テレテキスト信号等ビデオ出力信号に多重される信号も不正規となります。)

- SLOW/STILL 再生時には、IEEE1394 デジタルインターフェース出力として未処理のビデオ、オーディオ信号が出力されます。これらのビデオ、オーディオ信号を他の機器でモニターすると、本機で再生したビデオ、オーディオ信号と異なる場合があります。本機とノンリニア編集を行う機器を接続して使用するときは、ノンリニア編集のソフトウェア以外のアプリケーションプログラムを起動させないでください。ノンリニア編集を行う機器からの出力ビデオ映像に、影響する場合があります。

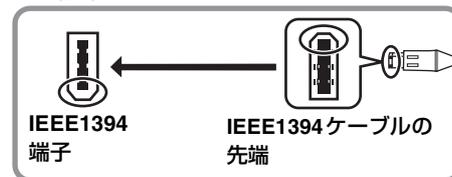
1394 ケーブルを接続する場合は、以下のことを必ずお守りください。

- 本機ならびに接続する全ての機器は接地 (アース) した状態 (または共通のGND に接続した状態) でご使用ください。接地できない場合は、まず接続された全ての機器の電源を切ってから、1394ケーブルの抜き差しを行ってください。
- 4ピン型の端子を持つ機器と本機を接続する場合は、本機の端子 (6ピン型) を先に接続してください。
- 6ピン型の端子の付いたパソコンと接続する場合は、1394ケーブルをIEEE1394端子の形状通りに接続してください。プラグを逆に差し込むと、本機の破損につながりますのでご注意ください。

○ (正)



× (誤)



17 DIGITAL AUDIO IN/OUT 端子

AES/EBU 規格に準拠したデジタル・オーディオ信号の入出力端子です。

18 REMOTE 端子

本機を2台使って、あるいは本機と外部コントローラとを接続して、外部から本機を操作することができます。リモートコントロール端子は、IN/OUT用とOUT用との2つがあります。

- IN/OUT : 外部コントローラと接続
デッキ対デッキ操作時に接続
- OUT : パララン操作時に接続
ループスルーとして使用

19 ENCODER REMOTE 端子

ビデオ出力信号の各設定を外部から調整する時に、外部のエンコーダリモートコントローラを接続します。

20 RS-232C 端子

パーソナルコンピューターなどと接続して、データ通信が可能です。

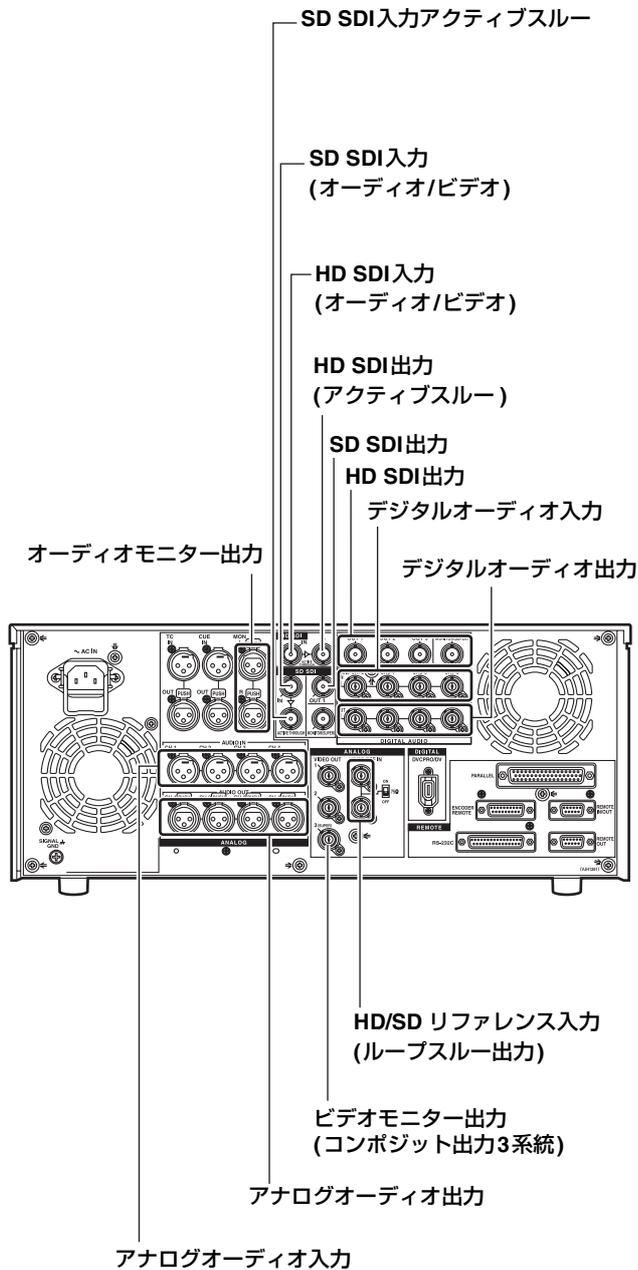
21 PARALLEL REMOTE 端子

本機を外部から50ピンパラレルリモートで操作する時に使用します。

接 続

1 台での接続例

フロントパネルの REMOTE LED **10** が点灯していない状態 (LOCAL モード) にします。



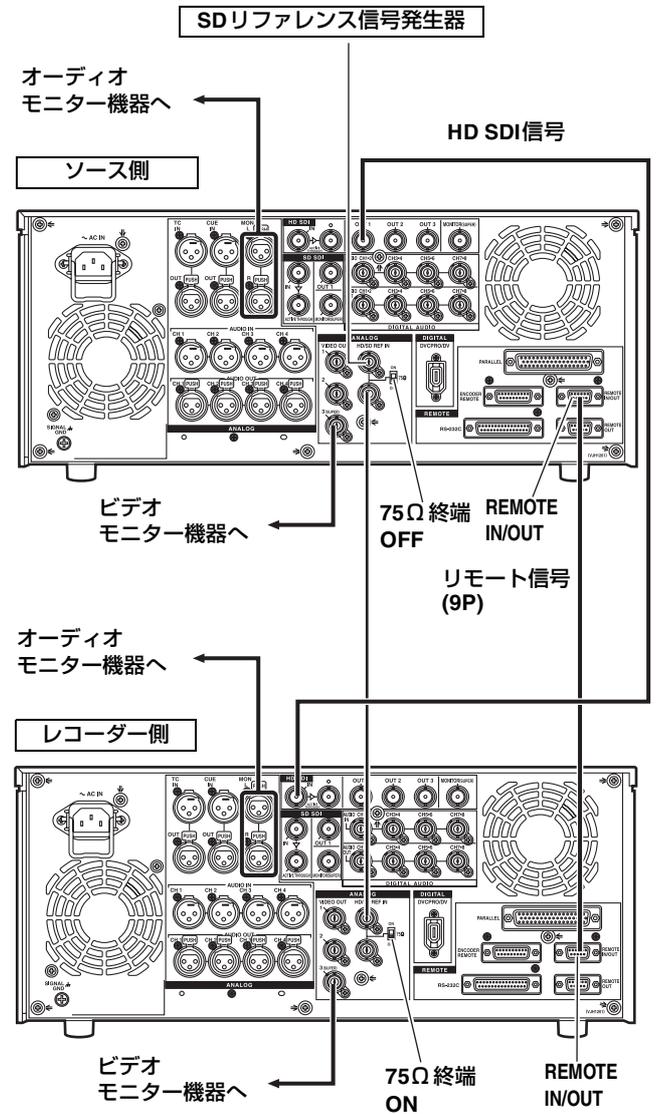
2 台での接続例 (デッキ対デッキ)

ソース側 :

フロントパネルの REMOTE ボタン「9P 1394」を2秒以上押し、REMOTE 状態にします。(LED点灯)

レコーダ側 :

フロントパネルの REMOTE LED **10** が点灯していない状態 (LOCAL モード) にします。

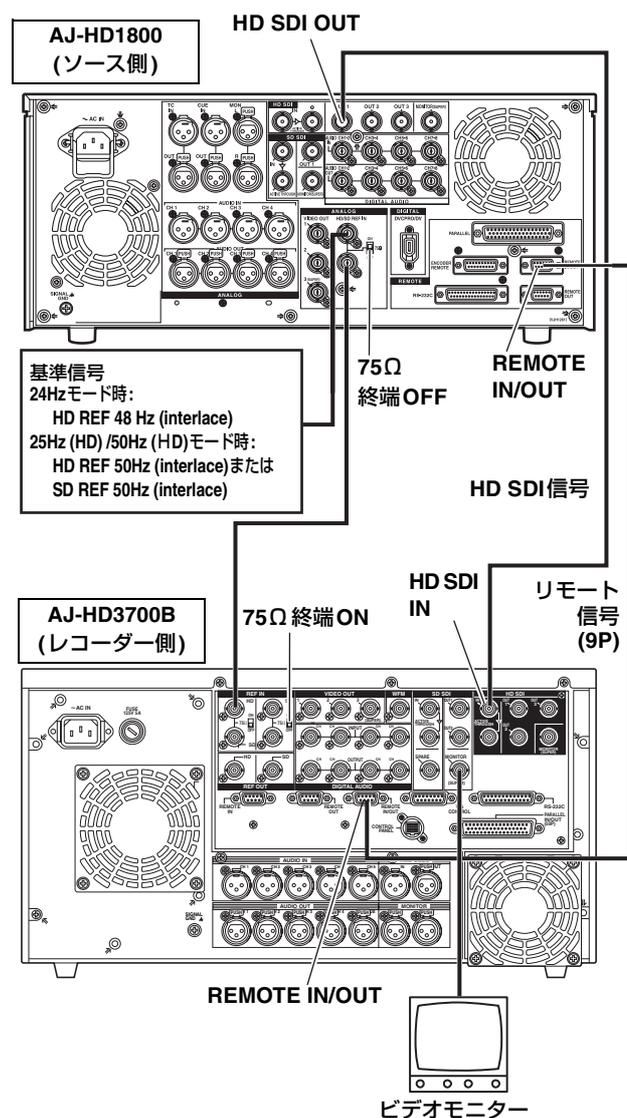


23/24Hz または 25/50 Hz (HD) モード時のシステム接続例

本機では、バリアブルフレームレートカメラを使用し、フレームレートを24 fps (25/50 fps) で記録したテープを再生すると、1080/24psf (1080/25psf または 1080/50i) に変換して出力でき、AJ-HD3700シリーズへの記録が可能です。

下図はデッキ対デッキの接続例です。

REF入力は、48Hz (50Hz) のリファレンス信号を入力してください。



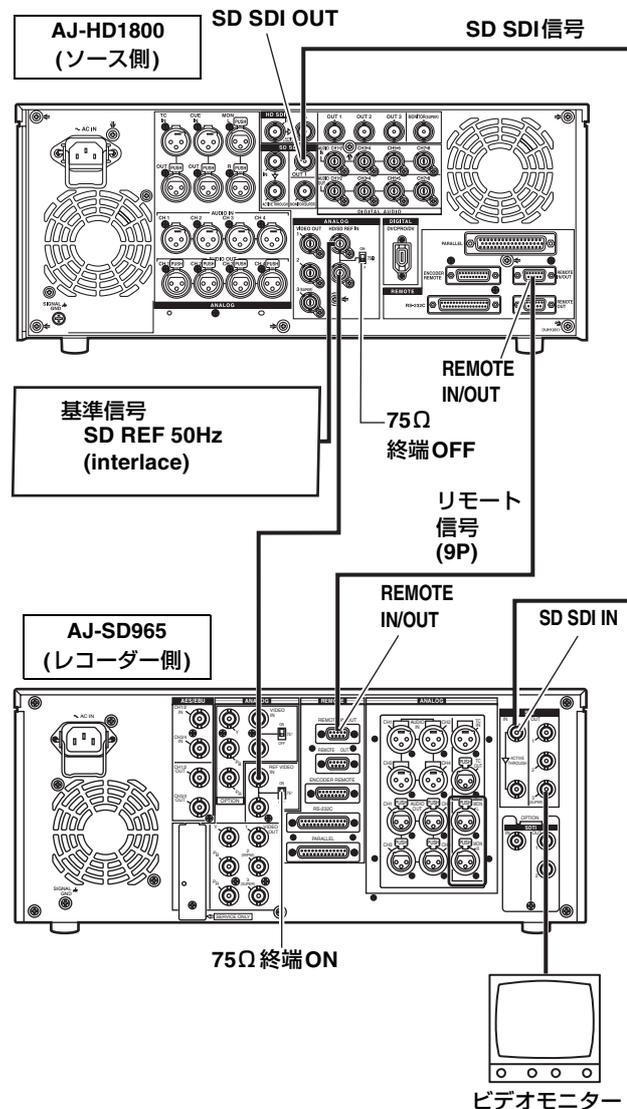
<ノート>

- テープ走行が1倍速になった時、REF入力とテープの同期をとるため、数フレーム間映像が乱れ、音声出力がミュートされる場合があります。
- 23/24Hzモード時、SD SDIおよびVIDEO OUT端子には、VITC信号は出力されません。
- 25/50Hz (HD)モード時、SD SDIおよびVIDEO OUT端子の出力ビデオ信号はHD SDI出力に対して、約1フィールド遅延します。
- 25/50Hz (SD)モード時、HD SDI出力はミュートされます。

25/50Hz (SD) モード時のシステム接続例

本機では、バリアブルフレームレートカメラを使用し、フレームレートを25/50 fps で記録したテープを再生すると、576/50iに変換して出力でき、SD VTRへの記録が可能です。下図はデッキ対デッキの接続例です。

REF入力は、SD REF入力に50 Hzのリファレンス信号を入力してください。



本機で再生するテープに関するノート

- バリアブルフレームレートカメラで撮影したテープを使用してください。
- 撮影したテープをダビングしたテープ、または編集加工したテープは使用しないでください。テープ管理情報が失われ、正常に変換再生ができない場合があります。
- 24fps (25/50fps) 以外のフレームレートで収録されたテープを1080/24psf (1080/25psf または 1080/50i) に変換する場合は、別売のフレームレートコンバータ(AJ-FRC27)を使用してください。

テープについて

民生DV/DVCAMカセット (標準DV/DVCAMカセット、ミニDV/DVCAMカセット)

ミニDV/DVCAMカセットテープを使用する場合は、カセットアダプター(AJ-CS455P)をご使用ください。カセットアダプターを使用せずにミニDV/DVCAMカセットテープを挿入すると、故障の原因となりますのでご注意ください。ただし、長時間用ミニDVカセットテープ(標準モード80分/LPモード120分)は、使用することができませんのでご注意ください。

<民生DV/DVCAMテープの再生時のご注意>

- 民生のLPモードで記録されたテープの再生はできません。
- 民生DV/DVCAMテープの最大送り速度は32倍速です。
- 民生DV/DVCAMテープでの最大スチル時間は10秒に設定しています。
- テープ保護の観点から、民生DV/DVCAMテープでの同じ箇所でのキューアップは、できるだけひかえて頂きますようお願いいたします。
- 民生DV/DVCAMテープご使用時のSTILL TIMERの最大時間は10秒に、またSTILL状態(STEP FWDモード選択時)で放置した時の合計時間は1分に設定されています。
- 民生DV/DVCAMテープに記録された素材を編集する時には、DVCPRO HDテープか、他の放送用VTRに記録して使用してください。
- 民生DV/DVCAMテープを使用してスロー再生を行うと、ノイズが発生する場合があります。

なお、民生用DVテープはパナソニックの民生用DVテープのご使用をお勧めいたします。

Mカセット

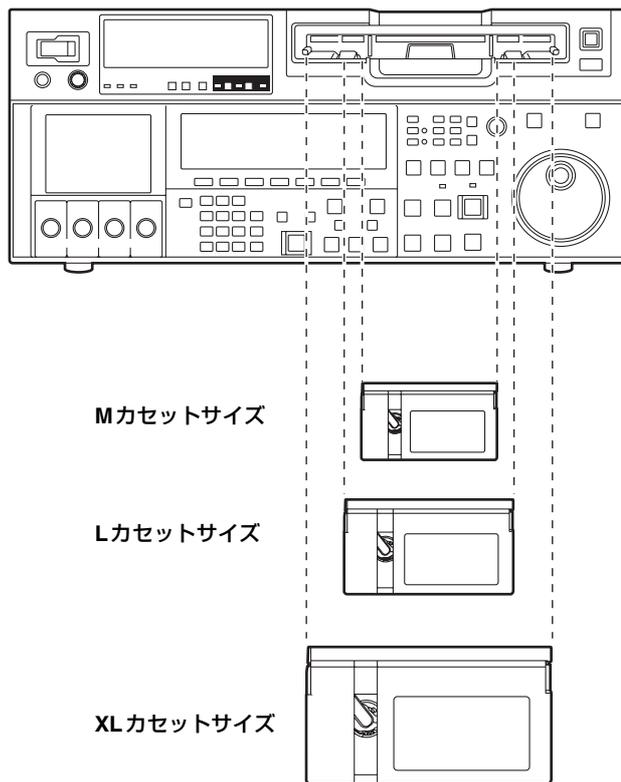
最大33分の記録・再生テープ
(AJ-HP33EMG)

Lカセット

最大64分の記録・再生テープ
(AJ-HP64ELG)

XLカセット

最大126分の録画・再生テープ
(AJ-HP126EXG)



挿入口のセンターにカセットをあわせ、軽く押ししてください。
カセットテープは自動的にローディングされます。

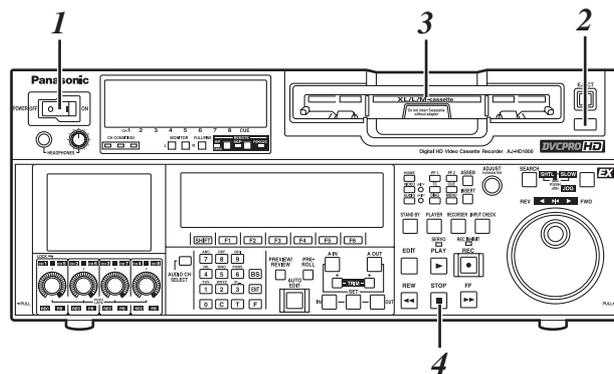
<カセット挿入に関するご注意>

- 挿入口と水平にカセットを合わせ、まっすぐに挿入してください。
- 挿入口より奥に手を差し込まないでください。
- M/Lカセットは、左右のM/Lカセットガイドの間に挿入してください。
- カセット挿入口に強い直射日光を当てると、テープ走行が誤作動する恐れがあります。

電源投入/カセット挿入

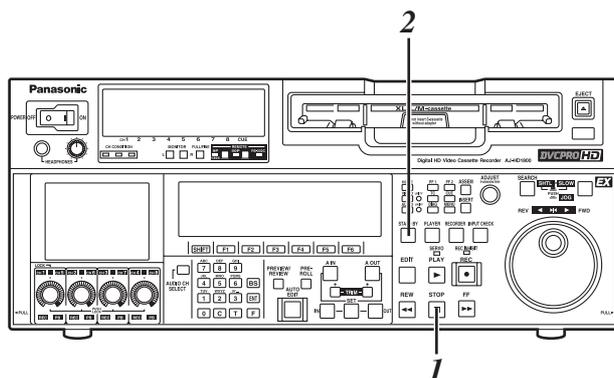
操作を始める前に、機器の接続が正しいかを確認してください。

- 1 電源を入れます。
- 2 AUTO OFFランプが消灯していることを確認します。
結露などの異常があると、AUTO OFFランプが点灯し、全ての操作ができなくなります。
- 3 カセットテープを挿入します。
カセットテープは無理なく、正規の位置に挿入してください。
- 4 STOPランプが点灯していることを確認します。
テープを挿入すると、自動的にシリンダーが回転し、テープがローディングされ、STOPモードになります。
EJECTランプは消灯します。



STOP/STANDBYモード

- 1 STOPボタンを押すと、STOPモードになります。
STOPランプが点灯し、テープ走行が停止します。
 - テープ保護のため、セットアップメニュー No.400 (STILL TIMER) で設定した時間が経過すると、スタンバイOFFモードになります。
STOP、REW、FF、PLAYの各ボタンを押すと、そのモードになります。
- 2 STAND BYボタンを押すと、スタンバイON/OFFモードになります。
ランプの点灯中は、スタンバイONモードです。
スタンバイOFFモード中にこのボタンを押すと、スタンバイONモードになります。
ストップモード中にこのボタンを押すと、スタンバイOFFモードになり、ハーフローディング状態となりランプが消灯します。



<STILL TIMER設定のご注意>

番組送出時や繰り返し同一素材使用時は、同一箇所での累計待機時間が長くなります。

テープ保護のため、同一テープ箇所での待機時間はできる限り短く、例えばセットアップメニュー No.400 (STILL TIMER) は最大30秒程度に設定してください。

記 録

- 1 カセットテープの誤消去防止用ツメを「REC」側にし、テープを挿入します。
- 2 STOP ボタンを押して、本機を停止モードにします。
- 3 <HOME>メニューの **[F1]** で「OUTPUT = EE」にします。
モニターテレビにEE画像が出ます。
- 4 REC INHIBIT ランプの消灯を確認します。
ランプが点灯しているときは、<HOME>メニューの **[F6]** で「R INH = OFF」にします。
挿入したカセットがDVCPRO HD-LP 以外のフォーマットですでに記録されている場合は、セットアップメニュー No.118 (SP MODE INH) により、記録禁止状態(工場出荷設定)となっています。
- 5 ビデオ/オーディオ入力信号の選択とレベルの調整

入力ビデオ/オーディオ信号の選択

- ① 記録する信号を接続します。
- ② <VIDEO>メニューの **[F1]** と<AUDIO>メニュー/
<AUDIO SHIFT1>メニューの **[F1]** ~ **[F6]** で入力信号を選択します。

オーディオレベル調整

- ① AUDIOメニューで選択されたオーディオCH1、CH2、CH3、CH4、CH5、CH6、CH7、CH8とアナログキューのオーディオ入力信号レベルを調整します。
フロントパネルのオーディオUNITYランプが点灯しているとき、オーディオ信号は適正なレベルで記録されます。
 - ② 記録レベルを調整するときは、REC LEDが点灯して、オーディオ調整ダイヤルがLOCK解除状態 (LOCK LEDが消灯)になっていることを確認してください。
LOCK状態のとき (LOCK LEDが点灯)は、オーディオ調整ダイヤルを押します。LOCK LEDが消灯してLOCKが解除されます。
また、アナログキューオーディオ記録レベル調整は、セットアップメニュー No. 790 (CUE REC VOL) で行い、-20dBを超えない範囲に調整します。
- 6 REC ボタンを押しながら、PLAY ボタンを押します。
RECとPLAYランプが点灯し、記録が始まります。
 - 7 STOP ボタンを押すと、記録が終了し、停止モードになります。

<ノート>

- 記録中は、SERVOランプが点灯していることを確認します。ランプが点滅または消えているときは、再生した画像は乱れます。
- AUDIOメニューでCH5~CH8の入力信号としてアナログ信号(ANA1~ANA4)が選択された場合、記録レベルはそれぞれCH1~CH4の記録レベル設定に連動します。
- 1394入力時、オーディオ記録レベルは調整できません。

再生

- 1 カセットテープを挿入し、STOPモードにします。
- 2 PLAYボタンを押します。
通常の再生が開始されます。
- 3 オーディオ再生レベルを調整します。
再生レベルを調整するときは、PB LEDが点灯してオーディオ調整ダイヤルがLOCK解除状態になっていることを確認して調整を行います。
LOCK状態のとき(LOCK LEDが点灯)は、オーディオ調整ダイヤルを押します。LOCK LEDが消灯してLOCKが解除されます。また、アナログキューオーディオ調整はセットアップメニュー No.791 (CUE PB VOL)で行います。
通常は、UNITY状態(ボリュームのセグメント表示が中央で点灯)にしておきます。
- 4 再生を終了するときには、STOPボタンを押します。
VTRはSTOPモードになります。

<ノート>

- 再生中はSERVOランプが点灯していることを確認してください。消灯もしくは点滅していると、再生画像が乱れます。
- 1394出力のオーディオ再生レベルは調整できません。

再生位相の調整機能

2台のVTRを使用して同じプログラムを再生する場合、一方のVTRの再生速度を変更することでVTR間の再生位相を調整することができます。

- 1 PLAYボタンを押しながらTRIMボタン(+ボタンまたは-ボタン)を押します。
TRIMボタンを押すごとに、セットアップメニュー No.109 (CAPLOCK) で指定した再生フレーミングフィールド数単位で、再生速度を加速または減速します。
加速または減速した速度で再生している間、SERVOランプは消灯します。
- 2 再生位相の調整が終わりましたら、PLAYボタンを離します。
VTRは標準の再生速度に戻り、SERVOランプは点灯します。

ジョグ/シャトル

ジョグモード

- 1 サーチダイヤルを押して、ダイヤルを押し込みます。JOGランプが点灯していることを確認します。
- 2 サーチダイヤルを回します。ダイヤルにクリック感がなくなり、ダイヤルの回転速度に応じたテープスピードで再生します。セットアップメニュー No.310 (JOG FWD MAX)、No.311 (JOG REV MAX) の設定により、最大速度を切り替えることができます。ダイヤルの回転を止めると、静止画になります。
- 3 ジョグモードから他のモードに移行するときは移行するモードのボタンを押します。

<ノート>

工場出荷時の状態でサーチダイヤルを回すと、シャトルモード/ジョグモード/バリアブルモードに移行するダイレクトサーチモードに設定されています。

セットアップメニュー No.100 (SEARCH ENA) の設定を「KEY」にすることで、サーチボタンを押さないとサーチモードに移行しないように設定することができます。

シャトルモード

- 1 サーチダイヤルを押して、押し込まれたダイヤルを元に戻します。SHTLランプが点灯し、シャトルモードになります。
 - 電源を入れた直後は、サーチダイヤルを回して、センターの位置にしてください。
- 2 SHTL/SLOW ボタンを押して「SHTL」または、「SLOW」に切り替えます。
- 3 サーチダイヤルを回します。
 - JOG/SHTL/SLOWランプの「SHTL」が点灯しているとき、ダイヤルの位置に応じて、再生画のスピードが0～±32倍速まで変化します。セットアップメニュー No.101 (SHTL MAX) で±9.8、±16、±32倍速に切り替え可能です。ダイヤルはセンター位置でクリックし、静止画になります。
 - JOG/SHTL/SLOWランプの「SLOW」が点灯しているとき、ダイヤルの位置に応じて、再生画のスピードが-4.9～+4.9倍速まで変化します。セットアップメニュー No.308 (VAR FWD MAX)、No.309 (VAR REV MAX) の設定により最大速度を切り替えることができます。ただし-1.0～+2.0倍速以外はノイズが出ます。またDVCPRO HD-LP記録テープ以外は、-1.0～+1.1倍速以外の速度でノイズが出ます。ダイヤルはセンター位置でクリックし、静止画になります。
- 4 シャトルモードから他のモードに移行するときは、STOPボタン、または他のボタンを押します。

<ノート>

- オーディオモニター出力からは-32～+32倍速の範囲でオーディオの再生音を聞くことができます。ただしセットアップメニュー No.746 (MONI CH SEL) でPCMを選択する必要があります。
- サーチモードでのオーディオの再生音にはノイズが含まれます。

手動編集

- 1 編集モードを選択します。
ASSEM ボタン:
アSEMBル(つなぎとり)編集を行います。
INSERT ボタン:
インサート(挿入)編集を行います。
- 2 タイムコード表示部で、編集チャンネルを選択します。
ASSEM:
[F1] ボタンで ASSEM = ON にします。
INSERT:
V/A1/A2/A3/A4/CUE の選択は [F1] ~ [F6] ボタンを、A5/A6/A7/A8/TC の選択は [SHIFT] + [F2] ~ [SHIFT] + [F6] ボタンを押してハイライト表示されたチャンネルが編集されます。
- 3 PLAY ボタンを押します。
- 4 モニターテレビを見ながら、編集を希望する位置 (IN 点) を探し、IN 点で、PLAY と EDIT ボタンを同時に押します。
- 5 モニターテレビを見ながら、編集を終了する位置 (OUT 点) で STOP または PLAY ボタンを押します。STOP モードまたは PLAY モードになり、編集が終了します。

プリロール

PREROLL ボタンを押します。
VTR はプリロール動作を行います。

HOME, PF1, PF2 画面でキュータイムが登録されている場合:

<HOME SHIFT> メニューの [F1] (PREROL) で設定したプリロール時間を使って登録されたキュータイムからプリロールします。

CUE 画面でサーチモードの場合:

<CUE SHIFT> メニューの [F5] (CU-ROL) で設定したプリロール時間を使って選択したキュー点からプリロールします。
選択したキュー点が未登録の場合やキュー点登録モードの場合は、プリロール動作はしません。

上記以外の場合:

<HOME SHIFT> メニューの [F1] (PREROL) で設定したプリロール時間を使って登録された IN 点 (IN 点が登録されていないときは現在のテープ位置) からプリロールします。
IN 点が登録されていないときに押すと、現在のテープ位置を IN 点として自動登録します。(ただし、セットアップメニュー No.305 (AUTO ENTRY) を「ENA」にした場合)

<ノート>

編集 IN 点とプリロール点の間にはタイムコードまたは CTL が連続して記録されていることが必要です。

自動編集 (デッキ対デッキ)

編集とは、記録済テープを使用して、別々の内容を一つにまとめたり、不必要な部分を削除して必要な部分だけをまとめたりする作業のことです。

編集の基本的な操作は以下のとおりです。

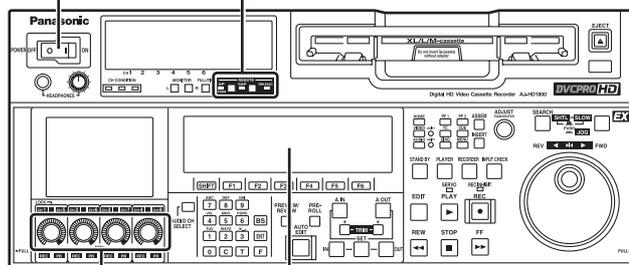
- 1 REMOTE ボタンでプレーヤーは「REMOTE」、レコーダーは「LOCAL」(REMOTE LEDが点灯していない状態)にします。
- 2 編集モード(ASSEM/INSERT)を選びます。
- 3 レコーダーとプレーヤーの編集点を登録します。
- 4 編集点の確認・訂正を行います。
- 5 編集前の確認(プレビュー)を行います。
- 6 編集を実行(AUTO EDIT)します。
- 7 編集結果を確認(レビュー)します。

スイッチの設定と調整

本機をレコーダーとして使用する場合

LOCAL 状態(REMOTE LEDが消灯)にします。

POWER スイッチを「ON」にします。



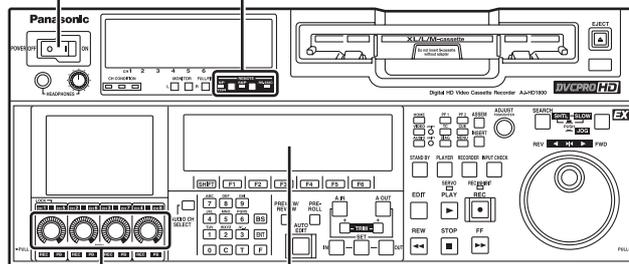
REC レベルを調整します。

タイムカウンター表示を「TC」または、「CTL」に切り替えます。

本機をプレーヤーとして使用する場合

9P ボタンを2秒以上押して REMOTE 状態(LED点灯)にします。

POWER スイッチを「ON」にします。



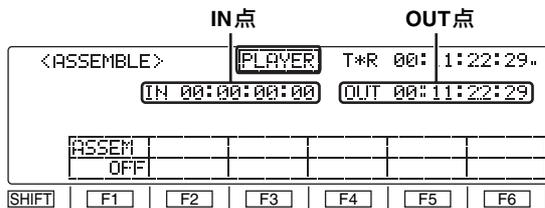
PB レベルを調整します。

タイムカウンター表示を「TC」または、「CTL」に切り替えます。

編集モードの選択

- 1 編集モードを選択します。
ASSEM ボタン:
 アセンブル(つなぎとり)編集を行います。
INSERT ボタン:
 インサート(挿入)編集を行います。
- 2 タイムコード表示部で、編集チャンネルを選択します。
ASSEM:
[F1] ボタンで ASSEM = ON にします。
INSERT:
 V/A1/A2/A3/A4/CUE の選択は **[F1]** ~ **[F6]** ボタンを、
 A5/A6/A7/A8/TC の選択は **[SHIFT]** + **[F2]** ~ **[SHIFT]**
 + **[F6]** ボタンを押してハイライト表示されたチャンネルが編集されます。
- 3 **PLAYER** または **RECORDER** ボタンを押して、操作する VTR を選択します。(VTR2 台での設定)
PLAYER:
 プレーヤー側 VTR を操作して、編集点を登録する場合に押します。
RECORDER:
 レコーダー側 VTR (本機) を操作して、編集点を登録する場合に押します。

[ASSEM 画面]

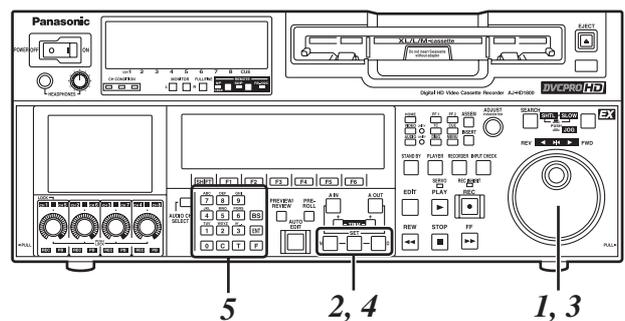


[INSERT 画面]



編集点の登録

- 1 ジョグ・シャトル操作で編集 IN 点を探します。
 希望の位置で静止画にします。
 ジョグ・シャトル操作の詳しい説明は、28 ページを参照してください。
- 2 **IN** ボタンと **SET** ボタンを同時に押します。
 編集 IN 点が登録されます。
 編集 IN 点の値がディスプレイ部に表示されます。
- 3 ジョグ・シャトル操作で編集 OUT 点を探します。
 希望の位置で静止画にします。
- 4 **OUT** ボタンと **SET** ボタンを同時に押します。
 編集 OUT 点が登録されます。
 編集 OUT 点の値がディスプレイ部に表示されます。
- 5 数字キーで編集点のダイレクト登録ができます。
 1. <ASSEMBLE> または <INSERT> メニューを選択します。
 2. **[T]** ボタンを押して編集点をハイライト表示させます。
 ハイライト表示を IN 点または OUT 点へ移動させるときは、**ADJUST** ダイアルを回します。
 3. もう一度 **[T]** ボタンを押して、任意の編集点を数字キーからダイレクト入力します。桁の移動は、**ADJUST** ダイアルを回します。
 4. **[ENT]** ボタンを押して登録します。
 途中で登録をやめるときは、**[C]** ボタンを押します。
 任意の編集点をリセット (00:00:00:00) するときには、**[T]** ボタンを押してハイライト表示を任意の編集点に合わせて、もう一度ボタンを押します。
 次に、**[F]** ボタンと **[0]** ボタンを同時に押します。
 最後に **[ENT]** ボタンを押して登録します。



マッチフレーム処理機能について

VTR2 台での編集操作の場合、プレーヤー側に IN/OUT 点、レコーダー側に IN/OUT 点の合計 4 つの編集点があります。しかし、最後の一つは、自動的に計算されますので、編集点の登録はその内の 3 つだけ可能です。

ネガティブデュレーション機能について

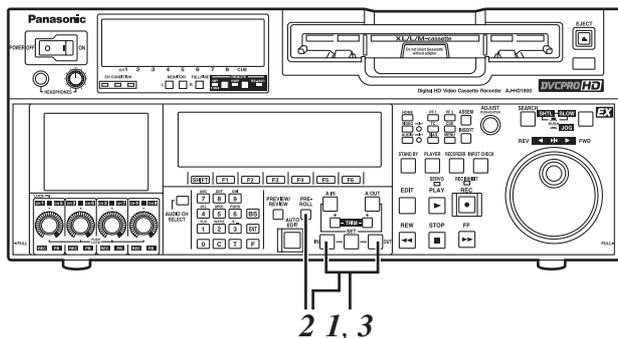
セットアップメニュー No. 300 (IN/OUT DEL) と No. 301 (NEGA FLASH) を組み合わせてご使用ください。

編集点の確認

- 1 IN (またはOUT) ボタンを押して、編集点を確認します。
登録されている編集点の値がディスプレイ部に表示されます。
- 2 IN (またはOUT) ボタンを押しながら、PREROLL ボタンを押して、編集点の画像を確認します。
編集IN (またはOUT) 点にテープがキューアップされて、静止画になります。
 - セットアップメニュー No. 307 (AFTER CUE-UP) が「STOP」に設定されている場合、<HOME>メニュー **[F1]** (OUTPUT) = EE のときはEEモードになります。
- 3 IN ボタンとOUT ボタンを同時に押して、編集区間(デュレーションタイム)を確認します。
(デュレーションタイムがディスプレイ部に表示されます。)

デュレーションの計算のしかた

- 編集点が2点とも設定されている場合
2点間のデュレーション
- 編集点が1点だけ設定されている場合
設定されているデータとテープの現在位置間のデュレーション
- 編集点が設定されていない場合
前回編集した区間のデュレーション

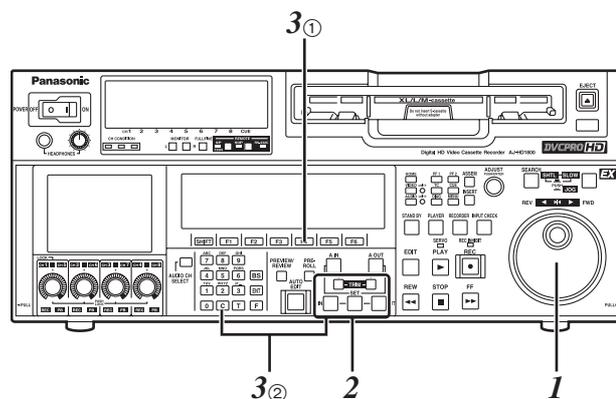


編集点の訂正

- 1 編集点の再登録
ジョグ・シャトル操作で新しい編集点を探し、IN (またはOUT) ボタンとSET ボタンを同時に押して再登録します。
- 2 フレーム単位での編集点の訂正(トリム機能)
IN (またはOUT) ボタンを押しながらTRIM ボタンを押します。
+ ボタンを一回押すごとに、1フレーム進みます。
- ボタンを一回押すごとに、1フレーム戻ります。
- 3 編集点のリセット
 - ① 編集INとOUT点両方のリセット
<HOME>メニューの **[F4]** (TC CLR = RESET) を押します。
(CTLモード時のみに有効です。)
 - ② 編集INまたはOUT点のリセット
IN (またはOUT) ボタンを押しながら数字キーの **[C]** を押します。

<ノート>

- 編集実行中でも編集OUT点のリセットは可能です。
- EJECTモード時は、INおよびOUT点は自動的にリセットされます。

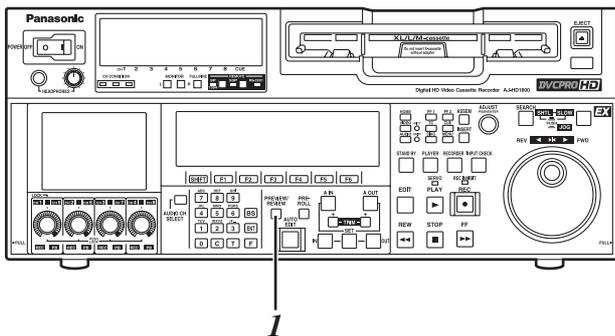


プレビュー

- 1 編集点登録後に、PREVIEW ボタンを押します。
プレビューが実行されます。

<ノート>

- 編集IN点が登録されていない場合は、PREVIEW ボタンが押された位置を編集IN点として登録します。
- プレビューを中止する場合は、STOP ボタンを押します。
- プレビュー実行中にIN点以降で再度PREVIEW ボタンを押すと、最初からプレビューが開始されます。
- 編集OUT点になるとポストロール後、自動的に止まります。



自動編集の実行

- 1 AUTO EDIT ボタンを押します。
自動編集が実行されます。
- 編集を中止する場合は、STOP ボタンを押します。
 - 編集OUT点になると、ポストロール後、止まります。

ポストロールについて

アセンブル編集の場合、編集OUT点通過後約2秒間編集を続け、OUT点に戻って止まります。
インサート編集の場合、編集OUT点通過後PLAYモードになり、OUT点に戻って止まります。

リトライ機能

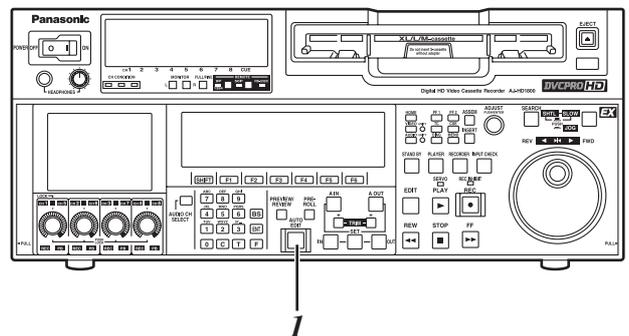
STOP ボタンを押して編集を中止しても、そのまま再度AUTO EDIT ボタンを押すと、最初から編集を行います。

オートタグ編集

編集終了後、次の編集点登録をまだ行っていない場合、AUTO EDIT ボタンを押すと、前回の編集OUT点をIN点として登録し、編集を行います。
オートタグモードを解除する場合は、走行系ボタン(PLAY ボタンなど)を押します。

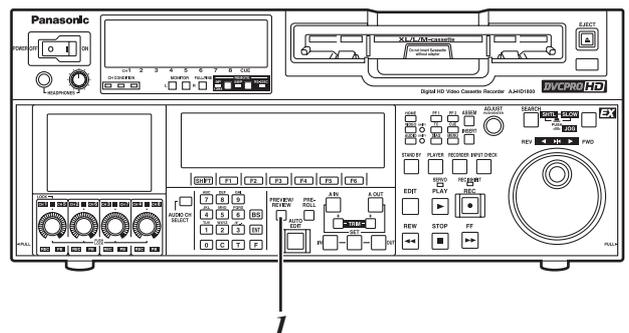
<ノート>

編集実行後、登録点は自動的にクリアされますが、TRIM + (またはTRIM -) ボタンとSET ボタンを同時に押すと、前回の編集点をリコールすることができます。



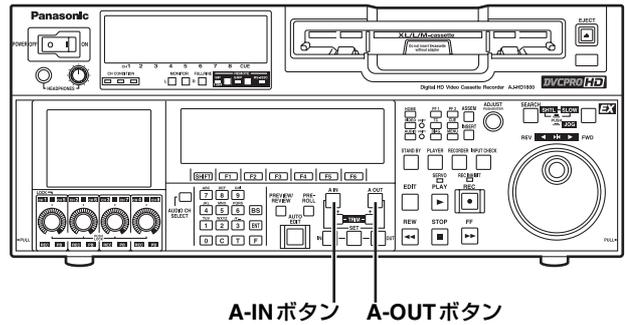
レビュー

- 1 編集終了後に、REVIEW ボタンを押します。
レコーダー側でレビューが開始されます。
- 途中でレビューをやめるときは、STOP ボタンを押します。
 - 編集OUT点になると、ポストロール後、止まります。



オーディオスプリット編集

ビデオの編集点とオーディオの編集点をそれぞれ登録し、編集点をずらして編集することができます。オーディオ編集点の登録はアSEMBル編集モードが選択されているときはできません。編集点を登録した後は、インサート編集と同じ操作を行います。



■編集点の登録

ビデオIN点：

INボタンを押しながらSETボタンを押します。

ビデオOUT点：

OUTボタンを押しながらSETボタンを押します。

オーディオIN点：

A-INボタンを押しながらSETボタンを押します。

オーディオOUT点：

A-OUTボタンを押しながらSETボタンを押します。

<ノート>

オーディオ編集点の登録後、編集モードをアSEMBル編集に切り替えると、オーディオ編集点は削除されます。

■編集点の削除

ビデオIN点：

INボタンを押しながら数字キーの **[C]** を押します。

ビデオOUT点：

OUTボタンを押しながら数字キーの **[C]** を押します。

オーディオIN点：

A-INボタンを押しながら数字キーの **[C]** を押します。

オーディオOUT点：

A-OUTボタンを押しながら数字キーの **[C]** を押します。

■編集点の訂正

ビデオIN点：

INボタンを押しながらTRIM+ボタンまたは、TRIM-ボタンを押します。

ビデオOUT点：

OUTボタンを押しながらTRIM+または、TRIM-ボタンを押します。

オーディオIN点：

A-INボタンを押しながらTRIM+ボタンまたは、TRIM-ボタンを押します。

オーディオOUT点：

A-OUTボタンを押しながらTRIM+ボタンまたは、TRIM-ボタンを押します。

■編集点へのキューアップ

ビデオIN点へのキューアップ：

INボタンを押しながらPREROLLボタンを押します。

ビデオOUT点へのキューアップ：

OUTボタンを押しながらPREROLLボタンを押します。

オーディオIN点へのキューアップ：

A-INボタンを押しながらPREROLLボタンを押します。

オーディオOUT点へのキューアップ：

A-OUTボタンを押しながらPREROLLボタンを押します。

■デュレーションの表示

デュレーションをディスプレイ部に表示することができます。

ビデオIN点/OUT点間：

INボタンとOUTボタンを同時に押します。

オーディオIN点/OUT点間：

A-INボタンとA-OUTボタンを同時に押します。

マッチフレーム処理機構について

VTR2台でオーディオスプリット編集操作を行う場合、ビデオの編集点としてプレーヤー側にIN/OUT点、レコーダー側にIN/OUT点と、オーディオの編集点としてプレーヤー側にオーディオIN/OUT点、レコーダー側にオーディオIN/OUT点の合計8つの編集点があります。

8点のうち5点の編集点を登録すると、残りの3点は自動的に計算されますので、編集点の登録は5点まで可能となります。

■スプリット編集機能のないVTRをプレーヤーにするとき

ビデオとオーディオの編集点を、独立して設定することができないVTRをプレーヤーとして使用するとき、オーディオのIN点とOUT点をレコーダー側に設定し、ビデオの編集点として3点のデータを設定すると、スプリット編集が可能となります。

<ノート>

オーディオスプリット編集時、オーディオOUT点(またはビデオOUT点)を登録せずに、ビデオOUT点(またはオーディオOUT点)のみ登録し、自動編集を実行すると、オーディオOUT点(またはビデオOUT点)が登録されるか、STOPボタンを押して操作を中断するまで、編集を続けます。

バリアブルメモリー機能

バリアブルメモリー機能の選択

<HOME SHIFT>メニューの **[F6]** (VARMEM) を「ON」にすることで、バリアブルメモリーモードが選択できます。

[F6] (VARMEM) を「OFF」にすると、バリアブルメモリーモードが解除され、通常モードになります。

<ノート>

システムメニュー項目 No.25 (SYSTEM FREQ) で 23/24Hz または 25Hz (HD、SD)、50Hz (HD、SD) モードを選択している時は、**[F6]** (VARMEM) は表示されなくなり、バリアブルメモリーモードは選択できません。

概要

本機には以下のように2つのバリアブルメモリー機能があります。これらの機能はバリアブルメモリーモードで操作できます。

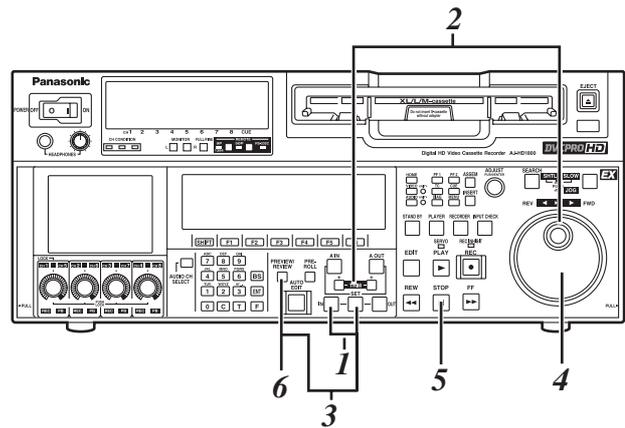
バリアブルメモリー再生：

任意の区間を VAR モードで変速再生し、その速度の変化を記憶し、その記憶した速度で再生を行うことができます。

バリアブルメモリー編集：

本機をコントローラとして使用(デッキ対デッキモードのレコーダ機)し、プレーヤ機の再生速度をコントロールして、変速モードでの編集を行うことができます。

バリアブルメモリー再生操作手順



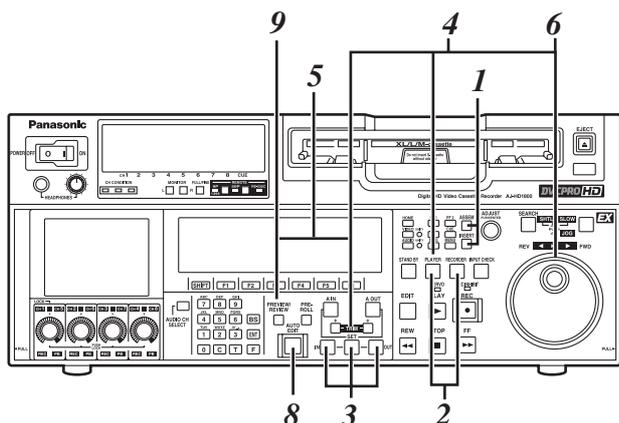
バリアブルメモリー再生を行うには、バリアブルメモリーモードにして、以下の操作を実施します。

- 1 SET ボタンと IN ボタンを使って IN 点を登録します。バリアブルメモリー再生では、OUT 点の設定は不要です。
- 2 SET ボタンを押しながら、サーチダイヤルで初速 (-1.0 ~ +2.0) を設定します。
- 3 SET ボタンと PREVIEW/REVIEW ボタンを同時に押し、自動的にプリロールし、IN 点まで設定された初速で再生します。
- 4 IN 点通過後、サーチダイヤルを回して再生速度を記憶します。
- 5 STOP ボタンを押して、テープを止めます。
- 6 PREVIEW/REVIEW ボタンを押すと、記憶した速度でバリアブルメモリー再生を行います。

<ノート>

- IN 点通過からメモリー内容で再生し、メモリー内容の最後のスピードで STOP ボタンを押すまで走行します。
- メモリーされた内容は、バリアブルメモリーモードを解除すると、消えます。また、POWER スイッチを「OFF」にすると、メモリーはクリアされます。

バリアブルメモリー編集操作手順



バリアブルメモリー編集を行うには、レコーダとして接続されている本機をバリアブルメモリーモードにして以下の操作を実施します。

- 1 <ASSEMBLE>または<INSERT>メニューで編集モードを選択します。
- 2 RECORDERまたはPLAYERボタンを押して、操作するVTRを選択します。
- 3 SETボタンとIN/OUTボタンを使ってIN/OUT点を登録します。
PLAYERのOUT点は登録できません。
- 4 PLAYERボタンを押し、PLAYERのVTRを選択した後、SETボタンを押しながらサーチダイヤルで初速を設定します。
- 5 SETボタンとPREVIEW/REVIEWボタンを同時に押すと、PLAYER/RECORDER共に、自動的にプリロールし、PLAYERのVTRはIN点まで設定された初速で再生します。
- 6 IN点通過後、サーチダイヤルを回してPLAYER VTRの再生速度を記憶します。
- 7 RECORDERで設定されたOUT点を通過すると、再生速度の記憶は終了します。
- 8 AUTO EDITボタンを押すと、バリアブルメモリー編集を実行します。
一度、編集が実行されると、記憶していた速度は消されます。ただし、初速度はクリアされません。
- 9 PREVIEW/REVIEWボタンを押すと、編集結果が確認できます。

<ノート>

- メモリーされた内容は、バリアブルメモリーモードを解除すると、消えます。また、POWERスイッチを「OFF」にすると、メモリーはクリアされます。
- バリアブルメモリー編集のIN点までの再生時は調相を行いません。従って、PLAYER側のVTRや設定した速度によってIN点の精度は保証されません。
- -1.0～+2.0の速度範囲でバリアブルメモリー編集を行う場合は、RECORDER、PLAYERとも、この速度を保証しているVTRをご使用ください。

ファンクションメニュー

ファンクションメニューは頻繁に使用される機能を設定します。
フロントパネルのダイレクトメニューボタンでファンクションメニューをダイレクトに切り替えます。

概要

一般メニュー

<HOME>、<HOME SHIFT>

記録・再生・TC操作の最も基本的な設定を行います。

<VIDEO>、<VIDEO SHIFT>

VIDEO信号の基本的な入出力設定を行います。
HD出力信号のレベル調整もこの画面で行うことができます。

<AUDIO>、<AUDIO SHIFT 1>、<AUDIO SHIFT 2>

AUDIO信号の基本的な入出力設定を行います。

<TC>、<TC SHIFT>

TCに関する設定を行います。
TCスーパの表示設定もこの画面で行うことができます。

<PF1 FT>、<PF1 BK>、<PF2 FT>、<PF2 BK>

使用頻度の高いメニューを24項目まで登録したものが使用できます。

<CUE>、<CUE SHIFT>

60点までキュー点を設定することができます。
PAGEモードでは6点を1ページとして、6点×10ページのキュー点をページ単位で管理することができます。

<DIAG>、<DIAG SHIFT>

ワーニング/アワーメータ/UMIDなどの情報が確認できます。
SHIFT画面ではエラーログファイルの確認、削除、SDメモリーカードへの保存/呼び出しができます。

<MENU>、<MENU SHIFT>

SYSTEM、SETUPメニューに関する操作(調整、内部メモリおよびSDメモリーカードへの保存/呼び出し)画面へ移動できます。

<ASSEMBLE>

ASSEMBLE編集モードの選択を行います。

<INSERT>

INSERT編集モードおよび編集チャンネルの選択を行います。

特殊メニュー

<<SYSTEM MENU>>

SYSTEMメニューがオンスクリーン上に表示され、調整を行うことができます。

<<SETUP MENU>>

SETUPメニューがオンスクリーン上に表示され、調整を行うことができます。

<<FILE>>

SETUPメニュー内容を含む、現在設定情報をタイトルをつけて4通りまでバックアップメモリに保存/呼び出しができます。

<<PF1 FT ASSIGN>>、<<PF1 BK ASSIGN>>

<<PF2 FT ASSIGN>>、<<PF2 BK ASSIGN>>

登録可能なSETUPメニュー項目がオンスクリーン上に表示され、ファンクションボタンへの登録、削除ができます。

<<IC CARD/MENU>>

SETUPメニュー内容を含む、現在設定情報をタイトルをつけて8通りまでSDメモリーカードに保存/呼び出しができます。

<<IC CARD/ERR LOG>>

エラーログの内容をタイトルをつけて8通りまでSDメモリーカードに保存/呼び出しができます。

<<IC CARD/MULT CUE>>

MULTI CUEのメニューをタイトルをつけて8通りまでSDメモリーカードに保存/呼び出しができます。

<<STOP CODE>>

STOP CODEの記録/消去を行います。

<<50P IN ASSIGN>>、<<50P OUT ASSIGN>>

パラレルリモート(50PIN)端子に対して、入力端子への機能登録/出力端子へのステータス登録をフロントパネル及びオンスクリーンメニューを使用して行います。

ファンクションメニュー (続き)

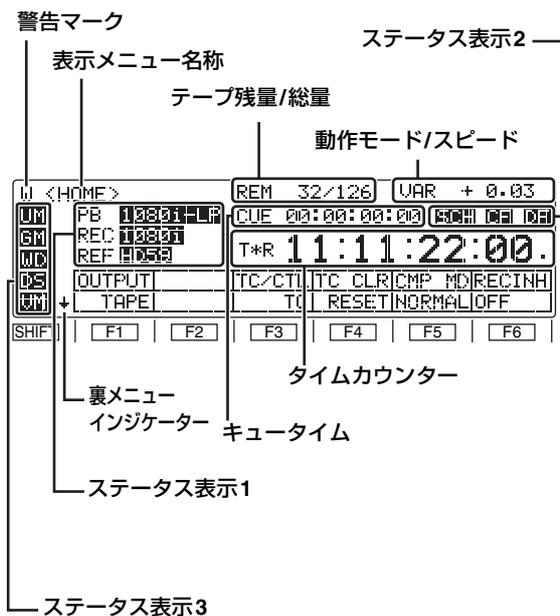
ファンクションキーの割り当て

メニュー名称(6種類)	階層メニュー	ファンクションキーに割り当てられている項目					
		F1	F2	F3	F4	F5	F6
HOME	第1	OUTPUT		TC/CTL	TC CLR	CMP MD	R INH
	第2 (SHIFT)	PREROL		OUTREF	CAPSTN		VARMEM
VIDEO	第1	VID IN	INT SG			UP CON	DW CON
	第2 (SHIFT)			V LV	C LV	HUE	SUP LV
	第3 (F+SHIFT)	BRIGHT	COLOR	CONTRAST	BACK L		
AUDIO	第1	A1 IN	A2 IN	DIN 12	A3 IN	A4 IN	DIN 34
	第2 (SHIFT)	A5 IN	A6 IN	DIN 56	A7 IN	A8 IN	DIN 78
	第3 (SHIFT)	VOLUME		RECCUE			M MIX
TC	第1	TC SRC		TCG MD	TCG RG	RUN MD	DF MOD
	第2 (SHIFT)	SUPER	C HPOS	C VPOS	DISPLY	C TYPE	TIMER
PF1	第1	工場出荷時は未設定(完全フリーアサイン)					
	第2 (SHIFT)						
PF2	第1						
	第2 (SHIFT)						
CUE MULTICUE function	第1	PREV	NEXT	MODE	CLR	AL CLR	
	第2 (SHIFT)	S CODE	CARD	PAGE	ROTATE	CU-ROL	
DIAG ERROR LOG function	第1	WARN	HOURS	UMID	DIF1	DIF2	
	第2 (SHIFT)	STEP	CARD			AL CLR	
MENU	第1	FILE	CARD		SYSTEM	SETUP	
	第2 (SHIFT)	PF1 FT	PF1 BK	PF2 FT	PF2 BK	50P IN	50P OT
ASSEM		ASSEM					
INSERT			A5	A6	A7	A8	TC
		V	A1	A2	A3	A4	CUE
SYSTEM SYSTEM MENU (ON SCREEN)				CANCEL	RESET	SET	EXIT
SETUP SETUP MENU (ON SCREEN)		↑ PREV	↓ NEXT	CANCEL	RESET	SET	EXIT
FILE USER FILE BACKUP function		PLOAD	LOAD ←	SAVE →		LOCK	EXIT
PF1、PF2 MENU ASSIGN function		↑ PREV	↓ NEXT	CANCEL	RESET	SET	EXIT
CARD IC CARD function (MENU) IC CARD function (ERRLOG) IC CARD function (MULTI CUE)		FORMAT	SAVE ←	LOAD →	DELETE	LOCK	EXIT
S CODE STOP CODE function		DET BP	DET ST	DET AJ	REC	ERASE	EXIT
50PIN 50pin ASSIGN function		↑ PREV	↓ NEXT	CANCEL	RESET	SET	EXIT

ファンクションメニュー (続き)

<HOME>

記録・再生・TC操作の最も基本的な設定を行います。



設定値の切り替え方法

トグル:

ファンクションボタンを押すたびに、設定値の変更・確認ができます。

F+トグル*:

Fボタンを押しながら、ファンクションボタンを押すと、そのたびごとに設定値の変更・確認ができます。

トグル+ADJ:

ファンクションボタンを押すと設定値が反転表示に変わり、設定値の変更可能状態になります。

設定値の変更は、ADJUSTつまみで行います。

再度ファンクションボタンを押し反転表示を解除した時点で、設定値が確定されます。

Push:

ファンクションボタンを押すと、その押された期間または押された瞬間において、設定値の変更が可能です。ファンクションボタンを離すと、もとの設定値に戻ります。

F+Push*:

Fボタンを押しながらファンクションボタンを押すと、その押された期間または押された瞬間において、設定値の変更が可能です。ファンクションボタンを離すと、もとの設定値に戻ります。

* ファンクションボタンのみを押した場合は、「Press [F] + [F5]」などの注意メッセージが点滅表示されます。

ファンクションボタン

[F1] ~ [F6]:

ファンクションメニューに表示される機能の操作に使用します。

<ノート>

セットアップメニューに対応したファンクションボタンを操作した場合、設定値の変更は直ちに反映されますが、設定値の保存処理に約5秒の時間が必要です。設定を変更後に電源をOFFにするときは、変更から約5秒以上待ってから電源をOFFにしてください。

[SHIFT]:

現在のファンクションメニューと裏ページメニューを交互に切り替えます。

裏ページメニューインジケータ

↓ : 表ページメニューを表示しているときに表示されます。
↑ : 裏ページメニューを表示しているときに表示されます。

ファンクションボタンの操作禁止インジケータ

[F] ボタンを押しながら [BS] ボタンを押した場合に表示されます。このとき、ファンクションボタンの操作を禁止することができます。もう一度 [F] ボタンを押しながら [BS] ボタンを押すと、表示が消えてファンクションボタンを操作できるようになります。

警告マーク

本機にワーニングが発生すると、警告マーク (W) が点滅します。詳しくは57ページのファンクションメニュー<DIAG>を参照してください。

ファンクションメニュー (続き)

<HOME> (続き)

表示メニュー名称

	表示メニュー名称		メニュー概要
一般メニュー	<HOME>	<HOME SHIFT>	記録・再生・タイムコード操作の最も基本的な設定を行います。
	<VIDEO>	<VIDEO SHIFT>	VIDEO信号の基本的な入出力設定を行います。HD出力信号のレベル調整も、この画面で行います。
	<AUDIO>	<AUDIO SHIFT1> <AUDIO SHIFT2>	AUDIO信号の基本的な入出力設定を行います。
	<TC>	<TC SHIFT>	タイムコードに関する設定を行います。タイムコードのスーパー表示設定もこの画面で行います。
	<PF1 FT>	<PF1 BK>	使用頻度の高いメニューを24項目まで登録することができます。登録可能なメニュー項目は<MENU SHIFT>画面のF1 (PF1)/F2 (PF2)を押すと接続した映像モニター、および液晶モニターに表示されます。
	<PF2 FT>	<PF2 BK>	
	<CUE>	<CUE SHIFT>	キュー点を60個まで設定することができます。PAGEモードでは6個を1ページとして6個×10ページのキュー点をページ単位で管理することができます。
	<DIAG>	<DIAG SHIFT>	<ul style="list-style-type: none"> ● ワーニング/アワーメーターが確認できます。 ● SHIFT画面ではエラーログファイルの確認、削除、SDメモリーカードへの保存/呼び出しができます。
	<MENU>	<MENU SHIFT>	SYSTEM SETUPメニューに関する操作（調整、内部メモリーおよびSDメモリーカードへの保存/呼び出し）画面に移動します。
	<ASSEMBLE>		ASSEMBLE編集モードの選択を行います。
<INSERT>		INSERT編集モード、および編集チャンネルの選択を行います。	
特殊メニュー	<<SYSTEM MENU>>		SYSTEMメニューが接続した映像モニター、および液晶モニターに表示され、調整を行うことができます。
	<<SETUP MENU>>		SETUPメニューが接続した映像モニター、および液晶モニターに表示され、調整を行うことができます。
	<<FILE>>		SETUPメニュー内容を含む現在の設定情報を、タイトルをつけて4通りまでバックアップメモリーに記録したり、その記録を呼び出したりできます。
	<<PF1 FT ASSIGN>> <<PF1 BK ASSIGN>>		登録可能なSETUPメニュー項目が接続した映像モニター、および液晶モニターに表示され、ファンクションボタンへ登録できます。
	<<PF2 FT ASSIGN>> <<PF2 BK ASSIGN>>		
	<<IC CARD/MENU>>		SETUPメニュー内容を含む、現在の設定情報を、タイトルをつけて8通りまでSDメモリーカードに記録したり、その記録を呼び出したりできます。
	<<IC CARD/ERR LOG>>		エラーログの内容を、タイトルをつけて8通りまでSDメモリーカードに記録したり、その記録を呼び出したりできます。
	<<IC CARD/MULT CUE>>		マルチキューのメニューを、タイトルをつけて8通りまでSDメモリーカードに記録したり、その記録を呼び出したりできます。
	<<STOP CODE>>		STOP CODEの記録/消去ができます。
	<<50P IN ASSIGN>> <<50P OUT ASSIGN>>		フロントパネル、接続した映像モニター、および液晶モニターを使ってパラレルリモート端子（50PIN）に対する入力端子への機能登録/出力端子へのステータス登録ができます。

システム周波数表示<24Hz、25Hz (HD、SD)、50Hz (HD、SD) モード時>

システムメニュー項目No.25 (SYSTEM FREQ) で23/24Hzモードまたは25Hz (HD、SD)、50Hz (HD、SD) モードを選択しているとき、ファンクションボタン **F1** にはシステム周波数の選択内容が表示され、現在のシステム周波数モードを確認することができます。

SYSTEM 23/24 F1	23/24	23/24Hzモードが選択されています。
	25 (HD)	25 Hz (HD) モードが選択されています。
	25 (SD)	25 Hz (SD) モードが選択されています。
	50 (HD)	50 Hz (HD) モードが選択されています。
	50 (SD)	50 Hz (SD) モードが選択されています。

ファンクションメニュー (続き)

<HOME> (続き)

ステータス表示1

VTR	設定内容		
PB	再生フォーマット 再生時のフォーマットを 表示します。	1080i LP	DVCPRO HD-LPの記録および再生モードを示します。
		720p LP	
		1080i SP	DVCPRO HD-SPの再生モードを示します。
		720p SP	
		50M	DVCPRO (50Mbps フォーマット)の再生モードを示します。
		50Mp	<ノート> 50Mpだとフォーマット判断はできますが、正常な画像・音声での再生は できません。
		25M	DVCPRO (25Mbps フォーマット), DV, DVCAMの再生モードを示します。
		DV	
DVCAM			
REC*1	記録フォーマット 記録時のフォーマットを 表示します。	1080i	1080iで記録します。
		720p	720pで記録します。
TM INFO*2	テープ管理情報 バリエブルフレームレ ートカメラで収録され たテープにはフレームレ ート(撮影速度)情報が記 録されています。この情 報を表示します。	---	カセットテープが挿入されていません。
		24P 24PA 25P	記録されているフレームレートを表示します。
		INVALID	テープ管理情報が無効です。 <ノート> インサート編集やテープダビングによりテープ管理情報が誤って上書きさ れた可能性があり、再生が正常にできない場合もあります。
REF	出力リファレンス 出力リファレンスの状態 を表示します。	HD23	HD_REF入力加里ファレンスに選択されています。フレーム周波数は 23.98Hzです。
		HD24	HD_REF入力加里ファレンスに選択されています。フレーム周波数は 24Hzです。
		HD25	HD_REF入力加里ファレンスに選択されています。フレーム周波数は 25Hzです。
		HD50	HD_REF入力加里ファレンスに選択されています。フィールド周波数は 50Hzです。
		HD59	HD_REF入力加里ファレンスに選択されています。フィールド周波数は 59.94Hzです。
		HD60	HD_REF入力加里ファレンスに選択されています。フィールド周波数は 60Hzです。
		IN50	HDシリアル入力加里ファレンスに選択されています。フィールド周波数は 50Hzです。
		IN59	HDシリアル入力加里ファレンスに選択されています。フィールド周波数は 59.94Hzです。
		IN60	HDシリアル入力加里ファレンスに選択されています。フィールド周波数は 60Hzです。
		INT23	内部発振器(23.98Hz)加里ファレンスに選択されています。
		INT24	内部発振器(24Hz)加里ファレンスに選択されています。
		INT25	内部発振器(25Hz)加里ファレンスに選択されています。
		INT50	内部発振器(50Hz)加里ファレンスに選択されています。
		INT59	内部発振器(59.94Hz)加里ファレンスに選択されています。
		INT60	内部発振器(60Hz)加里ファレンスに選択されています。
		NTSC59	SD_REF入力加里ファレンスに選択されています。フィールド周波数は 59.94Hzです。
		PAL50	SD_REF入力加里ファレンスに選択されています。フィールド周波数は 50Hzです。
		INT59N	OUT_REFの設定でSD_REFが選択されていますが、SD_REF信号が入力 されていない為、内部発振器(59.94Hz)加里ファレンスに選択されていま す。
		INT50P	OUT_REFの設定でSD_REFが選択されていますが、SD_REF信号が入力 されていない為、内部発振器(50Hz)加里ファレンスに選択されています。

*1 システムメニュー項目No.25 (SYSTEM FREQ) で23/24Hzモードまたは25Hz (HD、SD)、50Hz (HD、SD) モードを選択している時、このステータスは表示されません。

*2 システムメニュー項目No.25 (SYSTEM FREQ) で59/60Hzモードまたは50Hzモードを選択している時、このステータスは表示されません。

ファンクションメニュー (続き)

<HOME> (続き)

ステータス表示2

インジケータ	設定内容
SCH	SDREF信号のSCH位相が、一定の範囲内にある時に点灯します。
CF	カラーフレーミングがロックしているときに点灯します。
DF	ドロップフレームモードで記録/再生する時に点灯します。 <ノート> タイムコードデータが正しく読み取れなかった場合(T*Rと表示されているとき)、表示は前の状態をホールド表示しています。

ステータス表示3

インジケータ	設定内容
UM	EEモードのときは、入力情報にUMID情報が存在しているときに表示されます。 テープ再生のときは、テープ上にUMID情報が存在しているときに表示されます。
WD	セットアップメニュー No.620 (DOWNCON MODE) で「SQUEEZ」が選択され、ダウンコンパート出力がワイド画面になっているとき、またSDテープ再生でテープ上にワイド画面情報が記録されているときに表示されます。
GM	セットアップメニュー No.693 (GAMMA SEL) で GAMMA 機能を選択したときに表示します。
DS	<<STOP CODE>>のファンクションボタン F2 (DET ST) を「ON」にすると表示されます。 DS 表示中、テープ再生中に STOP CODE を検出するとテープ走行が停止します。 (詳細は“ファンクションメニュー <STOP CODE>”を参照してください)
VM	<HOME SHIFT>のファンクションボタン F6 (VARMEM) を「ON」にすると表示されます。 VM 表示中は、常時バリアブルメモリーを操作可能です。 (詳細は“バリアブルメモリー機能”を参照してください)

動作モード(スピード)表示

現在の動作モードを表示します。(スピード表示を含みます)

表示	動作モード
EJECT	イジェクトモード
STANDBY OFF	スタンバイオフモード
T.RELEASE	テンションリリースモード
STOP	ストップモード
PREROLL	プリロールモード
PLAY	再生モード
PLAY +	特殊再生(再生位相の調整)モード (FWD方向)
PLAY -	特殊再生(再生位相の調整)モード (REV方向)
REC	記録モード
JOG REV/STILL/FWD	ジョグモード
VAR(速度) [-4.9~+4.9]	スローモード
SHTL(速度) [-32.0~+32.0]	シャトルモード
FF	早送りモード
REW	巻き戻しモード
EDIT	編集モード
AUTO EDIT	自動編集モード
PREVIEW	プレビューモード
REVIEW	レビューモード
<HOME SHIFT>のファンクション F6 (VARMEM)が「ON」の場合	
DSPD(速度) [-1.0~+2.0]	バリアブルメモリの初期速度設定
DSMP(速度) [-1.0~+2.0]	バリアブルメモリの再生速度記憶モード
DPLY(速度) [-1.0~+2.0]	バリアブルメモリの再生モード
DPRV(速度) [-1.0~+2.0]	バリアブルメモリ編集のプレビューモード
DEDT(速度) [-1.0~+2.0]	バリアブルメモリ編集の実行モード
SETUP MENU No.013 (DET STOP)が「ON」の場合	
DETECT	PLAY再生時、STOP CODEを検出中
D-STOP	PLAY再生時、STOP CODEを検出し強制停止

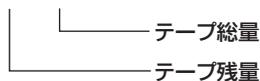
ファンクションメニュー（続き）

<HOME>（続き）

テープ残量/総量表示

挿入されたカセットのテープ残量及びテープ総量が分単位で表示されます。

例) REM 10/ 64 (64分テープに対して、残量10分)



<ノート>

多少の誤差が生じることがあります。テープ残量が3分以下になるとテープ残量値が点滅します。

キュータイム表示

現在登録されているキュータイムを表示します。(キュータイムの操作は「キュータイム登録・プリロール・キューアップ」(121 ページ)を参照してください)

キュータイムの操作は、HOME画面でのみ可能です。

タイムカウンタ表示

表示	内容
CTL	CTLカウンタのデータ
TCG	タイムコードジェネレータのタイムコードデータ
UBG	タイムコードジェネレータのユーザービットデータ
tcg	タイムコードジェネレータのタイムコードデータのプリセット時
ubg	タイムコードジェネレータのユーザービットデータのプリセット時
TCR/T*R	タイムコードリーダーのタイムコードデータ
UBR/U*R	タイムコードリーダーのユーザービットデータ

タイムコードデータやユーザービットデータが正しく読み取れなかった場合は、“T*R”、“U*R”と表示されます。CTLがある場合は、CTLによりタイムコードデータは補完されます。

TCR 00:00:00:00. フィールドマーク
第1フィールド “.” / 第2フィールド “.”]
(±0.3倍速を越える場合は表示されません)

ドロップフレームマーク
(59/60Hzモードのみ)
[ノンドロップ時 “:” / ドロップ時 “.”]

ファンクションメニュー（続き）

<HOME>（続き）

Tape再生時の再生基準信号仕様

再生時、ビデオ出力のリファレンスは以下ようになります。

59.94 Hz/60 Hz、50 Hzモード時

入力信号の有無		メニュー No.031				
REF_IN	INPUT	AUTO	INPUT*1	HD_REF	SD_REF	E-AUTO
HD_REF_IN	有	HD_REF_IN	INPUT	HD_REF_IN	Internal SD	HD_REF_IN
		HD_REF_INの周波数に従う。	INPUTの周波数に従う。	HD_REF_INの周波数に従う。	59.94Hz	HD_REF_INの周波数に従う。
	無	HD_REF_IN	Internal HD	HD_REF_IN	Internal SD	HD_REF_IN
		HD_REF_INの周波数に従う。	メニュー No. 030の周波数に従う。	HD_REF_INの周波数に従う。	59.94Hz	HD_REF_INの周波数に従う。
SD_REF_IN	有	SD_REF_IN	INPUT	Internal HD	SD_REF_IN	SD_REF_IN
		59.94Hz	INPUTの周波数に従う。	メニュー No. 030の周波数に従う。	59.94Hz	59.94Hz
	無	SD_REF_IN	Internal HD	Internal HD	SD_REF_IN	SD_REF_IN
		59.94Hz	メニュー No. 030の周波数に従う。	メニュー No. 030の周波数に従う。	59.94Hz	59.94Hz
無	有	INPUT	INPUT	Internal HD	Internal SD	INPUT
		INPUTの周波数に従う。	INPUTの周波数に従う。	メニュー No. 030の周波数に従う。	59.94Hz	INPUTの周波数に従う。
	無	Internal HD	Internal HD	Internal HD	Internal SD	Internal HD
		メニュー No. 030の周波数に従う。	メニュー No. 030の周波数に従う。	メニュー No. 030の周波数に従う。	59.94Hz	メニュー No. 030の周波数に従う。

*1 ビデオ入力信号に1394、またはINT SG（内部基準信号）が選択されている場合は、常にInternal HDになります。

<ノート>

- メニュー No.031 (OUT REF) で「E-AUTO」を選択すると、編集モードにおいては「INPUT」、編集モード以外では「AUTO」が選択されているものとして動作します。
- SD → HD のアップコンバーター、およびHD → HD のクロスコンバーターの際、HD_REF_INで動作させるためには、HD 出力フォーマットに応じたHD3値SYNCを入力してください。
- SDテープ再生時に60Hzモードで動作させることはできません。
- HD SDI出力が60Hz/24Hzで出力されているときは、SD SDIはNO SYNC、アナログコンポジットは白/黒モード（バーストオフ）で出力されます。
- REF 入力に対して、HD SDI出力、SD SDI出力、アナログコンポジット出力、オーディオ出力、およびTC出力はすべて同位相で出力しています。

ファンクションメニュー (続き)

<HOME> (続き)

23.98 Hz/24 Hzモード時

入力信号の有無	再生基準信号
REF_IN	
HD_REF_IN	HD_REF_IN
	HD_REF_INの周波数に従う。
無	Internal HD
	メニュー No.030の周波数に従う。

25 Hz (HD)/25 Hz (SD)、50 Hz (HD)/50 Hz (SD)モード時

入力信号の有無	メニュー No.031				
	REF_IN	AUTO	INPUT	HD_REF	SD_REF
HD_REF_IN	HD_REF_IN	Internal HD	HD_REF_IN	Internal SD	HD_REF_IN
	HD_REF_INの周波数に従う。	50Hz	HD_REF_INの周波数に従う。	50Hz	HD_REF_INの周波数に従う。
SD_REF_IN	SD_REF_IN	Internal HD	Internal HD	SD_REF_IN	SD_REF_IN
	50Hz	50Hz	50Hz	50Hz	50Hz
無	Internal HD	Internal HD	Internal HD	Internal SD	Internal HD
	50Hz	50Hz	50Hz	50Hz	50Hz

<ノート>

25 Hz (SD)、50 Hz (SD) モード時は、HD SDI出力からブラック信号が出力されます。

Internal HD :

HD再生の基準、74MHzCLKがFreeRunで動作します。

Internal SD :

SD再生の基準、4fscCLKがFreeRunで動作します。

メニュー No.26 (HD SYS H ADV) で「90H」を選択すると、HD出力はSD出力より90H進んだ位相で出力します。

なお、SD REF入力時はREF入力とSD出力が同位相になり、HD REF入力時はREF入力とHD出力が同位相になります。

- オーディオ出力とTC出力は、HD出力と同位相で出力します。
- 720p時は、120Hの位相差となります。

<HOME> (続き)

TCG値登録

1 選択

[F3] TC/CTL ボタンを押してTCを選択します。

[T] ボタンを押します。選択された項目(キュータイムまたはTC)が反転表示されます。

ADJUSTダイヤルを回してTCを選択します。

再度、**[T]** ボタンを押します。1桁反転表示になり、数値入力モードになります。

<ノート>

- UBG値、キュータイムも同様にして登録できます。CTL値の登録はできません。
- TCまたはUBは内蔵のタイムコードジェネレータ選択時のみ登録可能です。

2 数値、アルファベットの入力

数字キー **[0]** ~ **[9]** を押して、数値を入力します。

[F] + **[7]** ボタンでA,B,Cを、**[F]** + **[8]** ボタンでD,E,Fを入力します。

入力桁を移動するには、ADJUSTダイヤルを回します。

マイナスを入力するには、左端桁の反転時に **[F]** + TRIM- ボタンを押します。

プラスを入力するには、左端桁の反転時に **[F]** + TRIM+ ボタンを押すか、**[0]** ボタンを押します。(表示は空白となります)

全桁0にクリアするには **[F]** + **[0]** ボタンを押します。

<ノート>

- **[F]** ボタンを押しながら **[7]** ボタンを押すたびに、A → B → C → A → B → ... の順に表示します。
[F] + **[8]** でD,E,Fを入力するときも同じです。
- セットアップメニュー No.144 (TC INPUT) が「REV」に設定されている場合は、アルファベット入力中に **[F]** ボタンを離すと、表示されている文字が確定します。
- アルファベットの入力が可能なのは、UBG値の登録中のみです。
- マイナスの入力が可能なのは、セットアップメニュー No.002 (TAPE TIMER) が「±12h」に設定された状態で、**[F3]** TC/CTL ボタンでCTLを選択し、キュータイムの登録中のみです。
- セットアップメニュー No.144 (TC INPUT) が「REV」に設定されている場合は、上位桁からの入力(表示は右端から)となりますが、一度ADJUSTダイヤルを回すと、「NORMAL」入力モードに戻ります。

3 入力値の確定

[ENT] ボタンを押します。入力した値を登録し、通常表示に戻ります。

<ノート>

- 登録操作をキャンセルするには、**[C]** ボタンを押します。
- 入力された値が登録可能範囲外の場合は、**[INVALID]** アラームが点滅表示され、修正されるまで登録できません。

ファンクションメニュー (続き)

<HOME> (続き)

ファンクション ボタン/項目	切り替え方法	設定値	対応セットアップメニュー	設定内容
F1 OUTPUT	トグル	TAPE EE	No. 140 OUTPUT	出力信号の選択 <STOP 時> TAPE : STOP時は、テープから再生される信号を出力します。 記録・編集時*は、同時再生信号を出力します。 * : セットアップメニュー No. 302 (CONF EDIT) の設定が必要です。 EE : セットアップメニュー No. 600 (VIDEO IN SEL) と No. 713 (CH1 IN SEL) ~ No. 724 (D IN SEL78) で選択された入力信号を出力します。
F2	—	—	—	—
F3 TC/CTL*2	トグル	TC UB CTL	—	タイムカウンター表示の切り替え TC : タイムコード値を表示します。 UB : ユーザーズビット値を表示します。 CTL : コントロール信号 (タイムデータ) を表示します。
F4 TC CLR*1	Push	RESET	—	タイムカウンター表示のリセット タイムカウンターの表示が、コントロール信号 (タイムデータ) を表示しているときに [F4] ボタンを押すと、コントロール信号をゼロリセットします。
F5 CMP MD	F+トグル	NORMAL DARK	No. 689 COMP MODE	セットアップメニューを参照してください。 <ノート> セットアップメニュー No. 25 (SYSTEM FREQ) で 23/24 Hz、25 Hz (HD、SD)、50 Hz (HD、SD) または 50 Hz モードを選択しているとき、この項目は表示されません。
F6 R INH	F+トグル	OFF ALL PRE NORM V/CTL	No. 113 REC INH	セットアップメニューを参照してください。 <ノート> 設定値を OFF から ALL へ変更するときは、 [F] ボタンを押さなくても、ファンクションボタンのみの操作で切り替えることができます。
F1(SHIFT) PREROL	トグル+ADJ	0s --- 5s --- 30s	No. 000 P-ROLL TIME	セットアップメニューを参照してください。
F2(SHIFT)	—	—	—	—
F3(SHIFT) OUTREF	F+トグル	AUTO INPUT HD_REF SD_REF E-AUTO	No. 031 OUT REF	セットアップメニューを参照してください。
F4(SHIFT) CAPSTN	F+トグル	2F 4F	No. 109 CAP. LOCK	セットアップメニューを参照してください。
F5(SHIFT)	—	—	—	—
F6(SHIFT) VARMEM*1	トグル	OFF ON	—	バリエブルメモリーモードの選択 OFF : バリエブルメモリーモードを使用しません。 ON : バリエブルメモリー再生/バリエブルメモリー編集が可能状態になります。

*1 システムメニュー項目 No.25 (SYSTEM FREQ) で 23/24Hz または 25Hz (HD、SD)、50Hz (HD、SD) モードを選択している時、この項目は表示されません。

*2 システムメニュー項目 No.25 (SYSTEM FREQ) で 23/24Hz または 25Hz (HD、SD)、50Hz (HD、SD) モードを選択している時、CTL は選択できません。また、電源立ち上げ時においては TC が選択されています。

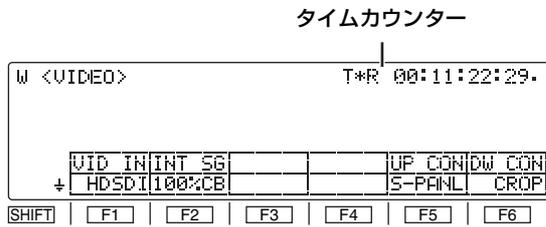
_____ は、工場出荷モードです。

ファンクションメニュー (続き)

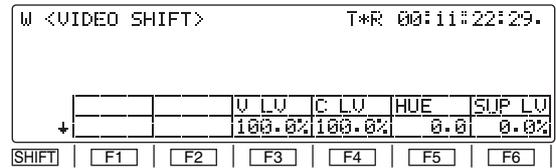
<VIDEO>

VIDEO 信号の基本的な入出力設定を行います。
HD 出力信号のレベル調整もこの画面で行うことができます。

1. VIDEO 入力切り替え/内蔵信号源の種類変更/アッ プコンのアスペクト変換

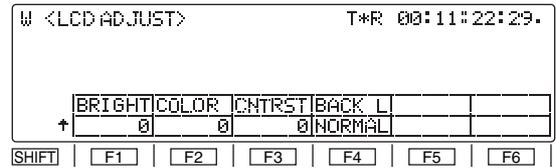


2. VIDEO 出力レベル調整



3. 液晶モニターの色調整

[F] + **[SHIFT]** で表示されます。セットアップメニューの No. 670～673 を参照してください。



ファンクション ボタン/項目	切り替え方法	設定値	対応セットアップメニュー	設定内容
F1 VID IN	トグル	INT SG HDSDI 1394 SDSDI	No. 600 VIDEO IN SEL	セットアップメニューを参照してください。
F2 INT SG	トグル	100%CB 75%CB SMPTE ARIB MB RAMP BLACK PLL EQ	No. 601 VIDEO INT SG	セットアップメニューを参照してください。
F3	—	—	—	—
F4	—	—	—	—
F5 UP CON	トグル	S-PANL CROP STRECH	No. 621 UPCONV MODE	セットアップメニューを参照してください。
F6 DW CON	トグル	CROP LT-BOX SQUEEZ 14:9 13:9	No. 620 DOWNCON MODE	セットアップメニューを参照してください。

_____ は、工場出荷モードです。

ファンクションメニュー (続き)

<VIDEO> (続き)

ファンクション ボタン/項目	切り替え方法	設定値	対応セットアップメニュー	設定内容
セットアップメニュー No. 650 (STYLE) が「CMPST」の場合				
F1(SHIFT) ---	---	---	---	---
F2(SHIFT) ---	---	---	---	---
F3(SHIFT) V LV	トグル+ADJ	0.0% -- 100.0% --- --200.0%	No. 662 V LEVEL	セットアップメニューを参照してください。 UNITY (100.0%)レベルに戻すには、 [F] + Pushで戻ります。
F4(SHIFT) C LV	トグル+ADJ	0.0% -- 100.0% --- 141.3%	No. 663 C LEVEL	セットアップメニューを参照してください。 UNITY (100.0%)レベルに戻すには、 [F] + Pushで戻ります。
F5(SHIFT) HUE	トグル+ADJ	-31.0 --- 0.0 --- +31.0	No. 664 HUE	セットアップメニューを参照してください。 UNITY (0.0)レベルに戻すには、 [F] + Pushで 戻ります。
F6(SHIFT) SUP LV	トグル+ADJ	-10.0% --- 0.0% --- +10.0%	No. 665 SETUP LVL	セットアップメニューを参照してください。 UNITY (0.0%)レベルに戻すには、 [F] + Push で戻ります。
セットアップメニュー No. 650(STYLE) が「CMPNT」の場合				
F1(SHIFT) ---	---	---	---	---
F2(SHIFT) ---	---	---	---	---
F3(SHIFT) Y HD	トグル+ADJ	0.0% -- 100.0% ---141.3%	No. 653 Y LVL(HD)	セットアップメニューを参照してください。 UNITY (100.0%)レベルに戻すには、 [F] + Pushで戻ります。
F4(SHIFT) Pb HD	トグル+ADJ	0.0% -- 100.0% ---141.3%	No. 654 Pb LVL(HD)	セットアップメニューを参照してください。 UNITY (100.0%)レベルに戻すには、 [F] + Pushで戻ります。
F5(SHIFT) Pr HD	トグル+ADJ	0.0% -- 100.0% ---141.3%	No. 655 Pr LVL(HD)	セットアップメニューを参照してください。 UNITY (100.0%)レベルに戻すには、 [F] + Pushで戻ります。
F6(SHIFT) BK HD	トグル+ADJ	-10.0% --- 0.0% --- +10.0%	No. 656 BK LVL(HD)	セットアップメニューを参照してください。 UNITY (0.0%)レベルに戻すには、 [F] + Push で戻ります。

_____ は、工場出荷モードです。

ファンクションメニュー (続き)

<AUDIO>

AUDIO信号の基本的な入出力設定を行います。

1. オーディオ信号入力の選択(CH1～CH4)

```

W <AUDIO> T*R 00:11:22:29.
+ A1 IN A2 IN DIN 12 A3 IN A4 IN DIN 34
  ANA DIGI AES ANA DIGI AES
SHIFT [F1] [F2] [F3] [F4] [F5] [F6]
    
```

2. オーディオ信号入力の選択(CH5～CH8)

```

W <AUDIO SHIFT1> T*R 00:11:22:29.
+ A5 IN A6 IN DIN 56 A7 IN A8 IN DIN 78
  ANA1 DIGI AES ANA3 DIGI AES
SHIFT [F1] [F2] [F3] [F4] [F5] [F6]
    
```

3. オーディオボリュームの切り替え/CUEオーディオ記録信号の選択/オーディオモニターミックスの切り替え

```

W <AUDIO SHIFT2> T*R 00:11:22:29.
+ VOLUME RECCUE M MIX
  PB CUE OFF
SHIFT [F1] [F2] [F3] [F4] [F5] [F6]
    
```

ファンクションボタン/項目	切り替え方法	設定値	対応セットアップメニュー	設定内容
F1 A1 IN*	トグル	INT SG DIGI ANA	No. 713 CH1 IN SEL	セットアップメニューを参照してください。
F2 A2 IN*	トグル	INT SG DIGI ANA	No. 714 CH2 IN SEL	セットアップメニューを参照してください。
F3 DIN 12	トグル	AES SDI	No. 721 D IN SEL 12	セットアップメニューを参照してください。
F4 A3 IN*	トグル	INT SG DIGI ANA	No. 715 CH3 IN SEL	セットアップメニューを参照してください。
F5 A4 IN*	トグル	INT SG DIGI ANA	No. 716 CH4 IN SEL	セットアップメニューを参照してください。
F6 DIN 34	トグル	AES SDI	No. 722 D IN SEL 34	セットアップメニューを参照してください。
F1(SHIFT1) A5 IN*	トグル	INT SG DIGI ANA1	No. 717 CH5 IN SEL	セットアップメニューを参照してください。
F2(SHIFT1) A6 IN*	トグル	INT SG DIGI ANA2	No. 718 CH6 IN SEL	セットアップメニューを参照してください。
F3(SHIFT1) DIN 56	トグル	AES SDI	No. 723 D IN SEL 56	セットアップメニューを参照してください。
F4(SHIFT1) A7 IN*	トグル	INT SG DIGI ANA3	No. 719 CH7 IN SEL	セットアップメニューを参照してください。
F5(SHIFT1) A8 IN*	トグル	INT SG DIGI ANA4	No. 720 CH8 IN SEL	セットアップメニューを参照してください。
F6(SHIFT1) DIN 78	トグル	AES SDI	No. 724 D IN SEL 78	セットアップメニューを参照してください。

* VIDEO入力切替を1394にした場合、A1 IN～A8 INはすべて1394入力になります。

は、工場出荷モードです。

ファンクションメニュー (続き)

<AUDIO> (続き)

ファンクション ボタン/項目	切り替え方法	設定値	対応セットアップメニュー	設定内容
F1 (SHIFT2) VOLUME	トグル	REC PB AUTO	No. 141 VOLUME	セットアップメニューを参照してください。 オーディオボリュームの制御対象を切替えます。 (CH1～CH8全てが対象)
F2 (SHIFT2) —	—	—	—	—
F3 (SHIFT2) RECCUE	トグル	CUE CH1 CH2 CH3 CH4 CH5 CH6 CH7 CH8 CH1+2 CH3+4 CH5+6 CH7+8 CH1-8	No. 733 REC CUE	セットアップメニューを参照してください。 <ノート> 1394入力時は、CUEトラックには音声記録されず、ミュートになります。
F4 (SHIFT2) —	—	—	—	—
F5 (SHIFT2) —	—	—	—	—
F6 (SHIFT2) M MIX	トグル	OFF L R L/R	No. 737 MONI MIX	セットアップメニューを参照してください。

_____ は、工場出荷モードです。

ファンクションメニュー (続き)

<TC>

TCに関する設定を行います。

TCスーパーの表示設定もこの画面で行うことができます。

W <TC>		T*R 00:11:22:29.			
TC SRC	TCG MD	TCG RG	RUN MD	DF MOD	
+ INT	AUTO	TC&UB	REC	DF	
SHIFT	F1	F2	F3	F4	F5

W <TC SHIFT>		T*R 00:11:22:29.			
SUPER	C HPOS	C VPOS	DISPLY	C TYPE	TIMER
+ ON	6	23	T&STA	WHITE	±12h
SHIFT	F1	F2	F3	F4	F5

ファンクション ボタン/項目	切り替え方法	設定値	対応セットアップメニュー	設定内容
F1 TC SRC	トグル	HDSDI,INT SG, 1394選択時: INT EXT_L SLTC SVITC SD SDI選択時: INT EXT_L VITC	No. 507 TC SOURCE	セットアップメニューを参照してください。
F2	---	---	---	---
F3 TCG MD	トグル	REGEN PRE AUTO	No. 503 TCG MODE	セットアップメニューを参照してください。
F4 TCG RG	トグル	TC&UB TC UB	No. 505 TCG REGEN	セットアップメニューを参照してください。
F5 RUN MD	トグル	REC FREE	No. 504 RUN MODE	セットアップメニューを参照してください。
F6 DF MOD	F+トグル	DF NDF	No. 511 DF MODE	セットアップメニューを参照してください。
F1 (SHIFT) SUPER	トグル	OFF ON	No. 005 SUPER	セットアップメニューを参照してください。
F2 (SHIFT) C HPOS	トグル+ADJ	0 --- 6 --- 37	No. 007 CHARA H-POS	セットアップメニューを参照してください。
F3 (SHIFT) C VPOS	トグル+ADJ	0 --- 23 --- 32	No. 008 CHARA V-POS	セットアップメニューを参照してください。
F4 (SHIFT) DISPLY	トグル	TIME T&STA T&S&M T&RT T&YMD T&MDY T&DMY T&UB T&CTL T&T	No. 006 DISPLAY SEL	セットアップメニューを参照してください。
F5 (SHIFT) C TYPE	トグル	WHITE W/OUT	No. 009 CHARA TYPE	セットアップメニューを参照してください。
F6 (SHIFT) TIMER	トグル	± 12h 24h	No. 002 TAPE TIMER	セットアップメニューを参照してください。

_____は、工場出荷モードです。

ファンクションメニュー (続き)

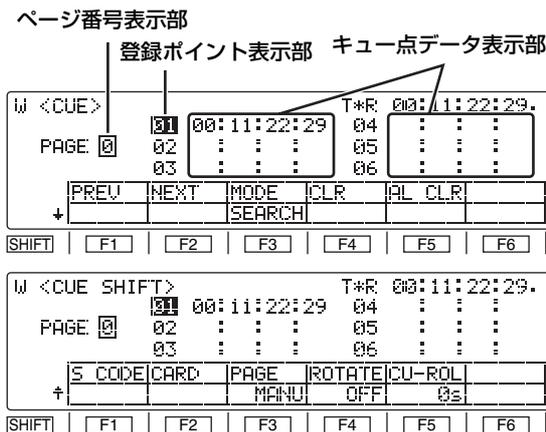
<CUE>

キュー点は60点まで設定できます。AUTO PAGE モード (<CUE SHIFT>メニューの[F3] (PAGE)が「AUTO」)では、6つのキュー点を1ページとして、10ページまでをページごとに管理できます。

ページ番号表示部と登録ポイント表示部により、60ポイントのキュー点を表示します。

<ノート>

「REMOTE」状態でセットアップメニュー No.001 (LOCAL ENA)が「ENA」以外の場合、キュー点の登録、プリロールなどは行えません。



ページ番号表示部

0から9のページ番号が表示されます。

登録ポイント表示部

各ページ毎に登録ポイント番号で管理された6つのキュー点データが表示されます。

登録ポイント番号が反転表示されているポイントが、登録およびサーチの対象です。

ページ番号と登録ポイント番号の関係は以下の通りです。

ページ番号	登録ポイント	ページ番号	登録ポイント
0	01 ~ 06	5	51 ~ 56
1	11 ~ 16	6	61 ~ 66
2	21 ~ 26	7	71 ~ 76
3	31 ~ 36	8	81 ~ 86
4	41 ~ 46	9	91 ~ 96

ページ操作

ファンクションボタン [F1] (PREV)/ [F2] (NEXT) によりページの送り/戻しができます。

- ページ送りについては、<CUE SHIFT>メニューの [F4] (ROTATE)の設定によって以下ようになります。

「OFF」設定の場合：

9ページから0ページへの移動はできません。

「ON」設定の場合：

9ページから0ページへの移動ができます。

- ページ戻りについては、0ページから9ページへの移動はできません。

登録ポイント移動

ADJUST ダイアルを回すことで登録ポイント表示部の反転表示が移動します。右回しでは昇順、左回しでは降順で移動します。<CUE SHIFT>メニューの [F3] (PAGE)が「AUTO」の場合、前後のページへも移動できます。

- 昇順での移動については、<CUE SHIFT>メニューの [F4] (ROTATE)の設定によって以下ようになります。

「OFF」設定の場合

9ページから0ページへの移動はできません。

「ON」設定の場合

9ページから0ページへの移動ができます。

- 降順での移動については、0ページから9ページへの移動はできません。

サーチ点および登録点の操作

<CUE>メニューの [F3] (MODE) ボタンを押すたびに、サーチモードとキュー点登録モードが交互に切り替わります。それぞれのモードにおいて、サーチ点/登録点を操作してください。

- POWER ON時、サーチ点/登録点は前回のPOWER OFF時のものとなります。
- <CUE SHIFT>メニューの [F3] (PAGE)や [F4] (ROTATE)設定を変更した場合、サーチ/登録ポイントは両方とも01 (0ページ/1番目)となります。

キュー点登録モード

プリロールしたいポイントを登録することができます。

<CUE>メニューの [F1] (PREV)や [F2] (NEXT) ボタンにより表示ページを変更したときは、<CUE SHIFT>メニューの [F3] (PAGE)の設定により、以下ようになります。

「MANU」設定の場合

サーチ/登録ポイントとも変更されたページの先頭へ移動します。

「AUTO」設定の場合

登録ポイントのみが変更されたページの先頭へ移動し、サーチポイントは移動しません。

サーチモード

希望のサーチポイントを選択し、プリロールすることができます。

<CUE>メニューの [F1] (PREV)や [F2] (NEXT) ボタンにより表示ページを変更したときは、<CUE SHIFT>メニューの [F3] (PAGE)の設定により、以下ようになります。

「MANU」設定の場合

サーチ/登録ポイントとも変更されたページの先頭へ移動します。

「AUTO」設定の場合

サーチポイントのみが変更されたページの先頭へ移動し、登録ポイントは移動しません。

<CUE> (続き)

キュー点の登録

ADJUSTダイヤルを回し、希望の登録ポイント表示部を反転表示にします。

[SET] ボタンを押すと、現在のテープ位置がキュー点として登録されます。

<CUE SHIFT>メニューの **[F3]** (PAGE) の設定により、以下のようになります。

「MANU」設定の場合

選択されたページ内での動作となります。

[SET] ボタンを押して、選択されたページ内で CUE*1→CUE*2→・・・→CUE*6と順次登録していきます。(すでに登録されている点に対しては上書きします。)

そのページにおいてCUE*6を登録すると、自動的に終了となります。^{*1}

次のキュー点を登録したいときは、登録ポイントを変更する必要があります。キュー点登録モードになっていることを確認し、ページを変えて登録ポイントを変更してください。この場合、サーチポイントも自動的に変更されたページの先頭(CUE*1)に移動します。

^{*1} <CUE SHIFT>メニューの **[F4]** (ROTATE) で「ON」が設定されている場合は、同一ページ内でCUE*1→CUE*2→・・・→CUE*6→CUE*1→CUE*2→・・・のローテーション動作を行います。

「AUTO」設定の場合

キュー点登録中、ページがいっぱいになったとき、自動的に次ページへ移り、登録を続けます。

最終ページCUE96になると、自動的に終了となります。^{*2}

次のキュー点を登録したいときは、登録ポイントを変更する必要があります。キュー点登録モードになっていることを確認し、ページを変えて登録ポイントを変更してください。この場合、サーチポイントは変更されません。

^{*2} <CUE SHIFT>メニューの **[F4]** (ROTATE) で「ON」が設定されている場合は、9ページ(CUE96)から0ページ(CUE01)へローテーション動作を行います。

CUE点を数字で登録する場合

- ADJUSTダイヤルを回し、希望の登録ポイント表示部を反転表示にします。
- [T]** ボタンを2回押し、選択されているキュー点の10時間の桁のみが反転表示になり、変更可能状態となります。

<ノート>

セットアップメニュー No.144 (TC INPUT) が「REV」の場合は、上位桁からの入力(表示は右端から)となります。

- 数値はテンキーで入力します。桁移動は数値入力後に自動で移動しますが、ADJUSTダイヤルを回して任意の桁を選択できます。
- 確定は **[ENT]** ボタンを押します。入力中に表示画面を切り替えた場合、または **[C]** ボタンを押した場合は、変更可能状態が解除されて設定が無効になります。

登録点の削除

一括削除

[F] ボタンを押しながら<CUE>メニューの **[F5]** (AL CLR) を押すと、現在選択中のキュー点データがすべて削除されます。削除されるポイントの範囲は、<CUE SHIFT>メニューの **[F3]** (PAGE) の設定により、以下のようになります。

「MANU」設定の場合

現在選択されているページ内にあるすべてのポイントを削除します。

「AUTO」設定の場合

全ページ内にあるすべてのポイントを削除します。

削除後のサーチ/登録ポイントは、<CUE SHIFT>メニューの **[F3]** (PAGE) の設定により、以下のようになります。

「MANU」設定の場合

ページ内の先頭(CUE*1)へ戻ります。

「AUTO」設定の場合

自動的に先頭ページの先頭(CUE01)へ戻ります。

※ <CUE>メニューの **[F3]** (MODE) 設定が「ENTRY」(キュー点登録モード) / 「SEARCH」(サーチモード) に関係なく受け付けます。

登録点の個別削除

<CUE>メニューの **[F4]** (CLR) ボタンを押すと、現在選択中のキュー点データがクリアされます。

※ <CUE>メニューの **[F3]** (MODE) 設定が「ENTRY」(キュー点登録モード) 時のみ受け付けます。

ファンクションメニュー (続き)

<CUE> (続き)

サーチ動作

ADJUSTダイヤルを回し、希望の登録ポイントを反転表示にします。

PREROLLボタンを押すと、プリロール動作を行います。

キュー点の登録がない場合は、プリロール動作を行いません。

また、キュー点登録モードにおいては、PREROLL ボタンを押してもプリロール動作を行いませんので、必ずサーチモードになっているかを確認してください。

(本モードにおけるプリロール時間は、通常のプリロール時間の設定とは別に<CUE SHIFT>メニューの **[F5]** (CU-ROL) の設定されている時間が有効となります)

ファンクション ボタン/項目	切り替え方法	設定値	対応セットアップメニュー	設定内容
F1 PREV	Push	—	—	マルチキューページ戻り
F2 NEXT	Push	—	—	マルチキューページ送り
F3 MODE	トグル	SEARCH ENTRY	—	サーチモード/キュー点登録モードの切り替え
F4 CLR	Push	—	—	現在選択中のキューデータを消去します。 [F3] (MODE) で ENTRY を選択する必要があります。
F5 AL CLR	F+Push	—	—	[SHIFT] + [F3] (PAGE) が MANU 時：現在表示 ページ中の全キューデータを消去します。 [SHIFT] + [F3] (PAGE) が AUTO 時：全ページ のキューデータを消去します。
F6 —	—	—	—	—
F1 (SHIFT) S CODE*	F+Push	—	—	STOP CODE 操作メニュー呼び出し
F2 (SHIFT) CARD	F+Push	—	—	MULTI CUE ファイル操作メニュー呼び出し
F3 (SHIFT) PAGE	トグル	MANU AUTO	No. 131 PAGE MODE	セットアップメニューを参照してください。
F4 (SHIFT) ROTATE	トグル	OFF ON	No. 132 ROTA MODE	セットアップメニューを参照してください。
F5 (SHIFT) CU-ROL	トグル+ADJ	0s --- 5s --- 15s	No. 011 CU-ROLL TIME	セットアップメニューを参照してください。
F6 (SHIFT) —	—	—	—	—

— は、工場出荷モードです。

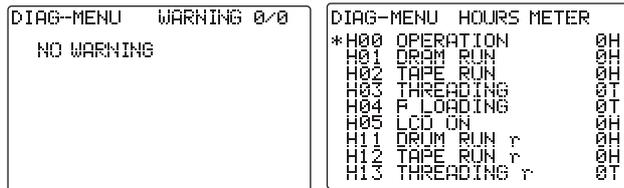
* システムメニュー項目 No.25 (SYSTEM FREQ) で 23/24Hz または 25Hz (HD, SD)、50Hz (HD, SD) モードを選択している時、この項目は表示されません。

ファンクションメニュー (続き)

<DIAG>

ワーニング/アワーメータ/UMIDなどの情報が確認できます。SHIFT 画面ではエラーログファイルの確認、削除、SDメモリーカードへの保存/呼び出しができます。

警告マーク



ワーニング表示

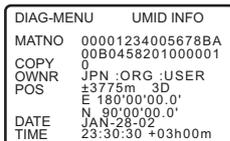
本機にワーニングが発生すると、画面の上左端に警告マーク(W)が点滅します。[F1] (WARN) を押すと、ワーニング内容を液晶モニターで確認することができます。複数のワーニングが発生している場合は、ADJダイヤルを回してメッセージをスクロールできます。

アワーメータ表示

[F2] (HOURS) を押すと、アワーメータ情報を液晶モニターで確認することができます。

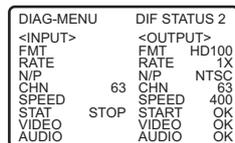
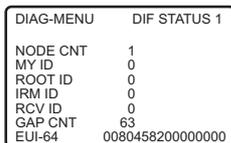
UMID表示

[F3] (UMID) を押すと、現在の映像のUMID情報を液晶モニターで確認することができます。



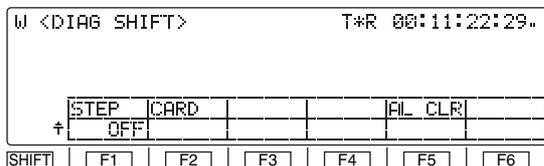
DIFステータス表示

[F4] (DIF1) または [F5] (DIF2) を押すと、現在のDIF (IEEE1394インターフェース) の各種情報が表示されます。



エラーログ機能

[SHIFT] ボタンを押し、画面を<DIAG SHIFT>に切り替えると、エラーログモードを選択することができます。



概要

テープ走行中に以下のワーニングが発生した場合、ワーニングメッセージ、タイムコード、動作モードを保存し、液晶モニター上においてリスト形式で読み出すことができます。発生したワーニングは最大99個まで保存することができます。また、99個の保存容量を超えた場合は、セットアップメニューNo.015 (AUTO STEP) の設定に従って処理されます。

保存対象ワーニングメッセージ	内容 (131ページ以降も参照してください。)
NO RF	テープのブランク部分を1秒以上検出した。(ノーマル再生時)
SV NOT LOCKED	サーボが3秒以上外れた。(記録/ノーマル再生/編集時)
LOW RF	エンベレベルが通常の約1/3の状態、あるいはCTLレベルが通常の約1/6の状態を1秒以上検出した。(記録/ノーマル再生/編集時)
HIGH ERROR RATE	エラーレートが悪化し、ビデオ/オーディオのいずれかの再生信号に修正/補正がかかった。(ノーマル再生時)

液晶モニター表示

動作モード表示



動作モード表示

ワーニングが保存された時点の動作モードを表示します。

ワーニング表示

保存されているワーニングメッセージを表示します。

ワーニング保存状況表示

表示されているワーニングの保存番号と保存されている全てのワーニングの保存数を表示します。

タイムコード表示

ワーニングが保存された時点のタイムコードを表示します。

ワーニングポイントへのキューアップ

ADJダイヤルを回すと、液晶モニター上に表示されているワーニングリストをスクロールすることができます。確認したいワーニング発生ポイントを選択し、PREROLLボタンを押すと保存されているタイムコードにキューアップすることができます。

ファンクションメニュー (続き)

<DIAG> (続き)

ファンクション ボタン/項目	切り替え方法	設定値	対応セットアップメニュー	設定内容
F1 WARN	—	—	—	液晶モニターにワーニングメッセージを表示 します。
F2 HOURS	—	—	—	液晶モニターにアワーメータを表示します。
F3 UMID	—	—	—	液晶モニターにUMID情報を表示します。
F4 DIF1	—	—	—	液晶モニターにDIFステータス1を表示しま す。
F5 DIF2	—	—	—	液晶モニターにDIFステータス2を表示しま す。
F6 —	—	—	—	—
F1 (SHIFT) STEP	トグル	OFF ON	No. 015 AUTO STEP	セットアップメニューを参照してください。
F2 (SHIFT) CARD	F+Push	—	—	エラーログファイル操作メニュー呼び出し
F3 (SHIFT) —	—	—	—	—
F4 (SHIFT) —	—	—	—	—
F5 (SHIFT) AL CLR	F+Push	—	—	エラーログファイルのクリア
F6 (SHIFT) —	—	—	—	—

_____は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー No.015 (AUTO STEP)

(工場出荷モードはOFF)について

ERROR LOG 機能では、ワーニングメッセージは最大99個まで保存できますが、この容量を超えた場合の保存処理を選択します。

OFF: 99個を上限とし、以降に発生したワーニングメッセージは保存されません。

ON: 99個を保存し、以降に発生したワーニングメッセージは99番目に保存されます。すでに保存されているワーニングメッセージは下位番号方向に順次シフトされます。

ONに設定された場合の保存イメージ

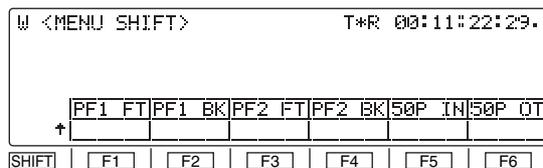
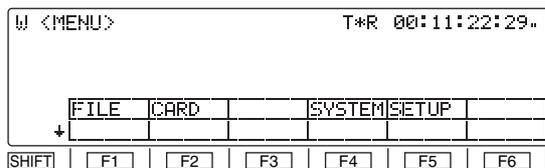
保存番号	保存ワーニング		保存番号	保存ワーニング
1/99	ワーニング1	→	1/99	ワーニング2
2/99	ワーニング2		2/99	ワーニング3
⋮	⋮		⋮	⋮
⋮	⋮		⋮	⋮
99/99	ワーニング99		99/99	ワーニング100

99個まで保存され、
100個目が発生した場合

ファンクションメニュー (続き)

<MENU>

SYSTEM、SETUPメニューに関する操作(調整、内部メモリおよびSDメモリーカードへの保存/呼び出し)画面へ移動できます。



ファンクションボタン/項目	切り替え方法	設定値	対応セットアップメニュー	設定内容
F1 FILE	F+Push	—	—	SYSTEM/SETUP 調整値の保存操作メニュー呼び出し (内部メモリ)
F2 CARD	F+Push	—	—	SYSTEM/SETUP 調整値の保存操作メニュー呼び出し (SDメモリーカード)
F3 —	—	—	—	—
F4 SYSTEM	F+Push	—	—	SYSTEM調整の操作メニュー呼び出し
F5 SETUP	F+Push	—	—	SETUP調整の操作メニュー呼び出し
F6 —	—	—	—	—
F1 (SHIFT) PF1 FT	F+Push	—	—	PF1/ファンクションボタンアサイン操作メニュー呼び出し
F2 (SHIFT) PF1 BK	F+Push	—	—	PF1/ファンクションボタンアサイン操作メニュー呼び出し
F3 (SHIFT) PF2 FT	F+Push	—	—	PF2/ファンクションボタンアサイン操作メニュー呼び出し
F4 (SHIFT) PF2 BK	F+Push	—	—	PF2/ファンクションボタンアサイン操作メニュー呼び出し
F5 (SHIFT) 50P IN	F+Push	—	—	50PIN (入力ピン) アサイン操作メニュー呼び出し
F6 (SHIFT) 50P OT	F+Push	—	—	50PIN (出力ピン) アサイン操作メニュー呼び出し

— は、工場出荷モードです。

ファンクションメニュー (続き)

<ASSEMBLE>

ASSEMBLE 編集モードの選択を行います。

IN点		OUT点	
<ASSEMBLE>		FLAYER	T*R 00: 1:22:29.
IN 00:00:00:00		OUT 00:11:22:29	
ASSEM			
OFF			

SHIFT | F1 | F2 | F3 | F4 | F5 | F6

自動編集/マニュアル編集

- 編集モードが選択されている場合(**ASSEM** ボタンが点灯)は、本ASSEMBLE画面を抜けた後でも、自動編集/マニュアル編集を実行できます。
(ただし、STOP CODE操作メニュー内では不可)
- 編集IN/OUT点が登録された後(**IN** / **OUT** ボタンが点灯)は、本ASSEMBLE画面を抜けた後でも、IN点に対するプリロール・IN/OUT点に対するキューアップができます。
(ただし、STOP CODE操作メニュー内では不可/編集点登録も不可)

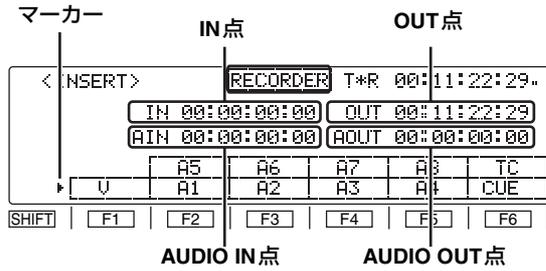
ファンクション ボタン/項目	切り替え方法	設定値	対応セットアップメニュー	設定内容
F1 ASSEM	トグル	OFF ON	—	編集モードのON/OFF 表示がハイライトされると、ASSEMBLE編集モードがONになり、ASSEMボタンが点灯します。
F2 —	—	—	—	—
F3 —	—	—	—	—
F4 —	—	—	—	—
F5 —	—	—	—	—
F6 —	—	—	—	—

_____ は、工場出荷モードです。

ファンクションメニュー (続き)

<INSERT>

INSERT 編集モードおよび編集チャンネルの選択を行います。



編集点登録

編集IN/OUT点の登録後は、**IN**/**OUT** ボタンが点灯します。

自動編集/マニュアル編集

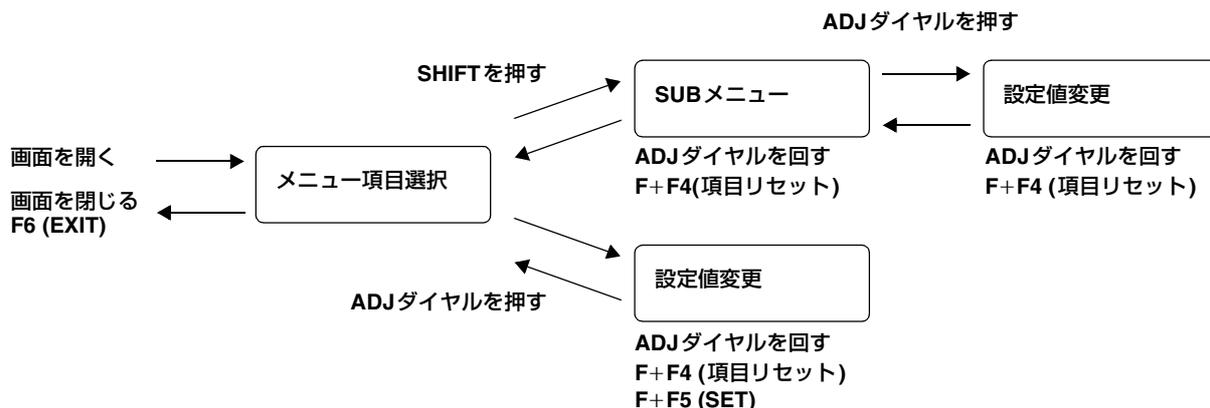
- 編集モードが選択されている場合 (**INSERT** ボタンが点灯)は、本INSERT画面を抜けた後でも、自動編集/マニュアル編集を実行できます。
(ただし、STOP CODE操作メニュー内では不可。)
- 編集IN/OUT点に登録された後 (**IN**/**OUT** ボタンが点灯)は、本INSERT画面を抜けた後でも、IN点に対するプリロール・IN/OUT点に対するキューアップができます。
(ただし、STOP CODE操作メニュー内では不可。/編集点登録も不可。)

ファンクションボタン/項目	切り替え方法	設定値	対応セットアップメニュー	設定内容
F1 V	トグル	—	—	編集モードの ON/OFF 及び編集チャンネルの選択。 ファンクションボタン (F1) 以外は、2種類のチャンネルが割り当てられています。 SHIFT ボタンでマーカを上下移動させ、チャンネルを特定しながらファンクションボタンを押して選択します。 他画面での、SHIFT ボタン (画面切替え) と意味が異なります。 編集モードの ON/OFF いずれかのチャンネル表示がハイライトされると、INSERT 編集モードがONになり、INSERT ボタンが点灯します。
F2 A5、A1				
F3 A6、A2				
F4 A7、A3				
F5 A8、A4				
F6 TC、CUE				

ファンクションメニュー (続き)

<SETUP MENU/SYSTEM MENU> (続き)

設定値変更の流れ



SETUP MENU ファンクションボタン

ファンクションボタン/項目	切り替え方法	設定値	対応セットアップメニュー	設定内容
F1 ↑ PREV	Push	—	—	オンスクリーンメニューのページ戻り
F2 ↓ NEXT	Push	—	—	オンスクリーンメニューのページ送り
F3 CANCEL	Push	—	—	—
F4 RESET	Push	—	—	項目リセット (設定内容変更中)
F5 SET	Push	—	—	設定内容の確定
F6 EXIT	Push	—	—	特殊メニューの終了(元メニューへ遷移) (確認メッセージ有り)
F1 (SHIFT) F2 (SHIFT) F3 (SHIFT) F4 (SHIFT) F5 (SHIFT) F6 (SHIFT) —	—	—	—	—

SYSTEM MENU ファンクションボタン

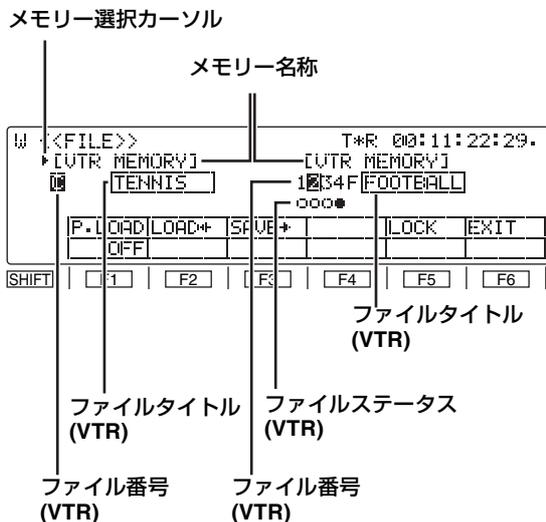
ファンクションボタン/項目	切り替え方法	設定値	対応セットアップメニュー	設定内容
F1 F2 —	—	—	—	—
F3 CANCEL	Push	—	—	—
F4 RESET	Push	—	—	項目リセット (設定内容変更中)
F5 SET	Push	—	—	設定内容の確定
F6 EXIT	Push	—	—	特殊メニューの終了(元メニューへ遷移) (確認メッセージ有り)
F1 (SHIFT) F2 (SHIFT) F3 (SHIFT) F4 (SHIFT) F5 (SHIFT) F6 (SHIFT) —	—	—	—	—

ファンクションメニュー (続き)

<FILE>

SETUP メニュー内容を含む現在の設定情報にタイトルを付けて4通りまでバックアップメモリへ保存/呼び出しができます。

<MENU>画面で **[F]** ボタンを押しながら **[F1]** (FILE)を押すと、下記のファンクションメニューが表示されます。



- 本機には現在の設定値*を保存するVTR MEMORY **[C]** と、それをバックアップ保存するVTR MEMORY **[1]** ~ **[4]** があります。
- それぞれのVTR MEMORYにはタイトルをつけることができます。
- VTR MEMORY **[C]** とVTR MEMORY **[1]** ~ **[4]** の間では、保存・呼び出し・タイトルのコピーができます。
- VTR MEMORY **[1]** ~ **[4]** には、上書きを防止するためのファイルロックができます。

* ここでの“設定値”とは、SYSTEMメニューを除くセットアップメニューの全ての設定値、PF1/PF2メニューの項目登録内容、一部のファンクションボタン内容を指します。

保存領域名称	初期タイトル(8文字)
VTR MEMORY C	CURRENT
VTR MEMORY 1	USER1
VTR MEMORY 2	USER2
VTR MEMORY 3	USER3
VTR MEMORY 4	USER4

設定

1 メモリ対象の選択

[SHIFT] ボタンを押します。

操作対象がVTR MEMORY **[C]** 側とVTR MEMORY **[1]** ~ **[4]** 側の間で交互に切り替わります。

2 選択メモリ内での、操作ファイルの選択

現在選択されているファイルは、ファイル番号が反転表示になっています。

ADJダイヤルを回すと、反転表示が左右に移動して操作ファイルを選択できます。

3 メモリ間のファイル転送

操作ファイルを選択した後に、**[F2]** (LOAD)を押します。VTR MEMORY **[1]** ~ **[4]** 内の選択されているファイル内容をVTR MEMORY **[C]** に転送できます。

[F] を選択して、**[F2]** (LOAD)を押すと、工場出荷モードになります。

また、**[F3]** (SAVE)を押すと、VTR MEMORY **[C]** のファイル内容をVTR MEMORY **[1]** ~ **[4]** 内の選択されているファイルに転送できます。(タイトルも同時に転送されます)

4 選択されたファイルのタイトル編集

操作ファイルを選択した後、ADJダイヤルを押します。タイトル表示部の1桁目が反転表示になり、ファイルのタイトルが編集できます。

- 数字を入力するときは、数字キーを押します。
- 文字を入力するときは、**[F]** ボタンを押しながら、入力したい文字が表示されるまで数字キーを連打します。
- 各数字キーには複数の文字が割り当てられています。
- タイトル表示部内での桁移動は、ADJダイヤルを回します。
- タイトルを確定するために、もう一度ADJダイヤルを押してください。

<ノート>

- タイトル編集中表示画面を切り替えたとき、または**[C]** ボタンを押したときは、編集可能状態が解除されて設定が無効になります。
- **[F]** ボタンと**[3]** ボタンを押すと、スペースが入力できます。

ファンクションメニュー (続き)

設定 (続き)

5 ファイルの上書き禁止

VTR MEMORY [1] ~ [4] の個々のファイルに対して、上書き禁止のロックを行うことができます。

ロックしたいファイルを選択し、[F5] (LOCK) を押すとロックされます。

もう一度 [F5] (LOCK) を押すと、ロックが解除されます。

ロック/ロック解除の状態はファイルステータスに表示されます。

[○]:ロック解除状態 / ●:ロック状態

ファンクション ボタン/項目	切り替え方法	設定値	対応セットアップメニュー	設定内容
F1 P. LOAD	Push	OFF USER1 USER2 USER3 USER4	A02 P.ON LOAD	セットアップメニューを参照してください。
F2 LOAD ←	Push	—	—	カレントファイルへのダウンロード
F3 SAVE →	Push	—	—	バックアップファイルへのダウンロード
F4 —	—	—	—	—
F5 LOCK	Push	—	—	バックアップファイルのロック
F6 EXIT	—	—	—	—
F1 (SHIFT) F2 (SHIFT) F3 (SHIFT) F4 (SHIFT) F5 (SHIFT) F6 (SHIFT) —	—	—	—	—

— は、工場出荷モードです。

<PF1/PF2>

よく使うセットアップメニュー項目を最高24項目まで登録することができます。

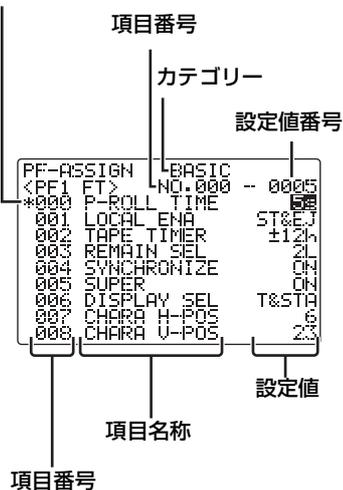
登録は下記のファンクションメニューで行います。

(工場出荷時は未設定です。)

ファンクションメニューを表示するには、<MENU SHIFT>画面で **[F]** ボタンを押しながら **[F1]** (PF1 FT)、**[F2]** (PF1 BK)、**[F3]** (PF2 FT)、**[F4]** (PF2 BK)のいずれかを押します。



項目選択カーソル



登録

1 ファンクションボタンの選択

ADJダイヤルを回して選択マーカを移動させ、登録したいファンクションボタン(**[F1]** ~ **[F6]**)を選びます。

2 ファンクションボタンの確定

ADJダイヤルを押します。
確定したファンクションボタンの表示が反転表示されます。

3 メニュー項目の選択

ADJダイヤルを回して、**1**で選択したファンクションボタンに対するメニュー項目を選びます。

4 メニュー項目の確定

ADJダイヤルを押します。
ADJダイヤルの操作対象はフロントパネルに戻ります。
登録メニュー番号/名称は**3**で選択した内容が表示されます。

5 他のファンクションボタンにメニュー項目を選択する場合は、操作**1**~**4**を繰り返します。

6 PF登録ファイルに保存

ファンクションボタンに設定した内容をPF登録ファイルに保存する場合は、**[F5]** (SET)を押します。

保存せずに**[F6]** (EXIT)を押すと、設定内容はキャンセルされます。

登録が行われると、ダイレクトメニューボタンのPF1やPF2を押すだけで、登録したメニューを呼び出すことができます。

[PF1] を押したとき: <PF1 FT>
[PF1] を押した後に **[SHIFT]** を押したとき: <PF1 BK>
[PF2] を押したとき: <PF2 FT>
[PF2] を押した後に **[SHIFT]** を押したとき: <PF2 BK>
 が呼び出されます。

削除

1 ADJダイヤルを回して選択マーカを移動させ、削除したいファンクションボタン(**[F1]** ~ **[F6]**)を選択します。

2 **[F4]** (RESET)を押します。登録メニュー番号/名称の表示はブランク表示となります。
他のファンクションボタンを削除する場合は、操作**1**、**2**を繰り返します。

3 ファンクションボタンに設定した内容をPF登録ファイルに保存する場合は、**[F5]** (SET)を押します。

4 保存せずに**[F6]** (EXIT)を押すと、上記設定内容がキャンセルされます。

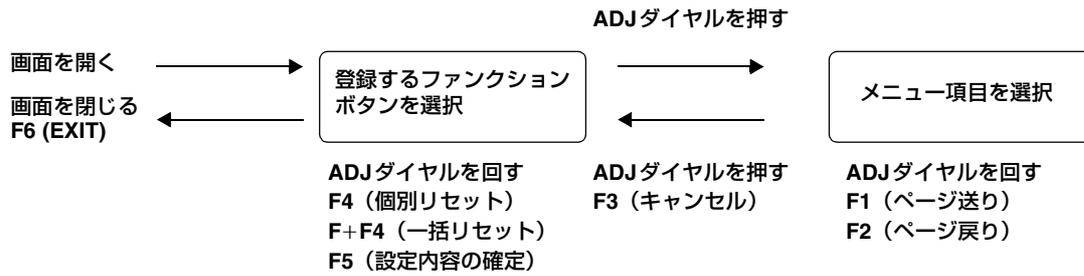
一括削除

[F] ボタンを押しながら **[F4]** (RESET)を押します。全ての登録メニュー番号/名称の表示はブランク表示となります。
PF登録ファイルの内容はすべて削除されます。(復元はできません)

ファンクションメニュー (続き)

<PF1/PF2> (続き)

ファンクションボタン登録の流れ



PF1/PF2ファンクションボタン

ファンクションボタン/項目	切り替え方法	設定値	対応セットアップメニュー	設定内容
F1 ↑ PREV	Push	—	—	オンスクリーンメニューのページ戻り
F2 ↓ NEXT	Push	—	—	オンスクリーンメニューのページ送り
F3 CANCEL	Push	—	—	メニュー項目選択状態の解除
F4 RESET	Push	—	—	個別リセット: 選択マーカで選択されている端子に対する選択内容をクリアします。
	F+Push			一括リセット: 全ての端子に対する登録内容をPF登録ファイルから削除します。
F5 SET	Push	—	—	設定内容の確定 (確認メッセージ無し)
F6 EXIT	Push	—	—	特殊メニューの終了(元メニューへ遷移) (確認メッセージ有り)
F1 (SHIFT) F2 (SHIFT) F3 (SHIFT) F4 (SHIFT) F5 (SHIFT) F6 (SHIFT) —	—	—	—	—

ファンクションメニュー (続き)

<PF1/PF2> (続き)

PF1/PF2 ファンクションボタン名称

ファンクションボタンにSETUPメニュー項目を登録した場合、ファンクションボタン名称は下表に従って表示されます。

セットアップメニュー No	セットアップメニュー名称	ファンクションボタン名称
000	P-ROLL TIME	PREROL
001	LOCAL ENA	L ENA
002	TAPE TIMER	TIMER
003	REMAIN SEL	REMAIN
004	SYNCHRONIZE	SYNCR
005	SUPER	SUPER
006	DISPLAY SEL	DISPLY
007	CHARA H-POS	C HPOS
008	CHARA V-POS	C VPOS
009	CHARA TYPE	C TYPE
010	MONI CONTROL	MONI C
011	CU-ROLL TIME	CU-ROL
012	REC ADJUST	REC AJ
013	DET STOP	DET ST
014	DET ADJUST	DET AJ
015	AUTO STEP	STEP
020	SYS FORMAT	SYS FT
022	PB FORMAT	PB FT
023	FORMAT SEL	FMT SL
030	HD FREQUENCY	HD FRQ
031	OUT REF	OUTREF
100	SEARCH ENA	SEARCH
101	SHTL MAX	STL MX
102	FF.REW MAX	F/R MX
104	REF ALARM	REF AL
105	AUTO EE SEL	AT EE
106	EJECT EE SEL	EJ EE
107	EE MODE SEL	EE MD
108	PLAY DELAY	PL DLY
109	CAP.LOCK	CAPSTN
110	AUTO REW	AT REW
111	MEMORY STOP	MEM ST
112	FRZ MODE SEL	FRZ MD
113	REC INH	R INH
114	REC INH LAMP	INH LP
115	EJECT SW INH	EJ SW
116	EJECT LAMP	EJ LP
118	SP MODE INH	SP MD
119	CONFI REC	CNFI R

セットアップメニュー No	セットアップメニュー名称	ファンクションボタン名称
131	PAGE MODE	PAGE
132	ROTA MODE	ROTATE
133	KEY BEEP	KEY BP
134	ALARM BEEP	AL BP
135	DET BEEP	DET BP
140	OUTPUT	OUTPUT
141	VOLUME	VOLUME
142	AUDIO UNITY	A UNI
143	CASSTT LIGHT	CAS LT
144	TC INPUT	TC IN
145	FRONT LCD	F LCD
146	SAVER DISP	SAVER
200	PARA RUN	PR RUN
202	ID SEL	ID SEL
204	RS232C SEL	RS232C
205	BAUD RATE	BAUD R
206	DATA LENGTH	DATA L
207	STOP BIT	ST BIT
208	PARITY	PARITY
209	RETURN ACK	RET AK
212	MASTER PORT	MSTR P
300	IN/OUT DEL	IO DEL
301	NEGA FLASH	NEGA F
302	CONFI EDIT	CONFI
303	AUD EDIT IN	AUD I
304	AUD EDIT OUT	AUD O
305	AUTO ENTRY	AT ENT
306	CF ADJ SEL	CF ADJ
307	AFTER CUE-UP	AF CUP
308	VAR FWD MAX	V F MX
309	VAR REV MAX	V R MX
310	JOG FWD MAX	J F MX
311	JOG REV MAX	J R MX
312	POSTROLL TM	POSROL
313	CLICK POINT	CLK PT
320	EDIT RPLCE1	RPLCE1
321	EDIT RPLCE2	RPLCE2
322	EDIT RPLCE3	RPLCE3
323	EDIT RPLCE4	RPLCE4
324	EDIT RPLCEC	RPLCEC

ファンクションメニュー (続き)

<PF1/PF2> (続き)

セットアップメニュー No	セットアップメニュー名称	ファンクションボタン名称
400	STILL TIMER	STILL
401	SRC PROTECT	SRC PT
402	DRUM STDBY	DRUM
403	STOP PROTECT	STP PT
500	VITC BLANK	VI BLK
501	VITC POS-1	VI PS1
502	VITC POS-2	VI PS2
503	TCG MODE	TCG MD
504	RUN MODE	RUN MD
505	TCG REGEN	TCG RG
506	REGEN MODE	REG MD
507	TC SOURCE	TC SRC
508	BINARY GP	BINARY
509	PHASE CORR	P CORR
510	TCG CF FLAG	TG CFF
511	DF MODE	DF MOD
512	TC OUT REF	TC REF
513	VITC OUT	VITC O
514	HD EMBD VITC	ENBD V
515	HD EMBD LTC	ENBD L
516	TC OUT ADV	TC ADV
517	TCG OUT	TCG O
600	VIDEO IN SEL	VID IN
601	VIDEO INT SG	INT SG
602	SDI IN MODE	SDI IN
603	V-MUTE SEL	V-MUTE
604	FREEZE SEL	FRZ SL
605	INTERPOLATE	INTPLT
606	SD MON O SEL	SD MOS
619	V_FILTER	V_FLTR
620	DOWNCON MODE	DW CON
621	UPCON MODE	UP CON
622	D/C RESP H	D/C RH
623	D/C RESP V	D/C RV
624	U/C RESP H	U/C RH
625	U/C RESP V	U/C RV
626	D/C ENH H	D/C EH
627	D/C ENH V	D/C EV
628	U/C ENH H	U/C EH
629	U/C ENH V	U/C EV
630	1080i → HD_OUT	1080HO
632	720p → HD_OUT	720pHO
636	SD → HD_OUT	SD HO

セットアップメニュー No	セットアップメニュー名称	ファンクションボタン名称
638	IN U/C MODE	IUC MD
639	I U/C RESP H	IUC RH
640	I U/C RESP V	IUC RV
641	I U/C ENH H	IUC EH
642	I U/C ENH V	IUC EV
643	IN BLK LINE	I BK L
650	STYLE	STYLE
651	HUE STYLE (SD)	HUE S
653	Y LVL (HD)	Y HD
654	Pb LVL (HD)	Pb HD
655	Pr LVL (HD)	Pr HD
656	BK LVL (HD)	BK HD
658	Y LVL (SD)	Y SD
659	Pb LVL (SD)	Pb SD
660	Pr LVL (SD)	Pr SD
661	BK LVL (SD)	BK SD
662	V LEVEL	V LV
663	C LEVEL	C LV
664	HUE	HUE
665	SETUP LVL	SUP LV
670	BRIGHTNESS	BRIGHT
671	COLOR LEVEL	COLOR
672	CONTRAST	CNTRST
673	BACKLIGHT	BACK L
676	BLK CLIP	B CLIP
680	CC (F1) BLANK	CC1 BK
681	CC (F2) BLANK	CC2 BK
684	EDH (SD)	EDH SD
685	ESR MODE (SD)	ESR SD
686	CCR MODE (SD)	CCR SD
687	SDI INDEX O	SDI IX
688	CC REC	CC REC
689	COMP MODE	CMP MD
690	UMID REC	UM REC
691	UMID GEN	UM GEN
692	UMID POS	UM POS
693	GAMMA SEL	GM SL
695	BLANK LINE	BK L

ファンクションメニュー (続き)

<PF1/PF2> (続き)

セットアップメニュー No	セットアップメニュー名称	ファンクションボタン名称
700	CH1 IN LV	A1 ILV
701	CH2 IN LV	A2 ILV
702	CH3 IN LV	A3 ILV
703	CH4 IN LV	A4 ILV
704	CUE IN LV	AC ILV
705	CH1 OUT LV	A1 OLV
706	CH2 OUT LV	A2 OLV
707	CH3 OUT LV	A3 OLV
708	CH4 OUT LV	A4 OLV
709	CUE OUT LV	AC OLV
710	MONIL OUT LV	ML OLV
711	MONIR OUT LV	MR OLV
712	MONI OUT	MONI O
713	CH1 IN SEL	A1 IN
714	CH2 IN SEL	A2 IN
715	CH3 IN SEL	A3 IN
716	CH4 IN SEL	A4 IN
717	CH5 IN SEL	A5 IN
718	CH6 IN SEL	A6 IN
719	CH7 IN SEL	A7 IN
720	CH8 IN SEL	A8 IN
721	D IN SEL12	DIN 12
722	D IN SEL34	DIN 34
723	D IN SEL56	DIN 56
724	D IN SEL78	DIN 78
725	REC CH1	REC A1
726	REC CH2	REC A2
727	REC CH3	REC A3
728	REC CH4	REC A4
729	REC CH5	REC A5
730	REC CH6	REC A6
731	REC CH7	REC A7
732	REC CH8	REC A8
733	REC CUE	RECCUE
734	PB FADE	PB FD
735	HD EMBD AUD	HDEM A
736	SD EMBD AUD	SDEM A
737	MONI MIX	M MIX
738	CH1 CUE SEL	A1 CSL
739	CH2 CUE SEL	A2 CSL
740	CH3 CUE SEL	A3 CSL
741	CH4 CUE SEL	A4 CSL
742	CH5 CUE SEL	A5 CSL
743	CH6 CUE SEL	A6 CSL
744	CH7 CUE SEL	A7 CSL
745	CH8 CUE SEL	A8 CSL
746	MONI CH SEL	MON CH
747	MON AUTO SEL	MON AT
748	MONI SEL INH	MS INH
749	AUDIO PB VR	APB VR
750	ANA CH1 SEL	AA1 SL

セットアップメニュー No	セットアップメニュー名称	ファンクションボタン名称
751	ANA CH2 SEL	AA2 SL
752	ANA CH3 SEL	AA3 SL
753	ANA CH4 SEL	AA4 SL
754	SD SDI CH1 SL	SSA1SL
755	SD SDI CH2 SL	SSA2SL
756	SD SDI CH3 SL	SSA3SL
757	SD SDI CH4 SL	SSA4SL
758	JOG PROC	JOG P
759	DV PB ATT	DV ATT
760	REC PT MUTE	R PTMT
761	AUDIO INT SG	A INSG
762	AUD RATE CON	A RC
763	METER SCALE	M SCL
776	REF LEVEL	REF LV
785	IN IMP CH1SL	IMP A1
786	IN IMP CH2SL	IMP A2
787	IN IMP CH3SL	IMP A3
788	IN IMP CH4SL	IMP A4
789	IN IMP CUE SL	IMP C
790	CUE REC VOL	CR VOL
791	CUE PB VOL	CP VOL
880	DIF SPEED	DF SPD
882	DIF IN CH	DF ICH
883	DIF OUT CH	DF OCH
886	DIF CONFIG	DF CFG
890	DIF AUD OUT	DF AO
891	DIF DV AUDIO	DF DVA
892	DIF SIG CMD	DF CMD
894	HD → DIF OUT	HD DO
895	50M → DIF OUT	50M DO
896	25M → DIF OUT	25M DO
899	DIF SUPER	DF SPR
A02	P.ON LOAD	P.LOAD

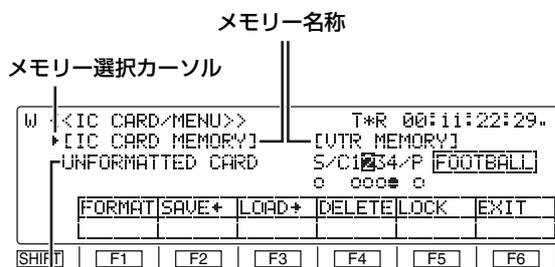
ファンクションメニュー (続き)

<CARD>

各種設定や情報を SD メモリーカードに保存/呼び出しができます。

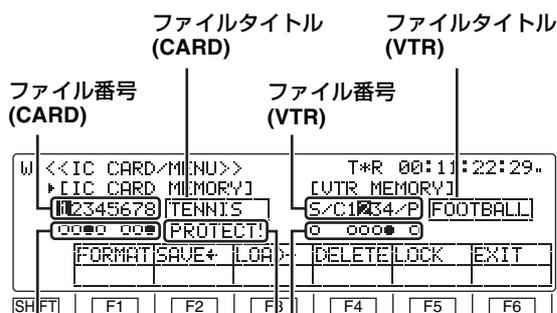
<MENU>画面で、**[F]** ボタンを押しながら **[F2]** (CARD)を押すと、下記のファンクションメニューが表示されます。

[MENU/ERROR LOG/MULTI CUE]



ワーニングメッセージ1

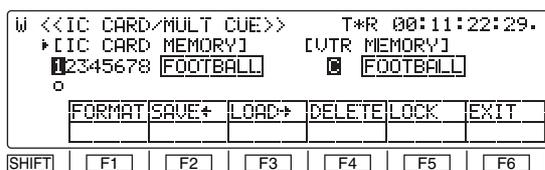
SYSTEM MENU/SETUP MENU/ 50PIN ASSIGN



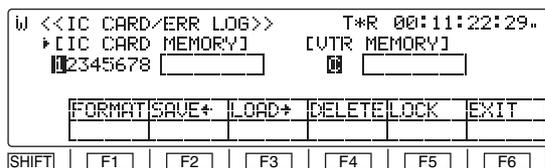
ファイルステータス (CARD) ファイルステータス (VTR)

ワーニングメッセージ2

MULTI CUE



ERROR LOG



<ノート>

- 使用できるSDメモリーカードの容量は8MB～2GBです。
- SDメモリーカードは必ず本機でフォーマットしてください。
- SRAMカードは使用できません。
- SDHCメモリーカードは使用できません。

ワーニングメッセージ1

SDメモリーカードについての警告が表示されます。

NO CARD

SDメモリーカードが挿入されていません。

UNFORMATTED CARD

SDメモリーカードがフォーマットされていません。

ワーニングメッセージ2

PROTECT!

SDメモリーカードのプロテクトがONになっています。

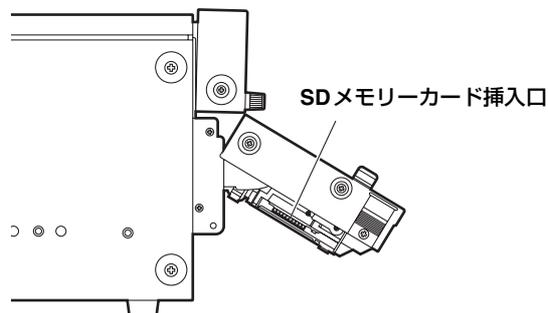
ACCESS!

[F1] (FORMAT)、**[F2]** (SAVE)、**[F4]** (DELETE)、**[F5]** (LOCK) およびファイルタイトル (CARD) の編集操作を実行すると表示されます。

	ファイルステータス (CARD)	ファイルステータス (VTR)
□	保存ファイルが存在しません。	-----
○	保存ファイルが存在します。(ロック解除状態)	対象ファイルはロック解除状態です。
●	保存ファイルが存在します。(ロック状態)	対象ファイルはロック状態です。

SDメモリーカードを入れるには

SDメモリーカード (別売品) の切り欠き部を上にしてフロント左側のSDメモリーカード挿入口に差し込みます。



<ノート>

SDメモリーカードの向きが正しいことを確認してからSDメモリーカードを入れてください。入れる際に抵抗があって入りにくいときはSDメモリーカードが裏向き、または上下が逆になっている恐れがあります。無理に押し込まず、向きを再度確認して正しく入れ直してください。

SDメモリーカードを取り出すには

ワーニングメッセージ2に「ACCESS!」が表示されていないことを確認してからSDメモリーカードをさらに本体側に押し込みます。SDメモリーカードが挿入口から浮いてきますので、カードをつかみ、引き抜きます。

使用時、保管時は以下の点にご注意ください

- 高温多湿を避ける。
- 水滴をつけない。
- 帯電を避ける。
- ワーニングメッセージ2に「ACCESS!」が表示されているときは、SDメモリーカードにアクセス中ですので、SDメモリーカードの取り出しはおやめください。

ファンクションメニュー (続き)

<CARD> (続き)

[MENU/ERROR LOG/MULTI CUE]

SDメモリーカード データ配置	ロック		VTRメモリーデータ配置	ロック	
SETUP MENU	1	○ ↔	SETUP MENU (PF1/PF2 × ニュー項目登録内 容、一部のファン クションボタン内 容)	カレント	×
	2			USER1	○
	3			USER2	○
	4			USER3	○
	5			USER4	○
	6				
	7				
	8				
50 PIN ASSIGN	1	○ ↔	50 PIN ASSIGN	カレント	○
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
SYSTEM MENU	1	○ ↔	SYSTEM MENU	カレント	○
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				

SDメモリーカード データ配置	ロック		VTRメモリーデータ配置	ロック	
MULTI CUE	1	○ ↔	MULTI CUE	カレント	×
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
ERROR LOG	1	○ ↔	ERROR LOG	カレント	×
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				

- SDメモリーカードは本機のVTR MEMORYにあるSETUP MENU(カレント、USER1～USER4)/SYSTEM MENUの設定値、50PIN ASSIGNの登録内容、MULTI CUEの登録ポイント、ERROR LOGの内容を保存・呼び出しが可能です。
- 全てのデータファイルに対してタイトルをつけることができ、保存・呼び出しの際には同時にタイトルのコピーも行います。
- SDメモリーカード上に保存されたデータファイルに対しては、上書きを防止する為にファイルロックが可能です。

設定

1 メモリ対象の選択

[SHIFT] を押します。

操作対象がSDメモリーカード側とVTR MEMORY側の間で交互に切り替わります。

2 選択メモリ内での、操作ファイルの選択

現在選択されているファイルは、ファイル番号が反転表示になっています。

ADJダイヤルを回して、操作するファイルを選びます。

- SETUP MENU/SYSTEM MENU/50PIN ASSIGNの場合
SDメモリーカード側の登録状況表示は、VTR MEMORY側でS (SYSTEM MENU)、C1234 (SETUP MENU)、P (50PIN ASSIGN)のどれを選択するかで内容が自動的に切り替わります。

3 メモリ間のファイル転送

● VTR MEMORY側→SDメモリーカード側

操作ファイルを選択した後に、**[F2]** (SAVE) を押します。

● SDメモリーカード側→VTR MEMORY側

操作ファイルを選択した後に、**[F3]** (LOAD) を押します。

<ノート>

- タイトルも同時に転送されます。
- VTR MEMORY側へファイル転送を行った後は、ファイル内容の保存処理に約5秒の時間が必要です。ファイル転送後に電源をOFFにするときは、転送から約5秒以上待ってから電源をOFFにしてください。

4 選択されたファイルのタイトル編集

操作ファイルを選択した後、ADJダイヤルを押します。タイトル表示部の1桁目が反転表示になり、ファイルのタイトルが編集できます。

- 数字を入力するときは、数字キーを押します。
- 文字を入力するときは、**[F]** ボタンを押しながら、入力したい文字が表示されるまで数字キーを連打します。
- 各数字キーには複数の文字が割り当てられています。
- タイトル表示部内での桁移動は、ADJダイヤルを回します。
- タイトルを確定するために、もう一度ADJダイヤルを押してください。

<ノート>

- タイトル編集中に表示画面を切り替えたとき、または**[C]** ボタンを押したときは、編集可能状態が解除されて設定が無効になります。
- **[F]** ボタンと**[3]** ボタンを押すと、スペースが入力できます。

ファンクションメニュー (続き)

<CARD> (続き)

5 ファイルの上書き禁止

SDメモリーカードの個々のファイルに対して、上書き禁止のファイルロックができます。

●ファイルをロック

ロックしたいファイルを選択し、**[F5]** (LOCK)を押します。

●ファイルロックを解除

もう一度 **[F5]** (LOCK)を押します。

<ノート>

ロック/ロック解除の状態はファイルステータスに表示されます。

[○:ロック解除状態 / ●:ロック状態]

ファンクション ボタン/項目	切り替え方法	設定値	対応セットアップメニュー	設定内容
F1 FORMAT	F+Push	—	—	SDメモリーカードのフォーマット
F2 SAVE ←	Push	—	—	SDメモリーカードファイルへの転送
F3 LOAD →	Push	—	—	SDメモリーカードファイルからの転送
F4 DELETE	F+Push	—	—	SDメモリーカードファイルの削除
F5 LOCK	Push	—	—	SDメモリーカードファイル/VTR MEMORY ファイルのロック
F6 EXIT	—	—	—	—
F1 (SHIFT) F2 (SHIFT) F3 (SHIFT) F4 (SHIFT) F5 (SHIFT) F6 (SHIFT) —	—	—	—	—

<STOP CODE>

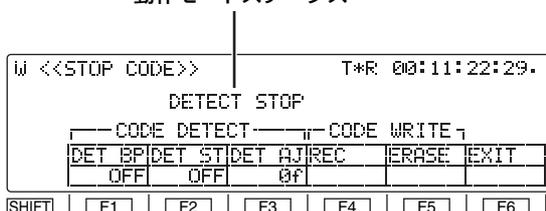
STOP CODEの記録/消去を行います。

<CUE SHIFT> 画面で **[F]** ボタンを押しながら **[F1]** (S CODE) を押すと、下記のファンクションメニューが表示されます。

<ノート>

- 「REMOTE」 状態でセットアップメニュー No.001 (LOCAL ENA) が 「ENA」 以外の場合、<STOP CODE> 画面へ移行できません。また、「REMOTE」 状態で、<STOP CODE> 画面にすでに入っているときは、ストップコードの記録/消去はできません。
- システムメニュー項目 No.25 (SYSTEM FREQ) で 23/24Hz または 25Hz (HD、SD)、50Hz (HD、SD) モードを選択している時、**[F1]** (S CODE) は表示されなくなり、<STOP CODE> 画面へ移行できません

動作モードステータス



動作モードステータス

表示	内容
RECORDING	ストップコード記録中
ERASING	ストップコード消去中
DETECTING	ストップコード記録部分を再生中
DETECT STOP	ストップコード検出停止中

ストップコードの設定

ストップコードの検出動作、ストップコード検出時の停止位置の設定はファンクションボタン **[F1]** ~ **[F3]** で行います。

ストップコードの記録 (下図参照)

1. ファンクションボタン **[F4]** (REC) を押して ON 状態にします。
2. PLAY、JOG モードなどで <ストップコード記録基準点> の頭出しをします。
3. AUTO EDIT ボタンを押します。
AUTO EDIT ボタンを押したところが <ストップコード記録基準点> となります。
8秒前にプリロールしてから記録動作を始め、ストップコードを記録した後に自動停止します。

<ノート>

- REC INH 状態では本動作は実行されません。
- 動作を途中で止めるには STOP ボタンを押します。

記録開始位置の指定

セットアップメニュー No.01 2 (REC ADJUST) で <ストップコード記録基準点> の何秒前からストップコードを記録するかを設定してください。

記録の確認

PREVIEW/REVIEW ボタンを押します。
ストップコード記録開始位置の5秒前にプリロールし、再生を開始します。ストップコードが正常に検出された場合はファンクションボタン **[F3]** (DET AJ) の設定に従って停止します。

<ノート>

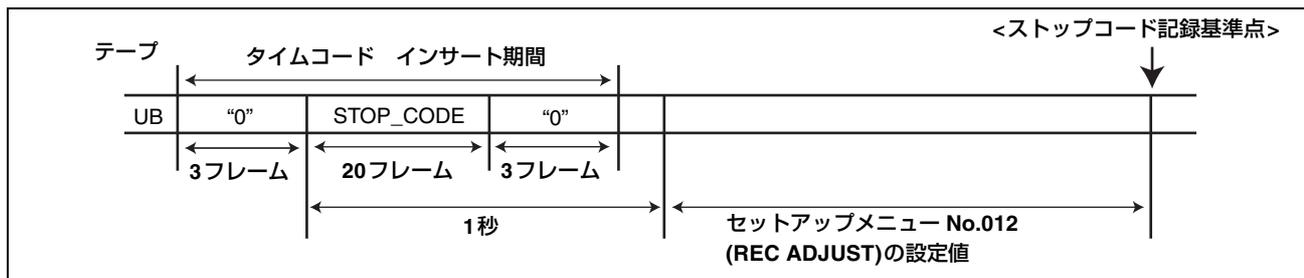
ストップコード記録後に <STOP CODE> 画面を抜けるまで PREVIEW/REVIEW ボタンでの記録確認ができます。

ストップコードの消去

1. 「ストップコード検出による停止」 モードで消去したいストップコードで停止します。
2. ファンクションボタン **[F5]** (ERASE) を押して ON 状態にします。
3. AUTO EDIT ボタンを押します。
ストップコード記録点の5秒前にプリロールしてから消去動作を始め、ストップコードを消去した後に自動停止します。

消去の確認

PREVIEW/REVIEW ボタンを押します。ストップコード記録開始位置の5秒前にプリロールし、再生を開始します。



ファンクションメニュー (続き)

<STOP CODE> (続き)

ストップコードの検出

ストップコードが書き込んだテープを再生するとき、<STOP CODE> メニューの **[F1]** (DET BP)、**[F2]** (DET ST) の設定によって下記の動作になります。

<ノート>

STOP CODE画面以外でも下記の動作になります。

DET BP	DET ST	ストップコード検出時のVTRの動作
OFF	OFF	現状の動作を継続する
OFF	ON	停止する(NORMAL PLAY 走行中)
LOW/ HIGH	OFF	停止しない 設定された音量の検出音を鳴らす
LOW/ HIGH	ON	設定された音量の検出音を鳴らし、停止 (NORMAL PLAY 走行中)する

ストップコードが検出できるテープ走行モードと速度範囲は次のようになります。

走行モード/速度	検出	50ピン出カタイミング	停止するタイミング
NORMAL PLAY	する	5回読みとったとき *1	<STOP CODE> メニューの [F3] (DET AJ)で設定
SLOW, SHUTTLE (0~±1倍速)	する	4回読みとったとき	動作しない
SLOW, SHUTTLE (1倍速超~±8倍速)	する	2回読みとったとき	動作しない
REC, EDIT, JOG, CUE UP, PREROLL, SHUTTLE (±8倍速超)	しない	動作しない	動作しない

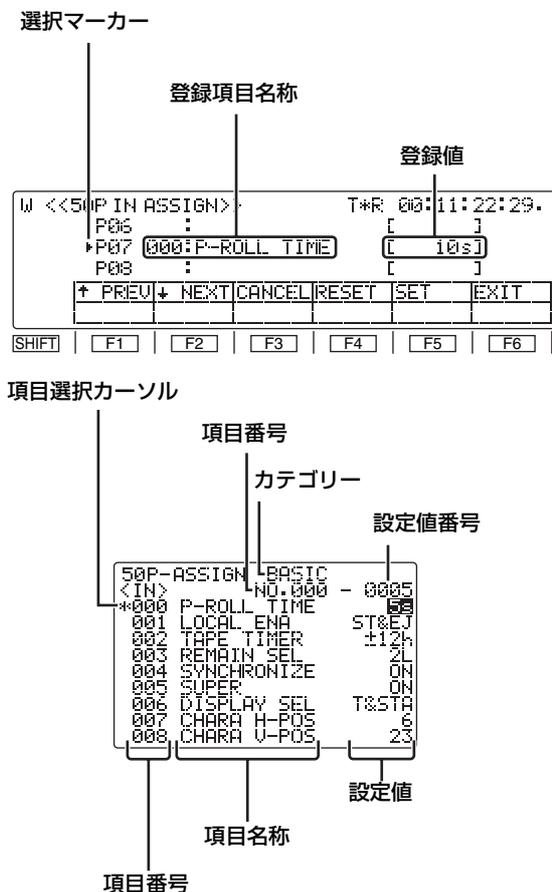
*1 ストップコードにより停止した後は、停止またはスタンバイ OFF以外の状態になるまで「ストップコードにより停止」状態を保持します。

ファンクション ボタン/項目	切り替え方法	設定値	対応セットアップメニュー	設定内容
F1 DET BP	トグル	OFF LOW HIGH	No.135 DET BEEP	ストップコード検出音の大きさを設定します。
F2 DET ST	トグル	OFF ON	No.013 DET STOP	ストップコード検出時の動作を設定します。 0:PLAY動作を継続します 1:強制STOPします。
F3 DET AJ	トグル+ADJ	-8f ~ 0f ~ 3s10f	No.014 DET ADJUST	ストップコードを検出した場合、テープ走行を停止する位置を通常の停止位置からストップコード記録基準点に近づく方向に-8フレーム~3秒10フレームの範囲でフレーム単位で調整します。
F4 REC	トグル	—	—	STOP CODEをREC/ERASEする場合にONします。 (ON選択は排他となっています。)
F5 ERASE	トグル	—	—	ERASEはストップコード検出により停止した場合のみONにできます。
F6 EXIT	—	—	—	—
F1 (SHIFT) F2 (SHIFT) F3 (SHIFT) F4 (SHIFT) F5 (SHIFT) F6 (SHIFT)	—	—	—	—

<50P IN/OUT ASSIGN>

パラレルリモート(50PIN)端子に対して、入力端子への機能登録/出力端子へのステータス登録をフロントパネル及びオンスクリーンメニューを使用していきます。

<MENU SHIFT> 画面で **[F]** ボタンを押しながら **[F5]** (50P IN) または **[F6]** (50P OT) を押すと、下記のファンクションメニューが表示され、登録や削除を行います。



登録項目名称

各端子にはセットアップメニュー項目及び50PIN端子専用メニュー項目を登録することができ、そのメニュー名称が表示されています。

登録値

各端子に登録されたメニュー項目における一つの設定値が表示されています。

上記内容が登録されているIN端子にアクティブ信号が入力されると、登録メニューに対する設定値がVTR内部で有効となります。

また、登録メニューに対する設定値が登録値と一致したときに、登録されているOUT端子からアクティブ信号を出力します。

機能登録できる端子

IN端子: PIN6~20、22、23、25

OUT端子: PIN21、24、32~46、48

上記以外の端子は予約端子で変更はできません。

IN端子		OUT端子	
		21	フリーアサイン領域
		24	フリーアサイン領域
		26	<電源>
1	REC	27	REC
2	PLAY	28	PLAY
3	FF	29	FF
4	REW	30	REW
5	STOP	31	STOP
6	フリーアサイン領域	32	フリーアサイン領域
↑		↑	
↓		↓	
20		46	
22		48	
23			
25			
		47	<GND>
		49	<GND>
		50	<GND>

入力/出力端子へ登録できる項目

入力/出力端子には共にセットアップメニューと同様の項目を登録することができ、入力/出力端子に対してそれぞれ別途指定する専用項目が登録できます。

<ノート>

システムメニュー及びサブメニュー内容は登録できません。

項目番号	入力端子登録	出力端子登録
000	セットアップメニューリスト	<未表示>
100		
200		
300		
400		
500		
600		
700		
800		
B00	IN専用メニューリスト	<未表示>
C00	<未表示>	OUT専用メニューリスト

ファンクションメニュー (続き)

<50P IN/OUT ASSIGN> (続き)

入力端子への機能登録/アクティブ入力

出力端子への機能登録/ステータス出力

1 50pin端子の選択

ADJダイヤルを回して選択マーカを移動させ、登録したい50pin端子を選びます。

2 50pin端子の確定

ADJダイヤルを押します。
確定した50pin端子の表示が反転表示されます。

3 メニュー項目の選択

ADJダイヤルを回して、1.で選択した50pin端子に対するメニュー項目を選びます。

4 メニュー項目の確定

ADJダイヤルを押します。
オンスクリーンの設定値表示が点滅します。

5 設定値の選択

ADJダイヤルを回して、3で選択したメニュー項目に対する設定値を選びます。

6 設定値の確定

ADJダイヤルを押します。
ADJダイヤルの操作対象はフロントパネルに戻ります。
登録項目名称には3で選択した内容が、登録値には5で選択した内容が表示されます。

7 他の50pin端子にメニュー項目および設定値を選択する場合は、操作1~6を繰り返します。

8 50pin登録ファイルに保存

50pin端子に設定した内容を50pin登録ファイルに保存する場合は[F5](SET)を押します。
保存せずに[F6](EXIT)を押すと、上記設定内容はキャンセルされます。

削除

1 ADJダイヤルを回して選択マーカを移動させ、削除したい50pin端子を選択します。

2 [F4](RESET)を押します。登録項目名称/登録値の表示はブランク表示となります。

3 他の50pin端子を削除する場合は、操作1、2を繰り返します。

4 50pin端子に設定した内容を50pin登録ファイルに保存する場合は、[F5](SET)を押します。
保存せずに[F6](EXIT)を押すと、上記設定内容はキャンセルされます。

一括リセット

[F] ボタンを押しながら[F4](RESET)を押します。全ての登録項目名称/登録値は工場出荷設定になります。(復元はできません)

IN専用メニューリスト

No. SUPER DISPLAY	設定内容
セットアップメニューには存在しない機能	
B00 STBY ON	STANDBY ON モードへ移行します。
B01 STBY OFF	STANDBY OFF モードへ移行します。
B02 STBY ONOFF	STANDBY ON/OFF モードを交互に移行します。
B03 EJECT	EJECTモードへ移行します。
B04 CUE	IN点が登録されている場合は、IN点に対してPREROLLを実行します。 IN点が登録されていない場合は、現在点に対してPREROLLを実行します。
B05 IN SET	編集IN点を登録します。
B06 STILL	静止画(STILL)モードへ移行します。
B07 422 REM ON	9 pin端子が機能します。
B08 422 REM OFF	9 pin端子が機能しません。
B09 TC EXT	TC SOURCEを以前のEXTモードに戻します。 (現在がEXTモードの場合は切り替えは発生しません。)
B10 TC INT AUTO	TC SOURCEをINTに、TCG MODEをAUTOに切り替えます。
B11 TC EXT_L REG	TC SOURCEをEXT_Lに切り替え、TCG MODEをREGENに切り替えます。
SRC PROTECT/STOP PROTECT の設定を同時に切り替え	
B20 PROTECT HALF	STOP状態、またはサーチモード(JOG/SHTL/SLOW)のSTILL状態で放置されたときのテープ保護モードの動作を、ハーフローディングに切り替えます。
B21 PROTECT T-REL	STOP状態、またはサーチモード(JOG/SHTL/SLOW)のSTILL状態で放置されたときのテープ保護モードの動作を、テンションリリースに切り替えます。
UPCON MODE/DOWNCON MODE の設定を同時に切り替え	
B22 UD LT-BOX	ダウンコンバート時の画角をレターボックスに、アップコンバート時の画角を垂直方向に対して上下部カット状態に切り替えます。
B23 UD S-CROP	ダウンコンバート時の画角をサイドカットモードに、アップコンバート時の画角をサイドパネルモードに切り替えます。
B24 UD SQUEEZE	ダウンコンバート時の画角をスクウィーズモードに、アップコンバート時の画角をストレッチモードに切り替えます。

ファンクションメニュー (続き)

<50P IN/OUT ASSIGN> (続き)

OUT専用メニューリスト

No. SUPER DISPLAY	設定内容
C00 EJECT	EJECTステータス
C01 STBY ON	STANDBY ONステータス
C02 CUE	CUE-UP 完了ステータス
C03 STILL	STILL ステータス
C04 PANEL STOP	フロントパネルのSTOP ボタン押し下げステータス
C05 PRE CTL	ノーマル記録時、上書き禁止かどうかのステータス
C06 422 REM ON	9 pin 端子の機能ステータス
C07 REMOTE	50 pin 端子の機能ステータス
C08 REC INH1	記録禁止ステータス1
C09 REC INH2	記録禁止ステータス2
C10 CAS INH1	テープの記録禁止ステータス1
C11 CAS INH2	テープの記録禁止ステータス2
C12 TC SRC1	TC 入カステータス1
C13 TC SRC2	TC 入カステータス2
C14 DC1	ダウンコンステータス1
C15 DC2	ダウンコンステータス2
C16 DC3	ダウンコンステータス3
C17 UC1	アップコンステータス1
C18 UC2	アップコンステータス2
C19 UD1	アップコン/ダウンコンステータス1
C20 UD2	アップコン/ダウンコンステータス2
C21 UD3	アップコン/ダウンコンステータス3
C22 ERR0	エラーステータス0
C23 ERR1	エラーステータス1
C24 ERR2	エラーステータス2
C25 STOP CODE	ストップコード検出による停止ステータス
C26 CH GREEN	チャンネルコンディションGREEN LED
C27 CH AMBER	チャンネルコンディションAMBER LED
C28 CH RED	チャンネルコンディションRED LED

No. SUPER DISPLAY	設定内容
C29 SERVO LOCK	サーボロックLED
C30 V UNITY	VIDEO UNITY LED
C31 A UNITY	AUDIO UNITY LED

ファンクションメニュー（続き）

<50P IN/OUT ASSIGN>（続き）

OUT 専用メニューリスト中の複数ピンによるステータス状態を示します。ただし、端子状態の「1」は Active_L、0は OPENを示します。

エラーステータス

C22 ERR0	C23 ERR1	C24 ERR2	エラー状態
0	0	0	SERVO NOT LOCKED (優先順位1)
0	0	1	SERVO LOCKED (優先順位4)
0	1	0	HIGH ERROR (アンバー) (優先順位3)
0	1	1	HIGH ERROR (赤) (優先順位2)

アップコン/ダウンコンステータス

C19 UD1	C20 UD2	C21 UD3	ダウンコンバート ステータス	アップコンバート ステータス
0	0	0	スクウィーズモード	ストレッチモード
0	1	0	サイドカットモード	サイドパネルモード
1	0	0	レターボックス モード	垂直方向の上部と下部 のカット
1	1	1	上記の組み合わせ以外	

TC入力ステータス

C12 TC SRC1	C13 TC SRC2	TC入力ステータス
0	0	外部SLTC
0	1	外部LTC
1	0	外部SVITC (SD入力時は外部VITC)
1	1	INT

テープの記録禁止ステータス

C10 CAS INH1	C11 CAS INH2	テープの記録禁止ステータス
0	0	カセット記録許可
0	1	カセット誤消去防止

記録禁止ステータス

C08 REC INH1	C09 REC INH2	記録禁止ステータス
0	0	ノーマル記録時の上書き禁止
0	1	カセットへの全面記録禁止
1	0	上記2つ以外の記録禁止モード
1	1	カセットへの記録可能

ダウンコンバートステータス

C14 DC1	C15 DC2	C16 DC3	ダウンコンバートステータス
0	0	0	スクウィーズモード
0	1	0	サイドカットモード
1	0	0	レターボックスモード
1	1	0	14:9
1	1	1	13:9

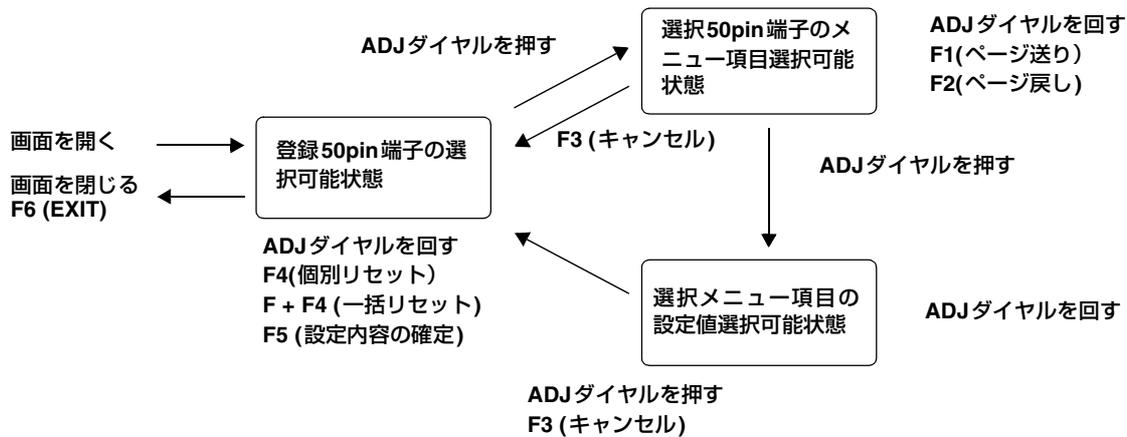
アップコンバートステータス

C17 UC1	C18 UC2	アップコンバートステータス
0	0	ストレッチモード
0	1	サイドパネルモード
1	0	垂直方向の上部と下部のカット

ファンクションメニュー (続き)

<50P IN/OUT ASSIGN> (続き)

登録の流れ



50P IN/OUT ASSIGN ファンクションボタン

ファンクション ボタン/項目	切り替え方法	設定値	対応セットアップメニュー	設定内容
F1 ↑ PREV	Push	—	—	オンスクリーンメニューのページ戻り
F2 ↓ NEXT	Push	—	—	オンスクリーンメニューのページ送り
F3 CANCEL	Push	—	—	メニュー項目選択状態の解除
F4 RESET	Push	—	—	個別リセット: 選択マーカで選択されている端子に対する選択内容をクリアします。
	F+Push	—	—	一括リセット: 全ての端子に対する登録内容を工場出荷設定にし、50ピン登録ファイルに設定します。
F5 SET	Push	—	—	ファイル登録: すべてのファンクションボタンの設定を50ピン登録ファイルに保存します。
F6 EXIT	Push	—	—	特殊メニューの終了(元メニューへ遷移)
F1 (SHIFT) F2 (SHIFT) F3 (SHIFT) F4 (SHIFT) F5 (SHIFT) F6 (SHIFT) —	—	—	—	—

ファンクションメニュー (続き)

<50P IN/OUT ASSIGN> (続き)

50ピン アサインの工場出荷設定

PIN 番号	I/O	設定項目
1	I	REC
2	I	PLAY
3	I	FF
4	I	REW
5	I	STOP
6	I	—
7	I	—
8	I	422 REMOTE ON
9	I	422 REMOTE OFF
10	I	LOCAL ENABLE
11	I	EJECT
12	I	IN SET
13	I	REC INH ALL
14	I	REC INH PRE
15	I	LOCAL DISABLE
16	I	TC EXT
17	I	TC INT&TCG MODE AUTO
18	I	—
19	I	—
20	I	STNDBY ON/OFF
21	O	ERR0 STATUS
22	I	DET STOP ON
23	I	CUE
24	O	ERR1 STATUS
25	I	DET STOP OFF
26	電源	
27	O	REC STATUS
28	O	PLAY STATUS
29	O	FF STATUS
30	O	REW STATUS
31	O	STOP STATUS
32	O	422 REMOTE STATUS
33	O	EJECT STATUS
34	O	ERR2 STATUS
35	O	TC SRC1 STATUS
36	O	TC SRC2 STATUS
37	O	—
38	O	—
39	O	REC INH1 STATUS
40	O	REC INH2 STATUS
41	O	CUE STATUS
42	O	REMOTE STATUS
43	O	DET STOP STATUS
44	O	PRE CTL DETECTED STATUS
45	O	LOCAL ENABLE STATUS
46	O	STANDBY ON STATUS
47	GND	
48	O	—
49	GND	
50	GND	

—は制御/ステータス対象が無いことを示します。

<ノート>

- COMMANDはTTLレベル、アクティブLOWエッジは100msec以上の電気信号を入力してください。
- STATUSはオープンコレクタ、シンク電流はMax. 6mAで出力されます。

システムメニュー

No./項目	設定内容
05 ENCODER SEL	<p>ビデオ出力信号の各調整を本機で行うか、外部のエンコーダリモートコントローラから行うかを設定します。</p> <p>0000 REMOTE 外部のエンコーダリモートコントローラから、ビデオ出力信号の各調整を行います。</p> <p>0001 LOCAL 本機でビデオ出力信号の各調整を行います。</p> <p>0002 BOTH 本機及び外部のエンコーダリモートコントローラから、ビデオ出力信号の各調整を行います。</p> <p><ノート> ● 外部エンコーダリモートコントローラから調整を行った場合、各調整値はセットアップメニューの各調整項目に反映されます。ただし調整操作を終えて約5秒が経過しなければ、各調整項目に反映された数値は、本機に保存されません。外部エンコーダリモートコントローラで調整操作を行ったのち電源を切るときは、操作を終えて約5秒以上待ってから、電源をお切りください。 ● IEEE1394デジタル出力には、このメニューの設定は無効になります。</p>
06 V LEVEL CTRL	<p>外部のエンコーダリモートコントローラからビデオ出力レベルを調整する場合、制御する対象を選択します。</p> <p>0000 HD HD のビデオ出力レベルが調整できます。</p> <p>0001 SD SD のビデオ出力レベルが調整できます。</p> <p>0002 BOTH HD/SD 共に、ビデオ出力レベルが調整できます。</p> <p><ノート> セットアップメニュー No.650 (STYLE) で「CMPST」が選択されている場合、この項目の設定に関わらずBOTHが選択された状態になります。</p>

____は工場出荷モードです。

ビデオ出力信号の各調整について
各調整の制御マトリクスを下表に示します。

セットアップメニュー No.650 (STYLE) でCMPNTを選択した場合

設定	調整項目		
05: ENCODER SEL	06: V LEVEL CTRL	653: Y LVL (HD) 654: Pb LVL (HD) 655: Pr LVL (HD) 656: BK LVL (HD)	658: Y LVL (SD) 659: Pb LVL (SD) 660: Pr VL (SD) 661: BK LVL (SD)
REMOTE	HD	外部エンコーダリモート	調整不可
	SD	調整不可	外部エンコーダリモート
	BOTH	外部エンコーダリモート	外部エンコーダリモート
LOCAL	HD	本機	本機
	SD		
	BOTH		
BOTH	HD	外部エンコーダリモート/本機	本機
	SD	本機	外部エンコーダリモート/本機
	BOTH	外部エンコーダリモート/本機	外部エンコーダリモート/本機

外部エンコーダリモート：

外部エンコーダリモートのみの調整となります。

本機：

セットアップメニューのみの調整となります。

外部エンコーダリモート/本機：

外部エンコーダリモート及びセットアップメニューから調整可能です。

<ノート>

外部のエンコーダリモートコントローラは、AJ-ER50をご使用ください。ただし、エンコーダリモートコントローラの「VIDEO PHASE」および「SYNC PHASE」は動作しません。

セットアップメニュー No.650 (STYLE) でCMPSTを選択した場合

設定	調整項目	
05: ENCODER SEL	06: V LEVEL CTRL	662: V LEVEL 663: C LEVEL 664: HUE 665: SETUP LVL
REMOTE	HD	外部エンコーダリモート
	SD	
	BOTH	
LOCAL	HD	本機
	SD	
	BOTH	
BOTH	HD	外部エンコーダリモート/本機
	SD	
	BOTH	

外部エンコーダリモート：

外部エンコーダリモートのみの調整となります。

本機：

セットアップメニューのみの調整となります。

外部エンコーダリモート/本機：

外部エンコーダリモート及びセットアップメニューから調整可能です。

<ノート>

外部のエンコーダリモートコントローラは、MT-2000 (MUSASHI製/推奨品)をご使用ください。ただし、エンコーダリモートコントローラの「VIDEO PHASE」、「SYNC PHASE」、「SC PHASE」は動作しません。

システムメニュー（続き）

No./項目	設定内容																																										
12 SYS H (HD) ^{UP}	HD SDI 出力のシステム位相の調整を行います。 13.5nSステップ -：進む、+：遅れる																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"><59/60Hz></th> <th colspan="2"><23/24Hz></th> <th colspan="2"><50Hz></th> </tr> <tr> <th colspan="2"><25Hz(HD,SD)></th> <th colspan="2"><50Hz(HD,SD)></th> <th colspan="2"><50Hz(HD,SD)></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0000</td><td>-2200</td><td>0000</td><td>-2750</td><td>0000</td><td>-2640</td> </tr> <tr> <td>:</td><td>:</td><td>:</td><td>:</td><td>:</td><td>:</td> </tr> <tr> <td>2200</td><td>0</td><td>2750</td><td>0</td><td>2640</td><td>0</td> </tr> <tr> <td>:</td><td>:</td><td>:</td><td>:</td><td>:</td><td>:</td> </tr> <tr> <td>4400</td><td>2200</td><td>5500</td><td>2750</td><td>5280</td><td>2640</td> </tr> </tbody> </table>	<59/60Hz>		<23/24Hz>		<50Hz>		<25Hz(HD,SD)>		<50Hz(HD,SD)>		<50Hz(HD,SD)>		0000	-2200	0000	-2750	0000	-2640	:	:	:	:	:	:	2200	0	2750	0	2640	0	:	:	:	:	:	:	4400	2200	5500	2750	5280	2640
	<59/60Hz>		<23/24Hz>		<50Hz>																																						
<25Hz(HD,SD)>		<50Hz(HD,SD)>		<50Hz(HD,SD)>																																							
0000	-2200	0000	-2750	0000	-2640																																						
:	:	:	:	:	:																																						
2200	0	2750	0	2640	0																																						
:	:	:	:	:	:																																						
4400	2200	5500	2750	5280	2640																																						
14 SYS SC (SD) ^{DW}	アナログコンポジット出力および SD SDI 出力のシステム位相を調整します。 可変範囲±180°以上 -：進む、+：遅れる																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"><59/60Hz></th> <th colspan="2"><50Hz></th> </tr> <tr> <th colspan="2"><23/24Hz></th> <th colspan="2"><25Hz(HD,SD)></th> </tr> <tr> <th colspan="2"><50Hz(HD,SD)></th> <th colspan="2"><50Hz(HD,SD)></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0000</td><td>-108</td><td>0000</td><td>-115</td> </tr> <tr> <td>:</td><td>:</td><td>:</td><td>:</td> </tr> <tr> <td>0108</td><td>0</td><td>0115</td><td>0</td> </tr> <tr> <td>:</td><td>:</td><td>:</td><td>:</td> </tr> <tr> <td>0216</td><td>108</td><td>0230</td><td>115</td> </tr> </tbody> </table>	<59/60Hz>		<50Hz>		<23/24Hz>		<25Hz(HD,SD)>		<50Hz(HD,SD)>		<50Hz(HD,SD)>		0000	-108	0000	-115	:	:	:	:	0108	0	0115	0	:	:	:	:	0216	108	0230	115										
	<59/60Hz>		<50Hz>																																								
<23/24Hz>		<25Hz(HD,SD)>																																									
<50Hz(HD,SD)>		<50Hz(HD,SD)>																																									
0000	-108	0000	-115																																								
:	:	:	:																																								
0108	0	0115	0																																								
:	:	:	:																																								
0216	108	0230	115																																								
<ノート> 60Hz/24Hz時は動作しません。																																											
15 VO SYS H (SD) ^{DW}	アナログコンポジット出力のシステム位相の調整を行います。 37nSステップ -：進む、+：遅れる																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"><59/60Hz,></th> <th colspan="2"><50Hz></th> </tr> <tr> <th colspan="2"><23/24Hz></th> <th colspan="2"><25Hz(HD,SD)></th> </tr> <tr> <th colspan="2"><50Hz(HD,SD)></th> <th colspan="2"><50Hz(HD,SD)></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0000</td><td>-1716</td><td>0000</td><td>-1728</td> </tr> <tr> <td>:</td><td>:</td><td>:</td><td>:</td> </tr> <tr> <td>1716</td><td>0</td><td>1728</td><td>0</td> </tr> <tr> <td>:</td><td>:</td><td>:</td><td>:</td> </tr> <tr> <td>3432</td><td>1716</td><td>3456</td><td>1728</td> </tr> </tbody> </table>	<59/60Hz,>		<50Hz>		<23/24Hz>		<25Hz(HD,SD)>		<50Hz(HD,SD)>		<50Hz(HD,SD)>		0000	-1716	0000	-1728	:	:	:	:	1716	0	1728	0	:	:	:	:	3432	1716	3456	1728										
	<59/60Hz,>		<50Hz>																																								
<23/24Hz>		<25Hz(HD,SD)>																																									
<50Hz(HD,SD)>		<50Hz(HD,SD)>																																									
0000	-1716	0000	-1728																																								
:	:	:	:																																								
1716	0	1728	0																																								
:	:	:	:																																								
3432	1716	3456	1728																																								
16 SD SYS H (SD) ^{DW}	SD SDI 出力のシステム位相の調整を行います。 37nS ステップ -：進む、+：遅れる																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"><59/60Hz,></th> <th colspan="2"><50Hz></th> </tr> <tr> <th colspan="2"><23/24Hz></th> <th colspan="2"><25Hz(HD,SD)></th> </tr> <tr> <th colspan="2"><50Hz(HD,SD)></th> <th colspan="2"><50Hz(HD,SD)></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0000</td><td>-1716</td><td>0000</td><td>-1728</td> </tr> <tr> <td>:</td><td>:</td><td>:</td><td>:</td> </tr> <tr> <td>1716</td><td>0</td><td>1728</td><td>0</td> </tr> <tr> <td>:</td><td>:</td><td>:</td><td>:</td> </tr> <tr> <td>3432</td><td>1716</td><td>3456</td><td>1728</td> </tr> </tbody> </table>	<59/60Hz,>		<50Hz>		<23/24Hz>		<25Hz(HD,SD)>		<50Hz(HD,SD)>		<50Hz(HD,SD)>		0000	-1716	0000	-1728	:	:	:	:	1716	0	1728	0	:	:	:	:	3432	1716	3456	1728										
	<59/60Hz,>		<50Hz>																																								
<23/24Hz>		<25Hz(HD,SD)>																																									
<50Hz(HD,SD)>		<50Hz(HD,SD)>																																									
0000	-1716	0000	-1728																																								
:	:	:	:																																								
1716	0	1728	0																																								
:	:	:	:																																								
3432	1716	3456	1728																																								

No./項目	設定内容									
18 SCH (SD) ^{DW}	アナログコンポジット出力の SCH (Sub Carrier to Horizontal) 位相の調整を行います。 [SHIFT] ボタンを押すとサブメニュー画面に移り、サブメニュー画面から戻るには、再度 [SHIFT] ボタンを押します。									
	サブメニュー画面									
00 COARSE	SCH 位相調整：90° ステップ (SC位相が変化し、H位相は変化しません。)									
	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>0000</td><td>0</td> </tr> <tr> <td>0001:</td><td>90</td> </tr> <tr> <td>0002:</td><td>180</td> </tr> <tr> <td>0003:</td><td>270</td> </tr> </tbody> </table>	0000	0	0001:	90	0002:	180	0003:	270	
0000	0									
0001:	90									
0002:	180									
0003:	270									
01 FINE	SCH 位相調整：可変範囲±45° 以上 -：進む、+：遅れる (SC位相が変化し、H位相は変化しません。)									
	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>0000</td><td>-32</td> </tr> <tr> <td>:</td><td>:</td> </tr> <tr> <td>0032</td><td>0</td> </tr> <tr> <td>:</td><td>:</td> </tr> <tr> <td>0064</td><td>32</td> </tr> </tbody> </table>	0000	-32	:	:	0032	0	:	:	0064
0000	-32									
:	:									
0032	0									
:	:									
0064	32									

_____は工場出荷モードです。

*UPはHD出力時(HDテープ再生またはアップコン出力時)

*DWはSD出力時(SDテープ再生またはダウンコン出力時)

システムメニュー（続き）

No./項目	設定内容
20 AV PHASE	<p>VIDEO 出力に対しての、AUDIO 出力の位相を調整します。</p> <p>20.8 μsステップ</p> <p>－：映像出力に対して、音声出力の位相が進みます。</p> <p>＋：映像出力に対して、音声出力の位相が遅れます。</p> <p>0000 -100 ： 0100 0 ： 0200 100</p>
25 SYSTEM FREQ*	<p>システム周波数の選択を行います。</p> <p>0000 59/60 59.94 Hz または、60 Hz のシステム周波数を選択します。</p> <p>0001 50i/25P 50 Hz または、25 PsF のシステム周波数を選択します。</p> <p>このとき、1080/25 PsF フォーマットの信号は、1080/50i フォーマットと同様に記録することや再生することが可能です。</p> <p>0002 23/24 23.98 Hz または 24 Hz のシステム周波数を選択します。</p> <p>0003 25(HD) 25 Hz のシステム周波数を選択します。ただし、SD SDI 出力とアナログコンポジット出力はHD SDI出力に対して約1フィールド遅延します。</p> <p>0004 25(SD) 25 Hz のシステム周波数を選択します。ただし、HD SDI 出力からブラック信号が出力されます。</p> <p>0005 50(HD) 50 Hz のシステム周波数を選択します。ただし、SD SDI 出力とアナログコンポジット出力はHD SDI出力に対して約1フィールド遅延します。</p> <p>0006 50(SD) 50 Hz のシステム周波数を選択します。ただし、HD SDI 出力からブラック信号が出力されます。</p> <p>59/60Hzモード 0 (59/60)を選択している状態 50Hzモード 1 (50i/25P)を選択している状態 23/24Hzモード 2 (23/24)を選択している状態 25Hz(HD)モード 3 (25(HD))を選択している状態 25Hz(SD)モード 4 (25(SD))を選択している状態 50Hz(HD)モード 5 (50(HD))を選択している状態 50Hz(SD)モード 6 (50(SD))を選択している状態</p> <p><ノート> システム周波数の切り替えに手順については、114 ページを参照してください。</p>

No./項目	設定内容
26 HD SYS H ADV	<p>HD 出力を SD 出力に対して 90H、位相を進ませる出力を選択します。</p> <p>0000 0H HD/SD 出力とも、HD/SD REF 入力と同位相で出力します。</p> <p>0001 90H HD 出力は SD 出力より 90H 進んだ位相で出力します。</p> <p>なお、SD REF 入力時は REF 入力と SD 出力が同位相になり、HD REF 入力時は REF 入力と HD 出力が同位相になります。</p> <p><ノート> ● オーディオ出力および TC 出力は、HD 出力と同位相で出力します。 ● 720p 時は、120H の位相差となります。</p>
30 MENU LOCK	<p>システムファイルのロックモードの設定/解除を選択します。</p> <p>0000 OFF ロック解除(変更可能)</p> <p>0001 ON ロック設定(変更禁止)</p> <p><ノート> 「ON」を選択しても SD メモリーカードからシステムファイルを呼び出したときは上書きされます。</p>

*システムの切り替えについて

- システムメニューおよびセットアップメニュー項目の中で、それぞれの動作モード [59/60Hz、50Hz、23/24Hz、25Hz(HD、SD)、50Hz(HD、SD)] で設定値の内容が異なる項目に対しては、別々に保存されます。
(システムメニューおよびセットアップメニュー一覧で、動作モードごとに設定値の説明がなされているものが対象です。)
- 詳しくは、<システム周波数の切り替えに伴うメニュー管理> (115 ページ) をご覧ください。
- 23/24Hz または 25Hz(HD、SD)、50Hz(HD、SD) モードを選択した場合、本機は再生専用機となりますので、EE や記録、編集に関する機能は全て禁止状態となります。また、CTL を選択することはできません。
(関連メニューおよびファンクションボタンは非表示となり、操作が禁止されます。)
STOP → PLAY 等テープ走行が1倍速になる瞬間のみ、REF 入力とテープの同期をとるため、数フレーム間映像が乱れ、音声ミュートとなります。

____は工場出荷モードです。

セットアップメニュー

<BASIC>

No./項目	設定内容
000 P-ROLL TIME	<p>プリロール時間を設定します。 0秒～30秒の間で1秒単位で設定できます。</p> <p>0000 0s : 0005 5s : 0030 30s</p> <p><ノート></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自動編集 [PREVIEW、AUTO EDIT] 時は、プリロール時間が0秒に設定されていると動作しません。 ● セットアップメニュー No.004 (SYNCHRONIZE) の設定で、2台のデッキ間で調相して編集する場合は、プリロール時間を2秒以上に設定してください。
001 LOCAL ENA	<p>「REMOTE」状態のとき、フロントパネルで操作可能な走行系のボタンを選択します。</p> <p>0000 DIS すべて不可 0001 ST&EJ STOP、EJECT ボタンのみ可能 0002 ENA RECORDER、PLAYER ボタン以外すべて可能</p> <p><ノート></p> <p>以下のボタン、ダイヤルはこの設定に関わらず常に動作します。 オーディオ入出力レベルの調整ダイヤル、オーディオチャンネル切替ボタン、数字キー、ファンクションボタン、ダイレクトメニューボタン、ASSEM ボタン、INSERT ボタン、ADJダイヤル、ヘッドホン音量調整ダイヤル、MONITOR SELECT ボタン、METER(FULL/FINE)切替スイッチ、REMOTE ボタン</p>
002 ^{*1} TAPE TIMER	<p>CTL カウンタ表示の 12/24 時間表示を選択します。</p> <p>0000 ±12h 12時間表示 0001 24h 24時間表示</p>
003 REMAIN SEL	<p>HD SDI MONITOR/SD SDI MONITOR/VIDEO OUT3 端子のスーパー表示に REMAIN(テープ残量時間)を表示するかどうかを選択します。</p> <p>0000 OFF 表示しません。 0001 2L 2行目にテープ残量時間を表示します。 0002 1L 1行目にテープ残量時間を表示します。 0003 R/TTL 1行目にテープ残量時間を表示し、2行目にテープ総量を表示します。</p> <p><ノート></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「2L」選択時、セットアップメニュー No.006 (DISPLAY SEL) が「TIME」に設定されている場合は表示しません。 ● 「R/TTL」選択時、セットアップメニュー No.006 (DISPLAY SEL) が「TIME」に設定されている場合は表示しません。
004 ^{*1} SYNCHRONIZE	<p>2台のデッキ間で調相するかしないかを設定します。</p> <p>0000 OFF 調相をかけません。編集点が数フレームずれますが編集に素早く入れます。 0001 ON 調相をかけます。誤差のない編集をすることができます。</p>

No./項目	設定内容
005 SUPER	<p>HD SDI MONITOR/SD SDI MONITOR/VIDEO OUT3 端子にタイムコード等のスーパー表示を行うかどうかを選択します。</p> <p>0000 OFF 表示しません。 0001 ON 表示します。</p> <p><ノート></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 1394出力はセットアップメニュー No.899 (DIF SUPER) の設定に従います。 ● システムメニューNo.25 (SYSTEM FREQ) で23/24Hz、25Hz(HD)、50Hz(HD)モードを選択しているときは、SD SDI MONITOR/VIDEO OUT3 端子にタイムコードなどのスーパーは表示されません。また25Hz (SD)、50Hz (SD)モードを選択しているときは、HD SDI MONITOR端子にタイムコードなどのスーパーは表示されません。
006 DISPLAY SEL	<p>HD SDI MONITOR/SD SDI MONITOR/VIDEO OUT3 端子のタイムコード等のスーパー表示内容を選択します。 下記において、「データ」とはHOMEメニューの [F3] (TC/CTL) で選択されている CTL/TC/UB の値をさします。</p> <p>0000 TIME データのみを表示します。 0001 T&STA データ・動作状態を表示します。 0002 T&S&M データ・動作状態・モードを表示します。 0003 T&RT データ・REC TIMEを表示します。 0004 T&YMD データ・REC DATE(年月日)を表示します。 0005 T&MDY データ・REC DATE(月日年)を表示します。 0006 T&DMY データ・REC DATE(日月年)を表示します。 0007 T&UB データ・ユーザーズビットを表示します。 ただし、HOMEメニューの [F3] (TC/CTL) でUBを選択している時は、ユーザーズビットの次にタイムコードが表示されます。 0008 T&CTL データ・CTLを表示します。 ただし、HOMEメニューの [F3] (TC/CTL) でCTLを選択している時は、CTLデータの次にタイムコードが表示されます。 0009 T&T データ・タイムコードを表示します。</p> <p><ノート></p> <ul style="list-style-type: none"> ● T&S&M設定時に、ワーニングまたはエラーが発生した場合は、エラーメッセージを表示します。 ● REC TIME および REC DATEはDV/DVCPMフォーマット再生時のみ表示します。DVCPRO HD-LP/DVCPRO HD/DVCPRO50/DVCPROフォーマット時は動作モードを表示します。

*1 システムメニュー項目No.25 (SYSTEM FREQ) で23/24Hzまたは25Hz (HD、SD)、50Hz (HD、SD)モードを選択している時、この項目は表示されません。

_____は工場出荷モードです。

セットアップメニュー (続き)

<BASIC> (続き)

No./項目	設定内容
007 CHARA H-POS	<p>HD SDI MONITOR/SD SDI MONITOR/VIDEO OUT3 端子のタイムコード等のスーパー表示、および IEEE1394 デジタルインターフェイスから出力するスーパー表示の水平方向文字位置を設定します。</p> <p>0000 0 : : 0006 6 : : 0037 37</p> <p><ノート> 本項目設定時は、SUPER OFFであっても、DISPLAY SELの状態ではHD SDI MONITOR/SD SDI MONITOR/VIDEO OUT3 端子へ出力します。ただし、MENUを抜けた場合は、SUPER OFF/ONの設定に従います。また、CHARA TYPEはMENU中の設定状態で出力します。</p>
008 CHARA V-POS	<p>HD SDI MONITOR/SD SDI MONITOR/VIDEO OUT3 端子のタイムコード等のスーパー表示、および IEEE1394 デジタルインターフェイスから出力するスーパー表示の垂直方向文字位置を設定します。</p> <p>0000 0 : : 0023 23 : : 0032 32</p> <p><ノート> 本項目設定時は、SUPER OFFであっても、DISPLAY SELの状態ではHD SDI MONITOR/SD SDI MONITOR/VIDEO OUT3 端子へ出力します。ただし、MENUを抜けた場合は、SUPER OFF/ONの設定に従います。またCHARA TYPEはMENU中の設定状態で出力します。</p>
009 CHARA TYPE	<p>HD SDI MONITOR/SD SDI MONITOR/VIDEO OUT3 端子のスーパー表示、および IEEE1394 デジタルインターフェイスから出力するスーパー表示および、セットアップメニュー等の表示タイプを選択します。</p> <p>0000 WHITE 白文字を黒のベタ塗りの背景で表示します。 0001 W/OUT 白文字で黒のふちどりで表示します。</p> <p><ノート> CHARA TYPEはMENU中の設定状態で出力します。</p>
010*1 MONI CONTROL	<p>デッキ対デッキ編集時、モニタがレコーダ側だけに接続されている場合、レコーダ側の PLAYER ボタンを押すことにより、強制的にレコーダを EE モードにし、プレーヤの再生信号をモニタに出力するかどうかを設定します。</p> <p>0000 MANU 強制的にEEモードにはなりません。 0001 AUTO 強制的にEEモードになり、プレーヤの再生信号が出力されます。</p>

No./項目	設定内容
011 CU-ROLL TIME	<p>MULTI CUE モードにおける、プリロール時間を設定します。 0~15秒の間で1秒単位で設定できます。</p> <p>0000 0s : : 0005 5s : : 0015 15s</p>
012*1 REC ADJUST	<p>ストップコード記録基準点の何秒前からストップコードを記録するかを選択します。 0~5秒の間で1秒単位で設定できます。</p> <p>0000 0s : : 0003 3s : : 0005 5s</p> <p><ノート> ファンクションメニューの<STOP CODE> (74 ページ)を参照してください。</p>
013*1 DET STOP	<p>ストップコード検出時の動作を設定します。</p> <p>0000 OFF PLAY 動作を継続します。 0001 ON 強制STOP します。</p>
014*1 DET ADJUST	<p>ストップコードを検出した場合、テープ走行を停止する位置を通常の停止位置からストップコード記録基準点に近づく方向に-8フレーム~3秒10フレームの範囲でフレーム単位で調整します。</p> <p>0000 -8f : : 0008 0f : : 0108 3s10f</p>
015 AUTO STEP	<p>エラーログ機能において、ワーニングメッセージは最大 99 個まで保存できますが、この容量を越えた場合の保存処理を選択します。</p> <p>0000 OFF 99個を上限とし、以降に発生したワーニングメッセージは保存されません。 0001 ON 99個を保存し、以降に発生したワーニングメッセージは99番目に保存されます。既に保存されているワーニングメッセージは下位番目方向に順次シフトされます。</p>
020*1 SYS FORMAT	<p>HD REF 信号を含めた記録・再生フォーマットを選択します。</p> <p>0000 1080i 1080i を選択します。 0001 720p 720p を選択します。</p>

*1 システムメニュー項目 No.25 (SYSTEM FREQ) で23/24Hz または25Hz (HD、SD)、50Hz (HD、SD) モードを選択している時、この項目は表示されません。

_____は工場出荷モードです。

セットアップメニュー (続き)

<BASIC> (続き)

No./項目	設定内容
022 PB FORMAT	<p>テープ再生時のフォーマットを選択します。</p> <p>0000 MANUAL セットアップメニュー No.023 (FORMAT SEL) の設定に従います。</p> <p>0001 AUTO1 テープに記録されているフォーマットに従います。再生中、フォーマットが変わった場合は逐次そのフォーマットに合わせて再生フォーマットの切り替えを行います。</p> <p>0002 AUTO2 再生開始時、SERVOランプ点灯後、1秒以上再生フォーマットに変化がない場合は、現在の再生フォーマットに固定されます。固定された再生フォーマットは、再生モードを解除しない限りテープに記録されたフォーマットが変化しても、そのまま固定されます。</p>
023 FORMAT SEL	<p>セットアップメニュー No.022 (PB FORMAT) が「MANUAL」に設定されている場合のフォーマットを選択します。</p> <p>また、「AUTO」に設定されている場合は再生開始のフォーマットとなり、再生されるとフォーマットを自動検出して再生テープのフォーマットに合わせます。</p> <p>0000 HD-LP DVCPRO HD-LPフォーマットを選択し、セットアップメニュー No.020 (SYS FORMAT) の設定に従います。</p> <p>0001 HD-SP DVCPRO HDフォーマットを選択し、セットアップメニュー No.020 (SYS FORMAT) の設定に従います。</p> <p>0002 50M DVCPRO50 (422)フォーマットを選択します。</p> <p>0003 25M DVCPRO (411)フォーマットを選択します。</p> <p>0004 DV DVフォーマットを選択します。</p> <p>0005 DVCAM DVCAMフォーマットを選択します。</p>
030*1 HD FREQUENCY	<p>フィールド周波数を設定します。</p> <p>0000 59/23 59.94/23.98Hzに設定します。</p> <p>0001 60/24 60/24Hzに設定します。</p> <p><ノート></p> <ul style="list-style-type: none"> ● ここで設定したフィールド周波数は、OUT REF 設定に対応した入力がないときのみ有効になります。対応する入力がある場合は、フィールド周波数は入力のフィールド周波数と一致します。 ● HD SDI出力が60Hz/24Hzで出力されているときは、SD SDIはNO SYNC、アナログコンポジットは白/黒モード (パーストオフ) で出力されず。

No./項目	設定内容
031*2 OUT REF	<p>ビデオ出力のリファレンスを選択します。</p> <p>0000 AUTO HD REF入力があるときは、そのHD REF信号がリファレンスになります。HD REF信号がなく、SD REF信号があるときは、SD REF信号がリファレンスになります。HD REF信号もSD REF信号もないときは、シリアル信号がリファレンスになります。HD REF信号もSD REF信号もシリアル信号もないときは、内部同期信号がリファレンスになります。</p> <p>0001 INPUT シリアル入力信号がリファレンスになります。ないときは内部基準になります。</p> <p>0002 HD_REF HD REF入力信号がリファレンスになります。ないときは内部基準になります。</p> <p>0003 SD_REF SD_REF入力信号がリファレンスになります。ないときは内部基準になります。</p> <p>0004 E-AUTO 編集モードのときは、「INPUT」に設定したときと同じ状態になります。編集モード以外のときは、「AUTO」に設定したときと同じ状態になります。</p> <p><ノート> 詳細は「Tape再生時の再生基準信号仕様」(45ページ)を参照してください。</p>

- *1 システムメニュー項目No.25(SYSTEM FREQ) で50Hzまたは25Hz (HD、SD)、50Hz (HD、SD)モードを選択している時、この項目は表示されません。
- *2 システムメニュー項目No.25(SYSTEM FREQ) で23/24Hzモードを選択している時、この項目は表示されません。

____は工場出荷モードです。

セットアップメニュー（続き）

<BASIC>（続き）

テープ再生時のフォーマットについて

022: PB FORMAT	020: SYS FORMAT	023: FORMAT SEL	再生 フォーマット
MANUAL	1080i	HD_LP	DVCPRO HD-LP(1080i)
		HD_SP	DVCPRO HD(1080i)
		50M	DVCPRO50(422)
		25M	DVCPRO(411)
		DV	DV
		DVCAM	DVCAM
	720p	HD_LP	DVCPRO HD-LP(720p)
		HD_SP	DVCPRO HD (720p)
		50M	DVCPRO50 (422)
		25M	DVCPRO (411)
		DV	DV
		DVCAM	DVCAM
AUTO	-----	-----	DVCPRO HD-LP (1080i)/ DVCPRO HD (1080i)/ DVCPRO HD-LP (720p)/ DVCPRO HD (720p)/ DVCPRO50 (422)/ DVCPRO (411)/ DV/DVCAM、自動検出

<ノート>

- EJECT時はセットアップメニュー No.020 (SYS FORMAT)により選択されたフォーマットとなります。
- セットアップメニュー No.022 (PB FORMAT)が「AUTO」に設定されている場合、フォーマット未検出時(テープ挿入時)のフォーマットはセットアップメニュー No.023 (FORMAT SEL)に従います。
ただし、「DV」「DVCAM」が選択されている場合は、「HD-LP」が選択されているものとして動作します。

セットアップメニュー (続き)

<OPERATION>

No./項目	設定内容
100 SEARCH ENA	ダイレクトサーチダイヤル操作を選択します。 0000 DIAL ダイレクトサーチダイヤルの操作になります。 0001 KEY サーチボタンを押さないとサーチモードに移行しません。
101 SHTL MAX	シャトル動作の最大速度を設定します。 0000 x9.8 × 9.8倍速 0001 x16 × 16倍速 0002 x32 × 32倍速 <ノート> 実際の走行速度はテープフォーマットによりスパー表示と少し異なります。
102 FF. REW MAX	FF、REW 動作の最大速度を設定します。 0000 x16 × 16倍速 0001 x32 × 32倍速 0002 x50 × 50倍速 0003 x60 × 60倍速 0004 x100 × 100倍速 <ノート> DVCPRO HD/DVCPRO50は最大50倍速、DV/DVCAMは最大32倍速に自動的にリミットされます。
104 REF ALARM	REF. VIDEO が接続されていないときに警告表示するかどうかを選択します。 0000 OFF 表示しません。 0001 ON STOPランプを点滅させることで警告表示します。
105*1 AUTO EE SEL	セットアップメニュー No.140 (OUTPUT) が「EE」のとき、EE 状態になる VTR のモードを選択します。 0000 S/F/R STOP、FF、REW のときに、EE 状態になります。 0001 STOP STOP のときのみ、EE 状態になります。

*1 システムメニュー項目 No.25(SYSTEM FREQ) で23/24Hzまたは25Hz (HD、SD)、50Hz (HD、SD)モードを選択している時、この項目は表示されません。

_____ は、工場出荷モードです。

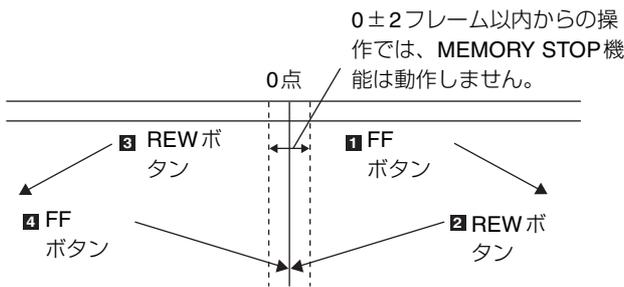
No./項目	設定内容
106 EJECT EE SEL	テープ EJECT 時の映像や音声の出力状態を選択します。 0000 EE セットアップメニュー No.140 (OUTPUT) の設定に関係なく常に EE モードになります。 0001 BLACK セットアップメニュー No.140 (OUTPUT) の設定により EE 時： EE 状態になります。 TAPE 時： 映像は、BLACK 出力、音声は、ミュート出力になります。 0002 GRAY セットアップメニュー No.140(OUTPUT) の設定により EE 時： EE 状態になります。 TAPE 時： 映像は GRAY 出力、音声は、ミュート出力になります。 <ノート> システムメニュー項目 No.25 (SYSTEM FREQ) で23/24Hzまたは25Hz (HD、SD)、50Hz (HD、SD) モードを選択している場合、「EE」を選択すると、映像は BLACK 出力、音声はミュート出力になります。
107*1 EE MODE SEL	EE モード時の出力信号を選択します。 0000 NORMAL 内部で信号処理した時間分、遅延した信号を出力します。 0001 THRU HD SDI 信号選択時の HD SDI 出力、および SD SDI 信号選択時の SD SDI 出力は、内部で信号処理を加えず、遅延なしの状態のまま信号を出力します。 それ以外の出力は、内部で信号処理した時間分、遅延した状態で出力します。 <ノート> ビデオ入力で1394またはINT-SGを選択した場合、この項目の設定にかかわらず「NORMAL」として動作します。
108 PLAY DELAY	PLAY の立ち上がり時間をフレーム単位で設定します。 0000 0 : 0015 15
109*1 CAP. LOCK	再生フレーミングのロックを何フィールド単位で行うかを選択します。 <59/60Hz> <50Hz> 0000 2F 0000 2F 0001 4F 0001 4F 0002 8F
110 AUTO REW	テープ終端を検出した場合、自動的にテープ始端まで巻き戻すかどうかを選択します。 0000 OFF テープ終端で停止します。 0001 ON テープ始端まで巻き戻します。

セットアップメニュー (続き)

<OPERATION> (続き)

No./項目	設定内容
111* ¹ MEMORY STOP	<p>CTL モードの FF および REW 動作において、カウンタ値が 0 の位置で自動的に停止するかどうかを選択します。</p> <p>0000 OFF VTRは停止しません。 0001 ON VTRは自動的に停止します。</p> <p><ノート> ● 停止モードは、セットアップメニュー No.307 (AFTER CUE-UP) の設定により STOP モードまたは静止画 (SHTL STILL, SLOW STILL) モードとなります。 ● AUTO REW 機能と MEMORY 機能が同時に選択されている場合、AUTO REW 機能が優先となります。</p>
112 FRZ MODE SEL	<p>再生画像から STANDBY OFF (HALF LOADING) モードおよび EJECT モードへ移行したときの映像出力を選択します。</p> <p>0000 DIS 映像出力をミュートします。 0001 STB OFF STANDBY OFF モード時のみ、その時点での再生画をフリーズして出力します。 0002 SOF&EJ STANDBY OFF モードおよび EJECT モード時、その時点での再生画をフリーズして出力します。</p> <p><ノート> ● フリーズ時の状態は、セットアップメニュー No.604 (FREEZE SEL) の設定に従います。 ● EJECT モードはセットアップメニュー No.106 (EJECT EE SEL) が「BLACK」、「GRAY」の設定時のみフリーズ画を出力します。 ● 720/24p over 60p ソースを使用し、システムメニュー項目 No.25 (SYSTEM FREQ) で 23/24 モードを選択していると、EJECT モードでのフリーズはできません。</p>

MEMORY STOP 機能説明



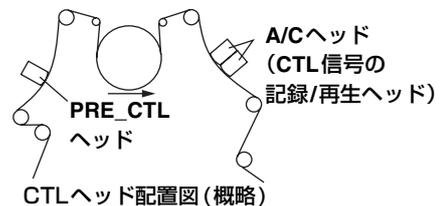
- 1 FF ボタンを押した場合は、動作する方向に 0 点がないため、通常の FF 動作になります。
- 2 REW ボタンを押した場合は、PREROLL ランプ (SHTL ランプも点灯) が点灯し、VTR は PREROLL 動作を行い、カウンタ値が 0 の位置で自動的に停止します。
- 3 REW ボタンを押した場合は、動作する方向に 0 点がないため、通常の REW 動作になります。
- 4 FF ボタンを押した場合は、PREROLL ランプ (SHTL ランプも点灯) が点灯し、VTR は PREROLL 動作を行い、カウンタ値が 0 の位置で自動的に停止します。

*1 システムメニュー項目 No.25 (SYSTEM FREQ) で 23/24Hz または 25Hz (HD, SD)、50Hz (HD, SD) モードを選択している時、この項目は表示されません。

No./項目	設定内容
113* ¹ REC INH	<p>カセットテープへの記録の禁止/許可を選択します。</p> <p>0000 OFF カセットテープの誤消去防止機構が、記録可能状態の時にカセットテープへの記録が可能です。 0001 ALL カセットテープへの記録をすべて禁止します。 0002 PRE 通常記録時において上書きを禁止します。誤消去防止機能として動作します。CTL を検出中は記録が禁止され、検出できない時は記録を実行します。 0003 NORM 通常記録を禁止します。編集以外の通常記録を使わないときに設定します。 0004 V/CTL 映像、CTL 信号の記録を禁止します。オーディオ以外の編集をしないときなどに設定します。</p> <p><ノート> PRE・NORM・V/CTL 設定の場合、REC INHIBIT ランプは点滅します。(約 0.5 秒/点滅周期)</p>
114 REC INH LAMP	<p>カセットが誤消去防止状態になっているときに、REC INHIBIT ランプを点滅または点灯させるかを選択します。</p> <p>0000 LIGHT ランプが点灯します。 0001 FLASH ランプが点滅します。</p> <p><ノート> セットアップメニュー No.113 (REC INH) が「ALL」に設定されている場合は、本設定に関係なく REC INHIBIT LAMP は常時点灯します。</p>
115* ¹ EJECT SW INH	<p>フロントパネルの EJECT ボタン操作の許可/禁止を選択します。</p> <p>0000 REC 記録モード中は禁止されます。 0001 OFF すべてのモードにおいて、操作が可能になります。</p>
116 EJECT LAMP	<p>カセットアウト状態で EJECT ランプを点灯させたままとするか、消灯させるかを選択します。</p> <p>0000 MODE1 EJECT ランプは点灯したままとなります。 0001 MODE2 EJECT ランプは消灯します。</p>

誤消去防止機能について

テープ上に既に記録されている部分に対して再記録を禁止する機能です。
CTL 信号の記録/再生ヘッド (下図) のように配置し、PRE CTL ヘッドで CTL 信号の有無により記録の判断を行い、記録済みのテープの誤消去を防止します。記録済みテープで REC/PLAY ボタンを押すと、テープ走行はしますが、REC ボタンは点滅し、アラーム音を鳴らし、記録はされません。



セットアップメニュー (続き)

<OPERATION> (続き)

No./項目	設定内容
118* ¹ SP MODE INH	DVCPRO HD-LP 以外のフォーマットで記録されたテープに対して、記録の禁止/許可を選択します。 0000 OFF カセットテープへの記録を可能にします。 0001 ON カセットテープへの記録を禁止します。 <ノート> 「OFF」を選択した場合、カセットテープへの記録の禁止/許可状態はセットアップメニューNo.113 (REC INH)に従います。
119* ¹ CONFI REC	ノーマル記録中に同時再生を行うかを選択します。 0000 OFF セットアップメニュー No.140 (OUTPUT) の設定により、ノーマル記録中の同時再生動作が切り替わります。 EE : EE 出力 TAPE : 同時再生出力 0001 ON セットアップメニュー No.140 (OUTPUT) の設定にかかわらず、ノーマル記録中は常に同時再生になります。
131 PAGE MODE	マルチキュー機能 ON 設定時、キュー点の動作を選択します。 0000 MANU 選択されたページ内での動作となり、6ポイントのキュー点が登録できます。 0001 AUTO キュー点登録中ページが一杯になったときは、自動的に次ページへ移り、登録を続けます。最大10ページまで、合計60ポイントのキュー点が登録できます。
132 ROTA MODE	マルチキュー機能 ON 設定時、すべてのキュー点がすでに登録されている場合の登録動作を選択します。 0000 OFF 登録動作は行いません。 0001 ON 登録動作を続けます。セットアップメニュー No.131 (PAGE MODE)が「MANU」に設定されている場合は、そのページ内のCUE * 1へ、「AUTO」に設定されている場合は、CUE01へ登録します。
133 KEY BEEP	キータッチ時の音の大きさを設定します。 0000 OFF 0001 LOW 0002 HIGH
134 ALARM BEEP	アラーム音の大きさを設定します。 0000 OFF 0001 LOW 0002 HIGH <ノート> ファンモータが停止した場合は、この設定にかかわらずHIGHレベルの音量でアラーム音が鳴ります。
135* ¹ DET BEEP	ストップコード検出音の大きさを設定します。 0000 OFF 0001 LOW 0002 HIGH

*¹ システムメニュー項目No.25(SYSTEM FREQ) で23/24Hzまたは25Hz (HD、SD)、50Hz (HD、SD)モードを選択している時、この項目は表示されません。

_____ は、工場出荷モードです。

No./項目	設定内容
140* ¹ OUTPUT	出力信号を選択します。 0000 EE セットアップメニュー No.600 (VIDEO IN SEL) とNo.713 (CH1 IN SEL)～No.724 (D IN SEL 78) で選択された入力信号を出力します。 0001 TAPE <STOP時> テープから再生される信号を出力します。 <記録・編集時> 同時再生信号を出力します。 <ノート> 記録・編集時の出力信号は、セットアップメニュー No.119 (CONFI REC)、およびNo.302 (CONFI EDIT) で選択してください。
141* ¹ VOLUME	フロントパネルのオーディオボリュームに対して、制御する対象を設定します。 0000 REC RECボリュームとして動作します。 0001 PB PBボリュームとして動作します。 0002 AUTO 通常、PBボリュームとして動作します。ただし、REC時またはEE/INPUT CHECK時には自動的にRECボリュームとして動作します。
142* ¹ AUDIO UNITY	フロントパネルのAUDIO UNITY ランプの点灯方法を選択します。 0000 IN オーディオ入力レベル設定がすべてUNITYの時に点灯します。 0001 OUT オーディオ出力レベル設定がすべてUNITYの時に点灯します。 0002 IN/OUT オーディオ入力/出力レベル設定がすべてUNITYの時に点灯します。
143 CASSTT LIGHT	メカ部の照明をON/OFFします。 0000 OFF カセットが挿入されても点灯しません。 0001 ON カセットが挿入されると点灯します。
144 TC INPUT	タイムコードのプリセット登録方法を切り替えます。 0000 NORMAL 左端の桁から入力されます。 0001 REV 上位の桁から入力されますが、右端から表示します。
145 FRONT LCD	フロントパネルの液晶モニター表示をON/OFFします。 0000 OFF 表示をOFFします。 0001 ON タイムコード表示部のスクリーンセーバー動作に同期して、表示がON/OFFします。
146 SAVER DISP	フロント操作やテープ走行が行われていない状態で放置しておくと、タイムコード表示部はスクリーンセーバー表示に切り替わります。スクリーンセーバー表示形態を選択します。 0000 BLACK ブラック表示にします。 0001 LOGO “EX” ロゴをアニメーション表示します。

セットアップメニュー (続き)

<INTERFACE>

No./項目	設定内容
200 PARA RUN	2 台以上の VTR を同期運転させるかを選択します。 0000 DIS 同期運転させません。 0001 ENA 同期運転させます。 < ノート > 同期運転させる場合は、すべての VTR を「ENA」に設定します。(16 ページ参照)
202 ID SEL	コントローラーに返信する ID 情報を設定します。 0000 OTHER DVCPRO 以外の VTR の ID 情報を設定します。 0001 DVCPRO DVCPRO の ID 情報を設定します。 0002 ORIG パナソニック製のコントローラー (AG-A850 など、別売品) との接続時のみ設定してください。
204 RS2323C SEL	RS-232C 端子が機能するかどうかを選択します。 0000 OFF 機能しません。 0001 ON 機能します。
205 BAUD RATE	RS-232C の通信速度 (ボーレート) を設定します。 0000 300 0001 600 0002 1200 0003 2400 0004 4800 0005 9600
206 DATA LENGTH	RS-232C のデータ長を設定します。 (単位: BIT) 0000 7 0001 8
207 STOP BIT	RS-232C のストップビット長を設定します。 (単位: BIT) 0000 1 0001 2
208 PARITY	RS-232C のパリティビットの有無、奇数、偶数を設定します。 0000 NON パリティビットを使用しません。 0001 ODD パリティビットを奇数パリティで使用します。 0002 EVEN パリティビットを偶数パリティで使用します。

No./項目	設定内容
209 RETURN ACK	RS-232C からのコマンド受信時、ACK コードを返信するかしないかを設定します。 0000 OFF ACK コードを返信しません。 0001 ON ACK コードを返信します。
212 MASTER PORT	本機をデッキ対デッキ操作時において、マスター機として使用する場合、スレーブ機を制御するリモートコントロール端子を選択します。 0000 IN/OUT IN/OUT 端子を使用します。 0001 OUT OUT 端子を使用します。 < ノート > 本設定は、9P ボタンが「LOCAL」状態(LEDが消灯)のときのみ有効です。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー (続き)

<EDIT>

No./項目	設定内容
300 IN/OUT DEL	編集点を誤って設定したとき (OUT 点が IN 点より前にあるとき) の動作を選択します。 0000 MANU 不正な編集点を削除するか、正しく設定し直さないと編集を実行しません。 0001 AUTO あらかじめ入力されていた編集点を自動的に削除します。
301 NEGA FLASH	IN 点が OUT 点より大きいとき、ネガティブ表示 (タイムコード表示部) するかを選択します。 0000 OFF ネガティブ表示をしません。 0001 ON ネガティブ表示をします。
302* ¹ CONFI EDIT	編集中に同時再生を行うかどうかを選択します。 0000 OFF 同時再生を行いません。 0001 ON 同時再生を行います。 <ノート> セットアップメニュー No.140 (OUTPUT) の設定にかかわらず、編集中は常に同時再生になります。
303* ¹ AUD EDIT IN	デジタルオーディオ編集 IN 点のつなぎ方を選択します。 0000 CUT カット処理 0001 FADE Vフェード処理
304* ¹ AUD EDIT OUT	デジタルオーディオ編集 OUT 点のつなぎ方を選択します。 0000 CUT カット処理 0001 FADE Vフェード処理
305 AUTO ENTRY	IN 点が登録されていない場合に、PREROLL ボタンで IN 点を登録するかどうかを選択します。 0000 DIS 登録しません。 0001 ENA 登録します。
306* ¹ CF ADJ SEL	デッキ対デッキ編集時、CF 補正するデッキを選択します。 0000 PLAYER プレーヤーの IN/OUT 点を補正します。(レコーダー基準) 0001 RECORD レコーダーの IN/OUT 点を補正します。(プレーヤー基準)
307 AFTER CUE-UP	キューアップ動作終了後の本機のモードを選択します。 0000 STOP STOP モードになります。 0001 STILL 静止画 (SHTL STILL) モードになります。 0002 STILL2 静止画 (SLOW STILL) モードになります。。

No./項目	設定内容
308 VAR FWD MAX	SLOW FWD の最大速度を設定します。 0000 +4.9 + 4.9 倍速 0001 +2 + 2 倍速 (DVCPRO HD-LP 以外は + 1.85 倍速) 0002 +1 + 1 倍速 <ノート> ●「+ 4.9」以外の設定では編集コントローラからの調相はできません。 ●実際の走行速度はテープフォーマットによりスーパー表示と少し異なります。
309 VAR REV MAX	SLOW REV の最大速度を設定します。 0000 -4.9 - 4.9 倍速 0001 -2 - 2 倍速 (DVCPRO HD-LP 以外は - 1.85 倍速) 0002 -1 - 1 倍速 <ノート> 実際の走行速度はテープフォーマットによりスーパー表示と少し異なります。
310 JOG FWD MAX	JOG FWD の最大速度を設定します。 0000 +4.9 + 4.9 倍速 0001 +2 + 2 倍速 (DVCPRO HD-LP 以外は + 1.85 倍速) 0002 +1 + 1 倍速 <ノート> 「+ 4.9」以外の設定では JOG コマンドにより調相を行う編集コントローラからの調相はできません。
311 JOG REV MAX	JOG REV の最大速度を設定します。 0000 -4.9 - 4.9 倍速 0001 -2 - 2 倍速 (DVCPRO HD-LP 以外は - 1.85 倍速) 0002 -1 - 1 倍速
312* ¹ POSTROLL TM	ポストロール時間を設定します。 0 秒～5 秒の間で 1 秒単位で設定できます。 0000 0s 0001 1s 0002 2s 0003 3s 0004 4s 0005 5s
313 CLICK POINT	SLOW モードでサーチダイヤルを中間位置から右、または左に回したときのクリック点における速度を設定します。 0000 ±1 + 1/- 1 倍速に設定します。 0002 ±1.85 + 1.85/- 1.85 倍速に設定します。ただし DVCPRO HD LP 時は + 1.85/- 1.5 倍速になります。

*¹ システムメニュー項目 No.25 (SYSTEM FREQ) で 23/24Hz または 25Hz (HD、SD)、50Hz (HD、SD) モードを選択している時、この項目は表示されません。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー（続き）

<EDIT>（続き）

No./項目	設定内容
320* ¹ EDIT RPLCE1	デジタルオーディオのエディットプリセットをコントロールする機能のないコントローラで、VTRのデジタルオーディオを編集するとき、コントローラのアナログオーディオプリセットに対する各チャンネルの割り当てを設定します。 VTRのCH1のエディットプリセットをコントローラで指定したアナログオーディオに従ってON/OFF設定します。 0000 N-DEF 設定しません。 0001 CH1 アナログCH1エディットプリセットに従います。 0002 CH2 アナログCH2エディットプリセットに従います。 0003 CH1+2 アナログCH1またはCH2エディットプリセットに従います。
321* ¹ EDIT RPLCE2	セットアップメニュー No.320 と同様に、本機のCH2のエディットプリセットを、コントローラで指定したアナログオーディオに従ってON/OFF設定します。 0000 N-DEF 設定しません。 0001 CH1 アナログCH1エディットプリセットに従います。 0002 CH2 アナログCH2エディットプリセットに従います。 0003 CH1+2 アナログCH1またはCH2エディットプリセットに従います。
322* ¹ EDIT RPLCE3	セットアップメニュー No.320 と同様に、本機のCH3のエディットプリセットを、コントローラで指定したアナログオーディオに従ってON/OFF設定します。 0000 N-DEF 設定しません。 0001 CH1 アナログCH1エディットプリセットに従います。 0002 CH2 アナログCH2エディットプリセットに従います。 0003 CH1+2 アナログCH1またはCH2エディットプリセットに従います。

No./項目	設定内容
323* ¹ EDIT RPLCE4	セットアップメニュー No.320 と同様に、本機のCH4のエディットプリセットを、コントローラで指定したアナログオーディオに従ってON/OFF設定します。 0000 N-DEF 設定しません。 0001 CH1 アナログCH1エディットプリセットに従います。 0002 CH2 アナログCH2エディットプリセットに従います。 0003 CH1+2 アナログCH1またはCH2エディットプリセットに従います。
324* ¹ EDIT RPLCEC	セットアップメニュー No.320 と同様に、本機のCUEのエディットプリセットを、エディタ、またはコントローラで指定したアナログオーディオに従ってON/OFF設定します。 0000 N-DEF 設定しません。 0001 CH1 アナログCH1エディットプリセットに従います。 0002 CH2 アナログCH2エディットプリセットに従います。 0003 CH1+2 アナログCH1またはCH2エディットプリセットに従います。

*1 システムメニュー項目No.25(SYSTEM FREQ)で23/24Hzまたは25Hz(HD, SD)、50Hz(HD, SD)モードを選択している時、この項目は表示されません。

_____ は、工場出荷モードです。

*1 システムメニュー項目No.25(SYSTEM FREQ)で23/24Hzまたは25Hz(HD, SD)、50Hz(HD, SD)モードを選択している時、この項目は表示されません。

セットアップメニュー (続き)

<TAPE PROTECT>

No./項目	設定内容
400 STILL TIMER	<p>STOP、サーチ STILL(JOG/SLOW/SHTL) の状態で放置されたとき、テープ保護モードになるまでの時間を選択します。 (単位 s : 秒、min : 分)</p> <p>0000 0.5s 0001 5s 0002 10s 0003 20s 0004 30s 0005 40s 0006 50s 0007 1min 0008 2min</p> <p><ノート> DV/DVCAMテープを使用している時は「10s」以上に選択しても10秒となります。</p>
401 SRC PROTECT	<p>サーチ STILL (JOG/SLOW/SHTL) の状態で、セットアップメニュー No.400 (STILL TIMER) で設定した時間が経過すると自動的に本機はテープ保護モードに入りますが、ここではどのようなテープ保護モードにするかを選択します。</p> <p>0000 STEP STEP FWD 0001 HALF ハーフローディング 0002 T-REL テンションリリース</p> <p><ノート></p> <ul style="list-style-type: none"> ● STEP FWDモード中に、STILLの状態に放置された合計時間が30分(DV/DVCAMテープの場合は1分)になると、自動的にスタンバイOFF(ハーフローディング)モードへ移行します。 ● テンションリリースモードへ移行後、その状態で放置された合計時間が2時間になると、自動的にスタンバイOFF(ハーフローディング)モードへ移行します。ただし、DV/DVCAMテープの場合は、テンションリリースモードへの移行は禁止され、STEP FWDが選択されているものとして動作します。 ● 未使用テープ (DV/DVCAMテープを除く) の場合、STILL状態になると0.5秒後には強制的にテンションリリースモードへ移行します。
402 DRUM STDBY	<p>スタンバイ OFF(ハーフローディング)モード時のドラムの動作を選択します。</p> <p>0000 OFF ドラムの回転は停止します。 0001 ON ドラムは回転を続けます。</p>

<STILL TIMER 設定のご注意>

番組送出時等、繰り返し同一素材使用の時などには、同一箇所での累計待機時間が長くなります。テープ保護のため、同一箇所での待機時間はできるだけ短く設定することをお勧めします。

No./項目	設定内容
403 STOP PROTECT	<p>STOP の状態で、セットアップメニュー No.400 (STILL TIMER) で設定した時間が経過すると自動的に本機はテープ保護モードに入りますが、ここではどのようなテープ保護モードにするかを選択します。</p> <p>0000 STEP STEP FWD 0001 HALF ハーフローディング 0002 T-REL テンションリリース</p> <p><ノート></p> <ul style="list-style-type: none"> ● STEP FWDモード中に、STOPの状態に放置された合計時間が30分(DV/DVCAMテープの場合は1分)になると、自動的にスタンバイOFF(ハーフローディング)モードへ移行します。 ● テンションリリースモードへ移行後、その状態で放置された合計時間が2時間になると、自動的にスタンバイOFF(ハーフローディング)モードへ移行します。ただし、DV/DVCAMテープの場合は、テンションリリースモードへの移行は禁止され、STEP FWDが選択されているものとして動作します。 ● 未使用テープ (DV/DVCAMテープを除く) の場合、STILL状態になると0.5秒後には強制的にテンションリリースモードへ移行します。 ● DVCPRO HD-SP、DVCPRO50、DVCPROテープの場合、EEモードでSTILL状態になると0.5秒後には強制的にテンションリリースモードへ移行します。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー (続き)

<TIME CODE>

No./項目	設定内容																								
500* ² VITC BLANK	<p>セットアップメニュー No.501 (VITC POS-1) と No.502 (VITC POS-2) で選択された位置に、VITC 信号を出力するかどうかを選択します。</p> <p>0000 BLANK 出力しません。</p> <p>0001 THRU 出力します。</p> <p><ノート> 本設定はSD出力のみ有効となります。</p>																								
501* ² VITC POS-1	<p>VITC 信号の挿入位置を設定します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"><59/60Hz></th> <th colspan="2"><50Hz>, <25Hz (SD)>, <50Hz (SD)></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0000</td> <td>10L</td> <td>0000</td> <td>7L</td> </tr> <tr> <td>:</td> <td>:</td> <td>:</td> <td>:</td> </tr> <tr> <td>0006</td> <td>16L</td> <td>0004</td> <td>11L</td> </tr> <tr> <td>:</td> <td>:</td> <td>:</td> <td>:</td> </tr> <tr> <td>0010</td> <td>20L</td> <td>0015</td> <td>22L</td> </tr> </tbody> </table> <p><ノート> ● セットアップメニュー No.502 (VITC POS-2) や No.692 (UMID POS) と同じラインは選択できません。 ● 本設定はSD出力のみ有効となります。</p>	<59/60Hz>		<50Hz>, <25Hz (SD)>, <50Hz (SD)>		0000	10L	0000	7L	:	:	:	:	0006	16L	0004	11L	:	:	:	:	0010	20L	0015	22L
<59/60Hz>		<50Hz>, <25Hz (SD)>, <50Hz (SD)>																							
0000	10L	0000	7L																						
:	:	:	:																						
0006	16L	0004	11L																						
:	:	:	:																						
0010	20L	0015	22L																						
502* ² VITC POS-2	<p>VITC 信号の挿入位置を設定します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"><59/60Hz></th> <th colspan="2"><50Hz>, <25Hz (SD)>, <50Hz (SD)></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0000</td> <td>10L</td> <td>0000</td> <td>7L</td> </tr> <tr> <td>:</td> <td>:</td> <td>:</td> <td>:</td> </tr> <tr> <td>0008</td> <td>18L</td> <td>0006</td> <td>13L</td> </tr> <tr> <td>:</td> <td>:</td> <td>:</td> <td>:</td> </tr> <tr> <td>0010</td> <td>20L</td> <td>0015</td> <td>22L</td> </tr> </tbody> </table> <p><ノート> ● セットアップメニュー No.501 (VITC POS-1) や No.692 (UMID POS) と同じラインは選択できません。 ● 本設定はSD出力のみ有効となります。</p>	<59/60Hz>		<50Hz>, <25Hz (SD)>, <50Hz (SD)>		0000	10L	0000	7L	:	:	:	:	0008	18L	0006	13L	:	:	:	:	0010	20L	0015	22L
<59/60Hz>		<50Hz>, <25Hz (SD)>, <50Hz (SD)>																							
0000	10L	0000	7L																						
:	:	:	:																						
0008	18L	0006	13L																						
:	:	:	:																						
0010	20L	0015	22L																						
503* ¹ TCG MODE	<p>内蔵タイムコードジェネレータの同期を設定します。</p> <p>0000 REGEN タイムコードリーダーがテープから読み込んだタイムコードに同期します。</p> <p>0001 PRE フロントパネルまたはリモートコントローラでプリセットが可能になります。</p> <p>0002 AUTO 動作モードにより REGEN/PRE が自動で切り替わります。 編集時：REGEN が選択されます。 上記以外：PRE が選択されます。</p>																								
504* ¹ RUN MODE	<p>動作モードによる内蔵タイムコードジェネレータの歩進を設定します。</p> <p>0000 REC 記録中のときに歩進させます。</p> <p>0001 FREE 電源が投入されている間、動作モードに関係なく歩進させます。</p>																								

No./項目	設定内容															
505* ¹ TCG REGEN	<p>TCG(タイムコードジェネレータ) が REGEN モードのとき、リジェネする信号を選択します。</p> <p>0000 TC&UB タイムコード、ユーザービット共に REGEN します。</p> <p>0001 TC タイムコードのみ REGEN します。</p> <p>0002 UB ユーザービットのみ REGEN します。</p>															
506* ¹ REGEN MODE	<p>セットアップメニュー No.503 (TCG MODE) が「AUTO」に設定されている場合の編集実行において、本機が REGEN モードで動作する場合の編集モードの範囲を選択します。</p> <p>0000 AS&IN アセンブルまたはインサート編集で REGEN します。</p> <p>0001 ASSEM アセンブル編集で REGEN します。</p> <p>0002 INSRT インサート編集で REGEN します。</p>															
507* ¹ TC SOURCE	<p>外部タイムコードを用いるとき、セットアップメニュー No.600 (VIDEO IN SEL) で HDSDI または SDSDI を選択した場合に使用するタイムコードを選択します。</p> <p>[HDSDI を選択した場合]</p> <p>0000 INT 内蔵のタイムコードジェネレータを使用します。</p> <p>0001 EXT_L TIME CODE IN 端子の LTC を使用します。</p> <p>0002 SLTC HD SDI IN に入力されたシリアル信号に付加されている LTC 情報を使用します。</p> <p>0003 SVITC HD SDI IN に入力されたシリアル信号に付加されている VITC 情報を使用します。</p> <p>[SDSDI を選択した場合]</p> <p>0000 INT 内蔵のタイムコードジェネレータを使用します。</p> <p>0001 EXT_L TIME CODE IN 端子の LTC を使用します。</p> <p>0002 VITC SD SDI IN に入力されたシリアル信号に付加されている VITC 情報を使用します。</p> <p><ノート> ● VIDEO IN SEL の入力選択が変化した場合、下記のようにタイムコードが変換されます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>[HDSDI]</th> <th>↔</th> <th>[SDSDI]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>INT</td> <td>↔</td> <td>INT</td> </tr> <tr> <td>EXT_L</td> <td>↔</td> <td>EXT_L</td> </tr> <tr> <td>SLTC</td> <td>↔</td> <td>EXT_L</td> </tr> <tr> <td>SVITC</td> <td>↔</td> <td>VITC</td> </tr> </tbody> </table> <p>● セットアップメニュー No.600 (VIDEO IN SEL) で「1394」を選択したときは、IEEE1394 デジタル入出力端子に入力されるタイムコードを使用します。ただし、EE モードの時と記録時は、ビデオ信号に VITC 情報を重畳しません。また、HD シリアル出力には、LTC 情報と VITC 情報を重畳しません。</p>	[HDSDI]	↔	[SDSDI]	INT	↔	INT	EXT_L	↔	EXT_L	SLTC	↔	EXT_L	SVITC	↔	VITC
[HDSDI]	↔	[SDSDI]														
INT	↔	INT														
EXT_L	↔	EXT_L														
SLTC	↔	EXT_L														
SVITC	↔	VITC														

*¹ システムメニュー項目 No.25 (SYSTEM FREQ) で 23/24Hz または 25Hz (HD、SD)、50Hz (HD、SD) モードを選択している時、この項目は表示されません。

*² システムメニュー項目 No.25 (SYSTEM FREQ) で 23/24Hz または 25Hz (HD)、50Hz (HD) モードを選択している時、この項目は表示されません。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー (続き)

<TIME CODE> (続き)

No./項目	設定内容
508* ¹ BINARY GP	TCG で発生するタイムコードのユーザービットの使用状態を設定します。 0000 000 NOT SPECIFIED(キャラクタセットを指定しない) 0001 001 ISO CHARACTER(ISO646、ISO2022に準拠した8bitキャラクタセット) 0002 010 UNASSIGNED 1(未定義) 0003 011 UNASSIGNED 2(未定義) 0004 100 UNASSIGNED 3(未定義) 0005 101 PAGE/LINE 0006 110 UNASSIGNED 4(未定義) 0007 111 UNASSIGNED 5(未定義)
509 PHASE CORR	TIME CODE OUT 端子から出力される LTC 出力の位相補正コントロールを行うかどうかを選択します。 0000 OFF 位相補正コントロールは行いません。 0001 ON 位相補正コントロールを行います。
510* ¹ TCG CF FLAG	TCG の CF フラグを ON にするかどうかを選択します。 0000 OFF CF フラグを OFF にします。 0001 ON CF フラグを ON にします。
511* ² DF MODE	CTL および TCG の DF/NDF を選択します。 0000 DF ドロップフレームモード 0001 NDF ノンドロップフレームモード <ノート> DF MODEはLOCALまたはセットアップメニュー No.001 (LOCAL ENA) が、「ENA」の時のみ有効です。
512* ¹ TC OUT REF	セットアップメニュー No.507 (TC SOURCE) が「INT」以外の時、外部 LTC 入力に対して TIME CODE OUT 端子から出力されるタイムコードの位相を切り替えます。(EE モード時のみ) 0000 VOUT 出力映像に合わせます。 0001 TC IN 外部タイムコード入力に合わせます。

SBC(Sub Code Data) 領域

ヘリカルトラック上の映像および音声データ領域とは別に存在する領域であり、SMPTE/EBUに準拠したタイムコード、記録日時などのテープ管理情報が格納されます。従来のLTC(Linear Time Code)と同様に巻き戻し、早送り時にもタイムコードを読むことが可能であり、またテープ停止時でも読み出し可能です。

VAUX(Video Auxiliary Data) 領域

ヘリカルトラック上の映像データ領域内に存在する領域であり、映像データに関連する付加情報が格納されます。

*¹ システムメニュー項目No.25 (SYSTEM FREQ) で23/24Hz または25Hz (HD、SD)、50Hz (HD、SD) モードを選択している時、この項目は表示されません。

*² システムメニュー項目No.25 (SYSTEM FREQ) で23/24Hz、25Hz (HD、SD)、50Hz (HD、SD) または50Hzモードを選択している時、この項目は表示されません。

No./項目	設定内容
513 VITC OUT	出力ビデオ信号に重畳する VITC の出力方法を選択します。 0000 SBC 再生モード時、SBC領域に記録されているタイムコードを出力します。 0001 VAUX 再生モード時、VAUX領域に記録されているタイムコードを出力します。 <ノート> ● HD SDI入力により検出されたVITC情報は映像が記録される際、自動的にVAUX領域に記録します。 ● システムメニュー No.25 (SYSTEM FREQ) で「23/24」、「25(HD)」、「25(SD)」、「50(HD)」、「50(SD)」を選択し、この項目で「VAUX」を選択したときは、出力されるタイムコードが連続しない場合があります。
514 HD EMBD VITC	HD SDI 出力に VITC 情報を重畳するかしないかを選択します。 0000 OFF VITCを重畳しません。 0001 ON VITCを重畳します。
515 HD EMBD LTC	HD SDI 出力に LTC 情報を重畳するかしないかを選択します。 0000 OFF LTCを重畳しません。 0001 ON LTCを重畳します。
516* ¹ TC OUT ADV	TIME CODE OUT 端子から出力されるタイムコードの位相合わせ処理を選択します。 通常、TIME CODE OUT 端子から出力されるタイムコードは出力映像・音声に合わせています。外部機器との接続などで必要な場合に、入力へ位相を合わせるモードを設定することができます。 0000 OFF 位相合わせ処理を行いません。TIME CODE OUT 端子から出力されるタイムコードは出力映像・音声に合わせてます。 0001 EDIT 編集モードが選択された場合の再生、および編集集中はTIME CODE OUT端子から出力されるタイムコードは入力映像・音声に合わせてます。それ以外のモードは、出力映像・音声に合わせてます。
517* ¹ TCG OUT	INPUT CHECK で TCG 表示と LTC 出力をラッチするかどうかを選択します。 0000 MOMENT INPUT CHECKキーを押している間のみINPUT CHECKモードになります。 0001 LATCH INPUT CHECKキーを押すとINPUT CHECKモードになり、キーを離してもモードはそのままです。映像出力がEEモード以外になると、選択が解除されます。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー (続き)

<VIDEO>

No./項目	設定内容
600* ¹ VIDEO IN SEL	<p>入力する映像信号を選択します。</p> <p>0000 INT SG VIDEO INT SGで選択された内蔵信号を発生します。</p> <p>0001 HDSDI HD SDI IN端子に入力されたシリアル映像信号を選択します。</p> <p>0002 1394 DV端子(デジタルビデオインターフェース)に入力された圧縮デジタル信号を選択します。このとき、オーディオ入力信号もDV端子からの信号になります。</p> <p>0003 SD SDI SD SDI IN端子に入力されたシリアル映像信号を選択します。</p>
601* ¹ VIDEO INT SG	<p>内蔵信号の種類を選択します。</p> <p>0000 100%CB 100%カラーバーを選択します。</p> <p>0001 75%CB 75%カラーバーを選択します。</p> <p>0002 SMPTE SMPTEカラーバーを選択します。</p> <p>0003 ARIB ARIBカラーバーを選択します。</p> <p>0004 MB マルチバーストを選択します。</p> <p>0005 RAMP ランプを選択します。</p> <p>0006 BLACK ブラックを選択します。</p> <p>0007 PLL PLLを選択します。</p> <p>0008 EQ EQを選択します。</p>
602* ¹ SDI IN MODE	<p>シリアル入力の処理方法を選択します。</p> <p>0000 DR OFF 下位2ビットを四捨五入した上位8ビットを記録します。</p> <p>0001 DR ON ダイナミックラウンディングをかけた上位8ビット信号を記録します。</p>
603 V-MUTE SEL	<p>再生中にテープのブランク(空白)部分が検出された場合、映像出力信号をミュートするかどうかを選択します。</p> <p>0000 N-MUTE ミュートしません。(フリーズします。)</p> <p>0001 GRAY グレイでミュートします。</p> <p>0002 BLACK ブラックでミュートします。</p> <p>0003 NOISE ノイズでミュートします。</p>
604* ¹ FREEZE SEL	<p>静止画面のフリーズ状態およびスロー再生の状態を選択します。</p> <p>0000 FIELD フィールドフリーズ、フィールドスロー</p> <p>0001 FRAME フレームフリーズ、フレームスロー</p>

_____ は、工場出荷モードです。

No./項目	設定内容
605* ¹ INTERPOLATE	<p>フィールドスロー再生時は自動的に垂直インターポーレーションを行い、再生画像の上下動を軽減しますが、本設定によりインターポーレーション動作を強制的にOFFすることができます。</p> <p>0000 OFF 強制的にOFFします。</p> <p>0001 AUTO スロー再生時、自動的にONします。</p>
606 SD MON O SEL	<p>SD SDIのMONITOR出力の信号を切り替えます。</p> <p>0000 MONI MONITOR出力</p> <p>0001 SDI SD SDI OUT1端子と同じ映像信号を出力します。</p> <p><ノート> 「SDI」選択時、タイムコード等のスーパーは表示されません。</p>
619* ⁴ V_FILTER	<p>ダウンコンバート時に、垂直フィルターで行う映像の処理方法を選択します。</p> <p>0000 FIELD フィールド単単位で処理します。</p> <p>0001 FRAME フレーム単位で処理します。</p> <p><ノート> この項目で「FRAME」を選択した場合、解像度はよくなりますが、映像にちらつきが目立つことがあります。</p>
620* ² DOWNCON MODE	<p>ダウンコンバート時の画角を選択します。</p> <p>0000 CROP サイドカットモード</p> <p>0001 LT-BOX レターボックスモード</p> <p>0002 SQUEEZ スクウィーズモード</p> <p>0003 14:9 セミレターボックス14:9</p> <p>0004 13:9 セミレターボックス13:9</p>
621* ³ UPCON MODE	<p>アップコンバート時の画角を選択します。</p> <p>0000 S-PANL サイドパネルモード</p> <p>0001 CROP 垂直方向の上部と下部のカット</p> <p>0002 STRECH ストレッチモード</p>
622 D/C RESP H	<p>ダウンコンバート時とクロスコンバート(1080i ← → 720p)時の水平方向の周波数帯域を選択します。</p> <p>0000 WIDE</p> <p>0001 STD</p>

*¹ システムメニュー項目No.25 (SYSTEM FREQ)で23/24Hz または25Hz (HD、SD)、50Hz (HD、SD)モードを選択している時、この項目は表示されません。

*² システムメニュー項目No.25 (SYSTEM FREQ)で23/24Hz または25Hz (HD)、50Hz (HD)モードを選択している時、この項目は表示されません。

*³ システムメニュー項目No.25 (SYSTEM FREQ)で25Hz (HD、SD)、50Hz (HD、SD)モードを選択している時、この項目は表示されません。

*⁴ システムメニュー項目No.25 (SYSTEM FREQ)で25Hz (SD)モードを選択しているときのみ、この項目は表示されます。

セットアップメニュー (続き)

<VIDEO> (続き)

No./項目	設定内容
623 D/C RESP V	ダウンコンバート時とクロスコンバート (1080i ← → 720p) 時の垂直方向の周波数帯域を選択します。 0000 <u>WIDE</u> 0001 STD
624*2 U/C RESP H	アップコンバート時の水平方向の周波数帯域を選択します。 0000 <u>STD</u> 0001 NARROW
625*2 U/C RESP V	アップコンバート時の垂直方向の周波数帯域を選択します。 0000 <u>STD</u> 0001 NARROW
626 D/C ENH H	ダウンコンバート時とクロスコンバート (1080i ← → 720p) 時の水平方向の輪郭を強調します。 0000 0dB 0001 +0.7dB 0002 <u>+1dB</u> 0003 +1.2dB 0004 +1.5dB 0005 +2dB <ノート> スーパー表示の数値は目安です。
627 D/C ENH V	ダウンコンバート時とクロスコンバート (1080i ← → 720p) 時の垂直方向の輪郭を強調します。 0000 0dB 0001 +0.7dB 0002 <u>+1dB</u> 0003 +1.2dB 0004 +1.5dB 0005 +2dB <ノート> スーパー表示の数値は目安です。
628*2 U/C ENH H	アップコンバート時の水平方向の輪郭を強調します。 0000 0dB 0001 +0.7dB 0002 <u>±1dB</u> 0003 +1.2dB 0004 +1.5dB 0005 +2dB <ノート> スーパー表示の数値は目安です。
629*2 U/C ENH V	アップコンバート時の垂直方向の輪郭を強調します。 0000 0dB 0001 0.7dB 0002 <u>+1dB</u> 0003 1.2dB 0004 +1.5dB 0005 +2dB <ノート> スーパー表示の数値は目安です。

No./項目	設定内容
630*1 1080i→HD_ OUT	1080i テープ再生時、または 1080i の EE モード時の HD 出力信号フォーマットを選択します。 0000 <u>1080i</u> 0001 720p <ノート> セットアップメニュー No.600 (VIDEO IN SEL) で「SD SDI」選択時は、本メニューの設定に依らず、セットアップメニュー No.020 (SYS FORMAT) で選択されたフォーマットで出力されます。
632*3 720p→HD_ OUT	720p テープ再生時、または 720p の EE モード時の HD 出力信号フォーマットを選択します。 0000 1080i 0001 <u>720p</u> <ノート> セットアップメニュー No.600 (VIDEO IN SEL) で「SD SDI」選択時は、本メニューの設定に依らず、セットアップメニュー No.020 (SYS FORMAT) で選択されたフォーマットで出力されます。
636*1 SD→HD_ OUT	SD テープ (DVCPRO50/DVCPRO/DV/DV CAM) 再生時の HD 出力信号フォーマットを選択します。 0000 <u>1080i</u> 0001 720p

_____ は、工場出荷モードです。

- *1 システムメニュー項目 No.25 (SYSTEM FREQ) で 23/24Hz、または 25Hz (HD、SD)、50Hz (HD、SD) モードを選択している時、この項目は表示されません。
- *2 システムメニュー項目 No.25 (SYSTEM FREQ) で 25Hz (HD、SD)、50Hz (HD、SD) モードを選択している時、この項目は表示されません。
- *3 システムメニュー項目 No.25 (SYSTEM FREQ) で 23/24Hz、または 25Hz (HD、SD)、50Hz (SD) モードを選択している時、この項目は表示されません。

セットアップメニュー (続き)

<VIDEO> (続き)

No./項目	設定内容
638* ¹ IN U/C MODE	SD SDI 入力時のアップコンバートの画額を選択します。 0000 <u>S-PANL</u> サイドパネルモード 0001 <u>CROP</u> 垂直方向の上部と下部のカット 0002 <u>STRECH</u> ストレッチモード
639* ¹ I U/C RESP H	SD SDI 入力時のアップコンバート時の水平方向の周波数帯域を選択します。 0000 <u>STD</u> 0001 <u>NARROW</u>
640* ¹ I U/C RESP V	SD SDI 入力時のアップコンバート時の垂直方向の周波数帯域を選択します。 0000 <u>STD</u> 0001 <u>NARROW</u>
641* ¹ I U/C ENH H	SD SDI 入力時のアップコンバート時の水平方向の輪郭を強調します。 0000 0dB 0001 +0.7dB 0002 +1dB 0003 +1.2dB 0004 +1.5dB 0005 +2dB <ノート> スーパー表示の数値は目安です。
642* ¹ I U/C ENH V	SD SDI 入力時のアップコンバート時の垂直方向の輪郭を強調します。 0000 0dB 0001 +0.7dB 0002 +1dB 0003 +1.2dB 0004 +1.5dB 0005 +2dB <ノート> スーパー表示の数値は目安です。
643* ² IN BLK LINE	SD 信号入力時、ビデオ信号の 20 ラインと 21 ラインの入力方法を選択します。 0000 <u>OFF</u> ブランキングしません。 0001 <u>ON</u> ブランキングします。
650 STYLE	0000 <u>CMPNT</u> コンポーネントスタイルのレベル調整モード 0001 <u>CMPST</u> コンポジットスタイルのレベル調整モード

No./項目	設定内容
651* ³ HUE STYLE (SD) ^{DW}	クロマ位相調整の回転軸を選択します。 0000 <u>Pb-Pr</u> SDI(コンポーネントスタイル)のベクトルスコープ上で正円に回転します。 0001 <u>U-V</u> アナログ(コンポジットスタイル)のベクトルスコープ上で正円に回転します。
653 Y LVL (HD) ^{UP}	HD SDI 出力の Y レベルの調整を行います。 (-∞~0 dB~+3 dB) 0000 0.0% : : 1000 100.0% : : 1413 141.3% <ノート> セットアップメニュー No.650が「CMPNT」に設定されているときに有効となります。

- *¹ システムメニュー項目No.25 (SYSTEM FREQ) で23/24Hz または25Hz (HD、SD)、50Hz (HD、SD) モードを選択している時、この項目は表示されません。
- *² システムメニュー項目No.25 (SYSTEM FREQ) で23/24Hz、25Hz (HD、SD)、50Hz (HD、SD)または50Hzモードを選択している時、この項目は表示されません
- *³ システムメニュー項目No.25 (SYSTEM FREQ) で50Hzまたは25Hz (HD、SD)、50Hz (HD、SD) モードを選択している時、この項目は表示されません。

*^{UP} はHD出力時(HDテープ再生またはアップコン出力時)

*^{DW} はSD出力時(SDテープ再生またはダウンコン出力時)

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー (続き)

<VIDEO> (続き)

No./項目	設定内容										
654 Pb LVL (HD) ^{*UP}	<p>HD SDI 出力の PB レベルの調整を行います。 ($-\infty \sim 0$ dB $\sim +3$ dB)</p> <table> <tr><td>0000</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>:</td><td>:</td></tr> <tr><td>1000</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>:</td><td>:</td></tr> <tr><td>1413</td><td>141.3%</td></tr> </table> <p><ノート> セットアップメニュー No.650が「CMPNT」に設定されているときに有効となります。</p>	0000	0.0%	:	:	1000	100.0%	:	:	1413	141.3%
0000	0.0%										
:	:										
1000	100.0%										
:	:										
1413	141.3%										
655 Pr LVL (HD) ^{*UP}	<p>HD SDI 出力の PR レベルの調整を行います。 ($-\infty \sim 0$ dB $\sim +3$ dB)</p> <table> <tr><td>0000</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>:</td><td>:</td></tr> <tr><td>1000</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>:</td><td>:</td></tr> <tr><td>1413</td><td>141.3%</td></tr> </table> <p><ノート> セットアップメニュー No.650が「CMPNT」に設定されているときに有効となります。</p>	0000	0.0%	:	:	1000	100.0%	:	:	1413	141.3%
0000	0.0%										
:	:										
1000	100.0%										
:	:										
1413	141.3%										
656 BK LVL (HD) ^{*UP}	<p>HD SDI 出力のブラックレベルの調整を行います。</p> <table> <tr><td>50</td><td>-10.0%</td></tr> <tr><td>:</td><td>:</td></tr> <tr><td>150</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>:</td><td>:</td></tr> <tr><td>250</td><td>+10.0%</td></tr> </table> <p><ノート> セットアップメニュー No.650が「CMPNT」に設定されているときに有効となります。</p>	50	-10.0%	:	:	150	0.0%	:	:	250	+10.0%
50	-10.0%										
:	:										
150	0.0%										
:	:										
250	+10.0%										
658 Y LVL (SD) ^{*DW}	<p>SD SDI 出力およびアナログコンポジット出力の Y レベルの調整を行います。 ($-\infty \sim 0$ dB $\sim +3$ dB)</p> <table> <tr><td>0000</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>:</td><td>:</td></tr> <tr><td>1000</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>:</td><td>:</td></tr> <tr><td>1413</td><td>141.3%</td></tr> </table> <p><ノート> セットアップメニュー No.650が「CMPNT」に設定されているときに有効となります。</p>	0000	0.0%	:	:	1000	100.0%	:	:	1413	141.3%
0000	0.0%										
:	:										
1000	100.0%										
:	:										
1413	141.3%										
659 Pb LVL (SD) ^{*DW}	<p>SD SDI 出力およびアナログコンポジット出力の PB レベルの調整を行います。 ($-\infty \sim 0$ dB $\sim +3$ dB)</p> <table> <tr><td>0000</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>:</td><td>:</td></tr> <tr><td>1000</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>:</td><td>:</td></tr> <tr><td>1413</td><td>141.3%</td></tr> </table> <p><ノート> セットアップメニュー No.650が「CMPNT」に設定されているときに有効となります。</p>	0000	0.0%	:	:	1000	100.0%	:	:	1413	141.3%
0000	0.0%										
:	:										
1000	100.0%										
:	:										
1413	141.3%										
660 Pr LVL (SD) ^{*DW}	<p>SD SDI 出力およびアナログコンポジット出力の PR レベルの調整を行います。 ($-\infty \sim 0$ dB $\sim +3$ dB)</p> <table> <tr><td>0000</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>:</td><td>:</td></tr> <tr><td>1000</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>:</td><td>:</td></tr> <tr><td>1413</td><td>141.3%</td></tr> </table> <p><ノート> セットアップメニュー No.650が「CMPNT」に設定されているときに有効となります。</p>	0000	0.0%	:	:	1000	100.0%	:	:	1413	141.3%
0000	0.0%										
:	:										
1000	100.0%										
:	:										
1413	141.3%										

No./項目	設定内容										
661 BK LVL (SD) ^{*DW}	<p>SD SDI 出力およびアナログコンポジット出力のブラックレベルの調整を行います。</p> <table> <tr><td>50</td><td>-10.0%</td></tr> <tr><td>:</td><td>:</td></tr> <tr><td>150</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>:</td><td>:</td></tr> <tr><td>250</td><td>+10.0%</td></tr> </table> <p><ノート> セットアップメニュー No.650が「CMPNT」に設定されているときに有効となります。</p>	50	-10.0%	:	:	150	0.0%	:	:	250	+10.0%
50	-10.0%										
:	:										
150	0.0%										
:	:										
250	+10.0%										
662 V LEVEL	<p>HD SDI、SD SDI、およびアナログコンポジット出力のビデオレベルの調整を行います。 ($-\infty \sim 0$ dB $\sim +6$ dB)</p> <table> <tr><td>0000</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>:</td><td>:</td></tr> <tr><td>1000</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>:</td><td>:</td></tr> <tr><td>2000</td><td>200.0%</td></tr> </table> <p><ノート> セットアップメニュー No.650が「CMPST」に設定されているときに有効となります。</p>	0000	0.0%	:	:	1000	100.0%	:	:	2000	200.0%
0000	0.0%										
:	:										
1000	100.0%										
:	:										
2000	200.0%										
663 C LEVEL	<p>HD SDI、SD SDI、およびアナログコンポジット出力のクロマレベルの調整を行います。 ($-\infty \sim 0$ dB $\sim +3$ dB)</p> <table> <tr><td>0000</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>:</td><td>:</td></tr> <tr><td>1000</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>:</td><td>:</td></tr> <tr><td>1413</td><td>141.3%</td></tr> </table> <p><ノート> セットアップメニュー No.650が「CMPST」に設定されているときに有効となります。</p>	0000	0.0%	:	:	1000	100.0%	:	:	1413	141.3%
0000	0.0%										
:	:										
1000	100.0%										
:	:										
1413	141.3%										
664 HUE	<p>HD SDI、SD SDI、およびアナログコンポジット出力のクロマ位相の調整を行います。 (約 $-30^\circ \sim +30^\circ$)</p> <table> <tr><td>0000</td><td>-31.0</td></tr> <tr><td>:</td><td>:</td></tr> <tr><td>0062</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>:</td><td>:</td></tr> <tr><td>0124</td><td>31.0</td></tr> </table> <p><ノート></p> <ul style="list-style-type: none"> ● セットアップメニュー No.650が「CMPST」に設定されているときに有効となります。 ● システムメニュー項目 No.25 (SYSTEM FREQ) で 50Hz、25Hz (HD/SD)、50Hz (HD/SD) モードを選択している場合、HD SDI 出力の調整はできません。 ● SD SDI およびアナログコンポジット出力の調整は SD フォーマットのテープを再生しているとき、またはメニュー No.630 (1080i \rightarrow HD OUT)、No.631 (720p \rightarrow HD OUT) でクロスコンバート設定をしているときのみ可能です。 	0000	-31.0	:	:	0062	0.0	:	:	0124	31.0
0000	-31.0										
:	:										
0062	0.0										
:	:										
0124	31.0										

^{*UP}は HD 出力時 (HD テープ再生またはアップコン出力時)

^{*DW}は SD 出力時 (SD テープ再生またはダウンコン出力時)

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー (続き)

<VIDEO> (続き)

No./項目	設定内容
665 SETUP LVL	HD SDI、SD SDI、およびアナログコンポジット出力のセットアップレベルの調整を行います。 (-10%~+10%) 50 -10.0% : : 150 0.0% : : 250 +10.0% <ノート> セットアップメニュー No.650が「CMPST」に設定されているときに有効となります。
670 BRIGHTNESS	フロントパネル上の液晶モニターの輝度を調整します。 0000 -7 : : 0007 0 : : 0014 7
671 COLOR LEVEL	フロントパネル上の液晶モニターの色の濃度を調整します。 0000 -7 : : 0007 0 : : 0014 7
672 CONTRAST	フロントパネル上の液晶モニターのコントラストを調整します。 0000 -7 : : 0007 0 : : 0014 7
673 BACKLIGHT	バックライトを調整します。 0000 NORMAL 通常使用するモードです。 0001 HIGH NORMALよりも明るくなります。
676*2 BLK CLIP	SD SDI、およびアナログコンポジット出力の Y (輝度) 信号に対し、ベデスタル以下の信号をクリップする機能です。 0000 OFF クリップしません。 0001 ON クリップします。
680*1 CC (F1) BLANK *DW	第 1 フィールドのクローズドキャプション信号の ON/OFF を選択します。 0000 BLANK 強制ブランキングします。 0001 THRU ブランキングしません。
681*1 CC (F2) BLANK *DW	第 2 フィールドのクローズドキャプション信号の ON/OFF を選択します。 0000 BLANK 強制ブランキングします。 0001 THRU ブランキングしません。
684 EDH (SD) *DW	SD SDI 出力に EDH を重畳するかどうかを選択します。 0000 OFF 重畳しません。 0001 ON 重畳します。

No./項目	設定内容
685*1 ESR MODE (SD) *DW	再生回路におけるエッジサブキャリアリダクション (ESR) の動作モードを選択します。 0000 OFF 強制的に OFF します。 0001 AUTO VTR 動作に応じて自動的に ON/OFF されます。
686*1 CCR MODE (SD) *DW	再生時のクロスカラー処理を選択します。 0000 OFF そのまま出力します。 0001 ON クロスカラーを軽減することができます。
687*3 SDI INDEX 0 *DW	VIDEO INDEX 信号を SD SDI 出力に重畳するかどうかを選択します。 0000 OFF VIDEO INDEX 信号を SD SDI 出力信号に重畳しません。 0001 ON VIDEO INDEX 信号を SD SDI 出力信号に重畳します。
688*1 CC REC	SD 入力信号に多重されたクローズドキャプション信号を記録するかどうかを選択します。 0000 OFF テープへ記録しません。 0001 ON SD 入力信号にクローズドキャプション信号が多重されている場合にテープへ記録します。この時、クローズドキャプション信号をブランキング後、アップコンバートして記録します。

- *1 システムメニュー項目 No.25 (SYSTEM FREQ) で 23/24Hz、25Hz (HD、SD)、50Hz (HD、SD) または 50Hz モードを選択している時、この項目は表示されません。
- *2 システムメニュー項目 No.25 (SYSTEM FREQ) で 50Hz または 25Hz (HD、SD)、50Hz (HD、SD) モードを選択している時、この項目は表示されません。
- *3 システムメニュー項目 No.25 (SYSTEM FREQ) で 23/24Hz または 25Hz (HD)、50Hz (HD) モードを選択している時、この項目は表示されません。

*DW は SD 出力時 (SD テープ再生またはダウンコン出力時)

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー (続き)

<VIDEO> (続き)

No./項目	設定内容
689*1 COMP MODE	<p>記録時に行う映像の圧縮処理方法を選択します。</p> <p>0000 NORMAL 通常の圧縮処理で記録します。</p> <p>0001 DARK 約10 IRE (70 mV) 以下の暗い部分に発生する圧縮映像ひずみを少なくして記録します。</p> <p><ノート> ● 本設定は、720pモードで記録時に有効になります。 ● 「DARK」を選択した場合、スーパー表示の2行目左側に(C)が点滅します。</p>
690*1 UMID REC	<p>UMID 情報をテープに記録するかどうかを選択します。</p> <p>0000 OFF テープへ記録しません。EE出力もブランキングされます。</p> <p>0001 ON セットアップメニュー No.691 (UMID GEN) で設定されたUMIDを記録します。入力信号にBasic UMIDが存在しないときは、新しく生成した本機のBasic UMIDを記録します。</p> <p><ノート> 本機でUMID情報を書き換えることはできません。</p>
691*1 UMID GEN	<p>セットアップメニュー No.690 (UMID REC) が「ON」に設定されているときに記録するUMIDを選択します。</p> <p>0000 INT 常に新しく生成した本機のBasic UMIDを記録します。</p> <p>0001 EXT 入力信号のUMIDを記録します。入力信号にUMIDが存在していないときは、本機で生成したBasic UMIDを記録します。</p> <p><ノート> テープに記録するUMID情報のSource Packには、このメニューの設定に関係なく、入力信号のSource Packが記録されます。</p>
692*1 UMID POS	<p>UMID 情報を重畳するラインを設定します。</p> <p>0000 BLANK 0001 12L : : 0006 17L : : 0008 19L</p> <p><ノート> ● メニューNo.501 (VITC POS-1) とNo.502 (VITC POS-2) で選択したラインは選択できません。 ● 設定変更中に [F4] (RESET) を押しても、工場出荷設定に戻りません。 ● テープ上に記録されたメタデータは、UMID情報を優先して出力します。メタデータを出力する際は、元の多重していたライン以外に設定するか、「BLANK」を選択してください。</p>

No./項目	設定内容
693 GAMMA SEL	<p>ガンマ補正の選択を行います。</p> <p>0000 OFF ガンマ補正を行いません。</p> <p>0001 GAMMA1 VaricamのシネガンマFilmRECモードで撮影された映像を、フィルム質感の映像 (AJ-GBX27G) におけるHD Gamma CorrectorのTelecine5相当) に補正します。</p> <p>0002 GAMMA2 VaricamのシネガンマFilmRECモードで撮影された映像を、フィルム質感の映像 (AJ-GBX27G) におけるHD Gamma CorrectorのTelecine6相当) に補正します。</p> <p>0003 GAMMA3 VaricamのシネガンマFilmRECモードで撮影された映像を、フィルムレコーディングに適したCineonカーブに変換します。</p>
	<p><ノート> ● ガンマ補正は、以下のときに有効になります。 ● VTR動作モードがVV (TAPE) で、再生フォーマットが720pの場合。 ただし、システムメニュー項目No.25 (SYSTEM FREQ) で23/24モードを選択している場合や、システムメニュー項目No.25 (SYSTEM FREQ) で59/60、50i/25Pを選択して720p→1080iのクロスコンバート実行時は、SD出力にはガンマ補正は行いません。 ● ガンマ補正を行う設定にした場合は、タイムコード表示部のGMインジケータが常時点灯します。 ● 本機の電源をOFFにすると、この項目の設定も「OFF」に戻ります。 ● 1394出力には、この項目は効果がありません。</p>

*1 システムメニュー項目No.25 (SYSTEM FREQ) で23/24Hz または25Hz (HD、SD)、50Hz (HD、SD) モードを選択している時、この項目は表示されません。

*2 システムメニュー項目No.25 (SYSTEM FREQ) で23/24Hz、25Hz (HD、SD)、50Hz (HD、SD) または50Hzモードを選択している時、この項目は表示されません。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー (続き)

<VIDEO> (続き)

No./項目	設定内容
695* ¹ BLANK LINE	SD出力のビデオ信号における垂直ブランキング期間のブランキングON/OFFを選択します。 0000 BLANK 全ライン強制ブランキングします。 0001 THRU 全ラインブランキングしません。 0002 MANU 各ラインごとにブランキングのON/OFFを選択します。 <ノート> ●「MANU」設定時、[SHIFT] ボタンを押すとサブ画面に移り、各ラインに対してON/OFFを選択できます。サブ画面から戻るには、再度[SHIFT] ボタンを押します。 ●この項目でブランキングするよう選択されたラインは、SDテープ再生時にアップコンバートされる前に、同様にブランキングします。
サブメニュー画面 <59/60Hz>	
01 LINE 11&274 : : : : 12 LINE 22&285	0000 BLANK 強制ブランキングします。 0001 THRU ブランキングしません。
サブメニュー画面 <50Hz>	
00 LINE 7&320 : : : : 15 LINE 22&335	0000 BLANK 強制ブランキングします。 0001 THRU ブランキングしません。

_____ は、工場出荷モードです。

<AUDIO>

No./項目	設定内容
700* ¹ CH1 IN LV	アナログオーディオ入力 (CH1) の基準レベルを選択します。 0000 4dB 0001 0dB 0002 -3dB 0003 -20dB
701* ¹ CH2 IN LV	アナログオーディオ入力 (CH2) の基準レベルを選択します。 0000 4dB 0001 0dB 0002 -3dB 0003 -20dB
702* ¹ CH3 IN LV	アナログオーディオ入力 (CH3) の基準レベルを選択します。 0000 4dB 0001 0dB 0002 -3dB 0003 -20dB
703* ¹ CH4 IN LV	アナログオーディオ入力 (CH4) の基準レベルを選択します。 0000 4dB 0001 0dB 0002 -3dB 0003 -20dB
704* ¹ CUE IN LV	CUE 入力の基準レベルを選択します。 0000 4dB 0001 0dB 0002 -3dB 0003 -20dB 0004 -60dB
705 CH1 OUT LV	アナログオーディオ出力 (CH1) の基準レベルを選択します。 0000 4dB 0001 0dB 0002 -3dB 0003 -20dB
706 CH2 OUT LV	アナログオーディオ出力 (CH2) の基準レベルを選択します。 0000 4dB 0001 0dB 0002 -3dB 0003 -20dB
707 CH3 OUT LV	アナログアナログオーディオ出力 (CH3) の基準レベルを選択します。 0000 4dB 0001 0dB 0002 -3dB 0003 -20dB
708 CH4 OUT LV	アナログオーディオ出力 (CH4) の基準レベルを選択します。 0000 4dB 0001 0dB 0002 -3dB 0003 -20dB

*1 システムメニュー項目No.25 (SYSTEM FREQ) で23/24Hz または25Hz (HD、SD)、50Hz (HD、SD) モードを選択している時、この項目は表示されません。

セットアップメニュー (続き)

<AUDIO> (続き)

No./項目	設定内容
709	CUE 出力の基準レベルを選択します。
CUE OUT LV	0000 4dB 0001 0dB 0002 -3dB 0003 -20dB
710	オーディオモニター出力 (Lch) の基準レベルを選択します。
MONIL OUT LV	0000 4dB 0001 0dB 0002 -3dB 0003 -20dB
711	オーディオモニター出力 (Rch) の基準レベルを選択します。
MONIR OUT LV	0000 4dB 0001 0dB 0002 -3dB 0003 -20dB
712	オーディオモニター出力の音量を、ヘッドホン用の音量調整つまみに連動させるか連動させないかを選択します。
MONI OUT	0000 UNITY 音量調整つまみの位置に関係なく、固定されたレベルで出力します。 0001 VAR 音量調整つまみに連動します。
713 ^{*1,2}	CH1 の入力信号を選択します。
CH1 IN SEL	0000 INT SG 内蔵信号を選択します。 0001 DIGI デジタル入力を選択します。 0002 ANA アナログ入力を選択します。 <ノート> DIGIを選択した場合、シリアル/AESの切り替えはセットアップメニュー No.721 (D IN SEL12) の設定に従います。
714 ^{*1,2}	CH2 の入力信号を選択します。
CH2 IN SEL	0000 INT SG 内蔵信号を選択します。 0001 DIGI デジタル入力を選択します。 0002 ANA アナログ入力を選択します。 <ノート> DIGIを選択した場合、シリアル/AESの切り替えはセットアップメニュー No.721 (D IN SEL12) の設定に従います。
715 ^{*1,2}	CH3 の入力信号を選択します。
CH3 IN SEL	0000 INT SG 内蔵信号を選択します。 0001 DIGI デジタル入力を選択します。 0002 ANA アナログ入力を選択します。 <ノート> DIGIを選択した場合、シリアル/AESの切り替えはセットアップメニュー No.722 (D IN SEL34) の設定に従います。

No./項目	設定内容
716 ^{*1,2}	CH4 の入力信号を選択します。
CH4 IN SEL	0000 INT SG 内蔵信号を選択します。 0001 DIGI デジタル入力を選択します。 0002 ANA アナログ入力を選択します。 <ノート> DIGIを選択した場合、シリアル/AESの切り替えはセットアップメニュー No.722 (D IN SEL34) の設定に従います。
717 ^{*1,2}	CH5 の入力信号を選択します。
CH5 IN SEL	0000 INT SG 内蔵信号を選択します。 0001 DIGI デジタル入力を選択します。 0002 ANA アナログ入力を選択します。(CH1入力) <ノート> DIGIを選択した場合、シリアル/AESの切り替えはセットアップメニュー No.723 (D IN SEL56) の設定に従います。
718 ^{*1,2}	CH6 の入力信号を選択します。
CH6 IN SEL	0000 INT SG 内蔵信号を選択します。 0001 DIGI デジタル入力を選択します。 0002 ANA アナログ入力を選択します。(CH2入力) <ノート> DIGIを選択した場合、シリアル/AESの切り替えはセットアップメニュー No.723 (D IN SEL56) の設定に従います。
719 ^{*1,2}	CH7 の入力信号を選択します。
CH7 IN SEL	0000 INT SG 内蔵信号を選択します。 0001 DIGI デジタル入力を選択します。 0002 ANA アナログ入力を選択します。(CH3入力) <ノート> DIGIを選択した場合、シリアル/AESの切り替えはセットアップメニュー No.724 (D IN SEL78) の設定に従います。

*1 システムメニュー項目No.25 (SYSTEM FREQ) で23/24Hz または25Hz (HD、SD)、50Hz (HD、SD) モードを選択している時、この項目は表示されません。

*2 システムメニュー項目No.600 (VIDEO IN SEL) で1394が選択時は、本メニューの選択にかかわらず1394入力になります。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー (続き)

<AUDIO> (続き)

No./項目	設定内容
720*1,2 CH8 IN SEL	<p>CH8 の入力信号を選択します。</p> <p>0000 INT SG 内蔵信号を選択します。 0001 DIGI デジタル入力を選択します。 0002 ANA アナログ入力を選択します。(CH4入力) <ノート> DIGIを選択した場合、シリアル/AESの切り替えはセットアップメニュー No.724 (D IN SEL78) の設定に従います。</p>
721*1,2 D IN SEL12	<p>CH1 および CH2 のデジタル入力を選択します。</p> <p>0000 AES AES/EBU 0001 SDI シリアル <ノート> ビデオ入力信号のINT SGを選択した場合、オーディオ信号のシリアル入力はHD SDI信号になります。</p>
722*1,2 D IN SEL34	<p>CH3 および CH4 のデジタル入力を選択します。</p> <p>0000 AES AES/EBU 0001 SDI シリアル <ノート> ビデオ入力信号のINT SGを選択した場合、オーディオ信号のシリアル入力はHD SDI信号になります。</p>
723*1,2 D IN SEL56	<p>CH5 および CH6 のデジタル入力を選択します。</p> <p>0000 AES AES/EBU 0001 SDI シリアル <ノート> ビデオ入力信号のINT SGを選択した場合、オーディオ信号のシリアル入力はHD SDI信号になります。</p>
724*1,2 D IN SEL78	<p>CH7 および CH8 のデジタル入力を選択します。</p> <p>0000 AES AES/EBU 0001 SDI シリアル <ノート> ビデオ入力信号のINT SGを選択した場合、オーディオ信号のシリアル入力はHD SDI信号になります。</p>
725*1,3 REC CH1	<p>オーディオの CH1 トラックに記録する入力信号を選択します。</p> <p>0000 CH1 オーディオ入力のCH1 0001 CH2 オーディオ入力のCH2 0002 CH3 オーディオ入力のCH3 0003 CH4 オーディオ入力のCH4 0004 CH1+2 オーディオ入力のCH1とCH2のミックス信号 0005 CH3+4 オーディオ入力のCH3とCH4のミックス信号</p>

No./項目	設定内容
726*1,3 REC CH2	<p>オーディオの CH2 トラックに記録する入力信号を選択します。</p> <p>0000 CH1 オーディオ入力のCH1 0001 CH2 オーディオ入力のCH2 0002 CH3 オーディオ入力のCH3 0003 CH4 オーディオ入力のCH4 0004 CH1+2 オーディオ入力のCH1とCH2のミックス信号 0005 CH3+4 オーディオ入力のCH3とCH4のミックス信号</p>
727*1,3 REC CH3	<p>オーディオの CH3 トラックに記録する入力信号を選択します。</p> <p>0000 CH1 オーディオ入力のCH1 0001 CH2 オーディオ入力のCH2 0002 CH3 オーディオ入力のCH3 0003 CH4 オーディオ入力のCH4 0004 CH1+2 オーディオ入力のCH1とCH2のミックス信号 0005 CH3+4 オーディオ入力のCH3とCH4のミックス信号</p>
728*1,3 REC CH4	<p>オーディオの CH4 トラックに記録する入力信号を選択します。</p> <p>0000 CH1 オーディオ入力のCH1 0001 CH2 オーディオ入力のCH2 0002 CH3 オーディオ入力のCH3 0003 CH4 オーディオ入力のCH4 0004 CH1+2 オーディオ入力のCH1とCH2のミックス信号 0005 CH3+4 オーディオ入力のCH3とCH4のミックス信号</p>

*1 システムメニュー項目No.25 (SYSTEM FREQ) で23/24Hz または25Hz (HD、SD)、50Hz (HD、SD) モードを選択している時、この項目は表示されません。

*2 システムメニュー項目No.600 (VIDEO IN SEL) で1394が選択時は、本メニューの選択にかかわらず1394入力になります。

*3 システムメニュー項目No.600 (VIDEO IN SEL) で1394が選択時は、本メニューの選択にかかわらず工場出荷モードになります。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー (続き)

<AUDIO> (続き)

No./項目	設定内容
729*1,2 REC CH5	オーディオの CH5 トラックに記録する入力信号を選択します。 0000 CH5 オーディオ入力のCH5 0001 CH6 オーディオ入力のCH6 0002 CH7 オーディオ入力のCH7 0003 CH8 オーディオ入力のCH8 0004 CH5+6 オーディオ入力のCH5とCH6のミックス信号 0005 CH7+8 オーディオ入力のCH7とCH8のミックス信号
730*1,2 REC CH6	オーディオの CH6 トラックに記録する入力信号を選択します。 0000 CH5 オーディオ入力のCH5 0001 CH6 オーディオ入力のCH6 0002 CH7 オーディオ入力のCH7 0003 CH8 オーディオ入力のCH8 0004 CH5+6 オーディオ入力のCH5とCH6のミックス信号 0005 CH7+8 オーディオ入力のCH7とCH8のミックス信号
731*1,2 REC CH7	オーディオの CH7 トラックに記録する入力信号を選択します。 0000 CH5 オーディオ入力のCH5 0001 CH6 オーディオ入力のCH6 0002 CH7 オーディオ入力のCH7 0003 CH8 オーディオ入力のCH8 0004 CH5+6 オーディオ入力のCH5とCH6のミックス信号 0005 CH7+8 オーディオ入力のCH7とCH8のミックス信号

No./項目	設定内容
732*1,2 REC CH8	オーディオの CH8 トラックに記録する入力信号を選択します。 0000 CH5 オーディオ入力のCH5 0001 CH6 オーディオ入力のCH6 0002 CH7 オーディオ入力のCH7 0003 CH8 オーディオ入力のCH8 0004 CH5+6 オーディオ入力のCH5とCH6のミックス信号 0005 CH7+8 オーディオ入力のCH7とCH8のミックス信号
733*1 REC CUE	CUE に記録する入力信号を選択します。 0000 CUE CUE IN 0001 CH1 オーディオ入力のCH1 0002 CH2 オーディオ入力のCH2 0003 CH3 オーディオ入力のCH3 0004 CH4 オーディオ入力のCH4 0005 CH5 オーディオ入力のCH5 0006 CH6 オーディオ入力のCH6 0007 CH7 オーディオ入力のCH7 0008 CH8 オーディオ入力のCH8 0009 CH1+2 オーディオ入力のCH1とCH2のミックス信号 0010 CH3+4 オーディオ入力のCH3とCH4のミックス信号 0011 CH5+6 オーディオ入力のCH5とCH6のミックス信号 0012 CH7+8 オーディオ入力のCH7とCH8のミックス信号 0013 CH1-8 オーディオ入力のCH1～CH8のミックス信号 <ノート> VIDEO入力切替を1394に設定した場合は、CUEトラックに音声は記録されず、ミュートになります。

*1 システムメニュー項目No.25 (SYSTEM FREQ) で23/24Hz または25Hz (HD、SD)、50Hz (HD、SD) モードを選択している時、この項目は表示されません。

*2 システムメニュー項目No.600(VIDEO IN SEL) で1394が選択時は、本メニューの選択にかかわらず工場出荷モードになります。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー (続き)

<AUDIO> (続き)

No./項目	設定内容
734* ¹ PB FADE	再生時に、音声編集点 (IN 点、OUT 点) の処理をどのように行うかを選択します。 0000 AUTO 記録時の状態に従います。 0001 CUT 強制的にカット処理を行います。 0002 FADE 強制的にフェード処理を行います。
735 HD EMBD AUD	HD SDI 出力にオーディオデータを重畳するかどうかを選択します。 0000 OFF 重畳しません。 0001 ON 重畳します。
736 SD EMBD AUD	SD SDI 出力にオーディオデータを重畳するかどうかを選択します。 0000 OFF 重畳しません。 0001 ON 重畳します。
737 MONI MIX	ヘッドフォンモニター (Lch/Rch) にミックス信号を選択します。 0000 OFF Lch/Rchともにミックスしません。 0001 L Lchのみミックスします。 0002 R Rchのみミックスします。 0003 L/R Lch/Rchともにミックスします。 <ノート> ● OFFのとき、「L」(または「R」)ボタンを押すたびに、モニター L(またはモニター R)に出力する信号がCH1、CH2、CH3・・・と切り替わります。選択された信号はオーディオレベルメーター下に表示されます。 ● L、R、L/Rのとき、複数のチャンネルの信号をミックスして出力することができます。フロントパネルのMONITOR SELECTボタンで「L」(または「R」)ボタンを押しながら、数字キーでモニターしたいチャンネルの数字を押すと、そのチャンネルが選択されます。選択されたチャンネルはオーディオレベルメーター下に表示されます。(また、同様の操作ですでに選択されているチャンネルを非選択にします) ただし、CH1～CH4のうち最大2チャンネル、CH5～CH8のうち最大2チャンネルまで選択できます。
738 CH1 CUE SEL	サーチモード時、本線系のCH1出力状態を選択します。 0000 OFF CUEを出力しません。 0001 ON CUEを出力します。 <ノート> オーディオの出力状態については<サーチモード時のオーディオ出力について>(111ページ)を参照してください。

No./項目	設定内容
739 CH2 CUE SEL	サーチモード時、本線系のCH2出力状態を選択します。 0000 OFF CUEを出力しません。 0001 ON CUEを出力します。 <ノート> オーディオの出力状態については、<サーチモード時のオーディオ出力について>(111ページ)を参照してください。
740 CH3 CUE SEL	サーチモード時、本線系のCH3出力状態を選択します。 0000 OFF CUEを出力しません。 0001 ON CUEを出力します。 <ノート> オーディオの出力状態については、<サーチモード時のオーディオ出力について>(111ページ)を参照してください。
741 CH4 CUE SEL	サーチモード時、本線系のCH4出力状態を選択します。 0000 OFF CUEを出力しません。 0001 ON CUEを出力します。 <ノート> オーディオの出力状態については、<サーチモード時のオーディオ出力について>(111ページ)を参照してください。
742 CH5 CUE SEL	サーチモード時、本線系のCH5出力状態を選択します。 0000 OFF CUEを出力しません。 0001 ON CUEを出力します。 <ノート> オーディオの出力状態については、<サーチモード時のオーディオ出力について>(111ページ)を参照してください。
743 CH6 CUE SEL	サーチモード時、本線系のCH6出力状態を選択します。 0000 OFF CUEを出力しません。 0001 ON CUEを出力します。 <ノート> オーディオの出力状態については、<サーチモード時のオーディオ出力について>(111ページ)を参照してください。
744 CH7 CUE SEL	サーチモード時、本線系のCH7出力状態を選択します。 0000 OFF CUEを出力しません。 0001 ON CUEを出力します。 <ノート> オーディオの出力状態については、<サーチモード時のオーディオ出力について>(111ページ)を参照してください。

*1 システムメニュー項目No.25 (SYSTEM FREQ) で23/24Hz または25Hz (HD、SD)、50Hz (HD、SD) モードを選択している時、この項目は表示されません。

セットアップメニュー (続き)

<AUDIO> (続き)

No./項目	設定内容
745 CH8 CUE SEL	<p>サーチモード時、本線系の CH8 出力状態を選択します。</p> <p>0000 OFF CUEを出力しません。</p> <p>0001 ON CUEを出力します。</p> <p><ノート> オーディオの出力状態については、<サーチモード時のオーディオ出力について> (111 ページ) を参照してください。</p>
746 MONI CH SEL	<p>モニター出力の選択を行います。</p> <p>0000 MANU MONITOR SELECT ボタンで選択されている信号を出力します。</p> <p>0001 AUTO - 1.0 ~ +2.0 倍速の範囲は PCM AUDIO を出力し、それ以外の速度では自動的に CUE を出力します。</p> <p>0002 PCM - 32 ~ +32 倍速の範囲は PCM AUDIO を出力します。</p> <p><ノート> ● 「AUTO」を選択し、DVCPRO HD_LP 以外のテープを再生した場合の PCM AUDIO 出力は -1.0 ~ +1.1 倍速の範囲となります。 ● 本機フロントパネルの MONITOR SELECT スイッチの L/R が CH1 ~ CH8 を選択している場合に有効です。 (CUE を選択している場合は、上記メニュー設定に関係なく、すべてのスピードにおいて CUE が出力されます)</p>
747 MON AUTO SEL	<p>モニター出力が CUE に切り替わるチャンネルを選択します。 セットアップメニュー No.746 (MONI CH SEL) で MANU 以外を選択した場合、動作モードに応じて自動でモニター出力に CUE が出力されますが、自動で CUE に切り替わるモニターチャンネルを選択します。</p> <p>0000 L/R Lch/Rch 両方に CUE を出力します。</p> <p>0001 L Lch のみに CUE を出力します。</p> <p>0002 R Rch のみに CUE を出力します。</p> <p><ノート> オーディオの出力状態については <サーチモード時のオーディオ出力について> (111 ページ) を参照してください。</p>
748 MONI SEL INH	<p>フロントパネルの MONITOR SELECT ボタン操作の許可/禁止を選択します。</p> <p>0000 OFF 操作が可能になります。</p> <p>0001 ON 操作が禁止されます。</p> <p>0002 ON1 FULL 表示モード時は操作が禁止され、FINE 表示モード時のみ操作が可能になります。</p> <p><ノート> セットアップメニュー No.737 (MONI MIX) の設定でミックスされていないチャンネルに対して操作の許可/禁止が選択できます。</p>

No./項目	設定内容
749*1 AUDIO PB VR	<p><AUDIO> ファンクションメニューで INT SG を選択した場合、EE モードで再生レベルの調整用ボリュームが機能するかどうかを選択します。</p> <p>0000 DIS INT SG の出力レベルは UNITY 固定です。</p> <p>0001 ENA INT SG の出力レベルを再生レベルの調整用ボリュームで可変することができます。</p>
750 ANA CH1 SEL	<p>アナログ出力 CH1 への出力信号を選択します。</p> <p>0000 CH1 CH1 を出力します。</p> <p>0001 CH5 CH5 を出力します。</p>
751 ANA CH2 SEL	<p>アナログ出力 CH2 への出力信号を選択します。</p> <p>0000 CH2 CH2 を出力します。</p> <p>0001 CH6 CH6 を出力します。</p>
752 ANA CH3 SEL	<p>アナログ出力 CH3 への出力信号を選択します。</p> <p>0000 CH3 CH3 を出力します。</p> <p>0001 CH7 CH7 を出力します。</p>
753 ANA CH4 SEL	<p>アナログ出力 CH4 への出力信号を選択します。</p> <p>0000 CH4 CH4 を出力します。</p> <p>0001 CH8 CH8 を出力します。</p>
754 SD SDI CH1 SL	<p>SD SDI 出力に重畳するオーディオ CH1 信号を選択します。</p> <p>0000 CH1 CH1 を出力します。</p> <p>0001 CH2 CH2 を出力します。</p> <p>0002 CH3 CH3 を出力します。</p> <p>0003 CH4 CH4 を出力します。</p> <p>0004 CH5 CH5 を出力します。</p> <p>0005 CH6 CH6 を出力します。</p> <p>0006 CH7 CH7 を出力します。</p> <p>0007 CH8 CH8 を出力します。</p>

*1 システムメニュー項目 No.25 (SYSTEM FREQ) で 23/24Hz または 25Hz (HD、SD)、50Hz (HD、SD) モードを選択している時、この項目は表示されません。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー (続き)

<AUDIO> (続き)

No./項目	設定内容
755 SD SDI CH2 SL	SD SDI 出力に重畳するオーディオ CH2 信号を選択します。 0000 CH1 CH1 を出力します。 0001 CH2 CH2 を出力します。 0002 CH3 CH3 を出力します。 0003 CH4 CH4 を出力します。 0004 CH5 CH5 を出力します。 0005 CH6 CH6 を出力します。 0006 CH7 CH7 を出力します。 0007 CH8 CH8 を出力します。
756 SD SDI CH3 SL	SD SDI 出力に重畳するオーディオ CH3 信号を選択します。 0000 CH1 CH1 を出力します。 0001 CH2 CH2 を出力します。 0002 CH3 CH3 を出力します。 0003 CH4 CH4 を出力します。 0004 CH5 CH5 を出力します。 0005 CH6 CH6 を出力します。 0006 CH7 CH7 を出力します。 0007 CH8 CH8 を出力します。
757 SD SDI CH4 SL	SD SDI 出力に重畳するオーディオ CH4 信号を選択します。 0000 CH1 CH1 を出力します。 0001 CH2 CH2 を出力します。 0002 CH3 CH3 を出力します。 0003 CH4 CH4 を出力します。 0004 CH5 CH5 を出力します。 0005 CH6 CH6 を出力します。 0006 CH7 CH7 を出力します。 0007 CH8 CH8 を出力します。
758 JOG PROC	JOG/SHTL/SLOW モード時のデジタルオーディオ出力のスロー信号処理を選択します。 0000 OFF デジタルオーディオのスロー信号処理をしない音が STILL 時も含めて出力されます。 0001 ON デジタルオーディオのスロー信号処理をした音が出力されます。

No./項目	設定内容
759 DV PB ATT	DV フォーマット再生時のオーディオ出力レベルを選択します。 0000 OFF オーディオ出力レベルを減衰しません。 0001 ON オーディオ出力レベルを減衰します。
760*1 REC PT MUTE	DV/DVCAM フォーマット再生時、記録のつなぎ目でオーディオをミュートするかどうかを選択します。 0000 OFF ミュートしません。 0001 ON ミュートします。
761*1 AUDIO INT SG	内蔵信号の種類を選択します。 0000 TONE 正弦波を選択します。 0001 SILNCE 無音信号を選択します。
762 AUD RATE CON	デジタルオーディオ出力部のレートコンバータを通さずに (デジタルフィルターをかけない) 再生を行うことができます。 0000 OFF レートコンバータを通さず再生します。 0001 ON レートコンバータを通して再生します。 <ノート> ● CH1～CH8が同時にON/OFF制御されます。各CHごとの設定はできません。 ● レートコンバータOFF時は、ビデオ入力とOUT REFで選択されたリファレンス信号も同期している必要があります。(非同期の場合、ノイズが出る場合があります) ● 60Hzモード時、レートコンバータOFF設定をすると、ノイズが出る場合があります。
763 METER SCALE	オーディオレベルメーターのスケール表示を選択します。 0000 PEAK 0 最大レベルを0dBとしてオーディオレベルを表示します。 0001 REF 0 基準レベルを0dBとしてオーディオレベルを表示します。 <ノート> セットアップメニュー No.776 (REF LEVEL) がFS-18またはFS-12に設定されているときは本メニューの設定にかかわらず、PEAK-0として動作します。
776 REF LEVEL	オーディオの基準レベル (ヘッドルーム) を設定します。 0000 FS-20 - 20 dB 0001 FS-18 - 18 dB 0002 FS-12 - 12 dB

*1 システムメニュー項目No.25 (SYSTEM FREQ) で23/24Hz または25Hz (HD、SD)、50Hz (HD、SD) モードを選択している時、この項目は表示されません。

_____ は、工場出荷モードです。

セットアップメニュー (続き)

<AUDIO> (続き)

No./項目	設定内容
785* ¹ IN IMP CH1 SL	アナログオーディオ入力 (CH1) のインピーダンスを設定します。 0000 600 600Ω 0001 HIGH Highインピーダンス
786* ¹ IN IMP CH2 SL	アナログオーディオ入力 (CH2) のインピーダンスを設定します。 0000 600 600Ω 0001 HIGH Highインピーダンス
787* ¹ IN IMP CH3 SL	アナログオーディオ入力 (CH3) のインピーダンスを設定します。 0000 600 600Ω 0001 HIGH Highインピーダンス

*¹ システムメニュー項目No.25 (SYSTEM FREQ) で23/24Hzまたは25Hz (HD、SD)、50Hz (HD、SD)モードを選択している時、この項目は表示されません。

<サーチモード時のオーディオ出力について>

メニュー設定 (No.738～No.745、No.746、No.747)の組み合わせにより、モニターおよび本線系への出力は下表のようになります。

No./項目	設定内容
788* ¹ IN IMP CH4 SL	アナログオーディオ入力 (CH4) のインピーダンスを設定します。 0000 600 600Ω 0001 HIGH Highインピーダンス
789* ¹ IN IMP CUE SL	CUE 入力のインピーダンスを設定します。 0000 600 600Ω 0001 HIGH Highインピーダンス
790* ¹ CUE REC VOL	CUE オーディオの記録レベルを調整します。 (-∞～0 dB～+12 dB) 0032 16 : : 0016 0 : : 0000 -16
791 CUE PB VOL	CUE オーディオの再生レベルを調整します。 (-∞～0 dB～+12 dB) 0032 16 : : 0016 0 : : 0000 -16

738 CH1 CUE SEL : 745 CH8 CUE SEL	746 MONI CH SEL	747 MON AUTO SEL	モニター出力		本線系出力					
			Lch	Rch	CH1/CH3/CH5/CH7	CH2/CH4/CH6/CH8				
OFF	MANU	L/R	PCM* ²	PCM* ²	PCM* ²	PCM* ²				
		L								
		R								
	AUTO	L/R	CUE* ³	CUE* ³						
		L	CUE* ³	PCM* ²						
		R	PCM* ²	CUE* ³						
	PCM	L/R	PCM* ⁴	PCM* ⁴			PCM* ⁵	PCM* ⁵		
		L								
		R								
ON	MANU	L/R	PCM* ²	PCM* ²	PCM* ²	PCM* ²				
		L								
		R								
	AUTO	L/R	CUE* ³	CUE* ³					CUE* ³	CUE* ³
		L	CUE* ³	PCM* ²					CUE* ³	PCM* ²
		R	PCM* ²	CUE* ³					PCM* ²	CUE* ³
	PCM	L/R	PCM* ⁴	PCM* ⁴			PCM* ⁴	PCM* ⁴		
		L								
		R								
				PCM* ⁵	PCM* ⁴					

<ノート>

- *² PCMオーディオ出力は、-1.0～+2.0倍速(DVCPRO HD_LP 以外は-1.0～+1.1倍速)の範囲外で再生した場合はミュートされます。
- *³ CUEオーディオ出力は、-1.0～+2.0倍速(DVCPRO HD_LP 以外は-1.0～+1.1倍速)の範囲で再生した場合はPCMが出力されず。
- *⁴ FF/REW時は、自動的にCUEを出力します。
- *⁵ FF/REW時は、ミュートされます。

セットアップメニュー (続き)

<DIF>

No./項目	設定内容
880* ¹ DIF SPEED	<p>IEEE1394 デジタルインターフェイス出力の転送速度の設定。</p> <p>0000 S100 100Mbps 0001 S200 200Mbps 0002 S400 400Mbps</p> <p><ノート> この項目で「S100」を選択したときは、DVCPRO HD フォーマット信号の入出力を行うことができません。</p>
882* ¹ DIF IN CH	<p>入力チャンネルの設定。</p> <p>0000 0 : 0063 63 指定値で固定。</p> <p>0064 AUTO 指定値で固定しません。 電源がONの時、入力チャンネルは63に初期化されます。</p>
883* ¹ DIF OUT CH	<p>出力チャンネルの設定。</p> <p>0000 0 : 0063 63 指定値で固定。</p> <p>0064 AUTO 指定値で固定しません。 電源がONの時、入力チャンネルは63に初期化されます。</p>
886* ¹ DIF CONFIG	<p>拡張用のメニュー。通常は DFLT で使用します。</p> <p>0000 DFLT 0001 1 : 0255 255</p>
890* ¹ DIF AUD OUT	<p>DVCPRO HD テープや 50M フォーマットのテープを再生して、IEEE1394 デジタルインターフェイスから DV フォーマットで出力するとき、またはオーディオ信号が 4ch モードの DV テープを再生し、セットアップメニュー No.891 (DIF DV AUDIO) が「LOCK48」に設定されているときに出力する音声チャンネルの設定を行います。</p> <p>0000 CH1/2 CH1 と CH2 0001 CH3/4 CH3 と CH4</p>
891* ¹ DIF DV AUDIO	<p>DV テープを再生し、DV フォーマットで出力する場合の強制オーディオモード変換の設定を行います。</p> <p>0000 THRU 通常 (スルー)。 0001 LOCK 強制的に LOCK モードに変換する。(周波数の変換はしない) 0002 LOCK48 強制的に 48kHz/2CH/LOCK に変換する。</p>

_____ は工場出荷モードです。

No./項目	設定内容
892* ¹ DIF SIG CMD	<p>IEEE1394 デジタルインターフェイスで接続した外部機器から、フォーマットを確認する信号が送られた場合に、どう返答するかを設定します。</p> <p>0000 50M 強制的に DVCPRO50 を返答します。 0001 25M 強制的に DVCPRO を返答します。 0002 DV 強制的に DV を返答します。 0003 AUTO IEEE1394 デジタルインターフェイスから出力されている信号フォーマットと、同じフォーマットを返答します。</p> <p><ノート> 50M、25M、DV の信号フォーマットでノンリニア編集システムに接続する場合、ノンリニア編集システムが誤動作する場合があります。その場合は、本メニューで接続した信号フォーマットに対応したフォーマット情報が返答されるように設定した後、システムを起動させてください。</p>
894* ¹ HD → DIF OUT	<p>EE モード時、記録時、あるいは DVCPRO HD テープを再生したときに、IEEE1394 デジタルインターフェイスから出力する信号フォーマットの設定を行います。</p> <p>0000 HD DVCPRO HD 0001 50M DVCPRO50 0002 DV DV</p> <p><ノート> セットアップメニュー No.600 (VIDEO IN SEL) で SD SDI 選択し、かつクロスコンバート時は、このメニューの選択に関係なくセットアップメニュー No.020 (SYS FORMAT) で選択されたフォーマットで出力されます。</p>
895* ¹ 50M → DIF OUT	<p>50M フォーマットのテープを再生したときに、IEEE1394 デジタルインターフェイスから出力する信号フォーマットの設定を行います。</p> <p>0000 50M DVCPRO50 0001 DV DV</p> <p><ノート> この項目で DV を選択したときは、垂直ブランキング期間のタイムコード (VITC) 信号とクローズドキャプション信号は伝送されますが、垂直ブランキング期間に含まれる他の信号は、伝送されません。</p>
896* ¹ 25M → DIF OUT	<p>25M フォーマットのテープを再生したときに、IEEE1394 デジタルインターフェイスから出力する信号フォーマットの設定を行います。</p> <p>0000 25M DVCPRO 0001 DV DV</p>
899* ¹ DIF SUPER	<p>フォーマット変換 (HD → 50M、HD → DV、50M → DV、25M → DV) 時に、IEEE1394 デジタルインターフェイスから出力するスーパー表示の設定を行います。</p> <p>0000 OFF スーパーを表示しない。 0001 ON スーパーを表示する。</p> <p><ノート> TCR のみを表示します。</p>

*¹ システムメニュー項目 No.25 (SYSTEM FREQ) で 23/24Hz または 25Hz (HD、SD)、50Hz (HD、SD) モードを選択している時、この項目は表示されません。

セットアップメニュー (続き)

<MENU>

No./項目	設定内容
A02 P. ON LOAD	<p>本機には現在の設定値 (セットアップメニューの全ての設定値、PF1/PF2 メニューの項目登録内容、一部のファンクションボタン内容) を保存する VTR MEMORY [C] とそれをバックアップ保有する VTR MEMORY [1] ~ [4] があります。電源投入時に、選択した VTR MEMORY [1] ~ [4] のセットアップメニューのみを VTR MEMORY [C] にロードして起動することができます。</p> <p>0000 OFF 前回の設定値で起動します。</p> <p>0001 USER1 VTR MEMORY [1] をロードして起動します。</p> <p>0002 USER2 VTR MEMORY [2] をロードして起動します。</p> <p>0003 USER3 VTR MEMORY [3] をロードして起動します。</p> <p>0004 USER4 VTR MEMORY [4] をロードして起動します。</p>

< Dolby-E* 機器との接続について >

Dolby-E エンコーダー / デコーダーと接続して Dolby-E データを記録・再生する場合は、オーディオ入出力レベルを UNITY に設定し、セットアップメニューを下記のように設定してください。

No.303 AUD EDIT IN = CUT
 No.304 AUD EDIT OUT = CUT
 No.725 REC CH1 = CH1
 No.726 REC CH2 = CH2
 No.727 REC CH3 = CH3
 No.728 REC CH4 = CH4
 No.729 REC CH5 = CH5
 No.730 REC CH6 = CH6
 No.731 REC CH7 = CH7
 No.732 REC CH8 = CH8
 No.734 PB FADE = CUT
 No.758 JOG PROC = OFF
 No.762 AUD RATE CON = OFF

< ノート >

- Dolby-E 機器が指定する REF 信号で、システム全機器を同期させてください。
- 60Hz モードでの Dolby-E データの記録・再生はできません。
- Dolby-E 機器のエンコード / デコード処理時間分のビデオとのタイミング合わせは VTR 外部で行ってください。
- Dolby-E エンコーダー / デコーダーの Bit Depth は 16bit に設定してください。
- Dolby-E データが通っているチャンネルの ANALOG AUDIO OUT からはノイズが出力されます。
- Dolby-E データが通っているチャンネルはオーディオレベルメーターが振り切れます。
- Dolby-E データが記録されたテープを JOG、VAR 再生するとノイズが出力されます。

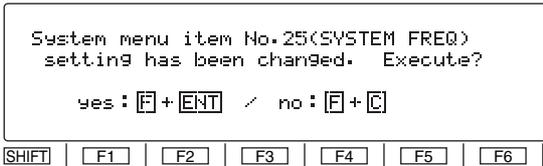
* ドルビー、Dolby およびダブル D **DD** 記号はドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの商標です。

セットアップメニュー（続き）

<システム周波数の切り替え手順>

システム周波数[59/60Hz、50Hz、23/24Hz、25Hz (HD)、25Hz (SD)、50Hz (HD)、50Hz (SD)]を切り替えるには、以下の操作を行います。

- 1 <SETUP MENU/SYSTEM MENU> (62 ページ) の操作手順に従って、システムメニュー No.25 (SYSTEM FREQ) の設定を変更します。
- 2 **[F5]** (SET) を押して設定値を確定し、タイムコード表示部に表示されていたファンクションメニューが消えた後、以下のメッセージが表示されます。



- 3 2で確定した設定値を有効にするには、**[F]** ボタンを押しながら **[ENT]** ボタンを押します。システムが再起動され、選択したモードで動作するようになります。

- 4 2で確定した設定値を無効にするには、**[F]** ボタンを押しながら **[C]** ボタンを押します。上記のメッセージが消え、システムメニュー No.25 (SYSTEM FREQ) の変更した設定値を復元した後、SYSTEM MENU の操作画面に戻ります。

<ノート>

カセットが挿入されている状態で、システムメニュー No.25 (SYSTEM FREQ) の設定値を変更した場合は、カセットは自動でイジェクトされます。<CARD> (71 ページ) の操作手順に従って、SD メモリーカードの呼び出しを行い、システムメニュー No.25 (SYSTEM FREQ) の設定値が変更された場合も同様に、上記手順に従います。ただし、SYSTEM FREQ 変更がキャンセルされた場合でも、その他のシステムメニューは更新され、ファイル名も更新されます。

<動作モードに応じた記録・再生フォーマットおよび同期信号の選択について>

No.25 SYSTEM FREQ	記録可能フォーマット	再生可能フォーマット	同期信号
59/60	1080/59.94i (HD_LP) 720/59.94p (HD_LP) 720/60.00p (HD_LP)	1080/59.94i (HD_LP, HD_SP) 1080/60i (HD_LP, HD_SP) 720/59.94p (HD_LP, HD_SP) 720/60.00p (HD_LP, HD_SP) 480/59.94i (50M、25M、DV、DVCAM)	HD_REF (59.94Hz、60Hz) SD_REF (59.94Hz) セットアップメニュー No.031 (OUT REF) の設定に従います。
50i/25P	1080/50i (HD_LP) 720/50p (HD_LP)	1080/50i (HD_LP, HD_SP) 720/50p (HD_LP) 576/50i (50M、25M、DV、DVCAM) 576/25p over 50i (50M、25M、DV)	HD_REF (50Hz) SD_REF (50Hz) セットアップメニュー No.031 (OUT REF) の設定に従います。
23/24	なし	1080/23.98p over 59.94i (HD_LP) 720/23.98p over 59.94p (HD_LP/HD_SP) 720/24p over 60.00p (HD_LP/HD_SP) 480/23.98p over 59.94i [2:3 mode] 480/23.98p over 59.94i [2:3:3:2 advance mode]	HD_REF (47.96Hz、48Hz)
25 (HD)	なし	720/25p over 60p 720/24p over 60p	HD_REF (50Hz) SD_REF (50Hz) セットアップメニュー No.031 (OUT REF) の設定に従います。
25 (SD)	なし	720/25p over 60p	SD_REF (50Hz)
50 (HD)	なし	720/50p over 60p	HD_REF (50Hz) SD_REF (50Hz) セットアップメニュー No.031 (OUT REF) の設定に従います。
50 (SD)	なし	720/50p over 60p	SD_REF (50Hz)

セットアップメニュー（続き）

<システム周波数の切り替えに伴うメニュー管理>

システムメニューおよびセットアップメニューには、システムメニュー項目 No.25（SYSTEM FREQ）のシステム周波数の選択による動作モードの切り替えによって、設定値の内容が異なる項目と、選択メニューが非表示となり設定値が固定される項目があります。（以下の一覧表をご参照ください）

システムメニューおよびセットアップメニューの設定値について

- 設定値の内容が異なる項目は、VTR MEMORY（カレントファイル、バックアップファイル1～4）内で別々に保存されています。それぞれの動作モードに対応した設定値が表示されますので、動作モードごとに設定値の操作を行うことができます。

<PF1/PF2> ファンクションボタンの登録について

- 設定値の内容が異なる項目を<PF1/PF2>のファンクションボタンに登録した場合、それぞれの動作モードに対応した設定値が表示されますので、動作モードごとの設定値の操作を行うことができます。
- 動作モードによって選択メニューが非表示となる項目を<PF1/PF2>のファンクションボタンに登録している場合、非表示となる動作モードを選択すると、登録内容は保存されていますが、ファンクションボタンはブランク状態となり、操作はできません。また、以下の動作を行うと、非表示になっている項目の登録内容は消えますのでご注意ください。
 - セットアップメニュー No.600 (VIDEO IN SEL) の設定値を「SD SDI」から他の設定値に変更した場合、または他の設定値から「SD SDI」に変更した場合
 - セットアップメニュー No.650 (STYLE) の設定値を変更した場合

<50P IN/OUT>50pin 端子の登録について

- 設定値の内容が異なる項目を<50P IN/OUT>の50pin端子に登録した場合、設定値No.を元にしてそれぞれの動作モードに対応した設定値がIN/OUT端子に割り当てられます。ただし、上限値を超える場合は上限値に制限されます。登録内容は保存されていますが、再登録を行うと上書き保存され、以前の登録内容は消えますのでご注意ください。
- 動作モードによって選択メニューが非表示となる項目を<50P IN/OUT>の50pin端子に登録している場合、非表示となる動作モードを選択すると、登録内容は保存されていますが、操作はできません。また、以下の動作を行うと、非表示になっている項目の登録内容は消えますのでご注意ください。
 - セットアップメニュー No.600 (VIDEO IN SEL) の設定値を「SD SDI」から他の設定値に変更した場合、または他の設定値から「SD SDI」に変更した場合
 - セットアップメニュー No.650 (STYLE) の設定値を変更した場合

<表示されるメニューについて>

表示されるメニューは、メニュー No.25 (SYSTEM FREQ) の選択によって変化します。

NO.	名称	メニュー No.25 SYSTEM FREQ						
		59/60	23/24	50i/25P	25 (HD)	25 (SD)	50 (HD)	50 (SD)
05	ENCODER SEL							
06	V LEVEL CTRL							
12	SYS H (HD)							
14	SYS SC (SD)							
15	VO SYS H (SD)							
16	SD SYS H (SD)							
18	SCH (SD)							
20	AV PHASE							
25	SYSTEM FREQ							
26	HD SYS H ADV		No	No	No	No	No	No
30	MENU LOCK							
000	P-ROLL TIME							
001	LOCAL ENA							
002	TAPE TIMER		No		No	No	No	No
003	REMAIN SEL							
004	SYNCRONIZE		No		No	No	No	No
005	SUPER							
006	DISPLAY SEL							
007	CHARA H-POS							
008	CHARA V-POS							
009	CHARA TYPE							
010	MONI CONTROL		No		No	No	No	No
011	CU-ROLL TIME							

セットアップメニュー (続き)

NO.	名 称	メニュー No.25 SYSTEM FREQ						
		59/60	23/24	50i/25P	25 (HD)	25 (SD)	50 (HD)	50 (SD)
012	REC ADJUST		No		No	No	No	No
013	DET STOP		No		No	No	No	No
014	DET ADJUST		No		No	No	No	No
015	AUTO STEP							
020	SYS FORMAT		No		No	No	No	No
022	PB FORMAT							
023	FORMAT SEL							
030	HD FREQUENCY			No	No	No	No	No
031	OUT REF		No					
100	SEARCH ENA							
101	SHTL MAX							
102	FF. REW MAX							
104	REF ALARM							
105	AUTO EE SEL		No		No	No	No	No
106	EJECT EE SEL							
107	EE MODE SEL		No		No	No	No	No
108	PLAY DELAY							
109	CAP. LOCK		No		No	No	No	No
110	AUTO REW							
111	MEMORY STOP		No		No	No	No	No
112	FRZ MODE SEL							
113	REC INH		No		No	No	No	No
114	REC INH LAMP							
115	EJECT SW INH		No		No	No	No	No
116	EJECT LAMP							
118	SP MODE INH		No		No	No	No	No
119	CONFI REC		No		No	No	No	No
131	PAGE MODE							
132	ROTA MODE							
133	KEY BEEP							
134	ALARM BEEP							
135	DET BEEP		No		No	No	No	No
140	OUTPUT		No		No	No	No	No
141	VOLUME		No		No	No	No	No
142	AUDIO UNITY		No		No	No	No	No
143	CASSTT LIGHT							
144	TC INPUT							
145	FRONT LCD							
146	SAVER DISP							
200	PARA RUN							
202	ID SEL							
204	RS232C SEL							
205	BAUD RATE							
206	DATA LENGTH							
207	STOP BIT							
208	PARITY							
209	RETURN ACK							
212	MASTER PORT							
300	IN/OUT DEL							
301	NEGA FLASH							
302	CONFI EDIT		No		No	No	No	No
303	AUD EDIT IN		No		No	No	No	No
304	AUD EDIT OUT		No		No	No	No	No
305	AUTO ENTRY							
306	CF ADJ SEL		No		No	No	No	No
307	AFTER CUE-UP							
308	VAR FWD MAX							
309	VAR REV MAX							

セットアップメニュー (続き)

NO.	名 称	メニュー No.25 SYSTEM FREQ						
		59/60	23/24	50i/25P	25 (HD)	25 (SD)	50 (HD)	50 (SD)
310	JOG FWD MAX							
311	JOG REV MAX							
312	POSTROLL TM		No		No	No	No	No
313	CLICK POINT							
320	EDIT RPLCE1		No		No	No	No	No
321	EDIT RPLCE2		No		No	No	No	No
322	EDIT RPLCE3		No		No	No	No	No
323	EDIT RPLCE4		No		No	No	No	No
324	EDIT RPLCEC		No		No	No	No	No
400	STILL TIMER							
401	SRC PROTECT							
402	DRUM STDBY							
403	STOP PROTECT							
500	VITC BLANK		No		No		No	
501	VITC POS-1		No		No		No	
502	VITC POS-2		No		No		No	
503	TCG MODE		No		No	No	No	No
504	RUN MODE		No		No	No	No	No
505	TCG REGEN		No		No	No	No	No
506	REGEN MODE		No		No	No	No	No
507	TC SOURCE		No		No	No	No	No
508	BINARY GP		No		No	No	No	No
509	PHASE CORR							
510	TCG CF FLAG		No		No	No	No	No
511	DF MODE		No	No	No	No	No	No
512	TC OUT REF		No		No	No	No	No
513	VITC OUT							
514	HD EMBD VITC					No		No
515	HD EMBD LTC					No		No
516	TC OUT ADV		No		No	No	No	No
517	TCG OUT		No		No	No	No	No
600	VIDEO IN SEL		No		No	No	No	No
601	VIDEO INT SG		No		No	No	No	No
602	SDI IN MODE		No		No	No	No	No
603	V-MUTE SEL							
604	FREEZE SEL		No		No	No	No	No
605	INTERPOLATE		No		No	No	No	No
606	SD MON O SEL							
619	V_FILTER	No	No	No	No		No	No
620	DOWNCON MODE				No		No	
621	UPCON MODE				No	No	No	No
622	D/C RESP H							
623	D/C RESP V							
624	U/C RESP H				No	No	No	No
625	U/C RESP V				No	No	No	No
626	D/C ENH H							
627	D/C ENH V							
628	U/C ENH H				No	No	No	No
629	U/C ENH V				No	No	No	No
630	1080i→HD_OUT		No		No	No	No	No
632	720p→HD_OUT		No		No	No		No
636	SD→HD_OUT		No		No	No	No	No
638	IN U/C MODE		No		No	No	No	No
639	I U/C RESP H		No		No	No	No	No
640	I U/C RESP V		No		No	No	No	No
641	I U/C ENH H		No		No	No	No	No
642	I U/C ENH V		No		No	No	No	No
643	IN BLK LINE		No	No	No	No	No	No

セットアップメニュー (続き)

NO.	名 称	メニュー No.25 SYSTEM FREQ						
		59/60	23/24	50i/25P	25 (HD)	25 (SD)	50 (HD)	50 (SD)
650	STYLE							
651	HUE STYLE (SD)			No	No	No	No	No
653	Y LVL (HD)							
654	Pb LVL (HD)							
655	Pr LVL (HD)							
656	BK LVL (HD)							
658	Y LVL (SD)							
659	Pb LVL (SD)							
660	Pr LVL (SD)							
661	BK LVL (SD)							
662	V LEVEL							
663	C LEVEL							
664	HUE							
665	SETUP LVL							
670	BRIGHTNESS							
671	COLOR LEVEL							
672	CONTRAST							
673	BACKLIGHT							
676	BLK CLIP			No	No	No	No	No
680	CC (F1) BLANK		No	No	No	No	No	No
681	CC (F2) BLANK		No	No	No	No	No	No
684	EDH (SD)							
685	ESR MODE (SD)			No	No	No	No	No
686	CCR MODE (SD)			No	No	No	No	No
687	SDI INDEX 0		No		No		No	
688	CC REC		No	No	No	No	No	No
689	COMP MODE		No		No	No	No	No
690	UMID REC		No		No	No	No	No
691	UMID GEN		No		No	No	No	No
692	UMID POS		No		No	No	No	No
693	GAMMA SEL							
695	BLANK LINE		No		No	No	No	No
700	CH1 IN LV		No		No	No	No	No
701	CH2 IN LV		No		No	No	No	No
702	CH3 IN LV		No		No	No	No	No
703	CH4 IN LV		No		No	No	No	No
704	CUE IN LV		No		No	No	No	No
705	CH1 OUT LV							
706	CH2 OUT LV							
707	CH3 OUT LV							
708	CH4 OUT LV							
709	CUE OUT LV							
710	MONIL OUT LV							
711	MONIR OUT LV							
712	MONI OUT							
713	CH1 IN SEL		No		No	No	No	No
714	CH2 IN SEL		No		No	No	No	No
715	CH3 IN SEL		No		No	No	No	No
716	CH4 IN SEL		No		No	No	No	No
717	CH5 IN SEL		No		No	No	No	No
718	CH6 IN SEL		No		No	No	No	No
719	CH7 IN SEL		No		No	No	No	No
720	CH8 IN SEL		No		No	No	No	No
721	D IN SEL12		No		No	No	No	No
722	D IN SEL34		No		No	No	No	No
723	D IN SEL56		No		No	No	No	No
724	D IN SEL78		No		No	No	No	No
725	REC CH1		No		No	No	No	No

セットアップメニュー (続き)

NO.	名 称	メニュー No.25 SYSTEM FREQ						
		59/60	23/24	50i/25P	25 (HD)	25 (SD)	50 (HD)	50 (SD)
726	REC CH2		No		No	No	No	No
727	REC CH3		No		No	No	No	No
728	REC CH4		No		No	No	No	No
729	REC CH5		No		No	No	No	No
730	REC CH6		No		No	No	No	No
731	REC CH7		No		No	No	No	No
732	REC CH8		No		No	No	No	No
733	REC CUE		No		No	No	No	No
734	PB FADE		No		No	No	No	No
735	HD EMBD AUD							
736	SD EMBD AUD							
737	MONI MIX							
738	CH1 CUE SEL							
739	CH2 CUE SEL							
740	CH3 CUE SEL							
741	CH4 CUE SEL							
742	CH5 CUE SEL							
743	CH6 CUE SEL							
744	CH7 CUE SEL							
745	CH8 CUE SEL							
746	MONI CH SEL							
747	MON AUTO SEL							
748	MONI SEL INH							
749	AUDIO PB VR		No		No	No	No	No
750	ANA CH1 SEL							
751	ANA CH2 SEL							
752	ANA CH3 SEL							
753	ANA CH4 SEL							
754	SD SDI CH1 SL							
755	SD SDI CH2 SL							
756	SD SDI CH3 SL							
757	SD SDI CH4 SL							
758	JOG PROC							
759	DV PB ATT				No	No	No	No
760	REC PT MUTE		No		No	No	No	No
761	AUDIO INT SG		No		No	No	No	No
762	AUD RATE CON							
763	METER SCALE							
776	REF LEVEL							
785	IN IMP CH1SL		No		No	No	No	No
786	IN IMP CH2SL		No		No	No	No	No
787	IN IMP CH3SL		No		No	No	No	No
788	IN IMP CH4SL		No		No	No	No	No
789	IN IMP CUE SL		No		No	No	No	No
790	CUE REC VOL		No		No	No	No	No
791	CUE PB VOL							
880	DIF SPEED		No		No	No	No	No
882	DIF IN CH		No		No	No	No	No
883	DIF OUT CH		No		No	No	No	No
886	DIF CONFIG		No		No	No	No	No
890	DIF AUD OUT		No		No	No	No	No
891	DIF DV AUDIO		No		No	No	No	No
892	DIF SIG CMD		No		No	No	No	No
894	HD→DIF OUT		No		No	No	No	No
895	50M→DIF OUT		No		No	No	No	No
896	25M→DIF OUT		No		No	No	No	No
899	DIF SUPER		No		No	No	No	No
A02	P. ON LOAD							

タイムコード/ユーザーズビットについて

タイムコード

タイムコードは、タイムコードジェネレーター(タイムコード信号発生器)によって発生されるタイムコード信号をテープ上に記録し、タイムコードリーダー(タイムコード信号読取器)でその値を読み取り、テープの絶対位置を、時:分:秒:フレーム単位で表示するときに使用します。

タイムコードは、ヘリカルトラックのサブコード領域(データ領域)に書き込まれます。

このために、タイムコードだけを独立してインサート編集が行えます。また、VTRの再生速度が停止モード→スロー再生→高速再生(約50倍速、ただしDVCPROテープ使用時は約100倍速)まで読み取ることができます。

タイムコード値はディスプレイやスーパーインポーズで表示されます。

TCR 00 : 07 : 04 : 23
↑ ↑ ↑ ↑
時 分 秒 フレーム

ユーザーズビット

ユーザーズビットは、タイムコード信号のうちでユーザーに開放された32ビット(8桁)の情報枠のことです。オペレーターナンバーなどを記録することができます。ユーザーズビットに使用できる数字(文字)は0~9とA B C D E Fです。

内部タイムコードの設定

- 1 VTRを停止モードにします。
- 2 <HOME>メニューの **[F3]** TC/CTL = TCにします。
- 3 <TC>メニューの **[F1]** SOURCE = INTにします。
(内部タイムコードの選択)
- 4 <TC>メニューの **[F5]** RUN MDの設定
REC :
記録と同時に歩進します。
FREE :
VTR 動作にかかわらず、時刻と同じように歩進します。
- 5 <TC>メニューの **[F3]** TCG MDの設定
REGEN :
編集前の下地のTCの連続性を保ちます。
PRE :
操作パネル、または、リモートコントローラでプリセットが可能になります。
AUTO :
VTRの動作モードにより、REGEN/PREが自動で切り替わります。
編集時は、REGEN が選択され、編集時以外は、PRE が選択されます。
- 6 TC プリセット値の登録
<HOME>メニューにします。
<TC/UB>
●プリセット(プリセット可能状態において)
 - ① 数字キーの **[T]** を押すと、TC表示がTCG(UBG)に替わり、TCG値(全桁)が文字反転します。
 - ② 再度 **[T]** を押すと、1桁のみが反転し変更可能状態となります。
 - ③ 値入力は数字キーで入力します。
[F] を押しながら **[0]** を押すと、入力値をすべてクリアできます。
 - ④ UBでのアルファベットは **[F]** を押しながら同一数字キー (**[7]** または **[8]** の連打でトグル) を押し入力します。
桁移動はADJダイヤルを回します。
 - ⑤ 確定は **[ENT]** ボタンを押します。
 - ⑥ 入力中に表示画面を切替えた場合、または **[C]** ボタンを押した場合は、変更可能状態を解除し、設定が無効となります。
<CTL>
●リセット
[F4] (TC CLR) を押します。

タイムコード/ユーザーズビットについて (続き)

外部タイムコードの設定

- 1 VTRを停止モードにします。
- 2 <HOME>メニューの **[F3]** TC/CTL = TCにします。
- 3 ビデオ入力をHD SDI入力、またはINT_SGに設定している場合は、<TC>メニューの **[F1]** TC SRC = EXT-L/SLTC/SVITC にします。
- 4 ビデオ入力をSD SDI入力に設定している場合は、<TC>メニューの **[F1]** TC SRC = EXT-LVITC にします。

<ノート>

ビデオ入力を 1394 に設定している場合、**[F1]** TC SRC の選択にかかわらず1394入力のタイムコードが選択されます。

キュータイム登録・プリロール・キューアップ

(HOME, PF1, PF2 画面でのみ機能)

●登録

[F] ボタンを押しながら **[SET]** ボタンを押して登録します。

●プリセット

[T] ボタンを押すと、キュータイムまたはTC/UB表示が文字反転します。

ADJUST ダイヤルを回して、キュータイム表示を文字反転させます。

以降の登録方法は、TCGと同じ操作です。

●プリロール

PREROLL ボタン押しで現在登録されている CUE 点へプリロールします。

●キューアップ

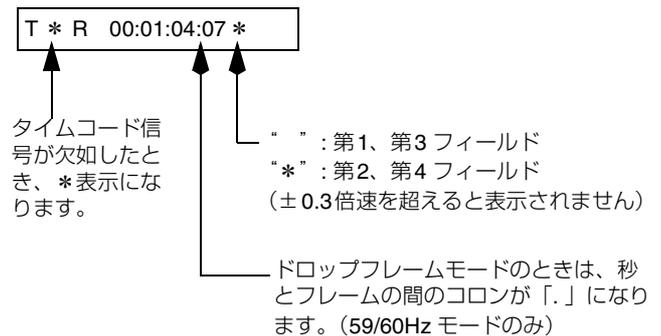
[F] ボタンを押しながらPREROLLボタン押しで現在登録されているCUE点へキューアップします。

タイムコード/ユーザーズビットの再生

- 1 VTRを停止モードにします。
- 2 <HOME>メニューの **[F3]** TC/CTLを「TC」または「UB」にします。
TC :
タイムコードが表示されます。
UB :
ユーザービットが表示されます。
 - タイムコードが読み取れなくなった場合は、CTLで補間します。
- 3 PLAYボタンを押します。
再生が開始され、タイムコードがディスプレイに表示されます。
<TC SHIFT> メニューの **[F3]** SUPER = ON の場合、VIDEO OUT 3 端子からの映像信号に、タイムコード値がスーパーインポーズされます。

<ノート>

- ドロップフレームタイムコードを読んでいる時は、秒とフレームの間のコロンがピリオドに変わります。
- タイムコード信号が欠如したときには、CTL信号で自動的に補います。
ディスプレイは、以下のようになります。



タイムコード/ユーザーズビットについて (続き)

本機で記録するタイムコード

メニュー No.507 TC SOURCE	ビデオ入力信号 選択	記録するタイムコード		
		SBC領域	VAUX領域	
INT	INT SG	内部TCG値 (表1参照)		未記録
	HD SDI			入力ビデオ信号のSVITC ^{*3}
	SD SDI			入力ビデオ信号のVITC ^{*3}
	1394			IEEE1394デジタル入力の タイムコード (VAUX領域)
EXT_L	INT SG	TIME CODE IN端子入力のタイムコード ^{*1}	表2参照	未記録
	HD SDI			入力ビデオ信号のSVITC ^{*3}
	SD SDI	入力ビデオ信号のVITC ^{*3}		
	1394	IEEE1394デジタル入力のタイムコード (SBC領域)		IEEE1394デジタル入力の タイムコード (VAUX領域)
SLTC (SD SDI選択時は VITC ^{*4})	INT SG	内部TCG値 (表1参照)		未記録
	HD SDI	入力ビデオ信号のSLTC ^{*2}	表2参照	入力ビデオ信号のSVITC ^{*3}
	SD SDI	入力ビデオ信号のVITC ^{*2}		入力ビデオ信号のVITC ^{*3}
	1394	IEEE1394デジタル入力のタイムコード (SBC領域)		IEEE1394デジタル入力の タイムコード (VAUX領域)
SVITC (SD SDI選択時は VITC ^{*4})	INT SG	内部TCG値 (表1参照)		未記録
	HD SDI	入力ビデオ信号のSVITC ^{*2}	表2参照	入力ビデオ信号のSVITC ^{*3}
	SD SDI	入力ビデオ信号のVITC ^{*2}		入力ビデオ信号のVITC ^{*3}
	1394	IEEE1394デジタル入力の タイムコード (SBC領域)		IEEE1394デジタル入力の タイムコード (VAUX領域)

*1 TIME CODE IN端子入力から信号が検出できない場合は、内部TCG値となります。

*2 入力ビデオ信号からSLTC、SVITCが検出できない場合は、内部TCG値となります。

*3 入力ビデオ信号からSVITCが検出できない場合は、未記録となります。

*4 入力選択がSD SDIの場合、VITCになります。また入力信号選択がSD SDI以外でSLTC/SVITCを選択時、入力選択をSD SDIにするとVITC選択になります。

タイムコード/ユーザーズビットについて (続き)

本機で記録するタイムコード (続き)

表 1

メニュー			記録するタイムコード							
No.503 TCG MODE	No.505 TCG REGEN	No.506 REGEN MODE	通常記録時		アッセンブル編集時		インサート編集時 (タイムコード選択)			
			TC	UB	TC	UB	TC	UB		
REGEN	TC&UB	---	INT_REGEN							
	TC		INT_REGEN	PRESET	INT_REGEN	PRESET	INT_REGEN	PRESET		
	UB		PRESET	INT_REGEN	PRESET	INT_REGEN	PRESET	INT_REGEN		
PRESET	---		PRESET							
AUTO	TC&UB	AS&IN	PRESET		INT_REGEN		INT_REGEN			
		ASSEM			PRESET		PRESET			
		INSRT			INT_REGEN		INT_REGEN			
	TC	AS&IN	PRESET	INT_REGEN		PRESET		INT_REGEN	PRESET	
		ASSEM		PRESET		PRESET				
		INSRT		REGEN		REGEN				
	UB	AS&IN	PRESET	INT_REGEN		PRESET		PRESET		
		ASSEM		PRESET		INT_REGEN		INT_REGEN		
		INSRT		PRESET		INT_REGEN		INT_REGEN		

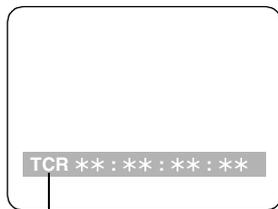
表 2

メニュー			記録するタイムコード							
No.503 TCG MODE	No.505 TCG REGEN	No.506 REGEN MODE	通常記録時		アッセンブル編集時		インサート編集時			
			TC	UB	TC	UB	TC	UB		
REGEN	TC&UB	---	EXT_REGEN							
	TC		EXT_REGEN	PRESET	EXT_REGEN	PRESET	EXT_REGEN	PRESET		
	UB		PRESET	EXT_REGEN	PRESET	EXT_REGEN	PRESET	EXT_REGEN		
PRESET	TC&UB	---	EXT_REGEN							
	TC		EXT_REGEN	PRESET	EXT_REGEN	PRESET	EXT_REGEN	PRESET		
	UB		PRESET	EXT_REGEN	PRESET	EXT_REGEN	PRESET	EXT_REGEN		
AUTO	TC&UB	AS&IN	EXT_REGEN		INT_REGEN		INT_REGEN			
		ASSEM			EXT_REGEN		EXT_REGEN			
		INSRT			INT_REGEN		INT_REGEN			
	TC	AS&IN	EXT_REGEN	EXT_REGEN	PRESET	INT_REGEN	PRESET	INT_REGEN	PRESET	
		ASSEM				PRESET		EXT_REGEN		
		INSRT				PRESET		INT_REGEN		
	UB	AS&IN	PRESET	EXT_REGEN	INT_REGEN		INT_REGEN			
		ASSEM			PRESET		EXT_REGEN			
		INSRT			PRESET	EXT_REGEN	INT_REGEN			

スーパーインポーズ画面

コントロール信号やタイムコードなどが、略称文字で表示されます。

モニターテレビ



省略文字

- CTL** : コントロール信号のカウント値
- TCR** : SBC領域に記録されたタイムコードデータ
- TCR.** : VAUX領域に記録されたタイムコードデータ
- UBR** : SBC領域に記録されたユーザーズビットデータ
- UBR.** : VAUX領域に記録されたユーザーズビットデータ
- TCG** : タイムコードジェネレータのタイムコードデータ
- UBG** : タイムコードジェネレータのユーザーズビットデータ

<ノート>

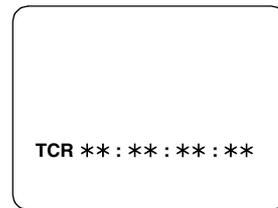
データがテープから正しく読み取れなかったときは、「T * R」「T * R.」「U * R」「U * R.」が表示されます。

表示文字

スーパーインポーズの表示文字は、<TC SHIFT>メニューの **[F5]** (C TYPE)で文字の背景を変えることができます。



モニターテレビ



モニターテレビ

<ノート>

システムメニュー項目No.25 (SYSTEM FREQ) で23/24Hz、25 (HD)、50 (HD) モードを選択しているとき、SD SDI MONITOR/VIDEO OUT3 端子のタイムコード等のスーパーインポーズは表示されません。
また25 (SD)、50 (SD) モードを選択しているとき、HD SDI MONITOR端子のタイムコード等のスーパーインポーズは表示されません。

表示位置

スーパーインポーズの表示位置は、<TC SHIFT>メニューの **[F2]** (C HPOS)と **[F3]** (C VPOS)、ADJダイヤルで変更することができます。



モニターテレビ



モニターテレビ

動作モード

<TC SHIFT>メニューの **[F4]** (DISPLY)で「T&STA」あるいは「T&S&M」を選択するとVTRの動作モードも表示されます。



モニターテレビ

VTR動作モード

音声の記録チャンネルとモニター出力の選択

音声の記録チャンネル

AUDIO のセットアップメニューにより、以下のように音声を選択できます。

記録トラック	記録信号
CH1	CH1/CH2/CH3/CH4/ CH1 + CH2/CH3 + CH4
CH2	CH1/CH2/CH3/CH4/ CH1 + CH2/CH3 + CH4
CH3	CH1/CH2/CH3/CH4/ CH1 + CH2/CH3 + CH4
CH4	CH1/CH2/CH3/CH4/ CH1 + CH2/CH3 + CH4
CH5	CH5/CH6/CH7/CH8/ CH5 + CH6/CH7 + CH8
CH6	CH5/CH6/CH7/CH8/ CH5 + CH6/CH7 + CH8
CH7	CH5/CH6/CH7/CH8/ CH5 + CH6/CH7 + CH8
CH8	CH5/CH6/CH7/CH8/ CH5 + CH6/CH7 + CH8
CUE	CUE/CH1/CH2/CH3/CH4/CH5/CH6/CH7/CH8/ CH1 + CH2/CH3 + CH4/CH5 + CH6/ CH7 + CH8 /CH1 ~ CH8

モニター出力チャンネル

<AUDIO SHIFT2> メニューの **[F6]** M MIX = L, R, L/R にすると、複数のチャンネルの信号をミックスして出力することができます。

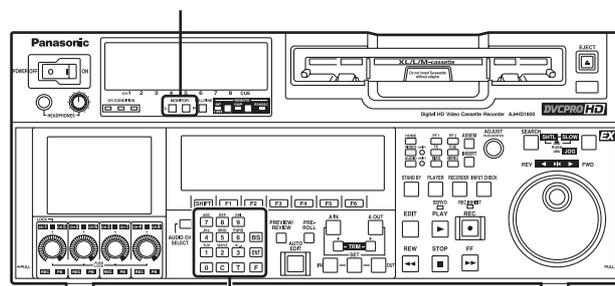
「L」(または「R」) ボタンを押しながら、数字キーでモニターしたいチャンネルの数字を押すと、そのチャンネルが選択され、オーディオレベルメーターに表示されます。

(また、同様の操作ですでに選択されているチャンネルを非選択にします)

ただし、CH1 ~ CH4 のうち最大2チャンネル、CH5 ~ CH8 のうち最大2チャンネルの選択となります。

(例えば、CH1 + CH3 + CH5 + CH8 は可。CH1 + CH2 + CH4 は不可などとなります)

MONITOR SELECT スイッチ



数字キー

表示部のセービングファンクション

この機能は、液晶モニターのサービス寿命を延ばすために設けてあります。フロント操作を全くしない場合、あるいはカセットテープが全く走行しない場合に約5分後、この機能がスタートします。

セービングファンクションが作動している間は、液晶モニターは無表示になり、タイムコード表示部にEXのロゴが点滅表示されます。(ロゴの表示/非表示はセットアップメニュー No.146 (SAVER DISP) で選択できます)

セービングファンクションを解除するには、フロントのボタン、ダイヤル操作をするか、コントローラからテープ走行を指示してください。なお、セービングファンクションを解除するために行った操作はそのまま実行されます。

ラックマウント

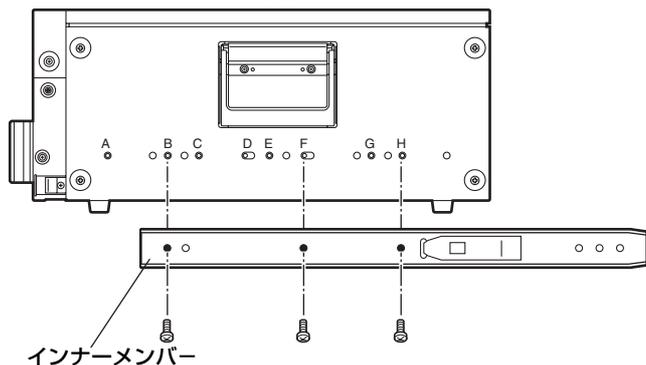
ラックマウントアダプタAJ-MA75P(別売品)をご使用になりますと、本機を19インチ標準ラックマウントに組み込むことができます。

取り付けレールは、摂津金属工業株式会社製18インチレール(品番C-305-18)とブラケット(品番RBA2-35)を使用することをお勧めします。

詳しくは購入店にご相談ください。

- 1 スライドレールのインナーメンバーを取り付けます。ネジ止め位置は、下図を参照してください。

インナーメンバー右(R)側のネジ止め位置

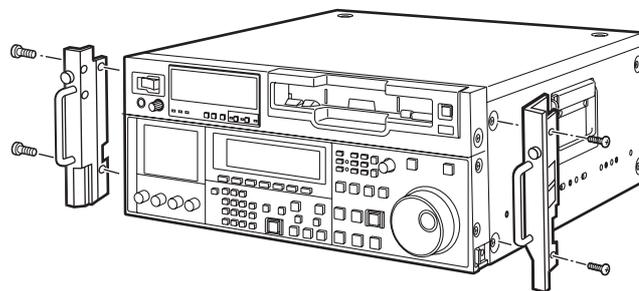


<ノート>

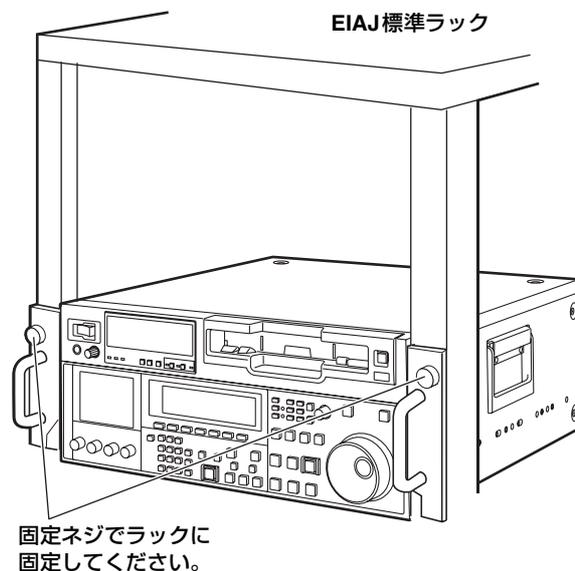
- 使用するネジは、長さ制限があります。長さ10ミリ以下のものをご使用ください。
- 左(L)側も対称の位置で取り付けてください。
- インナーメンバーは、片側3個ずつ(計6個)のネジで止めてください。
- サイドパネルには、上記のアルファベット刻印はありません。

- 2 アウターメンバーのブラケットをラックに取り付けます。左右の高さが同じであるかを確認してください。
- 3 左右のサイドパネルを取り付けている、フロント側のネジ4本を外します。

- 4 ラックマウントアダプター AJ-MA75Pを同じネジで取り付けます。スライドレールのインナーメンバーを取り付けます。ネジ止め位置は、下図を参照してください。



- 5 本機底面のゴム足(4か所)を外し、本機をラックに取り付けます。取り付け完了後、レールの上でスムーズに移動できることを確認します。



<ノート>

- ラック内の温度は5℃～40℃に保ってください。
- VTRを引き出したときにラックが倒れないように、ラックをしっかりと床にボルトで固定してください。

ビデオヘッドクリーニング

本機には、自動的にヘッドの汚れを軽減するオートヘッドクリーニング機能が付いていますが、より信頼性を高めるために、適時ビデオヘッドを清掃することをお勧めいたします。

なお、具体的なクリーニング方法については販売会社にご相談ください。

結露

露つきが起こるのは、暖房された部屋の窓ガラス一面に水滴（露）がつくのと同一原理です。

本機やテープを温度・湿度差の大きいところに移動したときに起こります。

- 湯気が立ちこもる湿度の多いところや、暖房した直後の部屋へ移動したとき。
- 冷房されているところから急に温度・湿度の高いところへ移動したとき。

このようなところへ移動したときは、すぐ電源を入れずに10分程度放置したままお待ちください。

もし、本機に結露が発生したときは、AUTO OFFランプが点灯し、カセットテープは自動的に排出されます。

そのまま、電源を入れた状態でAUTO OFFランプが消えるまでお待ちください。

なお、AUTO OFFランプが消えた後、ビデオヘッドクリーニングすることをお勧めいたします。

お手入れについて

お手入れ前には、電源スイッチをOFFにし、必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください。

キャビネットの清掃は、柔らかい布で行ってください。

汚れのひどいときは、台所用洗剤をうすめ、布に浸して固く絞ってふきます。

汚れを拭き取ったのち、乾いた布で仕上げを行ってください。

<ノート>

アルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。外装部品表面が変色したり、塗装が落ちたりする原因になります。

エラーメッセージ

本機にワーニングが発生すると、警告マーク (W) が点滅します。

ダイアグメニューを開くとフロント液晶部、モニターテレビにその内容を表示します。また、本機の動作に異常が発生すると、AUTO OFF ランプが点灯し、タイムコード表示部にメッセージを表示します。

ダイアグメニュー

VTRの情報を表示します。

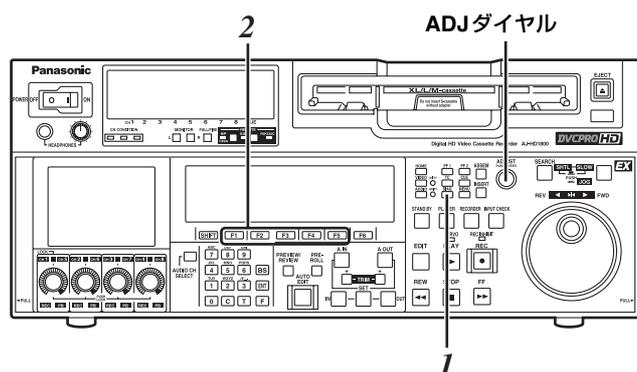
VTR の情報にはワーニング情報、アワーメーター (使用時間) 情報、UMID 情報があります。フロント液晶部、または、モニターテレビとコネクタ部の VIDEO OUT3 端子と接続している場合は、モニターテレビにダイアグメニューを表示します。

■ダイアグメニューの表示

- 1 DIAG ボタンを押します。
モニターテレビにダイアグメニューの画面が表示されます。
- 2 タイムコード表示部のファンクションボタンを押します。

F1	(WARN) : ワーニング情報を表示します。
F2	(HOURS) : アワーメーター情報を表示します。
F3	(UMID) : UMID情報を表示します。
F4	(DIF1) : DIFステータス1情報を表示します。
F5	(DIF2) : DIFステータス2情報を表示します。

アワーメーター情報は、ADJダイヤルでスクロールして表示を行います。
- 3 ダイアグメニューを抜けるには、他のダイレクトメニューボタンを押してください。



■ワーニング情報の表示

- ワーニング発生(警告マーク点滅)時は、ワーニングメッセージを表示します。
ワーニングが発生していない場合は、「NO WARNING」を表示します。
- 複数のワーニングが発生している場合は、ADJダイヤルを回すと各内容を確認することができます。

エラーメッセージ (続き)

■アワーメータ情報の表示

ADJダイヤルを回すと、カーソル(*)が移動し、カーソルのある項目の内容をスーパーインポーズで表示します。

No./項目	設定内容
H00 OPERATION	電源が投入されている時間を1時間単位で表示します。
H01 DRUM RUN	ドラムが回転している時間を1時間単位で表示します。
H02 TAPE RUN	FF、REW、PLAY、SEARCH(JOG、SLOW、SHTL)REC、EDITモード時(ただし、JOG、SLOW、SHTL STILLは除く)に、テープが走行している時間を1時間単位で表示します。
H03 THREADING	スレッティング(ローディング)/アンスレッティング(アンローディング)の回数を1回単位で表示します。
H04 F LOADING	フロントローディングの動作回数を1回単位で表示します。
H05 LCD ON	液晶モニターの点灯時間を1時間単位で表示します。
H11 DRUM RUNr	ドラムが回転している時間を1時間単位で表示します。(リセット可能)
H12 TAPE RUNr	FF、REW、PLAY、SEARCH(JOG、SLOW、SHTL)REC、EDITモード時(ただし、JOG、SLOW、SHTL STILLは除く)に、テープが走行している時間を1時間単位で表示します。(リセット可能)
H13 THREADINGr	スレッティング(ローディング)/アンスレッティング(アンローディング)の回数を1回単位で表示します。(リセット可能)
H14 F LOADINGr	フロントローディングの動作回数を1回単位で表示します。(リセット可能)
H15 LCD ON r	液晶モニターの点灯時間を1時間単位で表示します。(リセット可能)
H30 POWER ON	電源が投入された回数を1回単位で表示します。

<ノート>

アワーメータ情報のリセット可能な項目は、メンテナンスを行った場合等に販売店によりリセットします。

セットアップメニューNo.006 (DISPLAY SEL) でT&S&Mが選択されている場合、ワーニングまたはエラー発生時、モード表示部にメッセージを表示します。複数発生時は、優先順位の高いものが表示されます。

優先順位	表示と内容
高い ↑ ↓ 低い	エラーメッセージ (エラーメッセージ表参照) 本機の動作に異常が発生すると、AUTO OFFランプが点灯し、エラーメッセージを表示します。
	INT SG <VIDEO>メニューの[F1] (VID IN) または<AUDIO>、<AUDIO SHIFT1>メニューのオーディオ入力選択で「INT SG」が選択されている時にEDITボタンを押すと、開始2秒間表示されず。記録の開始時2秒間も同様に表示されます。
	NO INPUT アナログオーディオを除き、<VIDEO>メニューの[F1] (VID IN) または<AUDIO>、<AUDIO SHIFT1>メニューのオーディオ入力選択で選択されている入力端子に入力信号がない場合に、EDITボタンを押すと、開始2秒間表示されます。記録の開始時2秒間も同様に表示されます。
	ワーニングメッセージ (ワーニングメッセージ表参照) 本機にワーニングが発生すると、ワーニングランプが点灯し、ワーニングメッセージを表示します。複数のワーニングが発生している場合は、優先順位の高いものを表示します。

■UMID情報の表示

EEモードのときは、入力信号にUMID情報が存在しているときに表示します。テープ再生時は、テープ上にUMID情報が記録されているときに表示します。UMID情報が存在しないときは、「NO-INFO」を表示します。

表示	内容
MATNO	素材番号
COPY	インスタンス番号 (コピー回数)
OWNR	国名、組織名、ユーザー名
POS	海拔、経度、緯度、記録時におけるGPS衛星からの受信状態 HOLD: GPS衛星からの信号が受信できない。 2D: 受信衛星数が少ない。海拔情報の精度が出ない。 3D: GPS衛星からの信号が良好。
DATE	日付
TIME	UTC (協定世界時: Coordinated Universal Time)

エラーメッセージ (続き)

ワーニングメッセージ

優先順位	● 表示 ● 内容 ● VTRの動作と対処方法
高い	<p>E-92 1394 INITIAL ERROR IEEE1394 デジタルインターフェースの接続状態が不正な場合に表示されます。 VTR : IEEE1394 デジタルインターフェース入出力停止</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ケーブル接続がループになっていれば、1対1に接続しなおしてください。ループ接続でない場合には、POWERスイッチをOFF→ONにしてください。
	<p>E-04 UNKNOWN SIG IEEE1394 デジタルインターフェースから入力された信号がDVCPRO/DVフォーマットではない場合に表示されます。 VTR : 記録動作不可</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 1394入力が正しく接続されていることを確認してください。
	<p>E-90 NOT 1X 100M SIG IEEE1394 デジタルインターフェイスに入力されている信号が、DVCPRO HD (100 Mbps) フォーマットの1倍速転送速度ではないときに表示されます。 VTR : 動作継続*1</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 1394入力信号を確認してください。
	<p>E-16 INVALID VIDEO SIG IEEE1394 デジタルインターフェースから入力された圧縮ビデオ信号が不正な場合に表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ワーニングは記録動作中のみ表示されます。この場合、オーディオはミュート記録されます。 <p>VTR : 動作継続*1</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 1394入力信号を確認してください。
	<p>E-17 INVALID AUDIO SIG IEEE1394 デジタルインターフェースから入力されたオーディオ信号が不正な場合に表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ワーニングは記録動作中のみ表示されます。この場合、オーディオはミュート記録されます。 <p>VTR : 動作継続*2</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 1394入力信号を確認してください。
	<p>E-18 INVALID TC SIG IEEE1394 デジタルインターフェースから入力されたタイムコード情報が不正な場合に表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ワーニングは記録動作中のみ表示されます。この場合、内部発生されたタイムコードが記録されます。 <p>VTR : 動作継続*3</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 1394入力信号を確認してください。
	<p>E-14 NO MATCH SIG IEEE1394 デジタルインターフェイスに入力されている信号が、本機で設定されているシステムフォーマットと異なるときに表示されます。</p> <p>VTR : 動作継続*2</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 1394入力信号を確認してください。
低い	

*1 エラー表示は、EEモードのときに常に表示されます。この場合、映像信号としてブラック信号が記録され、音声信号はミュートされます。

*2 エラー表示は、EEモードのときに常に表示されます。この場合、音声信号はミュートされます。

*3 エラー表示は、EEモードのときに常に表示されます。この場合、タイムコード信号として本機の内部タイムコードジェネレーターのタイムコードが記録されます。

優先順位	● 表示 ● 内容 ● VTRの動作と対処方法
高い	<p>E-10 FAN STOP * ファンモーターが停止した場合に表示します。*には異常を起こしたファンの名称が表示されます。 main : リアパネルのメインファン power : リアパネルの電源ファン mecha : 機器に内蔵されたファン VTR : 動作継続(メニューの設定に関わらず、ピープ音が鳴ります)。メインファンまたは電源ファンが5分以上停止している場合、本機の電源は強制的にOFFになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ファンに異物が入っていないか確認してください。 ● POWERスイッチをOFFにして、数分待ってからもう一度ONにしてください。
	<p>E-09 NO RF 再生時、テープのブランク部分を1秒以上検出した場合に表示します。 下記の条件を全て満たしたとき、ブランク部分として認識します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 全てのヘッド出力がない。 ● 再生データが読み取れない。 ● CTLがない。 <p>VTR : 動作継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ● テープを確認してください。 記録されていないテープが挿入されている可能性があります。
	<p>E-00 SERVO NOT LOCKED 再生、記録、編集時、サーボが3秒以上外れた場合に表示します。 VTR : 動作継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ● テープを確認してください。 再生不可能な方式で記録されたテープが挿入されている可能性があります。
	<p>E-93 INVALID TC MODE [23/24Hz, 25Hz (HD,SD)、50Hz (HD,SD) モード時] 再生時、タイムコードがDFモードで記録されている場合に表示されます。タイムコードのドロップポイントで映像出力が乱れ、音声出力はミュートされます。また、サーボロックが外れる場合があります。 VTR : 動作継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ● テープを確認してください。 バリエーションフレームレートカメラで収録されたテープを本機で再生する場合、タイムコードはNDFモードで記録されている必要があります。
	<p>E-94 TC SEQUENCE UNMATCH[23/24Hz, 25Hz (HD,SD)、50Hz (HD,SD) モード時] 再生時、アクティブフレーム情報とタイムコードの関係が不正な場合に表示されます。映像出力が不均一(滑らかでない動き)になる場合があります。 VTR : 動作継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ● テープを確認してください。 バリエーションフレームレートカメラで収録されたテープにはアクティブフレーム(フレーム映像が切替わった先頭フレーム)情報が記録されています。本機で再生する場合は、タイムコードの0フレームがアクティブフレーム位置で検出される必要があります。
低い	

エラーメッセージ

優先順位	<ul style="list-style-type: none"> ● 表示 ● 内容 ● VTRの動作と対処方法
高い ↑	<p>E-01 LOW RF 再生、記録、編集時にビデオヘッドのエンベレベルが通常の約1/3以下の状態を1秒以上検出した場合、あるいはA/CヘッドのCTLレベルが通常の約1/6以下の状態を1秒以上検出した場合に表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● DV/DVCAM再生時はCTLレベルは検出しません。 ● 記録、編集時はビデオの同時再生ヘッドのみのエンベレベルを検出します。 <p>VTR：動作継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ビデオヘッドおよびA/Cヘッドのクリーニングを行ってください。
↓ 低い	<p>E-02 HIGH ERROR RATE エラーレートが悪化し、ビデオ／オーディオのいずれかの再生信号に修整／補間がかかった場合に表示します。</p> <p>VTR：動作継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ビデオヘッドクリーニングを行ってください。

表示	<ul style="list-style-type: none"> ● 内容 ● VTRの動作と対処方法
E-20 DEW	<p>結露を検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯し、メッセージ表示が点滅してEJECTモードへ移行します。EJECT後、結露を除去するためにドラムが回転します。結露が解除されると、「AUTO OFF」ランプとメッセージ表示が消え、VTRは使用可能となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● EJECTモードで結露を検出すると、その時点でドラムが回転します。 ● カセットが挿入されているときに結露を検出すると、ドラムの回転を止め、EJECT後にドラムが回転します。 <p>VTR：EJECT</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源を入れた状態でお待ちください。
E-29 FRONT LOAD MOTOR	<p>EJECTモードに移行し6秒経過してもカセットアップしない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯し、メッセージ表示が点滅します。</p> <p><ノート> カセット挿入後、6秒経過してもカセットダウンにならない場合、EJECTモードに移行します。</p> <p>VTR：停止</p> <ul style="list-style-type: none"> ● POWERスイッチをOFF → ONにしてください。
E-31 LOADING MOTOR	<p>アンローディング動作が6秒以内に完了しない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯し、メッセージ表示が点滅します。</p> <p><ノート> ローディング動作が6秒以内に完了しない場合、EJECTモード(アンローディングモード)へ移行します。</p> <p>VTR：停止</p> <ul style="list-style-type: none"> ● POWERスイッチをOFF → ONにしてください。
E-35 SERVO CONTROL ERROR	<p>サーボマイコンからの応答が1秒以上ない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯し、メッセージ表示が点滅します。</p> <p>VTR：停止</p> <ul style="list-style-type: none"> ● POWERスイッチをOFF → ONにしてください。
E-37 SERVO COMM ERROR	<p>サーボマイコンが10秒経過しても、システムコントロールマイコンの指示に従わない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯し、メッセージ表示が点滅します。</p> <p>VTR：停止</p> <ul style="list-style-type: none"> ● POWERスイッチをOFF → ONにしてください。

エラーメッセージ (続き)

エラーメッセージ (続き)

表示	● 内容 ● VTRの動作と対処方法
E-51 FRONT LOAD ERROR	ローディング途中(ハーフポジション)の終始端処理動作で、巻き取り側リールが一定時間空回りした場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。 VTR：停止 ● POWERスイッチをOFF → ONにしてください。
E-52 W-UP REEL NOT ROTA	カセット挿入後、テープ総量未検出状態でテープ走行中、テープ巻き取り側リールがテープを巻き取っていない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。 VTR：停止 ● POWERスイッチをOFF → ONにしてください。
E-53 WINDUP ERROR	テープ総量検出後、テープ走行中、巻き取り側リールのテープ巻き取り量と、送り出し側リールのテープ送り出し量が、異常に異なった場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。 VTR：停止 ● POWERスイッチをOFF → ONにしてください。
E-55 UNLOAD ERROR	アンローディング時テープを巻き取らなかった場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します VTR：停止 POWERスイッチをOFF → ONにしてください。
E-57 S-FF/REW TIMEOVER	終始端処理動作が終了しない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。 VTR：停止 ● POWERスイッチをOFF → ONにしてください。
E-59 DRUM ROTA TOO SLOW	シリンダモータの回転数が異常に低い場合、「AUTO OFF」ランプが点灯し、メッセージ表示が点滅します。 VTR：停止 ● POWERスイッチをOFF → ONにしてください。
E-60 DRUM ROTA TOO FAST	シリンダモータの回転数が異常に高い場合、「AUTO OFF」ランプが点灯し、メッセージ表示が点滅します。 VTR：停止 ● POWERスイッチをOFF → ONにしてください。
E-61 CAP ROTA TOO SLOW	キャプスタンモータの回転数が異常に低い場合、「AUTO OFF」ランプが点灯し、メッセージ表示が点滅します。 VTR：停止 ● POWERスイッチをOFF → ONにしてください。
E-64 S REEL ROTA TOO FAST	Sリールモータの回転数が異常に高い場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。 VTR：停止 ● POWERスイッチをOFF → ONにしてください。
E-67 T REEL ROTA TOO FAST	Tリールモータの回転数が異常に高い場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。 VTR：停止 ● POWERスイッチをOFF → ONにしてください。
E-69 T REEL TORQUE ERR	Tリールモータに異常トルクがかかっていることを検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。 VTR：停止 ● POWERスイッチをOFF → ONにしてください。

表示	● 内容 ● VTRの動作と対処方法
E-70 S REEL TORQUE ERR	Sリールモータに異常トルクがかかっていることを検出した場合、もしくは、電流検出抵抗に異常電流が流れていることを検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。 VTR：停止 ● POWERスイッチをOFF → ONにしてください。
E-71 CAP TENSION ERROR	キャプスタンモードでS側テンション異常を検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯し、メッセージ表示が点滅します。 VTR：停止 ● POWERスイッチをOFF → ONにしてください。
E-72 REEL TENSION ERROR	リールモードでS側テンション異常を検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯し、メッセージ表示が点滅します。 VTR：停止 ● POWERスイッチをOFF → ONにしてください。
E-73 REEL DIR UNMATCH	巻取り側のリールモータが逆転した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯し、メッセージ表示が点滅します。 VTR：停止 ● POWERスイッチをOFF → ONにしてください。
E-74 DRUM TORQUE ERROR	シリンダモータに異常トルクがかかっていることを検出した場合、エラー番号が点滅します。 VTR：停止 ● POWERスイッチをOFF → ONにしてください。
E-FF	ローディング途中または、ローディング完了後に、テープ始端およびテープ終端を同時に検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。 VTR：停止 ● POWERスイッチをOFF → ONにしてください。

本機を再起動してもエラーメッセージが表示する場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

RS-232C インターフェース

RS-232C インターフェースを使用することにより、コマンドによるVTR操作が可能になります。

(136 ページのコマンド一覧をご参照ください。)

■RS-232C インターフェースからのコマンド受け付け条件

セットアップメニュー No. 204

(RS232C SEL) : **ON**

上記条件が成立していない場合は、外部に対して [ACK] + [STX] ER001 [ETX] の返答を行います。[ACK] の返信をすらかしないかは、セットアップメニュー項目 No.209 (RETURN ACK) の設定に従います。

ハードウェア仕様

外部インターフェイス仕様

● 端子仕様

コネクター

D-SUB 25ピン(クロスケーブル対応)

ピンNo.	信号	内容
1	FG	保安用接地(フレームグランド)
2	RXD	受信データ(PCへデータを送信する)
3	TXD	送信データ(PCからデータを受信する)
4	CTS	送信可(5番ピンと短絡)
5	RTS	送信要求(4番ピンと短絡)
6	DTR	データ端末レディ(未処理)
7	SG	信号用接地(信号用GND)
20	DSR	データ・セット・レディ(通信可能状態後、正電圧出力)

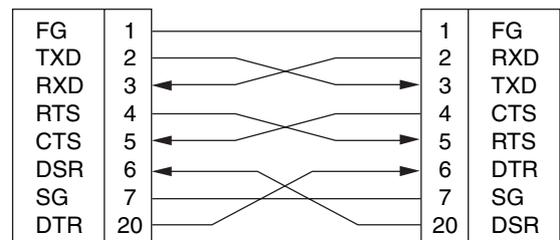
● コントローラ(PC)との接続例

(D-SUB 25ピン クロスケーブルを使用)

PC側

(D-SUB 25ピン)

VTR側

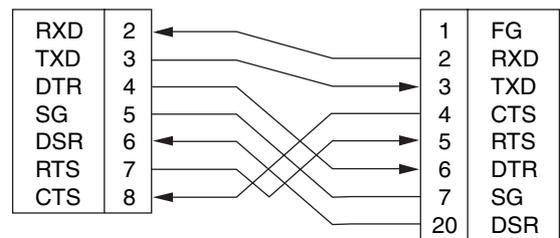


(D-SUB 9ピン-25ピン クロスケーブルを使用)

PC側

(D-SUB 9ピン)

VTR側



ソフトウェア仕様 (プロトコル)

1. 通信条件

通信方式	調歩同期式・全二重
通信速度	300/600/1200/2400/4800/9600
ビット長	7bit/8 bit
ストップビット	1 bit/2 bit
パリティビット	NONE/ODD/EVEN
ACKコード	返信する/返信しない <ノート> ACKコードとは、コントローラ側から正常なデータの送信があった場合、VTR側からコントローラに対して返信するコードのことです。

_____ は、工場出荷モードです。

設定は、下記のセットアップメニュー項目で変更できます。

通信条件	セットアップメニュー項目
通信速度	No.205 BAUD RATE
ビット長	No.206 DATA LENGTH
ストップビット	No.207 STOP BIT
パリティビット	No.208 PARITY
ACKコード	No.209 RETURN ACK

2. 送信フォーマット

[コントローラ(PC)→VTR]

コマンド指示に対して、次の応答を行います。必要に応じて複数の応答を行うこともあります。

■ データフォーマット

[STX]	[command]	[:]	[data]	[ETX]
02h	XX XX XX	3Ah	XX.....XX	03h

20H<XX<7FH

(XX=ASCIIコード：記号、数字、英大文字)

[command] :

コマンド識別子(3バイト)です。

コマンドとして3バイトの識別子(ASCIIコード：記号、数字、英大文字)を送信します。

[:] :

コロンは、コマンドとデータとの区切りを意味するコードです。

[data] :

必要なバイト数のデータ(ASCIIコード：記号、数字、英大文字)を付け加えることができます。

■ コントローラからの送信手順概略

- ① 送信コマンドは、STX(START OF TEXT = 02h)で始まります。次に続くCOMMANDによりコマンドの識別を行い、必要に応じてデータを付け加えます。最後にETX(END OF TEXT = 03h)で終了します。
- ② 新たに別のコマンドを送信する場合は、VTRからの応答を待ってから送信します。(135 ページ参照)
- ③ ETXを送信する前に再度STXを送信すると、VTR側の内部受信データバッファはクリアされます。コマンドエラーをコントローラへ返信し、再度受信したSTXを先頭として、新たにデータ処理を行います。

3. 返信フォーマット

[VTR → コントローラ(PC)]

コマンド指示に対して、次の応答を行います。必要に応じて複数の応答を行うこともあります。

■ 通信が正常終了した場合

1. 受信完了メッセージを返信します。

[ACK]
06h

2. 実行完了メッセージを返信します。

[STX]	[command]	[:]	[data]
02h	XX XX XX	XX.....XX	03h

[command] :

返信するメッセージ(データ)または、実行完了のメッセージ識別子です。

[data] :

返信するデータです。省略が可能です。

example:

送信コマンド 返信メッセージ(データ)
[STX] OPL [ETX] → [ACK] [STX] OPL [ETX]

■ 通信が異常終了した場合

[NACK]
15h

■ 間違ったデータまたは VTR に異常があり処理できない場合

1. 受信完了メッセージを返信します。

[ACK]
06h

2. エラーコードを返信します。

[STX]	[E R N ₁ N ₂ N ₃]	[ETX]
02h	エラーコード	03h

4. エラーコード一覧

ER001	: 無効コマンド
	● 未対応コマンド受信
	● コマンド実行エラー
ER002	: パラメータエラー
ER102	: VTR モードエラー (フロントローディングモータ)
ER103	: VTR モードエラー (ローディングモータ)
ER104	: VTR モードエラー (ドラム、キャプスタン系)
ER105	: VTR モードエラー(リール系)
ER106	: VTR モードエラー(テンション系)
ER108	: VTR DEW エラー
ER1FF	: VTR システムエラー

5. コマンド一覧

■動作制御 (Operation) 関連コマンド

<ノート>

- 返信(完了)メッセージは、データ受信時に[ACK]を返信し、その後返信する実行メッセージのみを記載しています。
- 下記表に記載されていないコマンドについては、[ACK]を返信後にER001(無効コマンド)を返信します。

VTR操作	送信コマンド	返信(完了)メッセージ
STOP	[STX] OSP [ETX] ↔ [STX] OSP [ETX]	[STX] OSP [ETX]
	テープ走行を停止するコマンドです。 出力画および音声の状態は、セットアップメニュー No.105 (AUTO EE SEL)の設定により異なります。 詳細は、各セットアップメニューをご参照ください。	
EJECT	[STX] OEJ [ETX] ↔ [STX] OEJ [ETX]	[STX] OEJ [ETX]
	カセットテープをイジェクトするコマンドです。 出力画および音声の状態は、セットアップメニュー No.105 (AUTO EE SEL)の設定により異なります。 詳細は、各セットアップメニューをご参照ください。	
PLAY	[STX] OPL [ETX] ↔ [STX] OPL [ETX]	[STX] OPL [ETX]
	再生を開始するコマンドです。	
REWIND	[STX] ORW [ETX] ↔ [STX] ORW [ETX]	[STX] ORW [ETX]
	テープを巻き戻すコマンドです。 出力画および音声の状態は、セットアップメニュー No.105 (AUTO EE SEL)の設定により異なります。 最高速度は、セットアップメニュー No.102 (FF. REW MAX)の設定により異なります。 詳細は、各セットアップメニューをご参照ください。	
FAST FORWARD	[STX] OFF [ETX] ↔ [STX] OFF [ETX]	[STX] OFF [ETX]
	テープを早送りするコマンドです。 出力画および音声の状態は、セットアップメニュー No.105 (AUTO EE SEL)の設定により異なります。 最高速度は、セットアップメニュー No.102 (FF. REW MAX)の設定により異なります。 詳細は、各セットアップメニューをご参照ください。	
REC	[STX] ORC [ETX] ↔ [STX] ORC [ETX]	[STX] ORC [ETX]
	録画を開始するコマンドです。	

VTR操作	送信コマンド	返信(完了)メッセージ
SHTL FORWARD	[STX] OSF:data [ETX] ↔ [STX] OSF [ETX]	[STX] OSF [ETX]
	正方向シャトルのコマンドです。 data = n : speed data 0 : STILL 1 : × 0.03 2 : × 0.1 3 : × 0.2 4 : × 0.5 5 : × 1 6 : × 2.0 (DVCPROHD-LP以外のフォーマット時は、× 1.85) 7 : × 4.9 8 : × 9.8 9 : × 16 A : × 32	
	<ノート> × 16倍速と× 32倍速は、セットアップメニュー No.101 (SHTL MAX)の設定により異なります。	
SHTL REVERSE	[STX] OSR:data [ETX] ↔ [STX] OSR [ETX]	[STX] OSR [ETX]
	逆方向シャトルのコマンドです。 data = n : speed data 0 : STILL 1 : × 0.03 2 : × 0.1 3 : × 0.2 4 : × 0.5 5 : × 1 6 : × 2.0 (DVCPROHD-LP以外のフォーマット時は、× 1.85) 7 : × 4.9 8 : × 9.8 9 : × 16 A : × 32	
	<ノート> × 16倍速と× 32倍速は、セットアップメニュー No.101(SHTL MAX)の設定により異なります。	
STANDBY OFF	[STX] OBF [ETX] ↔ [STX] OBF [ETX]	[STX] OBF [ETX]
	VTRをスタンバイOFFにするコマンドです。	
STANDBY ON	[STX] OBN [ETX] ↔ [STX] OBN [ETX]	[STX] OBN [ETX]
	VTRをスタンバイONにするコマンドです。	

RS-232C インターフェース (続き)

■ 問い合わせ (Question) 関連コマンド

<ノート>

- 返信 (完了) メッセージは、データ受信時に [ACK] を返信し、その後返信する実行メッセージのみを記載しています。
- 下記表に記載されていないコマンドについては、[ACK] を返信後に ER001 (無効コマンド) を返信します。

VTR操作	送信コマンド	返信(完了)メッセージ
CTL/TC DATA REQUEST	[STX] QCD [ETX]	↔ [STX] CD data [ETX]
	カウンター値を問い合わせるコマンドです。 data = f w gh mm ss ff f = F w = S gh = CTLのとき： g = SP (20h) : プラス時 - (2Dh) : マイナス時 h = 0~9 : 時 TCのとき： gh = 00~23 : 時 mm = 00~59 : 分 ss = 00~59 : 秒 [525iシステム] ff = 00~29 : フレーム <ノート> フロント表示モードに合わせて、CTLかTCを返信します。	
STATUS REQUEST	[STX] QOP [ETX]	↔ [STX] *** [ETX]
	VTRの動作モードを問い合わせるコマンドです。 *** = OEJ : EJECT OFF : FAST FORWARD OPL : PLAY ORC : REC ORW : REWIND OSP : STOP (STANDBY ON 含む) SRS : (IN/OUT) PREROLL OBF : STAND BY OFF OSF : SHTL FORWARD OSR : SHTL REVERSE OJG : JOG FORWARD/REVERSE OSW : VAR FORWARD/REVERSE EAE : AUTO EDIT EON : EDIT ON (MANUAL EDIT) EPV : PREVIEW ERV : REVIEW	
ID (機器番号) REQUEST	[STX] QID [ETX]	↔ [STX] data [ETX]
	使用機器を問い合わせるコマンドです。 data = AJ-HD1800	

RS-232C インターフェース (続き)

■ Microsoft QuickBASIC サンプルプログラム

```
CLS
STX$ = CHR$(&H2): ETX$ = CHR$ (&H3): NAK$ = CHR$(15): ACK$ = CHR$(&H6)
PRINT "*** RS-232C COMMUNICATION SAMPLE PROGRAM ***"
PRINT "Type Command 'QUIT' to quit."
PRINT

REM *** Communication Port Initial & Open ***
REM Port 1,9600Bps,No parity,8 bit data,1 stop bit
OPEN "COM1:9600,N,8,1" FOR RANDOM AS #1 LEN = 256

REM *** Input Command & Send Command ***
SendCmd:
INPUT "Input Command = "; SEND$
IF SEND$ = "QUIT" THEN GOTO ProgEnd
PRINT #1, STX$ + SEND$ + ETX$

REM *** Wait for Receive Command ***
WHILE LOC(1) = 0
    WAITKEY$ = INKEY$
    IF WAITKEY$ = "Q" THEN PRINT "**** Quit ****": GOTO ProgEnd

WEND

REM *** Receive Command ***
RecvCmd:
RECV$ = INPUT$(1, #1)
IF RECV$ = STX$ THEN RECV$ = "[Stx]"
IF RECV$ = ACK$ THEN RECV$ = "[Ack]"
IF RECV$ = NAK$ THEN RECV$ = "[Nak]"
IF RECV$ = ETX$ THEN BUFFER$ = BUFFER$ + "[Etx]": GOTO DispOut
BUFFER$ = BUFFER$ + RECV$
GOTO RecvCmd

REM *** Output Receive Command ***
DispOut:
PRINT "Receive Command = "; BUFFER$
PRINT
BUFFER$ = ""
GOTO SendCmd

REM *** End Program ***
ProgEnd:
CLOSE
END
```

Microsoft QuickBASICはマイクロソフト社の商標です。

コネクターの信号

VIDEO IN

HD SERIAL IN (DIGITAL)	BNC×1、アクティブスルー (BNC×1)
HD/SD REF IN	BNC×2、ループスルー、75Ω 終端スイッチ付
SD SERIAL IN (DIGITAL)	BNC×1、アクティブスルー (BNC×1)

VIDEO OUT

HD SERIAL OUT (DIGITAL)	BNC×4
SD SERIAL OUT (DIGITAL)	BNC×2
アナログコンポジットOUT	BNC×3

AUDIO IN

AUDIO IN (DIGITAL)	BNC×4(CH1/CH2、CH3/CH4、CH5/CH6、CH7/CH8)、AES/EBUフォーマット
AUDIO IN (ANALOG)	XLR×4(CH1、CH2、CH3、CH4)
HD SERIAL IN (DIGITAL)	BNC×1、アクティブスルー (BNC×1)
SD SERIAL IN (DIGITAL)	BNC×1、アクティブスルー (BNC×1)
CUE IN	XLR×1
TIME CODE IN	XLR×1

AUDIO OUT

AUDIO OUT (DIGITAL)	BNC×4(CH1/CH2、CH3/CH4、CH5/CH6、CH7/CH8)、AES/EBUフォーマット
AUDIO OUT (ANALOG)	XLR×4(CH1、CH2、CH3、CH4)
HD SERIAL OUT (DIGITAL)	BNC×4
SD SERIAL OUT (DIGITAL)	BNC×2
CUE OUT	XLR×1
TIME CODE OUT	XLR×1
MONITOR OUT	XLR×2(L、R)
HEADPHONES (フロント)	M6

RS-422A REMOTE (9P)

● REMOTE IN/OUT

ピンNo.	信号内容
1	FRAME GROUND
2	TRANSMIT A
3	RECEIVE B
4	RECEIVE COMMON
5	—————
6	TRANSMIT COMMON
7	TRANSMIT B
8	RECEIVE A
9	FRAME GROUND

● REMOTE OUT

ピンNo.	信号内容
1	FRAME GROUND
2	RECEIVE A
3	TRANSMIT B
4	TRANSMIT COMMON
5	—————
6	RECEIVE COMMON
7	RECEIVE B
8	TRANSMIT A
9	FRAME GROUND

コネクタの信号 (続き)

PARALLEL REMOTE (50P)

ファンクションメニューの50P IN/OUT ASSIGNを参照してください。(76 ページ)

RS-232C (D-SUB 25 ピン、クロスケーブル対応)

ピンNo.	信号	内容
1	FG	保安用接地(フレームグランド)
2	RXD	受信データ(PCへデータを送信する)
3	TXD	送信データ(PCからデータを受信する)
4	CTS	送信可(5番ピンと短絡)
5	RTS	送信要求(4番ピンと短絡)
6	DTR	データ端末レディ(未処理)
7	SG	信号用接地(信号用GND)
20	DSR	データ・セット・レディ(通信可能状態 後正電圧出力)

ENCODER REMOTE (15P)

ピンNo.	信号内容
1	FRAME GROUND
4	REM (G)
7	REM RX (X) REMOTE CONTROL PROTOCOL RECEIVE
8	REM TX (X) REMOTE CONTROL PROTOCOL TRANSMIT
14	REM RX (Y) REMOTE CONTROL PROTOCOL RECEIVE
15	REM TX (Y) REMOTE CONTROL PROTOCOL TRANSMIT

EMERGENCY イジェクト

緊急時に手動でテープを取り出す手順

EJECTボタンを押しても、カセットテープを取り出せないときは、下記の方法で取り出すことができます。

●必ず、本機の電源をOFFにした状態で行ってください。

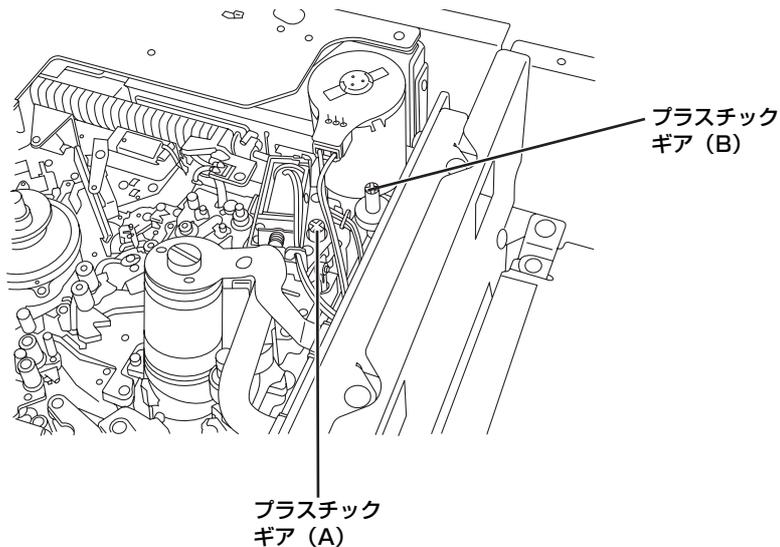
- 1 トップパネルを外します。
- 2 赤いプラスチックギア (A) を、プラスドライバーで押し込みながら、反時計方向に回します。
このとき、同時にテープを巻き取る機構が働くためラッチ音がしますが、そのまま10回程度回します。
- 3 各ポストがアンローディングし、テープが完全にカセットに収納されたことを確認します。
- 4 テープが完全にカセットケースの中に戻ったら、図のようにフロントローディングにある赤いプラスチックギア (B) を、押し込みながら時計方向に回しカセットを取り出します。

<ノート>

必要以上に回しすぎると、カセットテープに負担がかかり、テープダメージの原因になります。

<ノート>

カセットの蓋が閉じるときに、テープが噛み込まないように、注意してください。



保証とアフターサービス

故障・修理・お取扱い
などのご相談は、まず、
お買い上げの販売店
へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。
※ 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

●保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みいただいた上、大切に保存してください。
万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、下記部品は、保証期間内でも使用時間による保証となります。

- DVCPRO ビデオヘッド :1.000 時間
- 消耗・摩耗部品 :1.000 時間

* 摩耗部品とは、

- ビデオヘッド
- ローラー類
- ピンチローラー
- ヘッド類
- 各種ブレーキ
- その他メカ駆動系部品
- モーター

●補修用性能部品

当社では、デジタルHDビデオカセットレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年間保有しています。
※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●保守・点検

保守・点検は機器の機能を常に良好な状態に維持し、お客様が安心してご使用していただくためのものです。

部品の磨耗、劣化、ごみ、ホコリの付着などにより突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能の維持のために、定期的な保守・点検を推奨いたします。

保守・点検（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼される時

この取扱説明書を再度ご確認の上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

◆保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは、保証書をご覧ください。

◆保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容

ご連絡いただきたい内容	
品名	デジタルHDビデオカセットレコーダー
品番	AJ-HD1800
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

定 格

【総合】

電源： AC 100-240 V、50/60 Hz
消費電力： 125 W

は安全項目です。

動作周囲温度：

+5 °C～+40 °C

動作周囲湿度：

10%～80%以下（結露無し）

保存温度：

－20 °C～+60 °C

外形寸法（幅×高さ×奥行き）：

424 mm（最大435.4 mm）×175.2 mm ×
417 mm

（セット足、ジャック、JOGダイヤルを除く）

質量：

19.5 kg

記録フォーマット：

DVCPRO HD-LP

記録ビデオ信号

1080i（50Hz/59.94Hz切り替え）

720p（50Hz、59.94Hz、60Hz〔Varicamのみ〕切り替え）

480i/59.94Hz

576i/50Hz

記録オーディオ信号

48kHz、16bit、8ch

記録トラック

- デジタルビデオ/オーディオ信号：
ヘリカルトラック
- タイムコード：
ヘリカルトラック（サブコード領域）
- キュー信号：
1トラック
- コントロール（CTL）信号：
1トラック

テープ速度

67.64 mm/秒（59.94Hz モード）

67.70 mm/秒（50Hz/60Hz モード）

使用テープ

メタルテープ

記録時間

126分（XLカセット使用時）

92分（Lカセット使用時）

32分（Mカセット使用時）

早送り/巻戻し時間

約1分30秒

（XLカセット使用時、±100倍速選択時）

サーチ速度

±100倍速

デジタルスロー

－1～+2倍速

（DVCPRO HD-LP記録テープ）

－1～+1.1倍速

（DVCPRO HD-LP記録テープ以外）

編集精度

±0フレーム

（タイムコード使用時、50Hz、59.94Hz、60Hzモード時）

テープタイマー精度

±1フレーム（連続CTL信号使用時）

サーボロック時間

0.3秒以内（スタンバイONから）

ローディング時間

約4秒（M/Lカセット使用時）、約6秒（XLカセット使用時）

オーディオスプリット編集

有り

【ビデオ】

サンプリング周波数

Y： 74.176 MHz

PB/PR： 37.088 MHz（1080/59.94i、720/59.94p）

Y： 74.25 MHz

PB/PR： 37.125 MHz（1080/50i、720/50p）

量子化

8 bit

ビデオ圧縮方式

DV-Based Compression (SMPTE370M, 317M)

ビデオ圧縮比率

1/6.7

エラー訂正

リードソロモンプロダクトコード

ビデオ記録ビットレート

100 Mbps

ビデオ入力端子

HDシリアルデジタル入力

BNC×1（SMPTE 292M/296M/299M規格に準拠）、

BNC×1（アクティブスルー）

SDシリアルデジタル入力

BNC×1（SMPTE 259M-C/272M-A、

ITU-R BT.656-4規格に準拠）、

BNC×1（アクティブスルー）

リファレンス入力

ブラックバースト/HD3値SYNC自動切り替え

BNC×2（ループスルー）、75Ω ON/OFF 切り替え

ビデオ出力端子

HDシリアルデジタル出力

BNC×3（SMPTE292M/296M/299M規格に準拠）

BNC×1（スーパーインポーズ付きモニター出力）

SDシリアルデジタル出力

BNC×1

（SMPTE259M-C/272M-A、ITU-R BT.656-4規格に準拠）

BNC×1（スーパーインポーズ付きモニター出力）

アナログコンポジット出力

BNC×3、

VIDEO1、VIDEO2、VIDEO3（スーパー ON/OFF切り替え）

SD再生時またはダウンコンバート時に出力

【ビデオ】 (続き)

ビデオ出力調整範囲

● コンポーネントスタイル

HD/SD SDI、コンポジット出力のYゲイン
-∞ ~ +3 dB

HD/SD SDI、コンポジット出力のPBゲイン
-∞ ~ +3 dB

HD/SD SDI、コンポジット出力のPRゲイン
-∞ ~ +3 dB

HD/SD SDI、コンポジット出力のYブラックレベル
±10%

● コンポジットスタイル

HD/SD SDI、コンポジット出力のビデオゲイン
-∞ ~ +6 dB

HD/SD SDI、コンポジット出力のクロマゲイン
-∞ ~ +3 dB

HD/SD SDI、コンポジット出力のクロマ位相*1
±30°

HD/SD SDI、コンポジット出力のセットアップ
±10%

● システム位相

HD SDI出力システム位相

1080i: ±1.0 H (13.5 nS ステップ)
59.94/60 Hz : ±2200 Sample
50 Hz : ±2640 Sample
23.98/24 Hz : ±2750 Sample
720p: ±1.0 H (13.5 nS ステップ)
59.94/60 Hz : ±1650 Sample
50 Hz : ±1980 Sample

SD シリアルデジタル/コンポジットビデオ出力システム位相 ±1.0 H (37 nS ステップ)

59.94 Hz : ±1716 Sample
50 Hz : ±1728 Sample

コンポジットビデオ出力SC位相 ±180 度以上

*1 50Hz/25Hz モード時はSD テープ再生のSD SDI/コンポジット出力のみ有効

【オーディオ】

デジタルオーディオ

サンプリング周波数

48 kHz (ビデオに同期)

量子化

16 bit

周波数特性

20Hz ~ 20 kHz ± 1.0 dB (基準レベルにて)

ダイナミックレンジ

90 dB以上(1kHz、エンファシスOFF)

歪率

0.05%以下(1 kHz、エンファシスOFF、基準レベル)

クロストーク

-80 dB 以下(1 kHz、2チャンネル間)

ワウ&フラッター

測定限界値以下

ヘッドルーム

20/18/12dB切り替え可能

キュートラック

周波数特性

300 Hz ~ 6 kHz ± 3 dB

オーディオ入力端子

アナログ入力(CH1~CH4)

XLR × 4、600Ω/Highインピーダンス切り替え可能
+4/0/-3/-20dBm切り替え可能

デジタル入力(CH1/CH2、CH3/CH4、CH5/CH6、CH7/CH8)

BNC × 4、AES/EBUフォーマット

HDシリアルデジタル入力

BNC × 1 (SMPTE292M/296M/299M 規格に準拠)
BNC × 1 (アクティブスルー)

SDシリアルデジタル入力

BNC × 1
(SMPTE259M-C/272M-A, ITU-R BT.656-4 規格に準拠)
BNC × 1 (アクティブスルー)

キュートラック入力

XLR × 1、600Ω/Highインピーダンス切り替え可能
+4/0/-3/-20/-60dBm切り替え可能

オーディオ出力端子

アナログ出力(CH1~CH4)

XLR × 4、Lowインピーダンス
+4/0/-3/-20dBm切り替え可能

デジタル出力(CH1/CH2、CH3/CH4、CH5/CH6、CH7/CH8)

BNC × 4、AES/EBUフォーマット

HDシリアルデジタル出力

BNC × 4 (SMPTE292M/296M/299M 規格に準拠)

SDシリアルデジタル出力

BNC × 2
(SMPTE259M-C/272M-A, ITU-R BT.656-4 規格に準拠)

キュートラック出力

XLR × 1、Lowインピーダンス
+4/0/-3/-20dBm切り替え可能

モニター出力

XLR × 2、Lowインピーダンス
+4/0/-3/-20dBm切り替え可能

ヘッドホン出力

M6、8 Ω、レベル可変

オーディオレベル調整範囲

-∞ ~ +12 dB

定 格 (続き)

【その他の入出力端子】

タイムコード入力

XLR × 1、0.5～8 Vp-p、10 kΩ

タイムコード出力

XLR × 1、Low インピーダンス
2.0 ± 0.5 Vp-p (600 Ω 負荷時)

RS-422A入力

D-sub 9pin、RS-422Aインターフェース

RS-422A出力

D-sub 9pin、RS-422Aインターフェース

RS-232C

D-sub 25pin、RS-232Cインターフェース

パラレル入出力

D-sub 50pin

エンコーダリモート

D-sub 15pin

1394入出力端子

コネクタ： 6pinタイプ

伝送速度： 400 Mbps、200 Mbps、100 Mbps選択可能

伝送データ：

IEEE1394 - 1995 準拠

IEC61883 - Part1、Part2 準拠

制御コマンド：

AV/C Command Set 準拠

【モニター】

3.5インチ液晶カラーモニター、21万画素
(アスペクト比4:3)

【オプション】

ラックマウントアダプタ

AJ-MA75P

【付属品】

電源コード (電安3芯)

電源用3P-2Pコネクタ

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社 システム事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06)6901-1161

© Panasonic Corporation 2007

